

茨木市の
保健福祉に関するアンケート調査
[高齢者・在宅介護者・介護保険事業者]
報 告 書

令和 8 年（2026 年）3 月



茨 木 市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 報告書を見る際の注意点.....	2
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	3
1. 回答者の属性.....	3
2. からだを動かすことについて.....	7
3. 食べることについて.....	26
4. 毎日の生活について.....	36
5. 地域での活動について.....	56
6. たすけあいについて.....	66
7. 健康について.....	74
8. 認知症について.....	88
9. 毎日の生活について.....	93
10. リスク判定.....	109
11. その他の分析.....	121
第3章 在宅介護実態調査結果.....	129
1. 回答者の属性.....	129
2. 介護・介助の状況について.....	132
3. 人生の最期について.....	140
4. 在宅医療について.....	142
5. ご家族やご親族からの介護について.....	151
6. 主な介護者について.....	154
7. 主な介護者の状況について.....	161
第4章 介護保険事業者調査結果.....	169
1. 法人の概要.....	169
2. サービスについて.....	171
3. 職員について.....	173
4. 医療機関との連携について.....	189
5. 本アンケートについて.....	194

資料編.....	195
1. 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票.....	195
2. 在宅介護実態調査 調査票.....	203
3. 介護保険事業者調査 調査票.....	208

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画のための基礎データとするとともに、今後の施策の検討に必要な資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の設計

【図表 1-2-1 調査の設計】

調査名	対象	回答方法	調査期間
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護認定を受けていない高齢者及び要支援認定者：3,000人(無作為抽出)	郵送またはオンライン	令和7年(2025年)11月17日(月)～ 令和7年(2025年)12月19日(金)
② 在宅介護実態調査	在宅介護サービス受給者：2,000人(無作為抽出)	郵送またはオンラインおよび認定調査員による聞き取り	
③ 介護保険事業者調査	市内で介護サービスを提供している事業者：402事業所(全数)	オンライン	

3. 回収状況

【図表 1-3-1 回収状況】

調査名	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000件	2,360件	2,360件	78.7%
② 在宅介護実態調査	2,000件	1,327件	1,326件	66.3%
③ 介護保険事業者調査	402件	237件	237件	59.0%
合計	5,402件	3,924件	3,923件	72.6%

4. 報告書を見る際の注意点

- 回答は各質問の回答者数（n）を分母とした百分率（%）で示しています。
- 回答結果の割合「%」は、有効回答数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が「100.0%」にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が「100.0%」を超える場合があります。
- 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の意味です。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の前回調査とは、令和4年（2022年）に実施した「茨木市の保健福祉に関わるアンケート調査」を指します。
- 回答者数（n）が少数となる場合は参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。
- 日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続しながら、多様なサービスが受けられるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案して定める区域のことです。茨木市では、5つの日常生活圏域を設定しています。

【図表 1-4-1 日常生活圏域】

圏域	小学校区
北圏域	清溪・忍頂寺・安威・山手台・耳原・福井・豊川・郡山・彩都西
東圏域	三島・太田・庄栄・西河原・東・白川
西圏域	郡・沢池・西・穂積・畑田・春日・春日丘
中央圏域	中条・茨木・大池・中津
南圏域	玉島・玉櫛・天王・東奈良・葦原・水尾

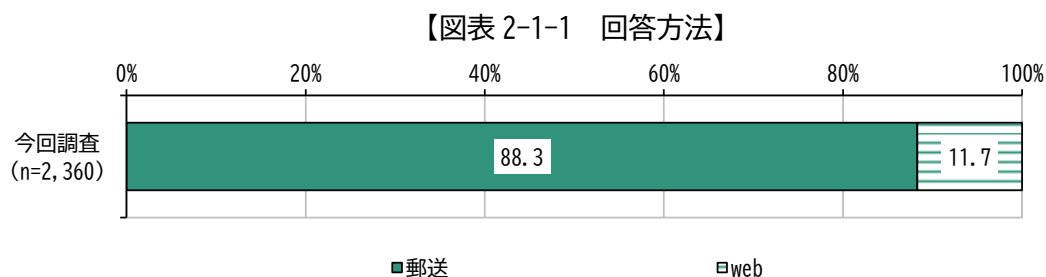


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1. 回答者の属性

(1) 回答方法

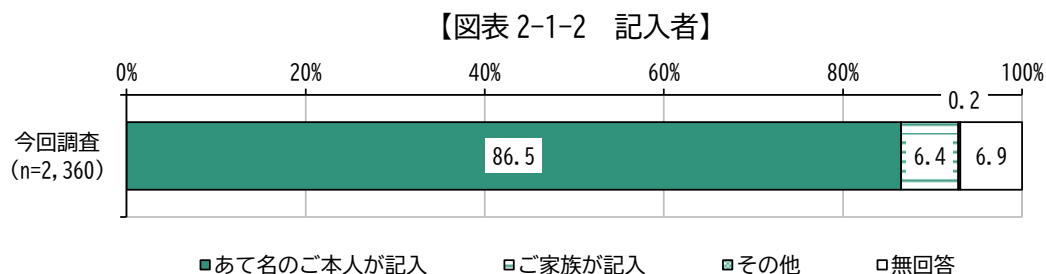
回答方法について、「郵送」が88.3%、「web」が11.7%となっています。



(2) 記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

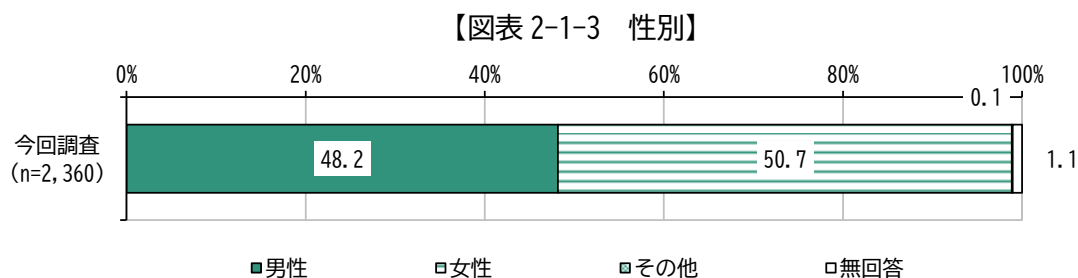
記入者について、「あて名のご本人が記入」が86.5%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が6.4%、「その他」が0.2%となっています。



(3) 性別

問1 ①-1 性別をおたずねします。(○は1つ)

性別について、「男性」が48.2%、「女性」が50.7%となっています。

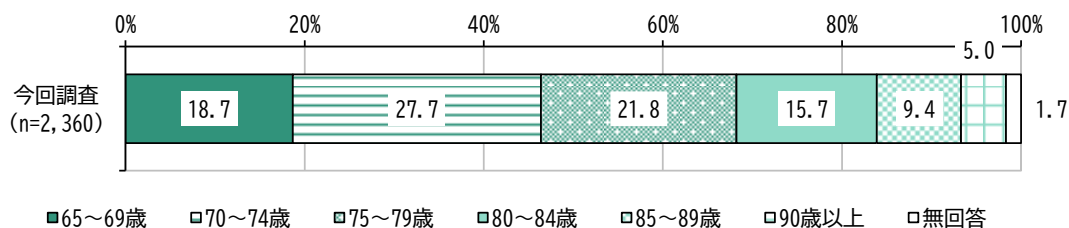


(4) 年齢

問1 ①-2 年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

年齢について、「70～74 歳」が 27.7%で最も多く、次いで「75～79 歳」が 21.8%、「65～69 歳」が 18.7%となっています。

【図表 2-1-4 年齢】

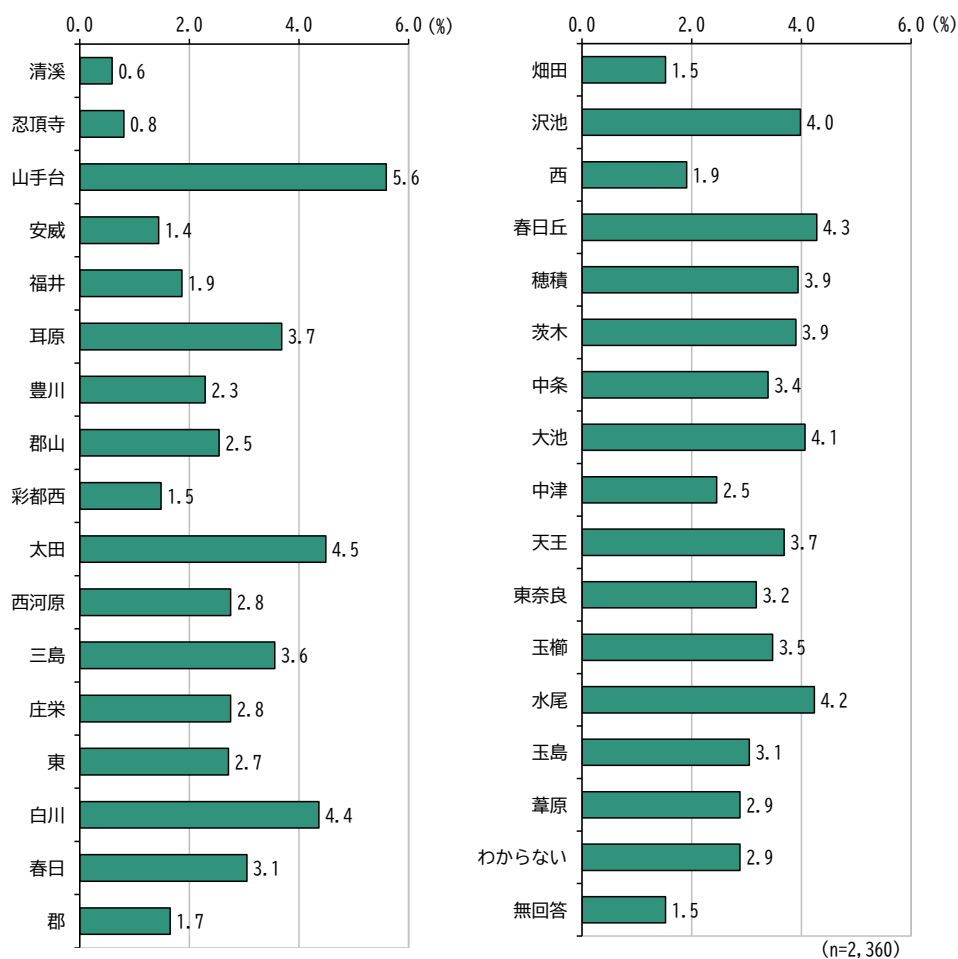


(5) 住まい

問1 ①-3 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。(○は1つ)

住まいについて、「山手台」が 5.6%で最も多く、次いで「太田」が 4.5%、「白川」が 4.4%となっています。

【図表 2-1-5 住まい】

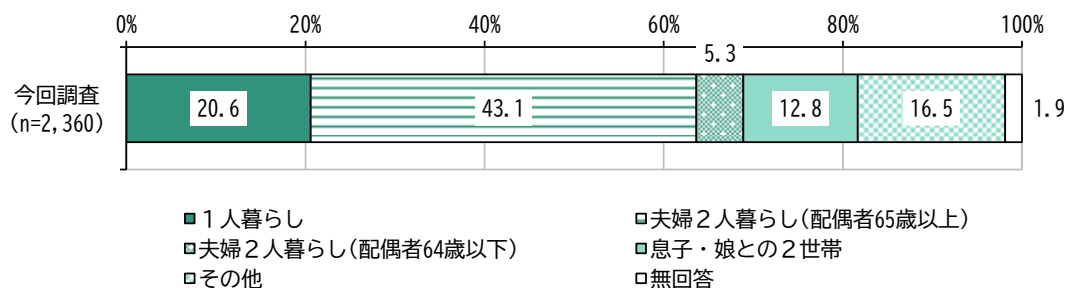


(6) 家族構成

問1 ② 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が43.1%で最も多く、次いで「1人暮らし」が20.6%、「その他」が16.5%となっています。

【図表 2-1-6 家族構成】

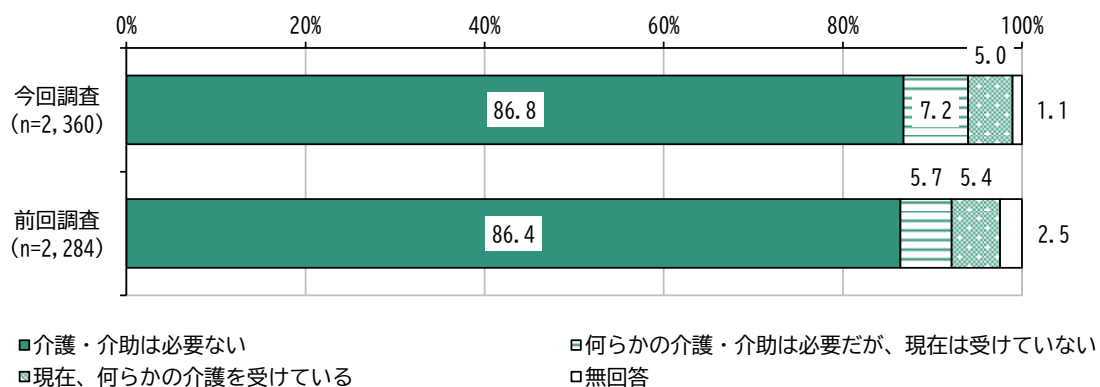


(7) 介護・介助の状況

問1 ③ あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(○は1つ)

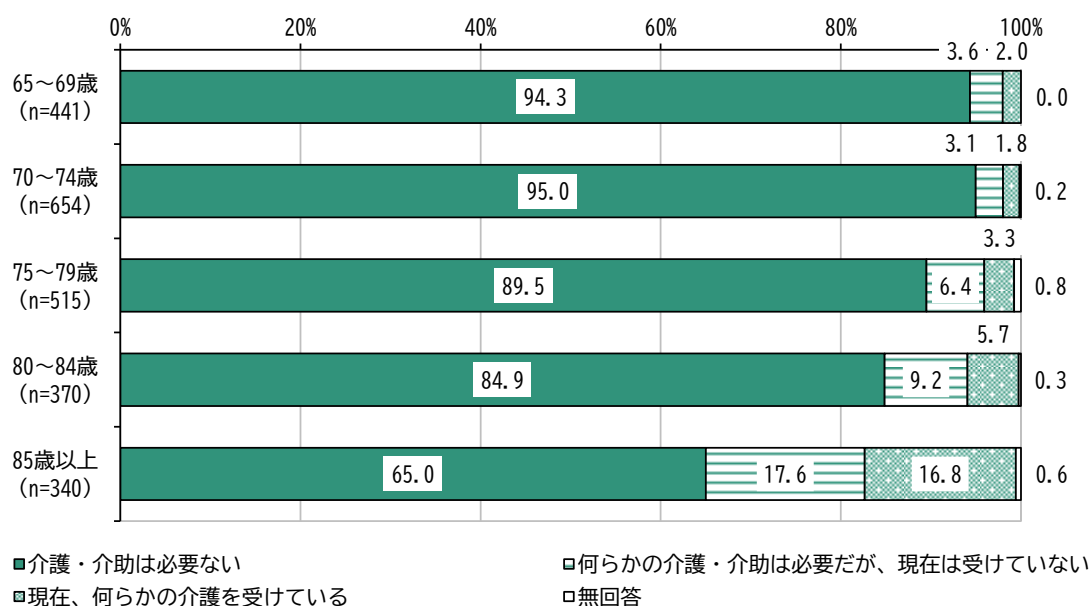
介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が86.8%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.0%となっています。また、前回調査と比較して「介護・介助は必要ない」が0.4ポイント増加しています。

【図表 2-1-7 介護・介助の状況】



年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」では、70～74歳が95.0%で最も多くなっています。

【図表 2-1-8 介護・介助の状況（年齢別）】

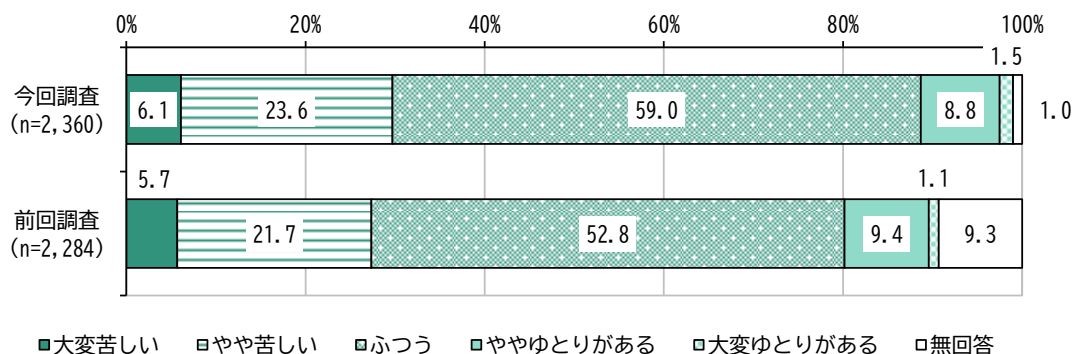


（８）経済的な暮らしの状況

問1 ④ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

経済的な暮らしの状況について、「ふつう」が 59.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 23.6%、「ややゆとりがある」が 8.8%となっています。また、前回調査と比較して「ふつう」が 6.2 ポイント増加しています。

【図表 2-1-9 経済的な暮らしの状況】



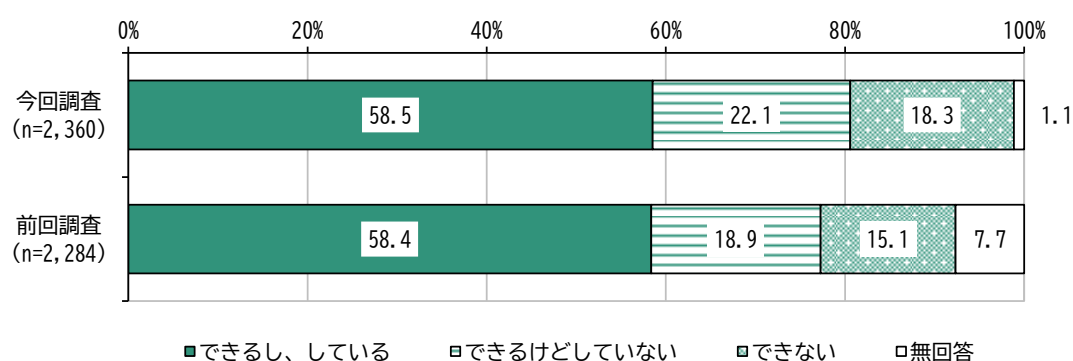
2. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問 2 ① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

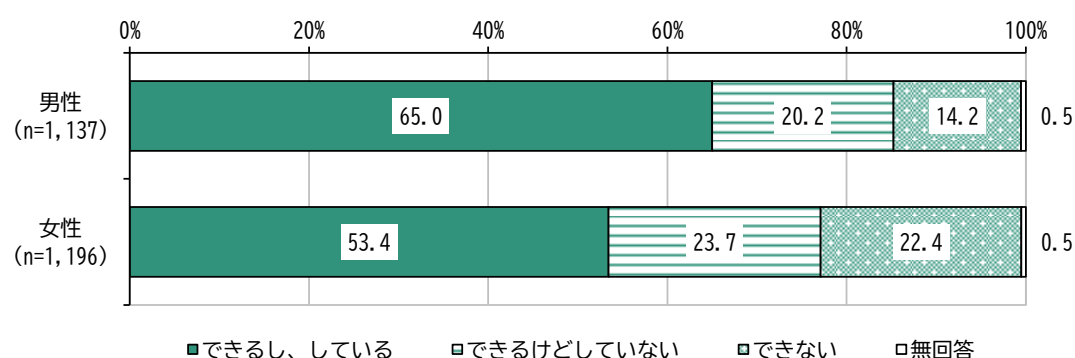
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が 58.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 22.1%、「できない」が 18.3%となっています。また、前回調査と比較して「できない」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表 2-2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



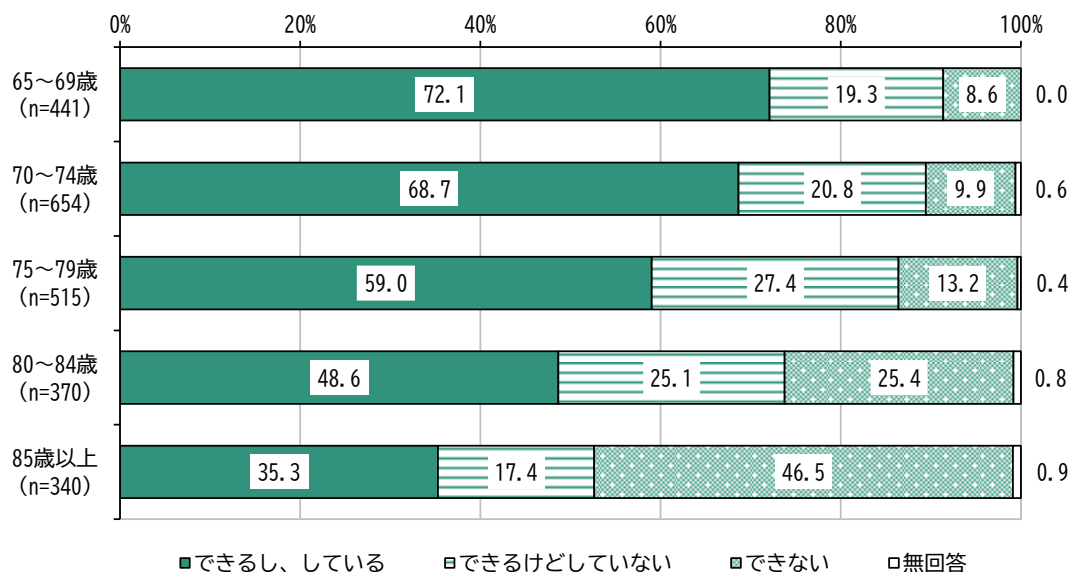
性別でみると「できるし、している」について、男性では 65.0%、女性では 53.4%となっており、男性が 11.6 ポイント高くなっています。

【図表 2-2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（性別）】



年齢別にみると、「できるし、している」では、65～69 歳が 72.1%で最も多くなっています。

【図表 2-2-3 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（年齢別）】

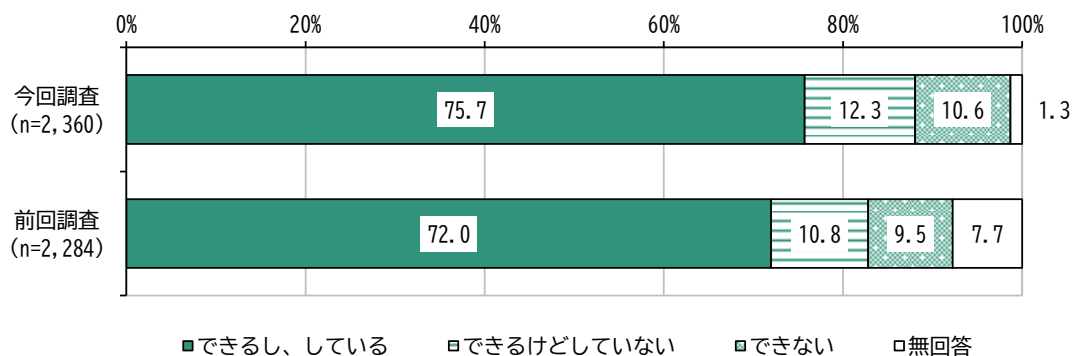


（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問 2 ② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

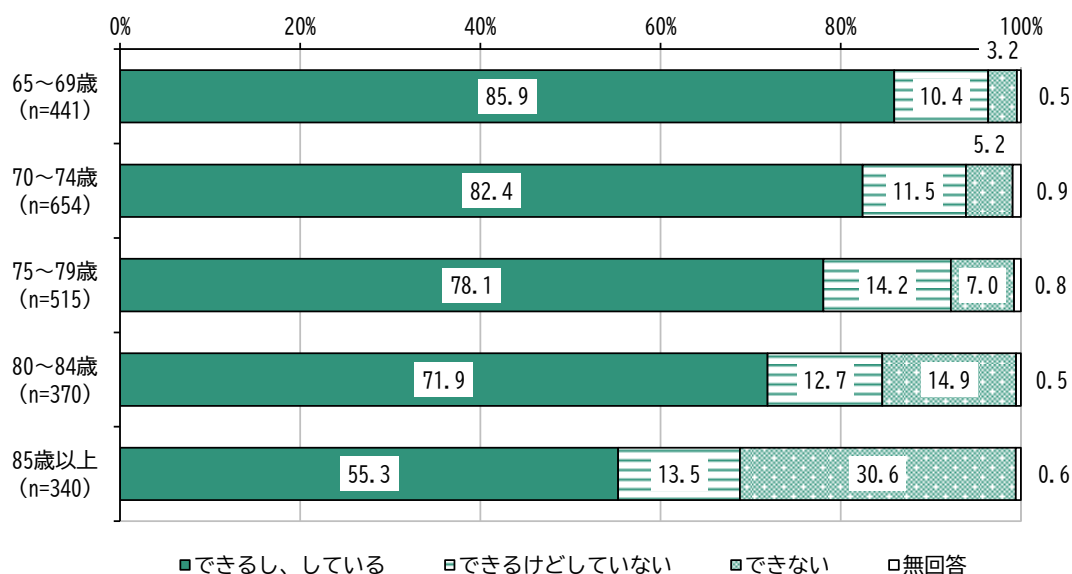
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについて、「できるし、している」が 75.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.3%、「できない」が 10.6%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表 2-2-4 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】



年齢別にみると、「できるし、している」では、65～69歳が85.9%で最も多くなっています。

【図表 2-2-5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか（年齢別）】

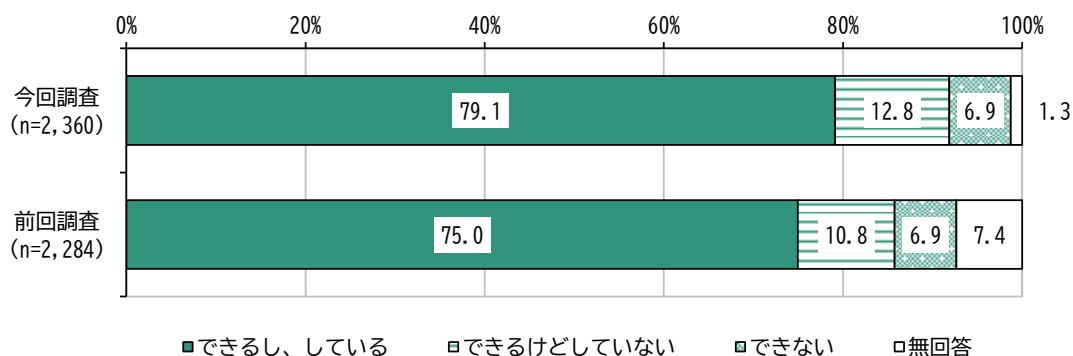


(3) 15分位続けて歩いているか

問 2 ③-1 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

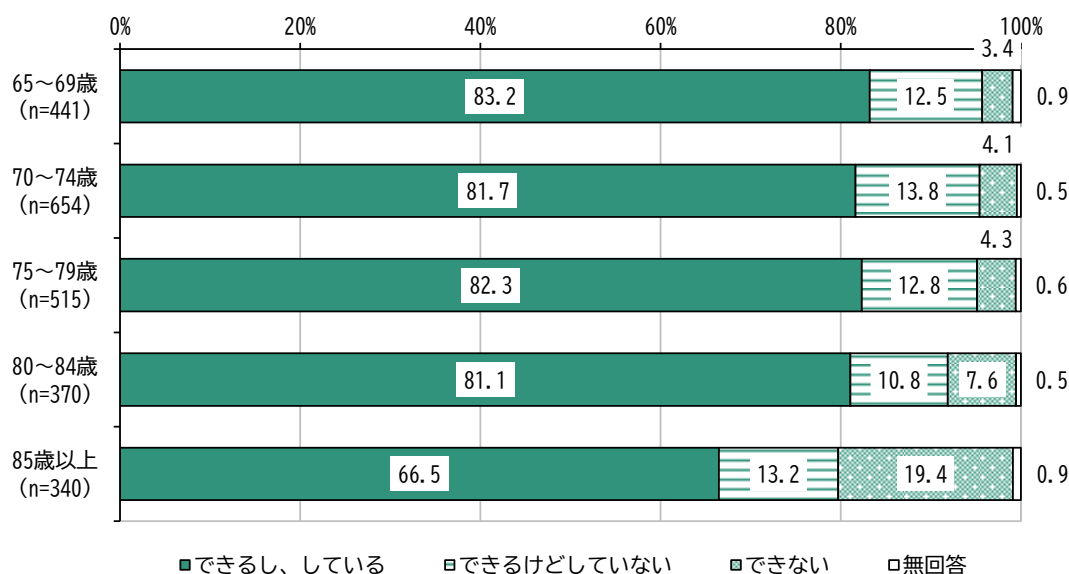
15分位続けて歩いているかについて、「できるし、している」が79.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.8%、「できない」が6.9%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が4.1ポイント増加しています。

【図表 2-2-6 15分位続けて歩いているか】



年齢別にみると、「できるし、している」では、65～69歳が83.2%で最も多くなっています。

【図表 2-2-7 15分位続けて歩いているか（年齢別）】

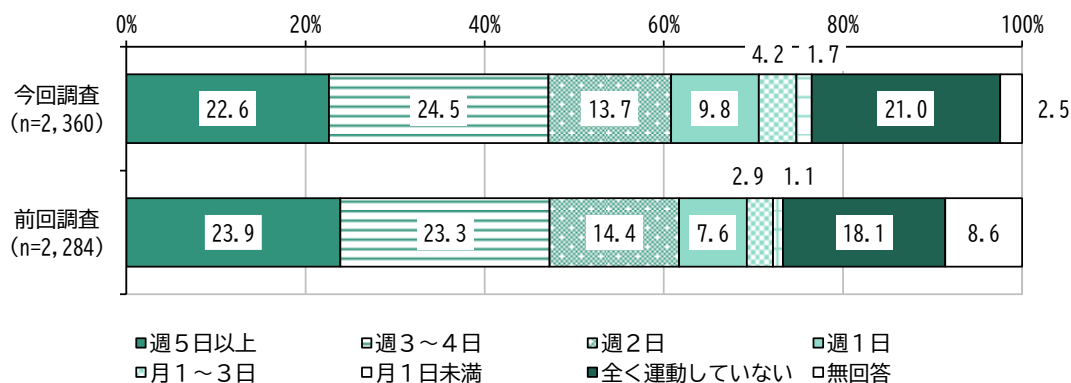


(4) どのくらいの頻度で運動をしているか

問 2 ③-2 現在、あなたはどのくらいの頻度で運動をしていますか。(○は1つ)

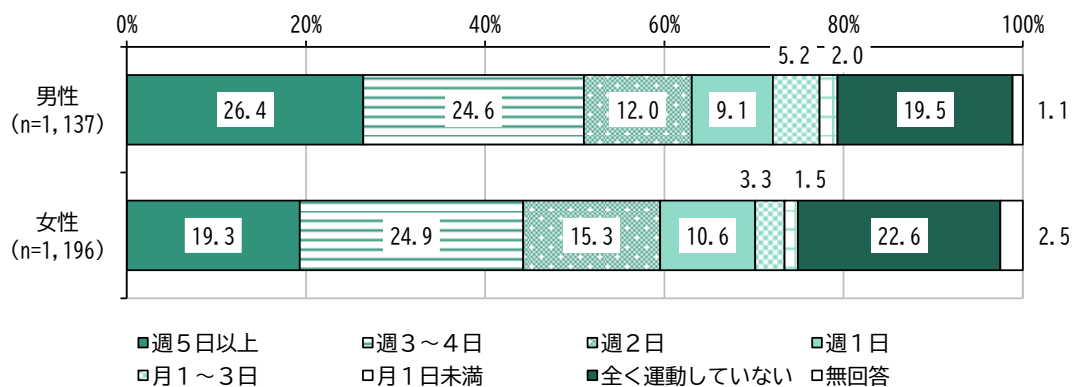
どのくらいの頻度で運動をしているかについて、「週3～4日」が24.5%で最も多く、次いで「週5日以上」が22.6%、「全く運動していない」が21.0%となっています。また、前回調査と比較して「週3～4日」が1.2ポイント増加しています。

【図表 2-2-8 どのくらいの頻度で運動をしているか】



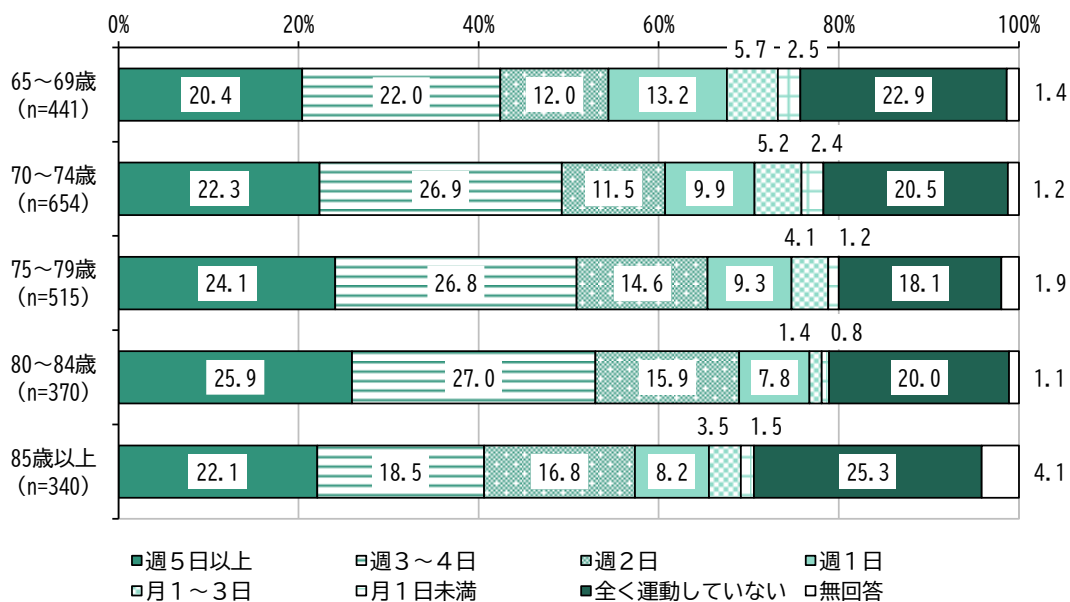
性別でみると、男性では、「週5日以上」が26.4%で最も多く、女性では、「週3～4日」が24.9%で最も多くなっています。

【図表 2-2-9 どのくらいの頻度で運動をしているか（性別）】



年齢別にみると、「週5日以上」では、80～84歳が25.9%で最も多く、「全く運動していない」では、85歳以上が25.3%で最も多くなっています。

【図表 2-2-10 どのくらいの頻度で運動をしているか（年齢別）】

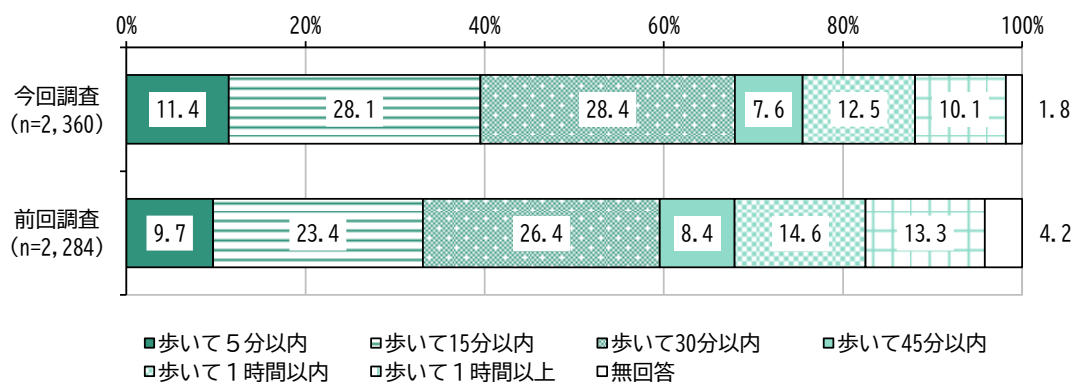


(5) どれくらいの範囲まで歩いて出かけるか

問 2 ③-3 あなたは普段どれくらいの範囲まで歩いて出かけますか。(○は1つ)

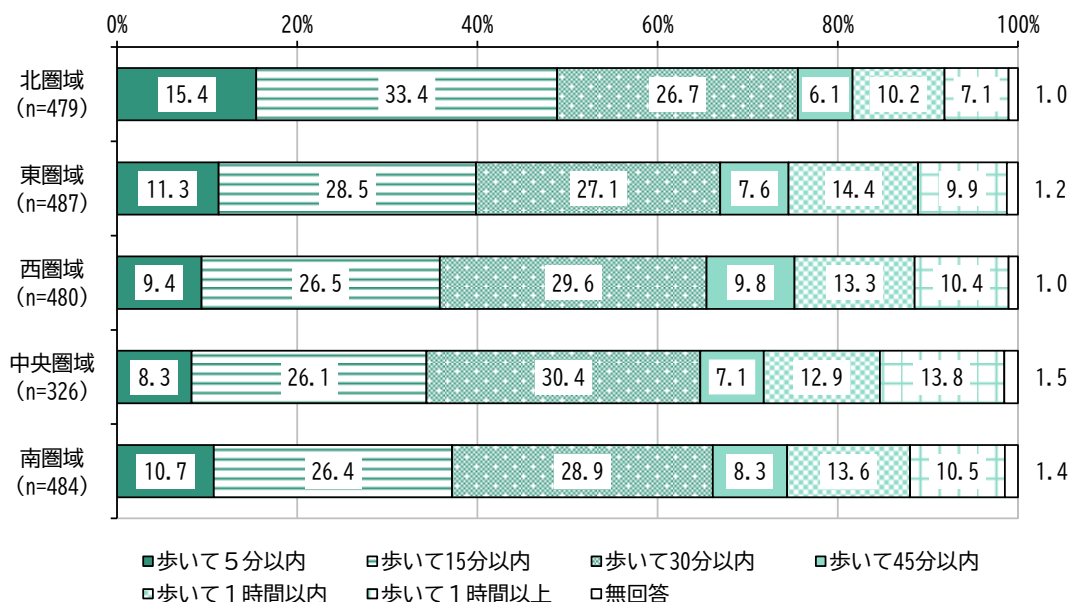
どれくらいの範囲まで歩いて出かけるかについて、「歩いて 30 分以内」が 28.4%で最も多く、次いで「歩いて 15 分以内」が 28.1%、「歩いて 1 時間以内」が 12.5%となっています。また、前回調査と比較して「歩いて 30 分以内」が 2.0 ポイント増加しています。

【図表 2-2-11 どれくらいの範囲まで歩いて出かけるか】



圏域別にみると、「歩いて 5 分以内」では、北圏域が 15.4%で最も多くなっています。

【図表 2-2-12 どれくらいの範囲まで歩いて出かけるか（圏域別）】



（６）過去１年間に転んだ経験があるか

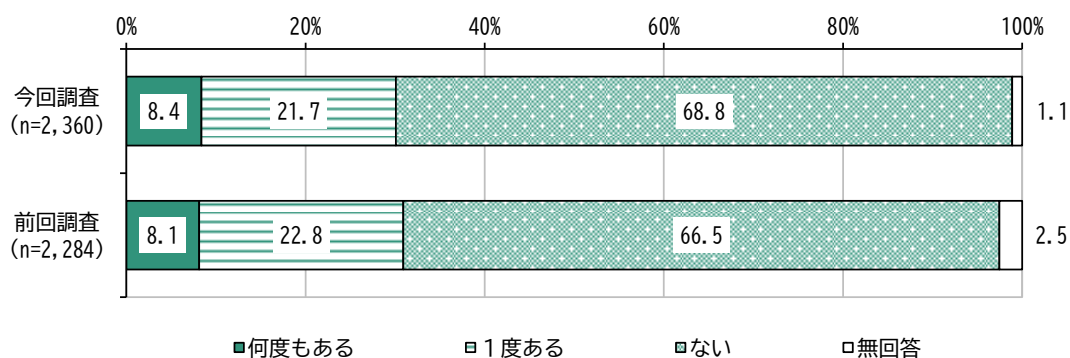
問 2

④

過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

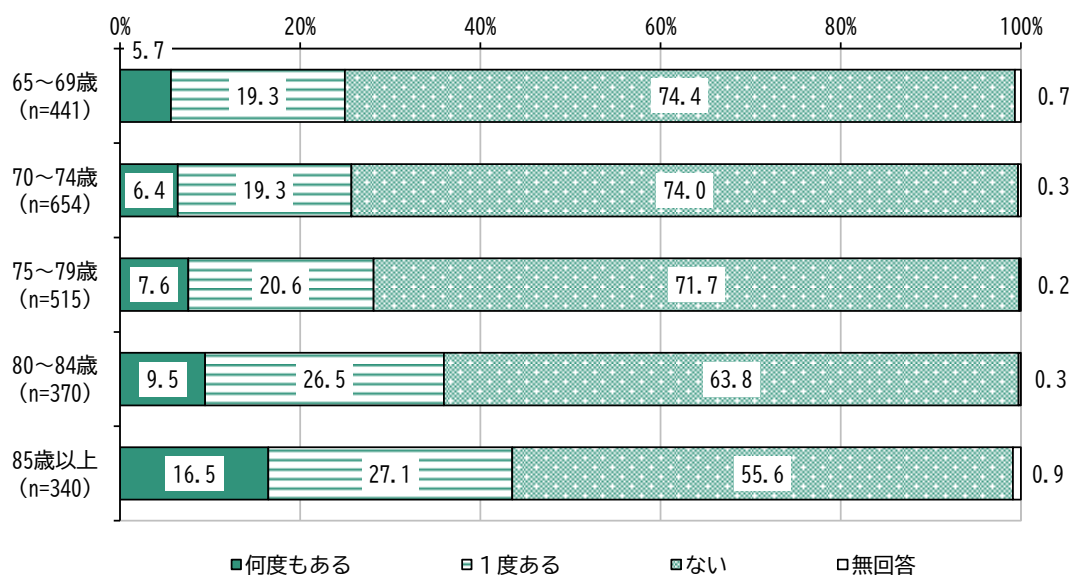
過去１年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が68.8%で最も多く、次いで「１度ある」が21.7%、「何度もある」が8.4%となっています。また、前回調査と比較して「ない」が2.3ポイント増加しています。

【図表 2-2-13 過去１年間に転んだ経験があるか】



年齢別にみると、「ない」では、65～69歳が74.4%で最も多くなっています。

【図表 2-2-14 過去１年間に転んだ経験があるか（年齢別）】



(7) 転倒に対する不安は大きい

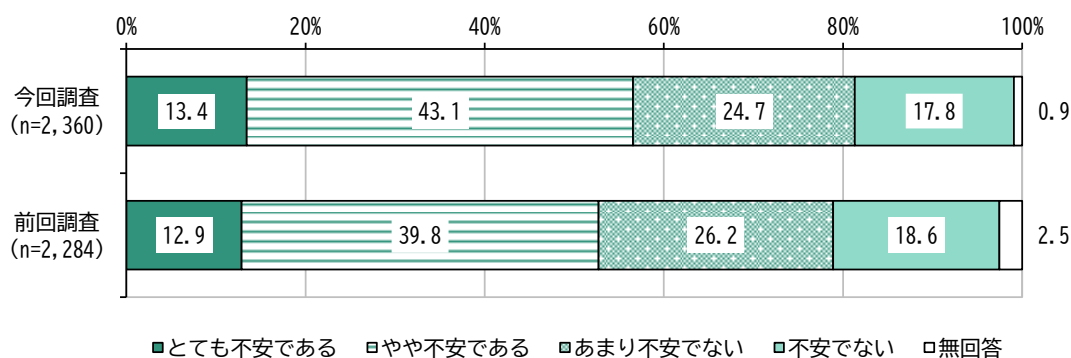
問 2

⑤

転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

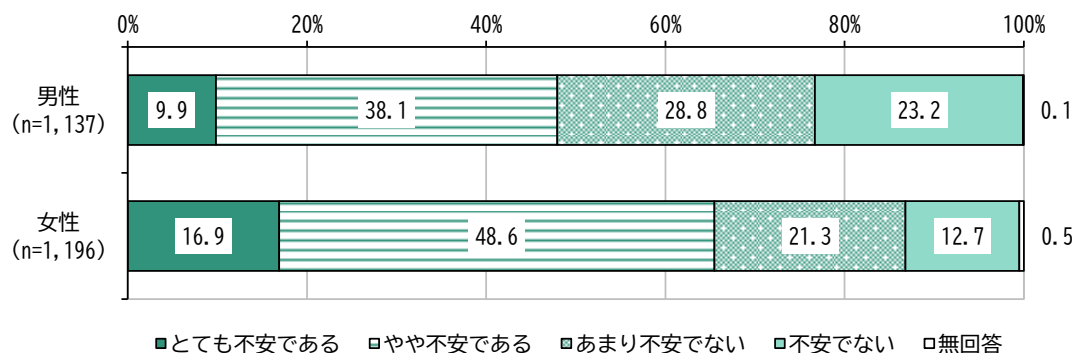
転倒に対する不安は大きいかについて、「やや不安である」が 43.1%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が 24.7%、「不安でない」が 17.8%となっています。また、前回調査と比較して「やや不安である」が 3.3 ポイント増加しています。

【図表 2-2-15 転倒に対する不安は大きい】



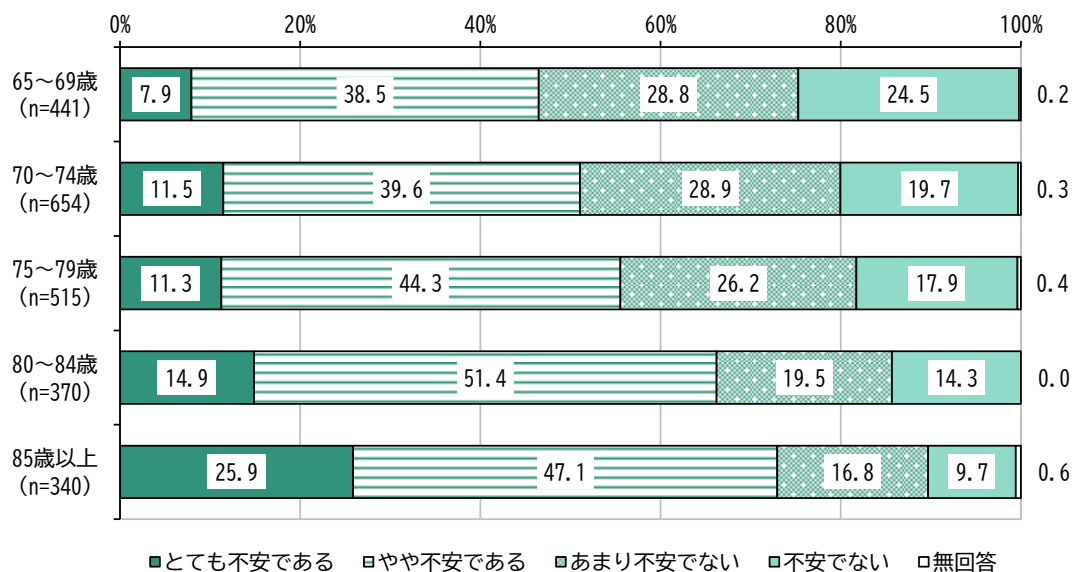
性別でみると、「とても不安である」について、男性では 9.9%、女性では 16.9%となっており、女性が 7.0 ポイント高くなっています。

【図表 2-2-16 転倒に対する不安は大きい (性別)】



年齢別にみると、「とても不安である」では、85歳以上が25.9%で最も多くなっています。

【図表 2-2-17 転倒に対する不安は大きいのか（年齢別）】

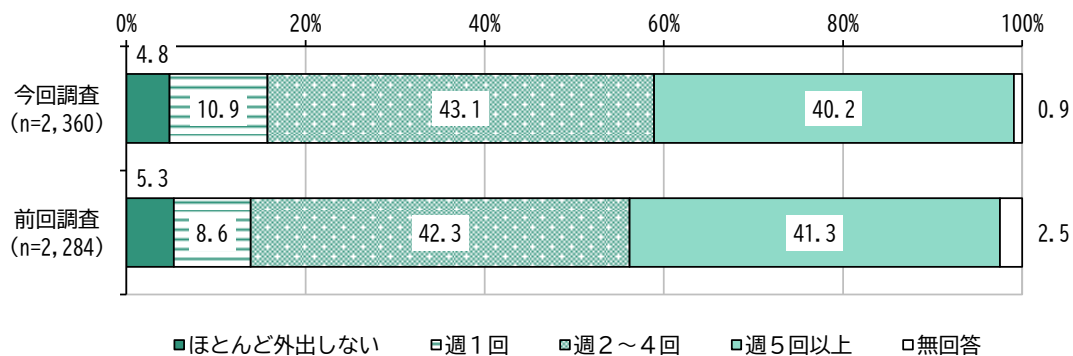


（８）週に１回以上は外出しているか

問 2 ⑥ 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

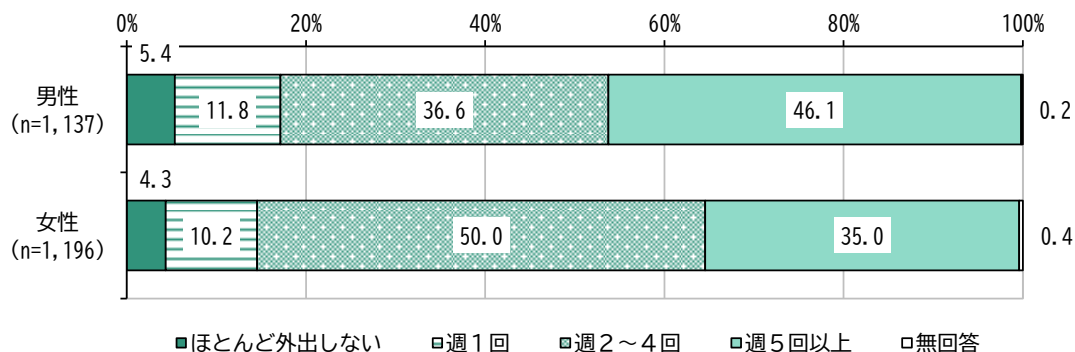
週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が43.1%で最も多く、次いで「週5回以上」が40.2%、「週1回」が10.9%となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が0.8ポイント増加しています。

【図表 2-2-18 週に1回以上は外出しているか】



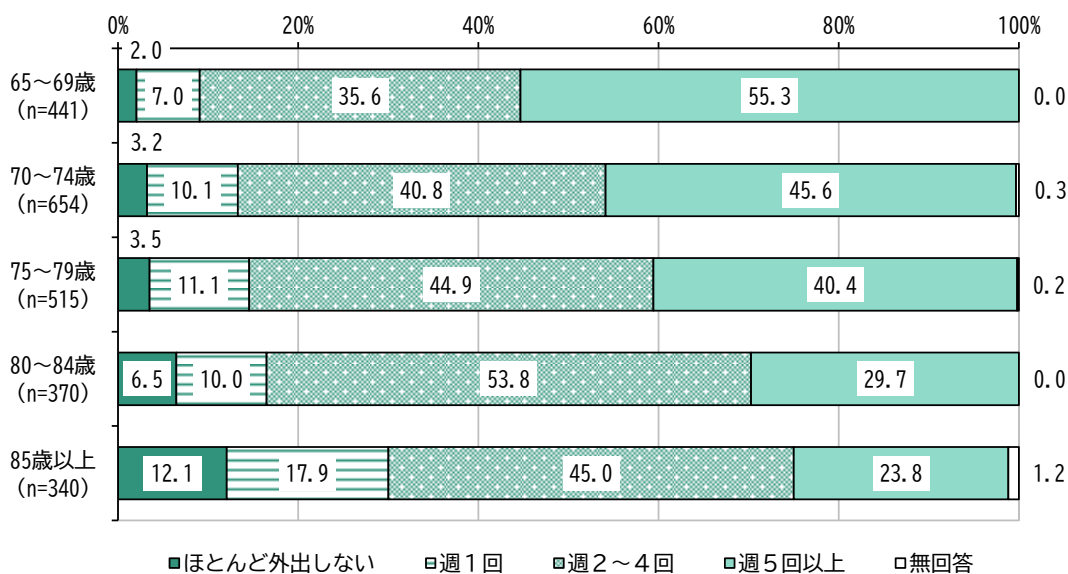
性別でみると、男性では、「週5回以上」が46.1%で最も多く、女性では、「週2～4回」が50.0%で最も多くなっています。

【図表 2-2-19 週に1回以上は外出しているか（性別）】



年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、85歳以上が12.1%で最も多く、「週5回以上」では、65～69歳が55.3%で最も多くなっています。

【図表 2-2-20 週に1回以上は外出しているか（年齢別）】

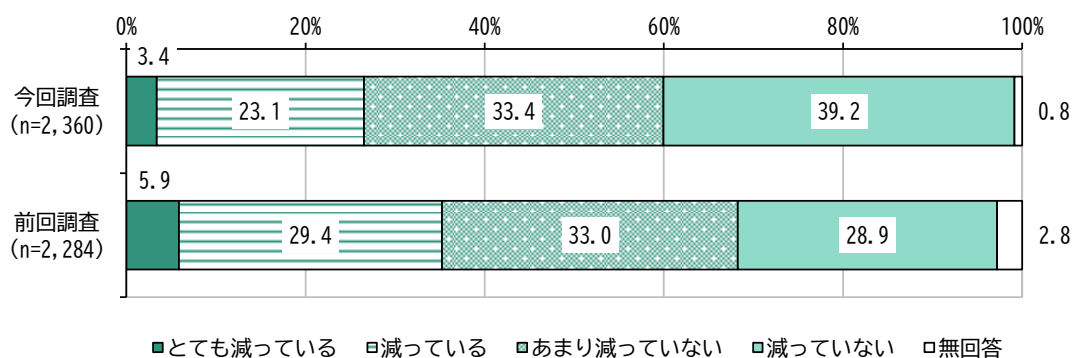


（９）昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 2 ⑦-1 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

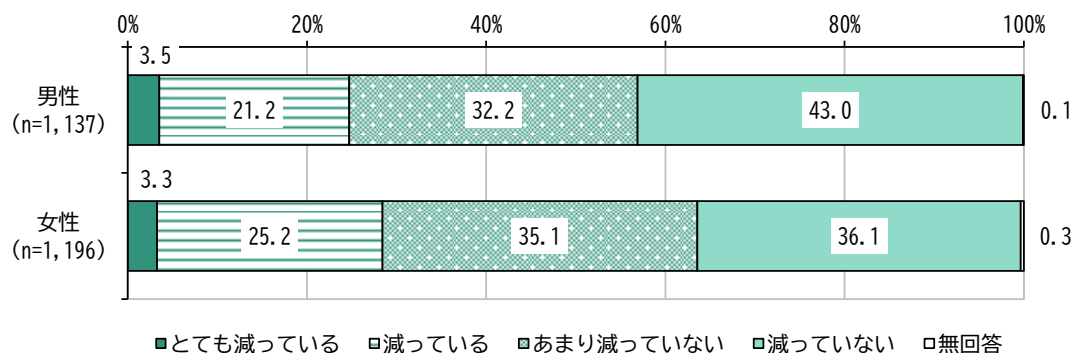
昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っていない」が39.2%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が33.4%、「減っている」が23.1%となっています。また、前回調査と比較して「減っていない」が10.3ポイント増加しています。

【図表 2-2-21 昨年と比べて外出の回数が減っているか】



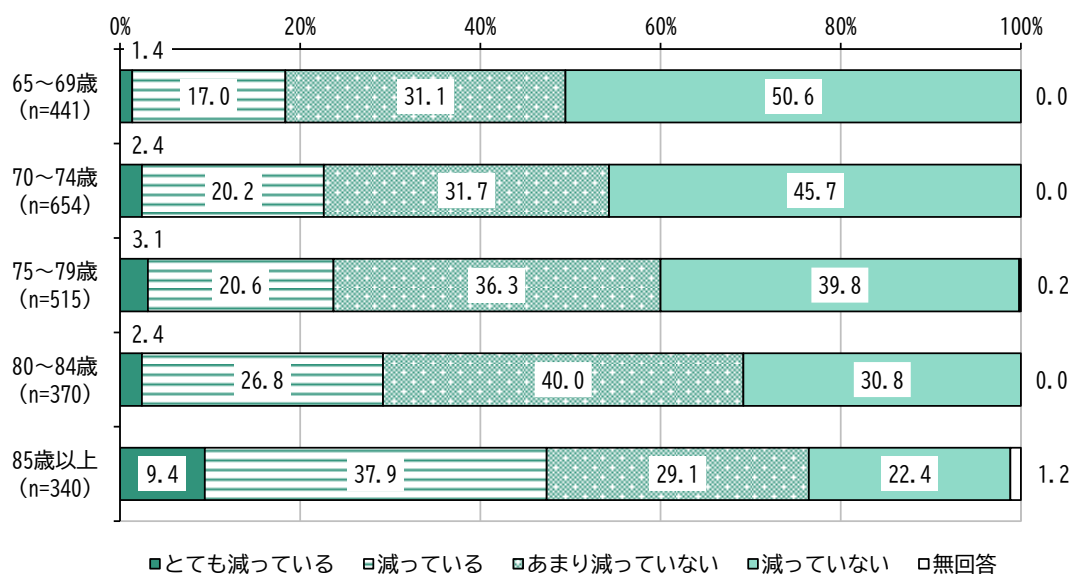
性別でみると、「減っていない」について、男性では43.0%、女性では36.1%となっており、男性が6.9ポイント高くなっています。

【図表 2-2-22 昨年と比べて外出の回数が減っているか（性別）】



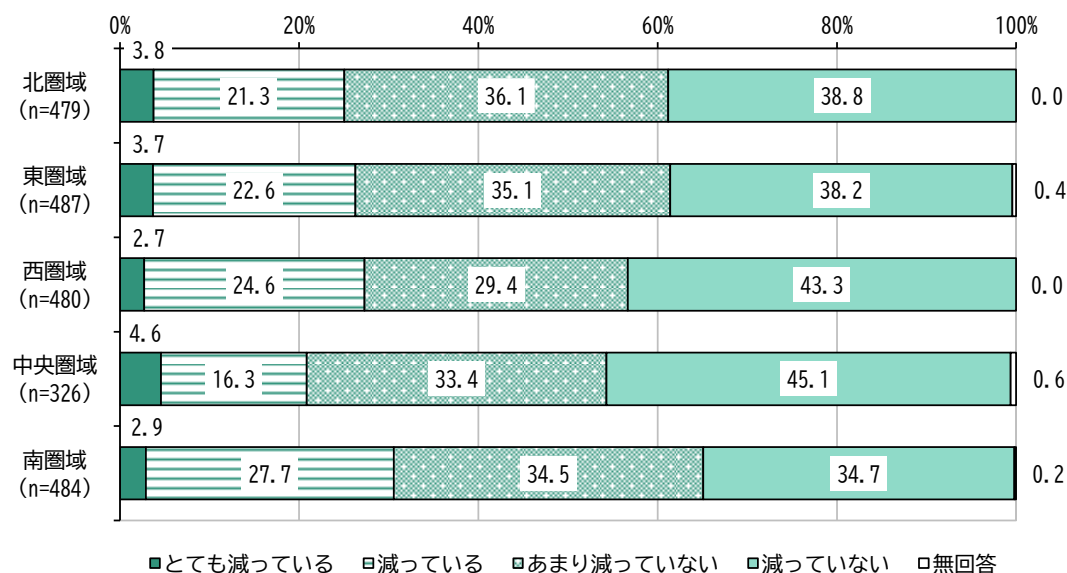
年齢別にみると、「減っていない」では、65～69歳が50.6%で最も多くなっています。

【図表 2-2-23 昨年と比べて外出の回数が減っているか（年齢別）】



圏域別にみると、「減っていない」では、中央圏域が45.1%で最も多くなっています。

【図表 2-2-24 昨年と比べて外出の回数が減っているか（圏域別）】

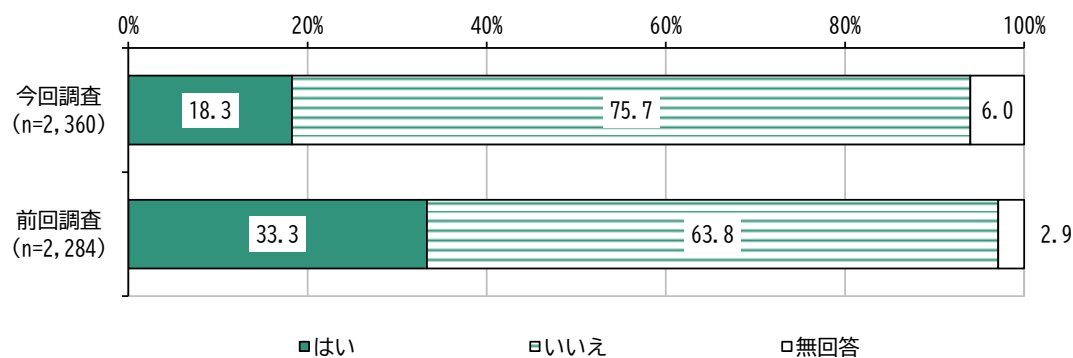


(10) 外出を控えているか

問 2 ⑦-2 外出を控えていますか。(○は1つ)

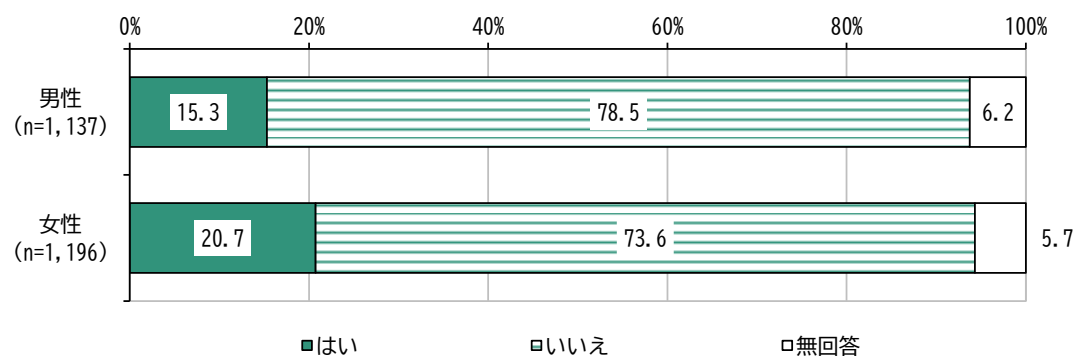
外出を控えているかについて、「はい」が18.3%、「いいえ」が75.7%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が11.9ポイント増加しています。

【図表 2-2-25 外出を控えているか】



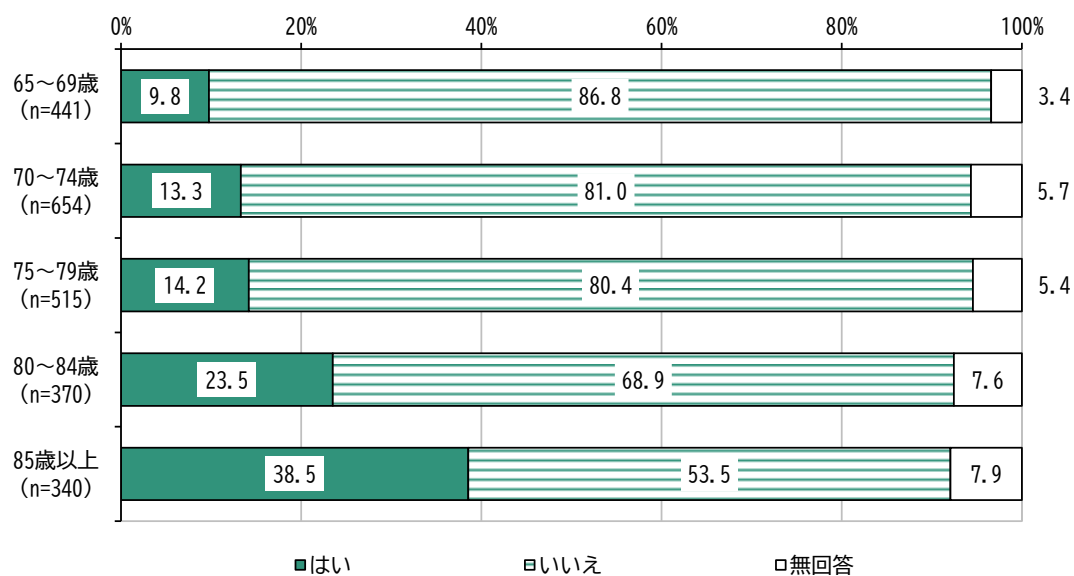
性別でみると、「はい」について、男性では15.3%、女性では20.7%となっており、女性が5.4ポイント高くなっています。

【図表 2-2-26 外出を控えているか（性別）】



年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が38.5%で最も多くなっています。

【図表 2-2-27 外出を控えているか（年齢別）】



(11) 外出を控えている理由

問 2

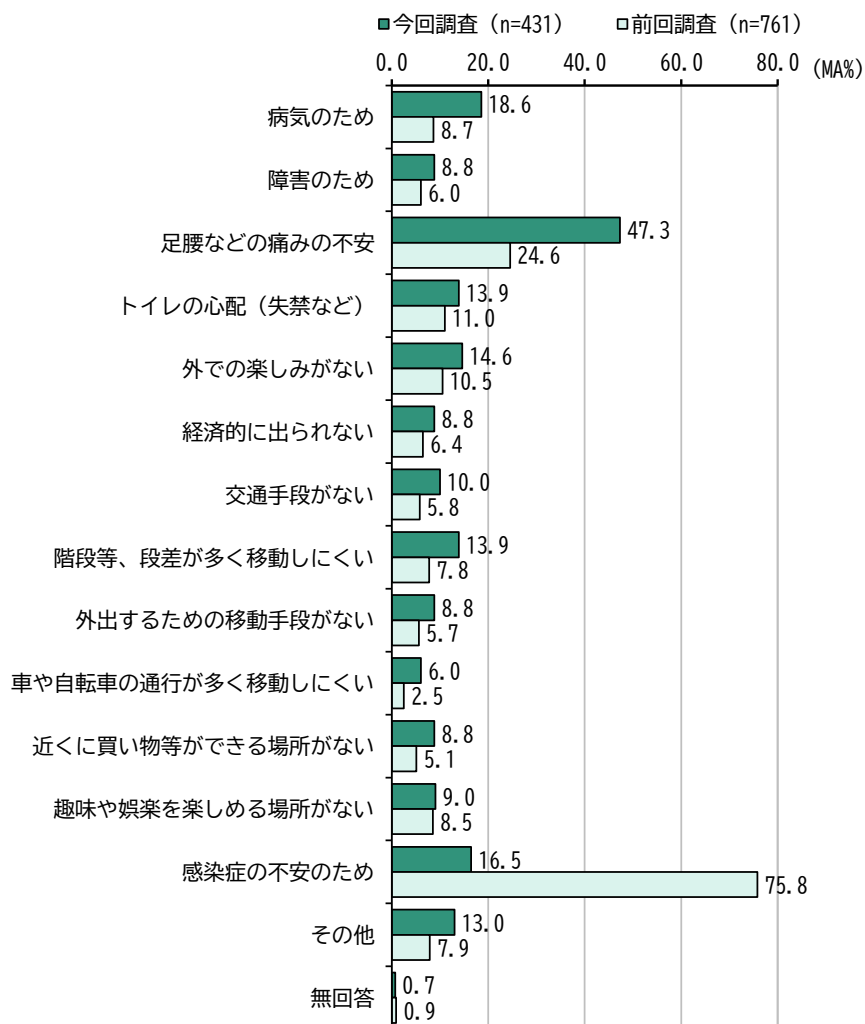
⑦-3

〈⑦-2〉で「はい」を回答された方のみ

外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

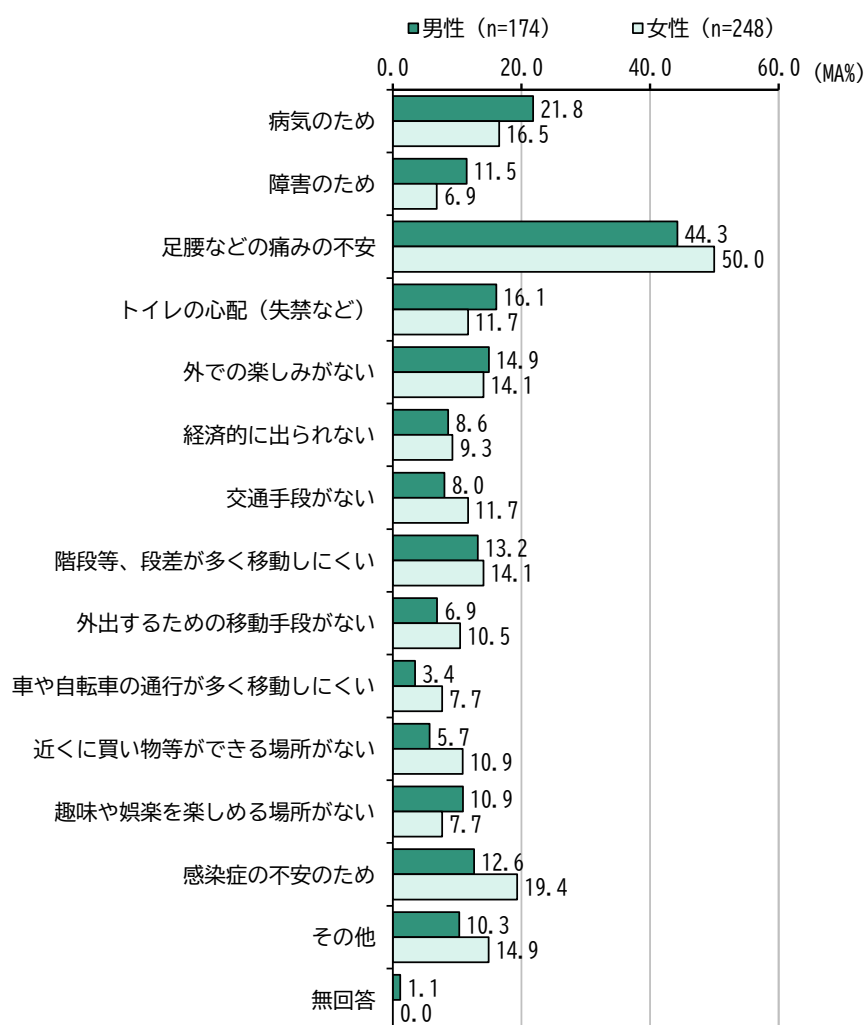
外出を控えている理由について、「足腰などの痛みの不安」が 47.3%で最も多く、次いで「病気のため」が 18.6%、「感染症の不安のため」が 16.5%となっています。また、前回調査と比較して「足腰などの痛みの不安」が 22.7 ポイント増加しています。

【図表 2-2-28 外出を控えている理由】



性別でみると、男性・女性ともに「足腰などの痛みの不安」が最も多くなっています。

【図表 2-2-29 外出を控えている理由（性別）】



「交通手段がない」では、年齢別にみると、85歳以上が13.0%で最も多く、圏域別にみると、北圏域が14.8%で最も多くなっています。

【図表 2-2-30 外出を控えている理由（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	病気のため	障害のため	足腰などの痛みの不安	トイレの心配（失禁など）	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	に階段等、段差が多く移動しにくい	外出するための移動手段がない	車や自転車の通行が多く移動しにくい	近くに買い物等ができる場所がない	が趣味や娯楽を楽しめる場所がない
65～69歳	43	23.3	11.6	23.3	7.0	18.6	11.6	4.7	11.6	0.0	7.0	2.3	0.0
70～74歳	87	19.5	12.6	27.6	12.6	14.9	13.8	6.9	6.9	2.3	5.7	6.9	12.6
75～79歳	73	20.5	9.6	49.3	19.2	16.4	13.7	9.6	13.7	9.6	5.5	8.2	12.3
80～84歳	87	19.5	8.0	57.5	14.9	14.9	6.9	12.6	13.8	13.8	8.0	11.5	5.7
85歳以上	131	15.3	5.3	60.3	12.2	10.7	3.8	13.0	19.8	13.0	4.6	10.7	9.9
北圏域	81	16.0	9.9	45.7	19.8	14.8	6.2	14.8	18.5	13.6	6.2	18.5	6.2
東圏域	88	13.6	3.4	46.6	11.4	15.9	13.6	5.7	9.1	6.8	6.8	4.5	8.0
西圏域	80	22.5	6.3	47.5	6.3	13.8	6.3	12.5	12.5	3.8	5.0	12.5	6.3
中央圏域	62	25.8	9.7	46.8	16.1	12.9	4.8	8.1	12.9	9.7	1.6	6.5	9.7
南圏域	89	20.2	11.2	52.8	16.9	14.6	11.2	7.9	18.0	10.1	10.1	3.4	13.5

	合計（人）	感染症の不安のため	その他	無回答
65～69歳	43	32.6	14.0	0.0
70～74歳	87	19.5	13.8	1.1
75～79歳	73	15.1	11.0	0.0
80～84歳	87	14.9	11.5	0.0
85歳以上	131	11.5	14.5	0.8
北圏域	81	23.5	11.1	1.2
東圏域	88	14.8	20.5	1.1
西圏域	80	18.8	16.3	0.0
中央圏域	62	17.7	12.9	0.0
南圏域	89	10.1	3.4	0.0

(12) 移動手段

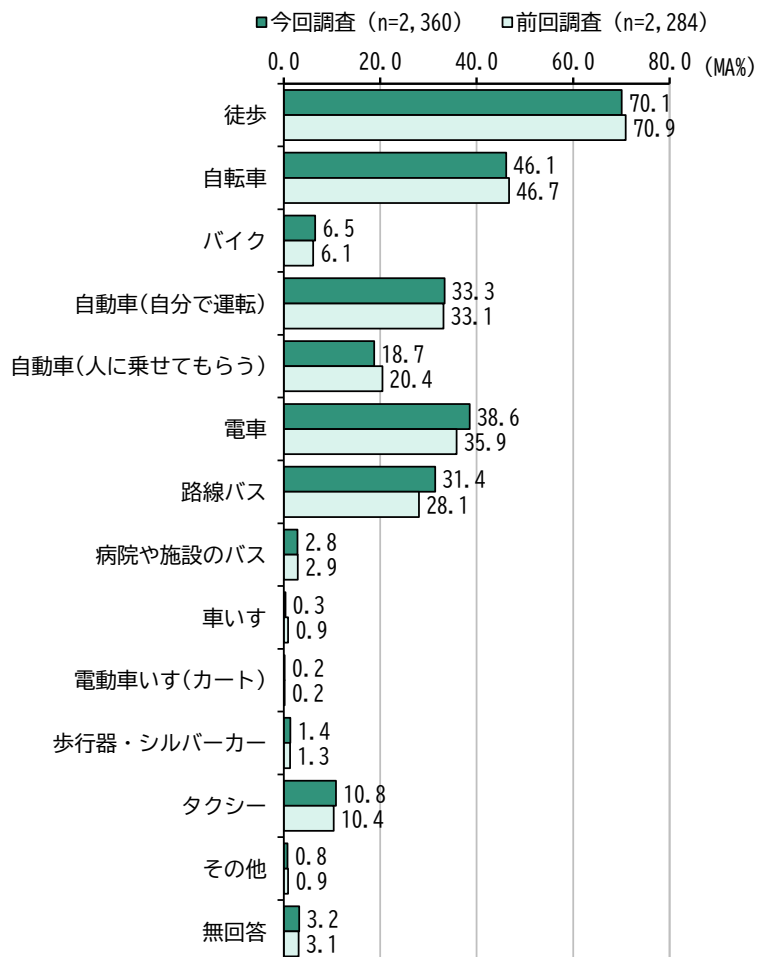
問 2

⑦-4

外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

移動手段について、「徒歩」が70.1%で最も多く、次いで「自転車」が46.1%、「電車」が38.6%となっています。また、前回調査と比較して「徒歩」が0.8ポイント減少しています。

【図表 2-2-31 移動手段】



「徒歩」について、年齢別にみると、65～69 歳が 74.4%で最も多く、圏域別にみると、中央圏域が 76.4%で最も多くなっています。

【図表 2-2-32 移動手段（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)													
	合計（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー
65～69歳	441	74.4	54.6	10.4	46.7	19.5	43.3	29.3	1.6	0.0	0.0	0.2	7.0
70～74歳	654	69.1	46.6	9.5	46.2	15.9	42.2	30.7	0.9	0.0	0.2	0.8	6.7
75～79歳	515	71.5	49.1	5.4	31.1	17.5	39.0	32.4	3.1	0.2	0.2	0.4	9.9
80～84歳	370	74.1	45.4	3.5	19.7	19.2	38.6	34.9	3.8	0.3	0.3	0.8	15.1
85歳以上	340	61.5	31.8	0.6	10.9	24.4	26.2	31.2	6.2	1.8	0.6	5.9	20.9
北圏域	479	56.6	24.6	10.9	49.3	18.6	28.0	41.5	6.1	0.0	0.2	0.2	8.6
東圏域	487	73.5	52.0	7.6	29.2	21.8	43.7	32.9	1.2	0.8	0.2	2.1	10.9
西圏域	480	73.3	44.0	4.4	34.2	17.3	38.3	32.5	2.3	0.2	0.0	1.9	11.9
中央圏域	326	76.4	57.1	2.1	22.4	18.4	47.2	24.8	2.5	0.3	0.3	1.2	11.7
南圏域	484	73.8	57.2	6.6	30.6	19.2	41.7	25.6	2.3	0.2	0.0	1.9	10.3

	合計（人）	その他	無回答
65～69歳	441	0.2	1.6
70～74歳	654	0.3	3.2
75～79歳	515	0.8	4.3
80～84歳	370	0.5	3.5
85歳以上	340	2.4	2.9
北圏域	479	1.3	3.1
東圏域	487	0.6	2.5
西圏域	480	1.0	3.3
中央圏域	326	0.9	6.7
南圏域	484	0.0	1.7

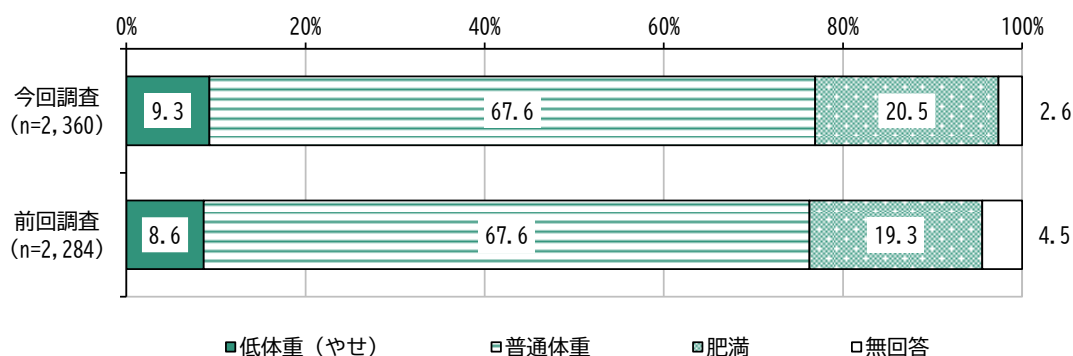
3. 食べることについて

(1) BMI

問3 ① 身長・体重を教えてください。(数字を記入)

BMIについて、「普通体重」が67.6%で最も多く、次いで「肥満」が20.5%、「低体重（やせ）」が9.3%となっています。また、前回調査と比較して「やせ」が0.7ポイント増加しています。

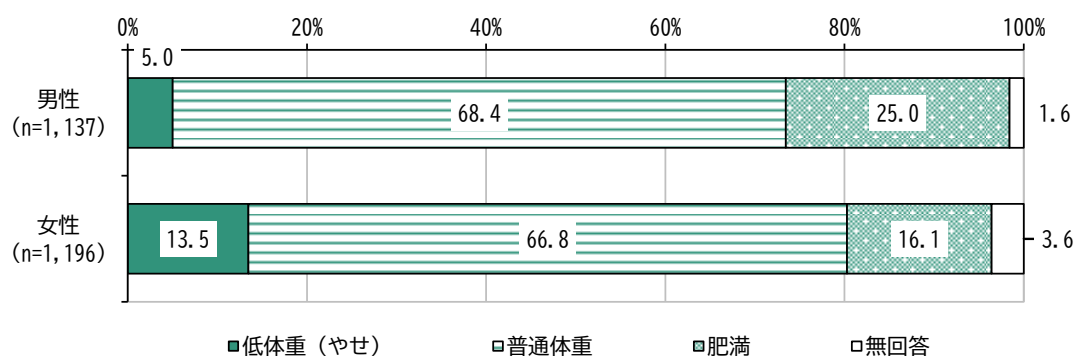
【図表 2-3-1 BMI】



※ BMI (Body Mass Index) は、 $\text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}\}$ によって算出される、肥満度の国際的な指標です。(BMI 18.5 未満：低体重（やせ）、BMI 18.5～25 未満：普通体重、BMI 25 以上：肥満で算出)

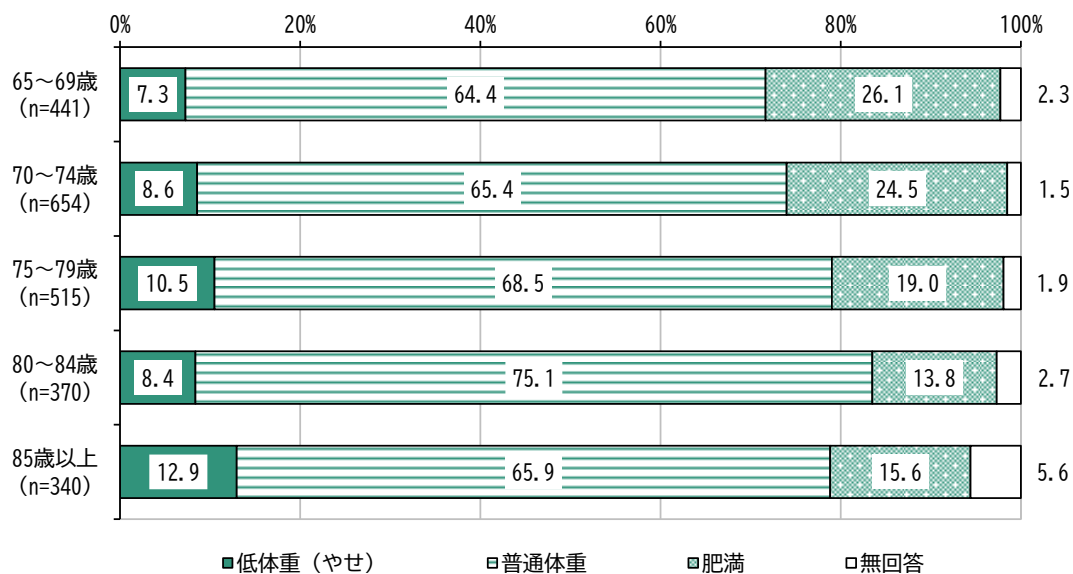
性別でみると、「低体重（やせ）」について、男性では5.0%、女性では13.5%となっており、女性が8.5ポイント高くなっています。

【図表 2-3-2 BMI（性別）】



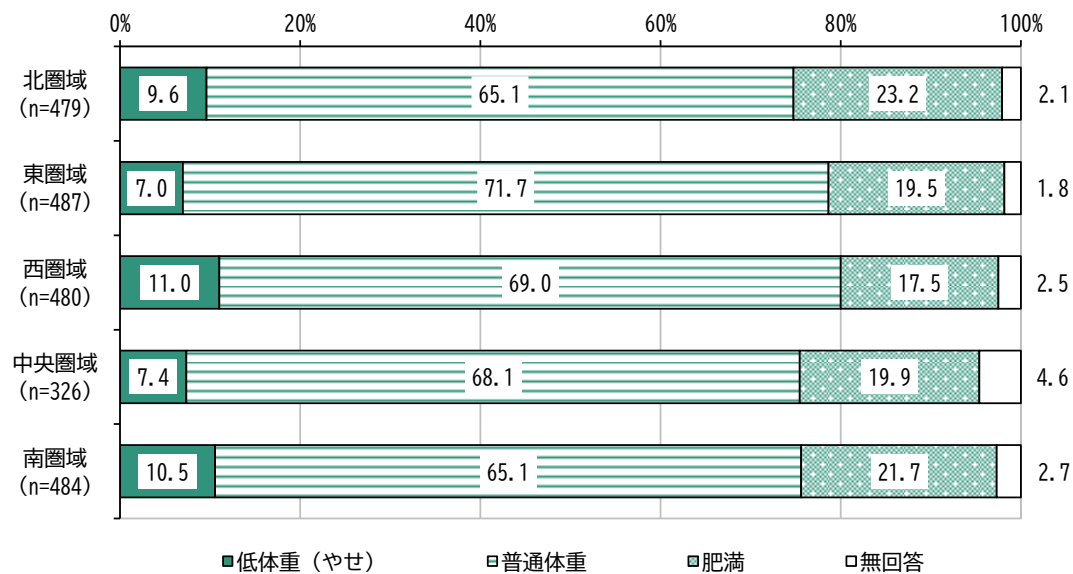
年齢別にみると、「低体重（やせ）」では、85歳以上が12.9%で最も多くなっています。

【図表 2-3-3 BMI（年齢別）】



圏域別にみると、「低体重（やせ）」では、西圏域が11.0%で最も多くなっています。

【図表 2-3-4 BMI（圏域別）】

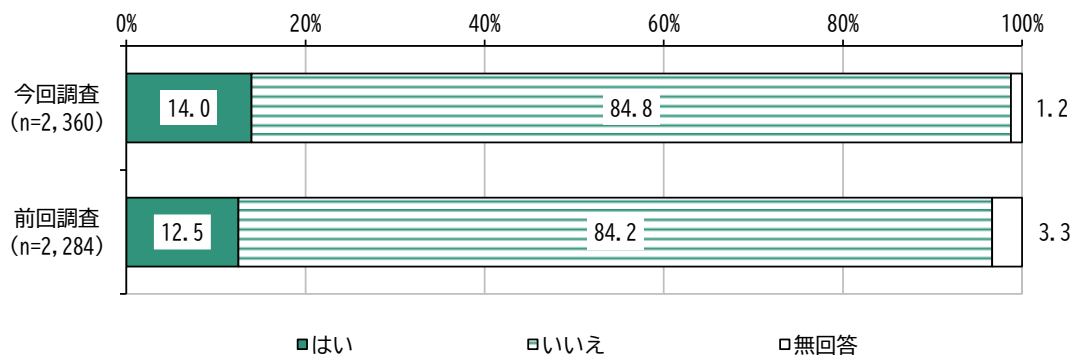


(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問 3 ② 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が14.0%、「いいえ」が84.8%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が0.6ポイント増加しています。

【図表 2-3-5 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】

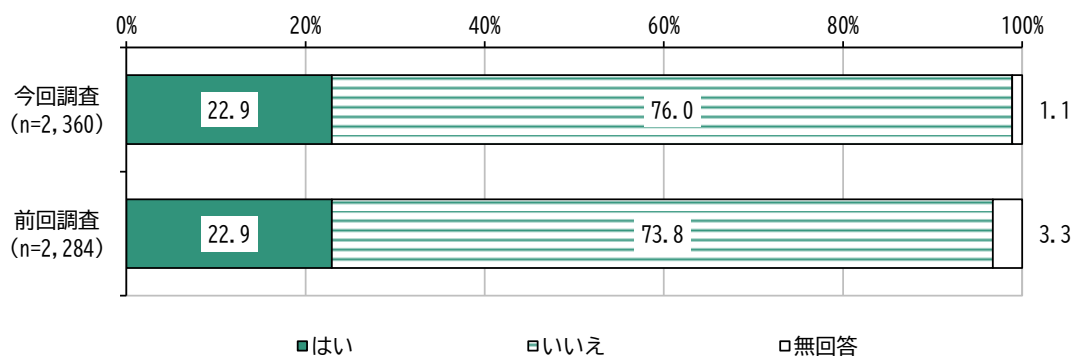


(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問 3 ③-1 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

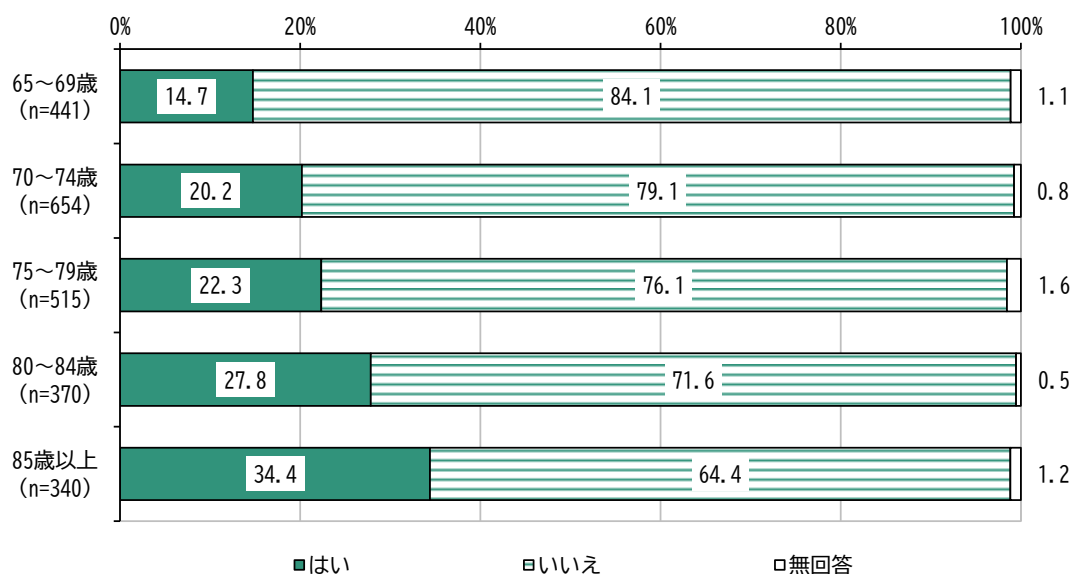
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が22.9%、「いいえ」が76.0%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が2.2ポイント増加しています。

【図表 2-3-6 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が34.4%で最も多くなっています。

【図表 2-3-7 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか（年齢別）】

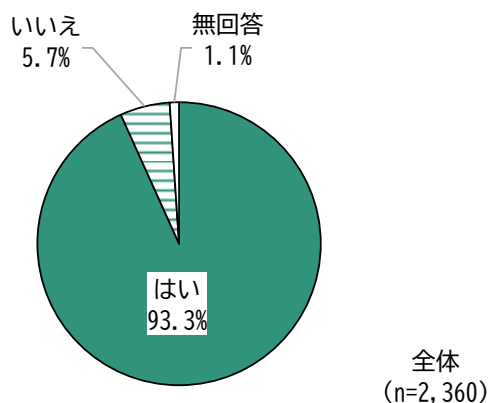


(4) 歯磨きを毎日しているか

問 3 ③-2 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が93.3%、「いいえ」が5.7%となっています。

【図表 2-3-8 歯磨きを毎日しているか】



(5) 歯の数と入れ歯の利用状況

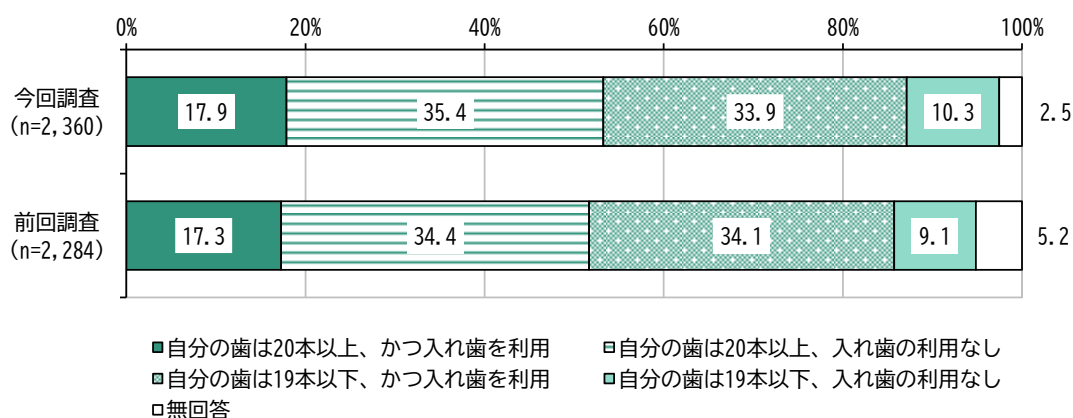
問 3

④

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

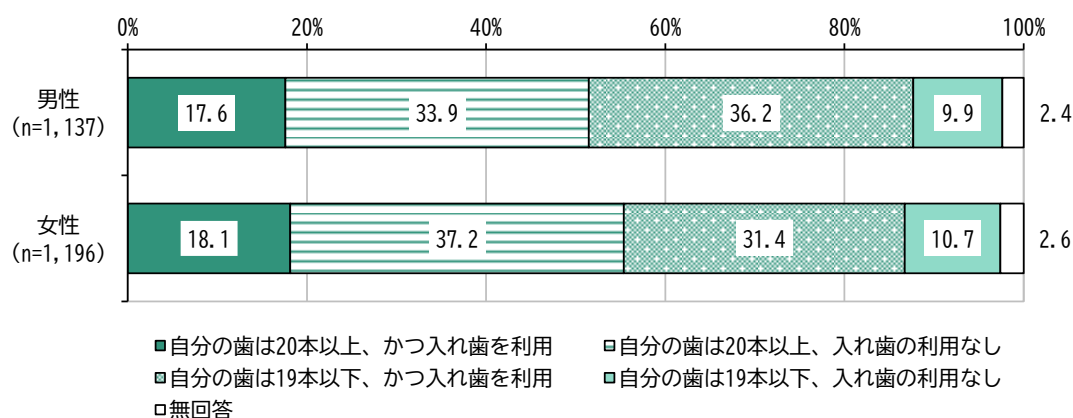
歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.4%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 17.9%となっています。また、前回調査と比較して「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 1.0 ポイント増加しています。

【図表 2-3-9 歯の数と入れ歯の利用状況】



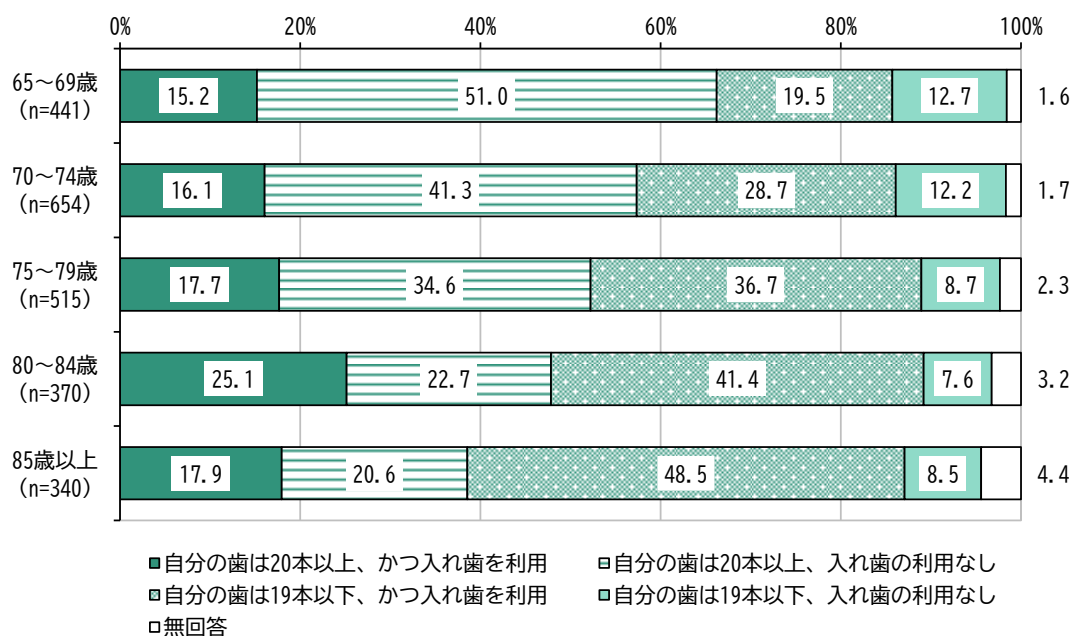
性別でみると、男性では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.2%で最も多く、女性では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 37.2%で最も多くなっています。

【図表 2-3-10 歯の数と入れ歯の利用状況（性別）】



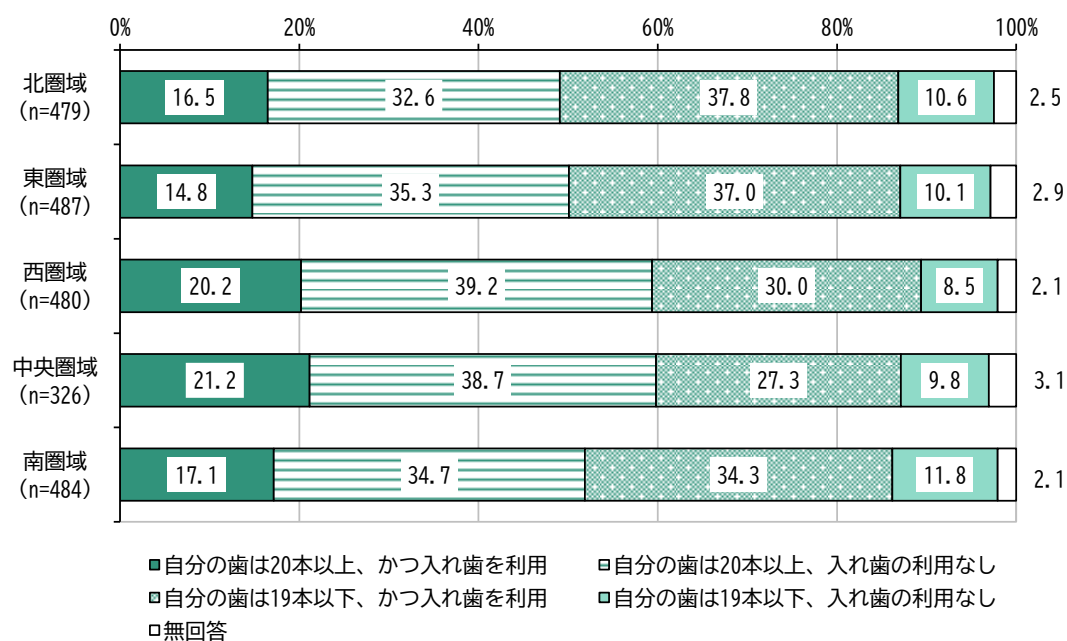
年齢別にみると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では、65～69 歳が 51.0%で最も多くなっています。

【図表 2-3-11 歯の数と入れ歯の利用状況（年齢別）】



圏域別にみると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では、西圏域が 39.2%で最も多くなっています。

【図表 2-3-12 歯の数と入れ歯の利用状況（圏域別）】

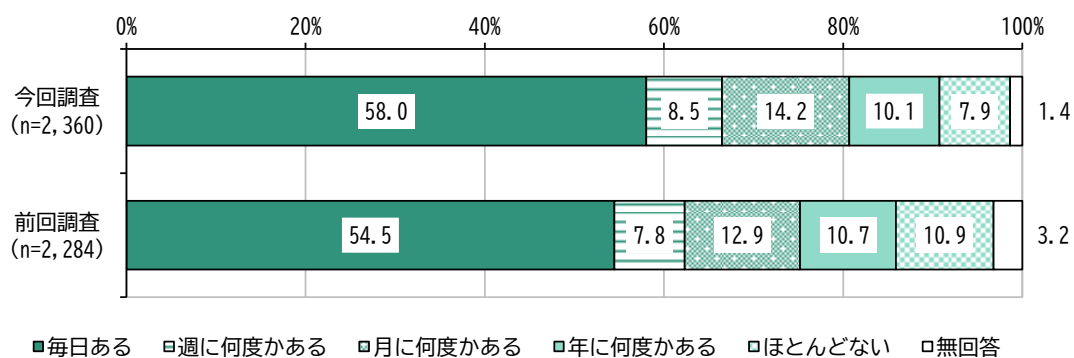


(6) 共食の状況

問 3 ⑤-1 どなたかと食事をとにもにする機会がありますか。(○は1つ)

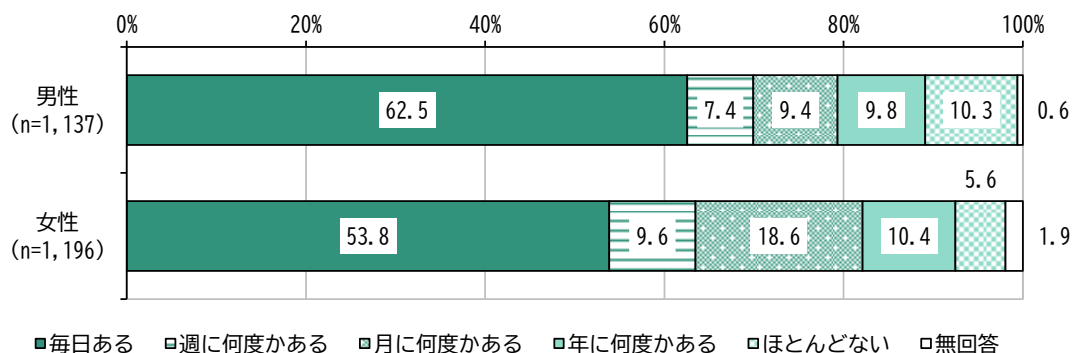
共食の状況について、「毎日ある」が58.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が14.2%、「年に何度かある」が10.1%となっています。また、前回調査と比較して「毎日ある」が3.5ポイント増加しています。

【図表 2-3-13 共食の状況】



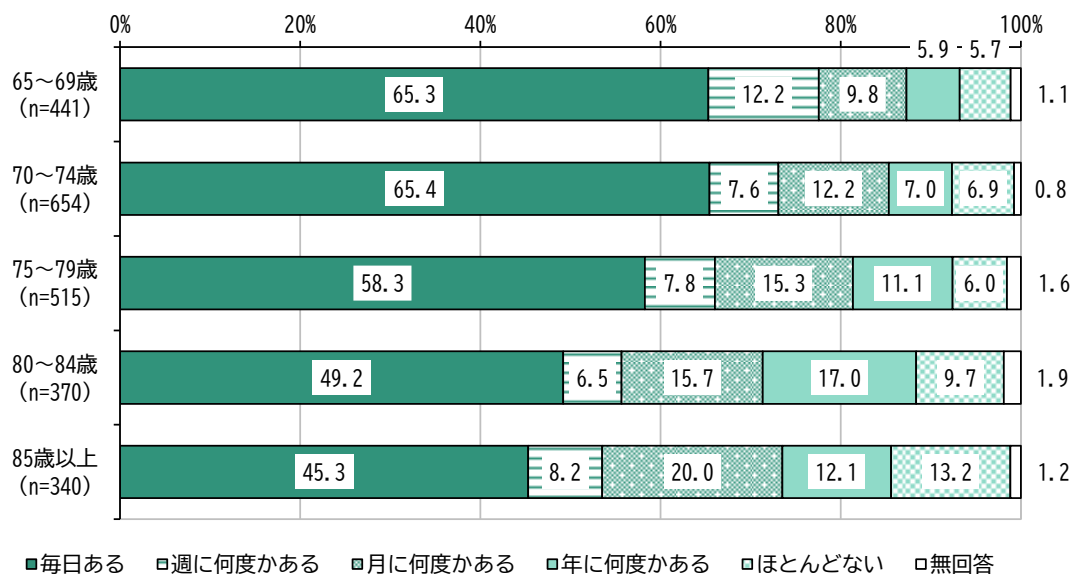
性別でみると、「毎日ある」について、男性では62.5%、女性では53.8%となっており、男性が8.7ポイント高くなっています。

【図表 2-3-14 共食の状況（性別）】



年齢別にみると、「毎日ある」では、70～74歳が65.4%で最も多くなっています。

【図表 2-3-15 共食の状況（年齢別）】

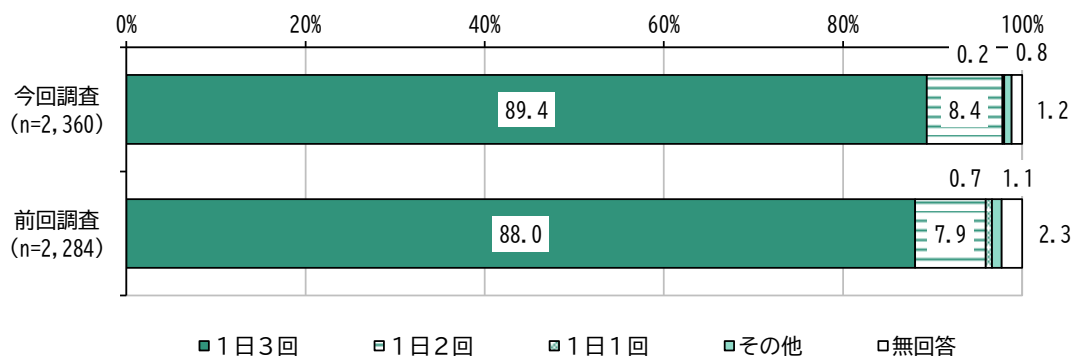


(7) 1日の食事回数

問 3 ⑤-2 1日の食事回数は何回ですか。(○は1つ)

1日の食事回数について、「1日3回」が89.4%で最も多く、次いで「1日2回」が8.4%、「その他」が0.8%となっています。また、前回調査と比較して「1日3回」が1.4ポイント増加しています。

【図表 2-3-16 1日の食事回数】

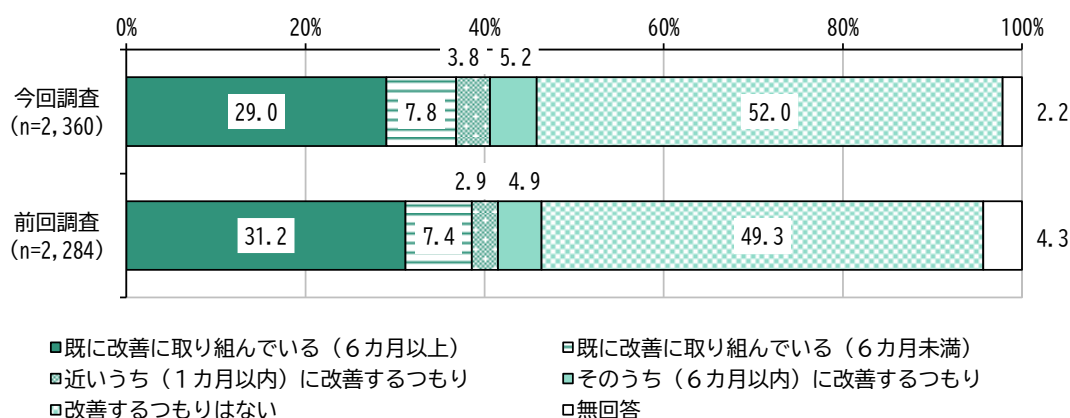


(8) 食生活を改善してみようと思うか

問 3 ⑤-3 食生活を改善してみようと思いますか。(〇は1つ)

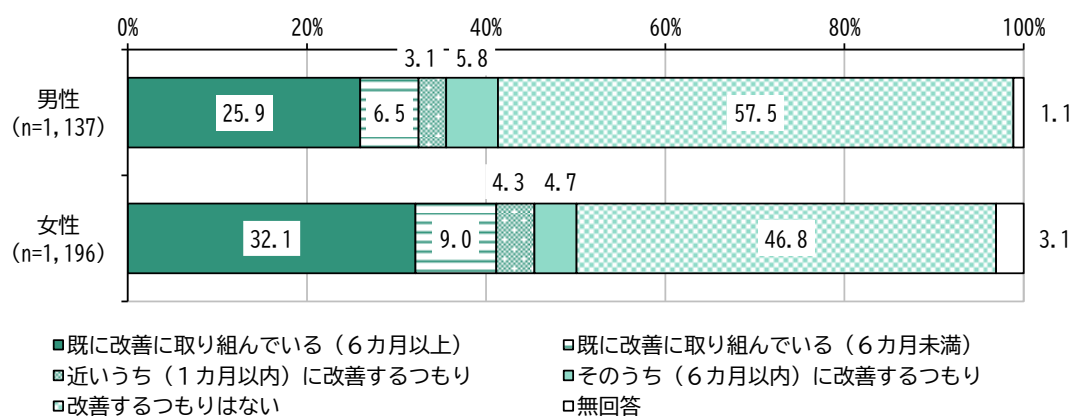
食生活を改善してみようと思うかについて、「改善するつもりはない」が 52.0%で最も多く、次いで「既に改善に取り組んでいる（6 カ月以上）」が 29.0%、「既に改善に取り組んでいる（6 カ月未満）」が 7.8%となっています。また、前回調査と比較して「改善するつもりはない」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表 2-3-17 食生活を改善してみようと思うか】



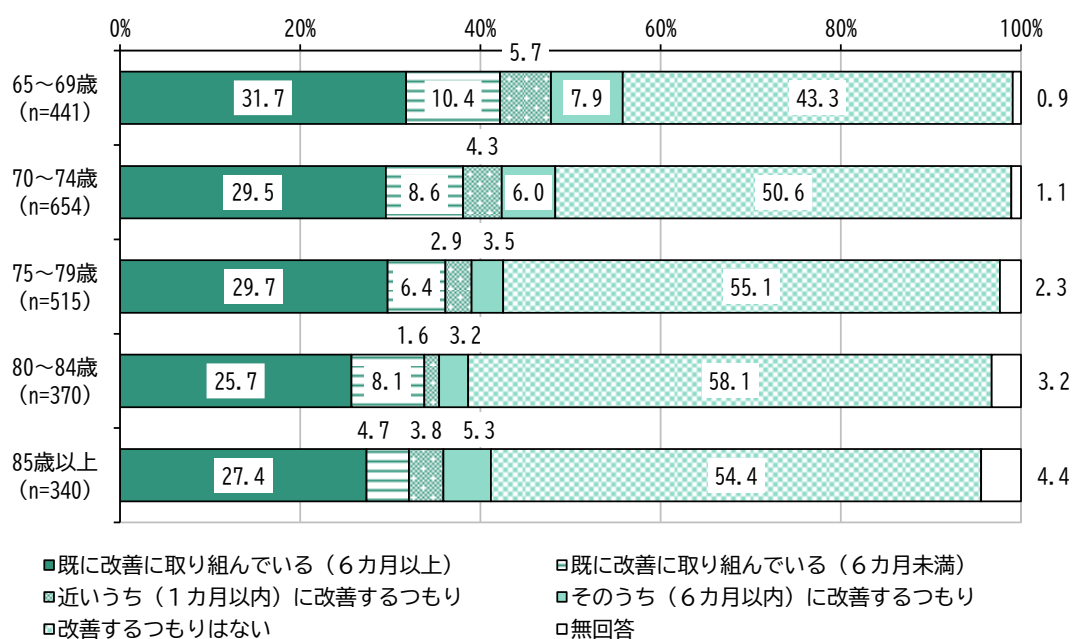
性別でみると、「改善するつもりはない」について、男性では 57.5%、女性では 46.8%となっており、男性が 10.7 ポイント高くなっています。

【図表 2-3-18 食生活を改善してみようと思うか（性別）】



年齢別にみると、「改善するつもりはない」では、80～84歳が58.1%で最も多くなっています。

【図表 2-3-19 食生活を改善してみようと思うか（年齢別）】



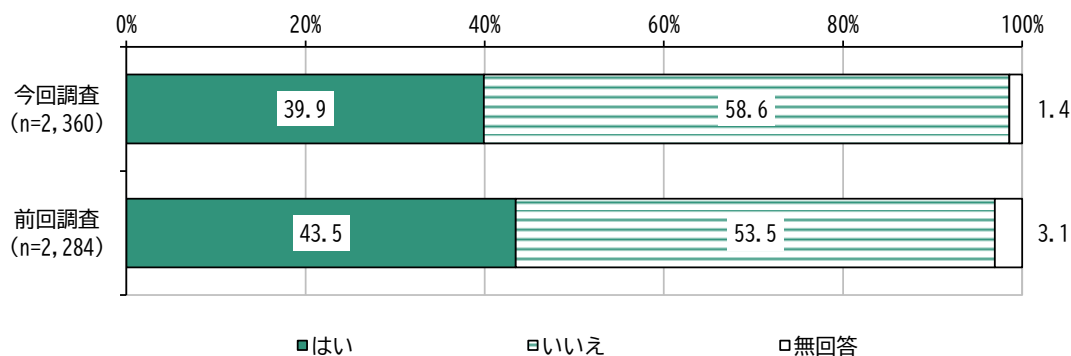
4. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問 4 ① 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

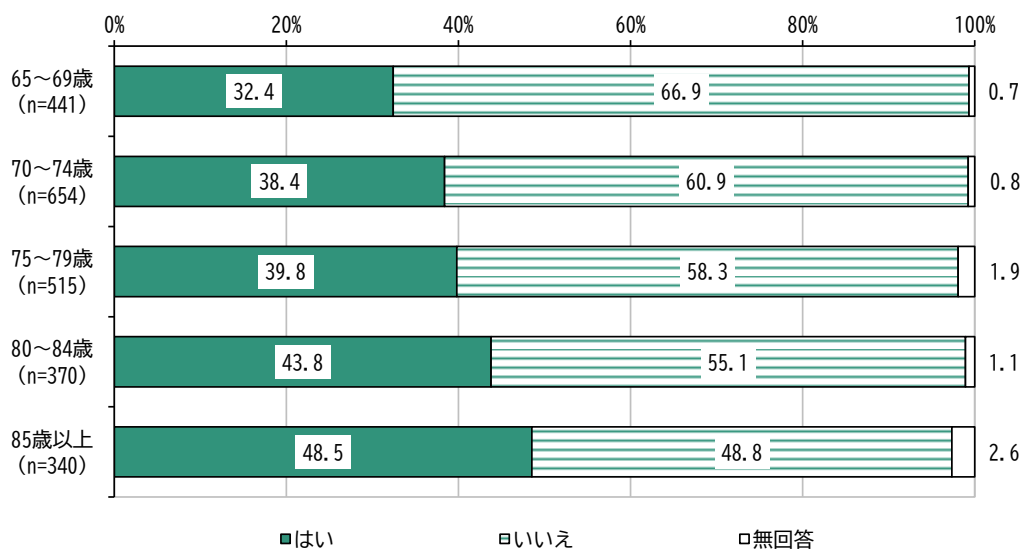
物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が39.9%、「いいえ」が58.6%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が5.1ポイント増加しています。

【図表 2-4-1 物忘れが多いと感じるか】



年齢別にみると、「はい」では、85歳以上が48.5%で最も多くなっています。

【図表 2-4-2 物忘れが多いと感じるか（年齢別）】

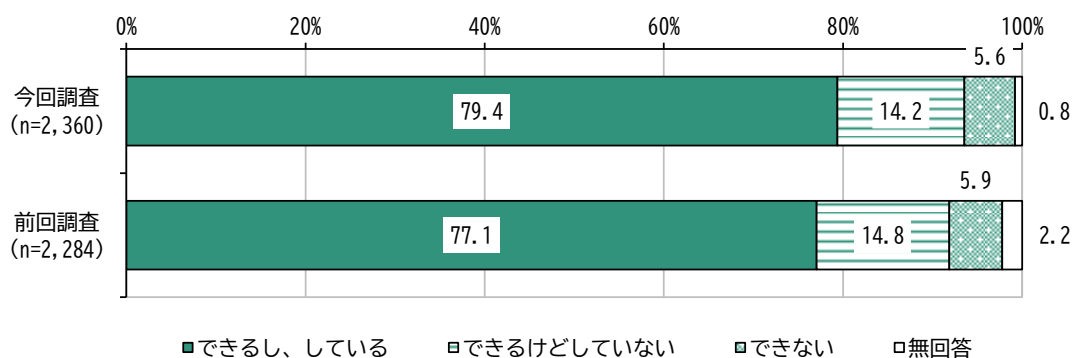


(2) バスや電車を使って1人で外出しているか

問 4 ② バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

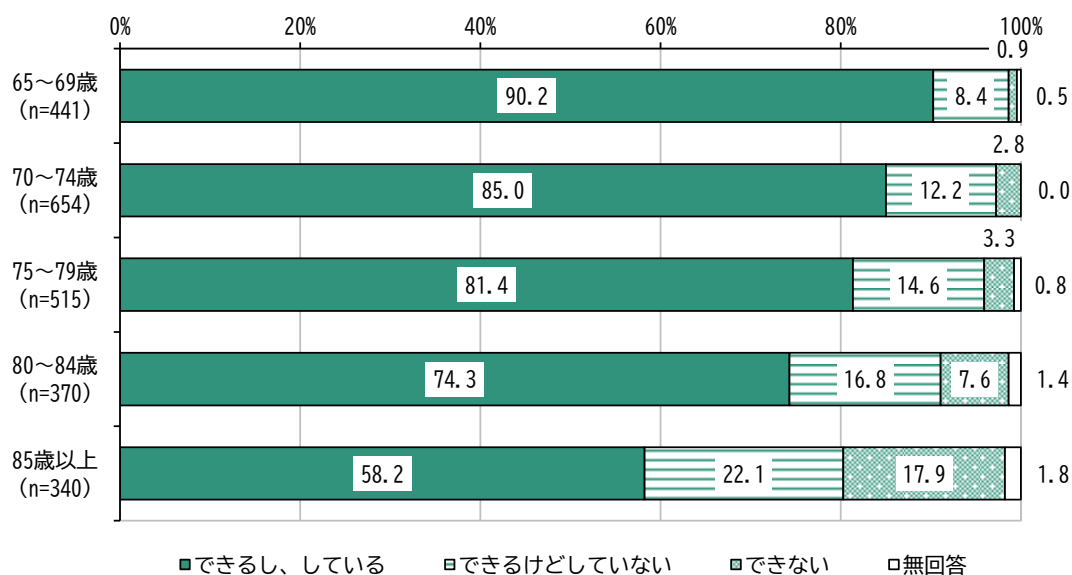
バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が79.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が5.6%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が2.3ポイント増加しています。

【図表 2-4-3 バスや電車を使って1人で外出しているか】



年齢別にみると、「できない」では、85歳以上が17.9%で最も多くなっています。

【図表 2-4-4 バスや電車を使って1人で外出しているか（年齢別）】

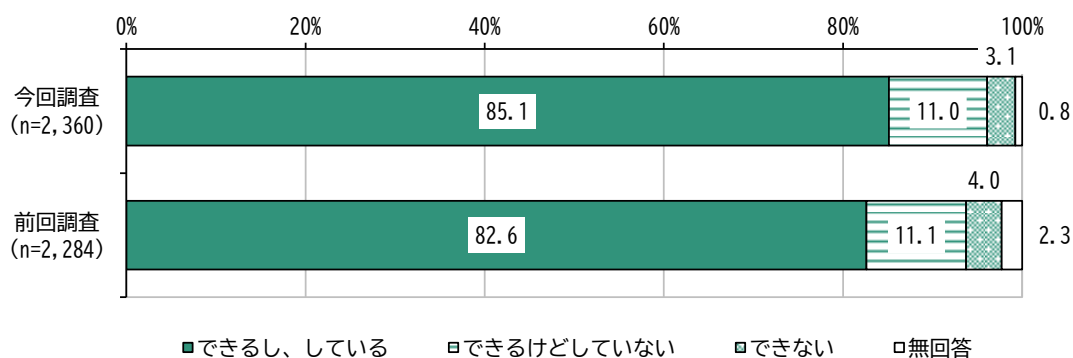


(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問 4 ③ 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

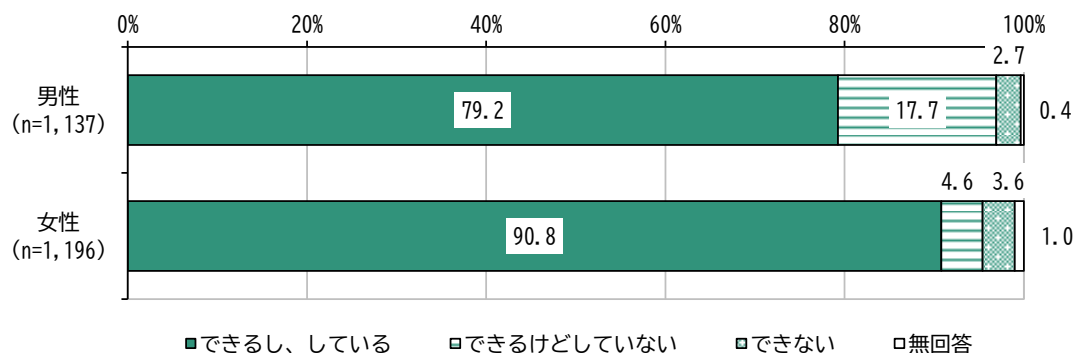
自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が 85.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.0%、「できない」が 3.1%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 2.5 ポイント増加しています。

【図表 2-4-5 自分で食品・日用品の買物をしているか】



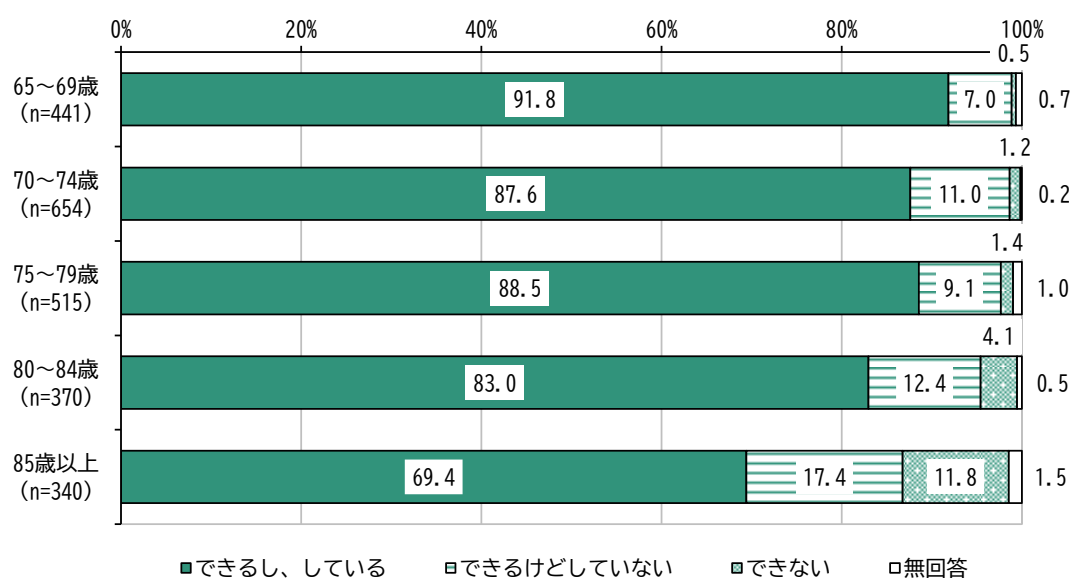
性別でみると、「できない」について、男性では 2.7%、女性では 3.6%となっており、女性が 0.9 ポイント高くなっています。

【図表 2-4-6 自分で食品・日用品の買物をしているか（性別）】



年齢別にみると、「できない」では、85歳以上が11.8%で最も多くなっています。

【図表 2-4-7 自分で食品・日用品の買物をしているか（年齢別）】

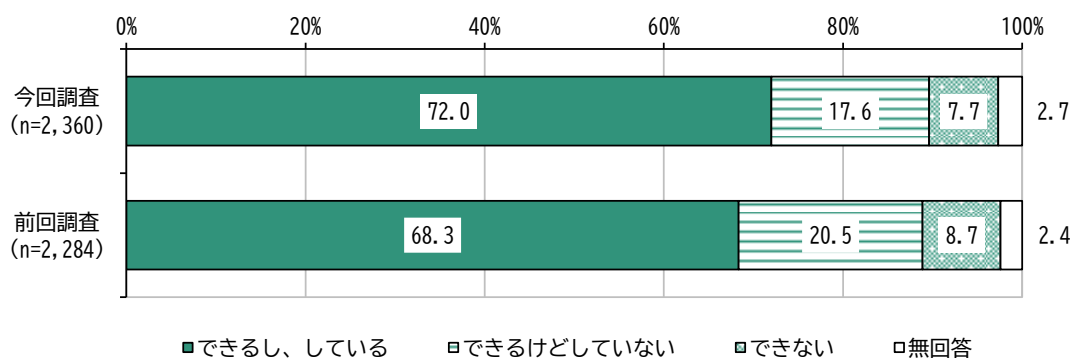


(4) 自分で食事の用意をしているか

問 4 ④-1 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

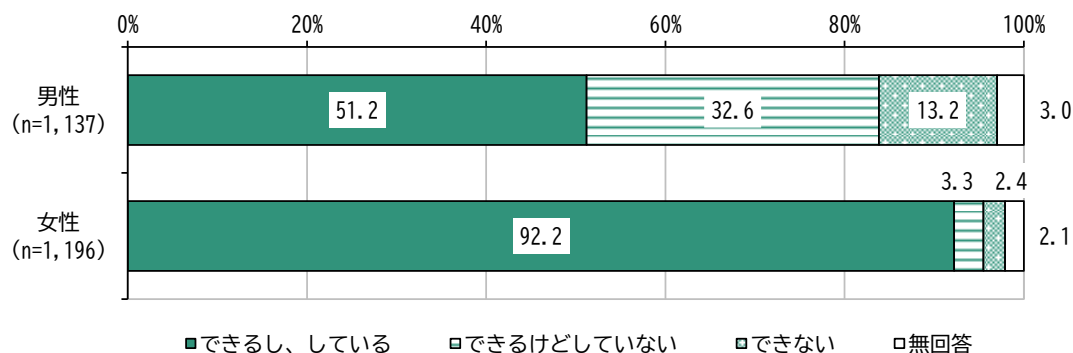
自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が72.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が7.7%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が3.7ポイント増加しています。

【図表 2-4-8 自分で食事の用意をしているか】



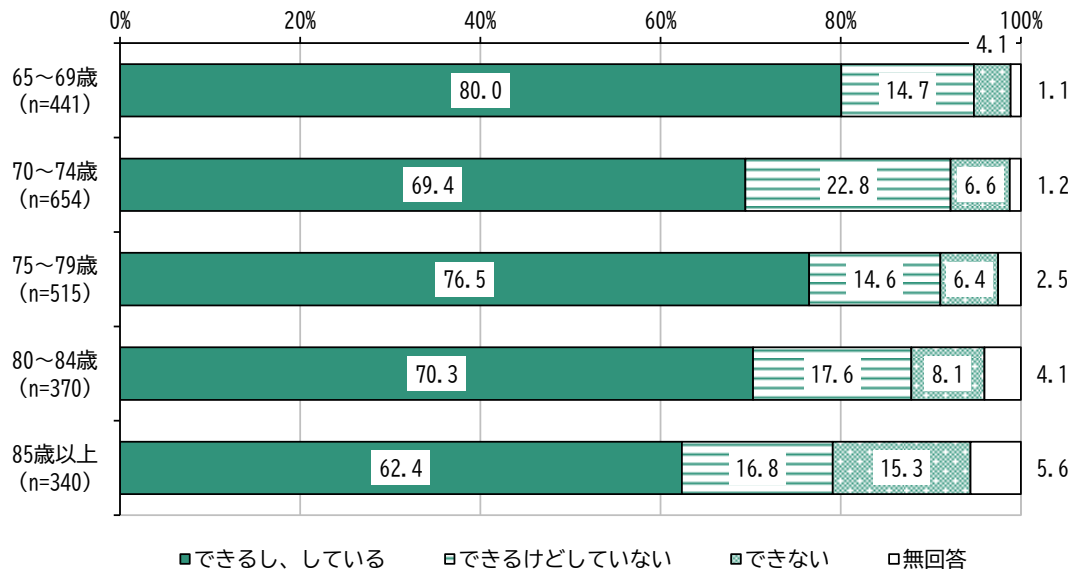
性別でみると、「できない」について、男性では13.2%、女性では2.4%となっており、男性が10.8ポイント高くなっています。

【図表 2-4-9 自分で食事の用意をしているか（性別）】



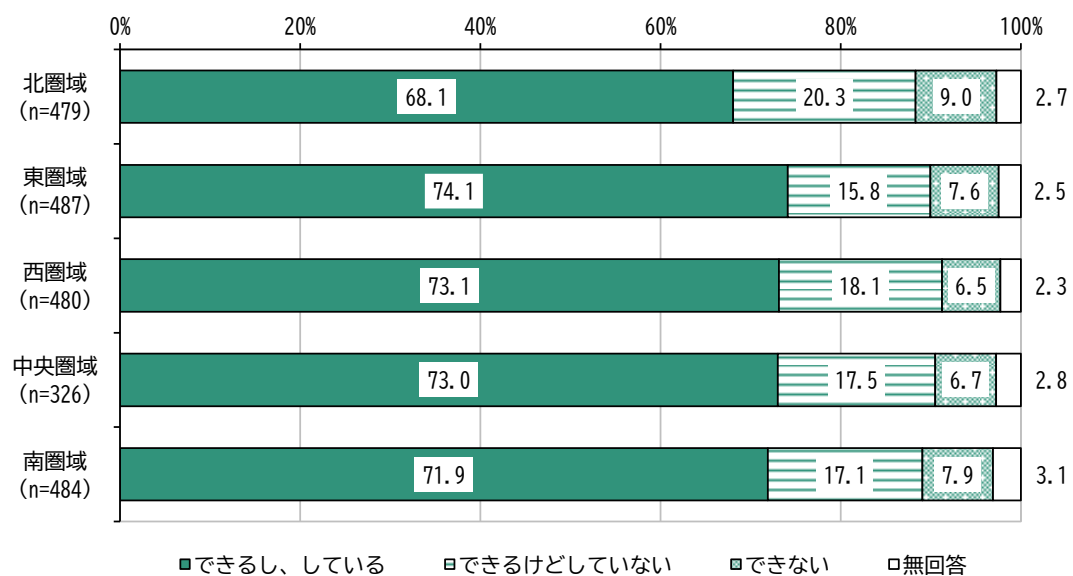
年齢別にみると、「できない」では、85歳以上が15.3%で最も多くなっています。

【図表 2-4-10 自分で食事の用意をしているか（年齢別）】



圏域別にみると、「できない」では、北圏域が9.0%で最も多くなっています。

【図表 2-4-11 自分で食事の用意をしているか（圏域別）】



(5) 食事の確保はどのようにしているか

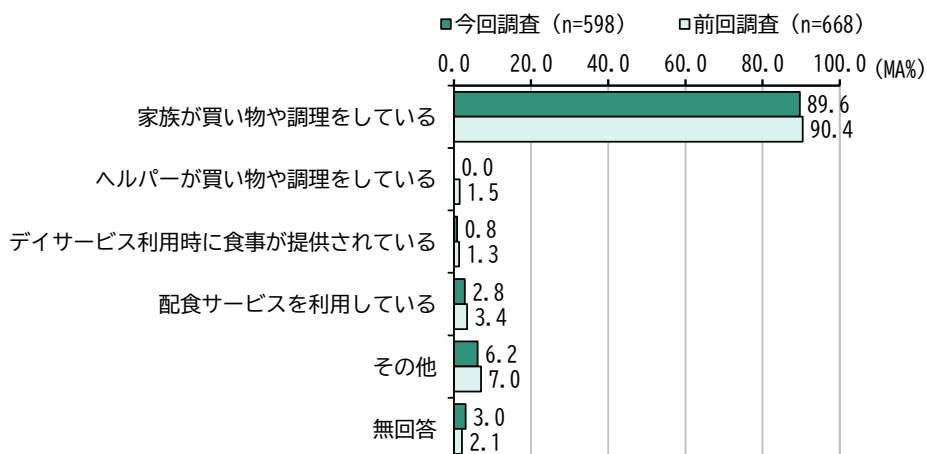
問 4

④-2

〈④-1〉で「できるけどしていない」「できない」を回答された方のみ
食事の確保はどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

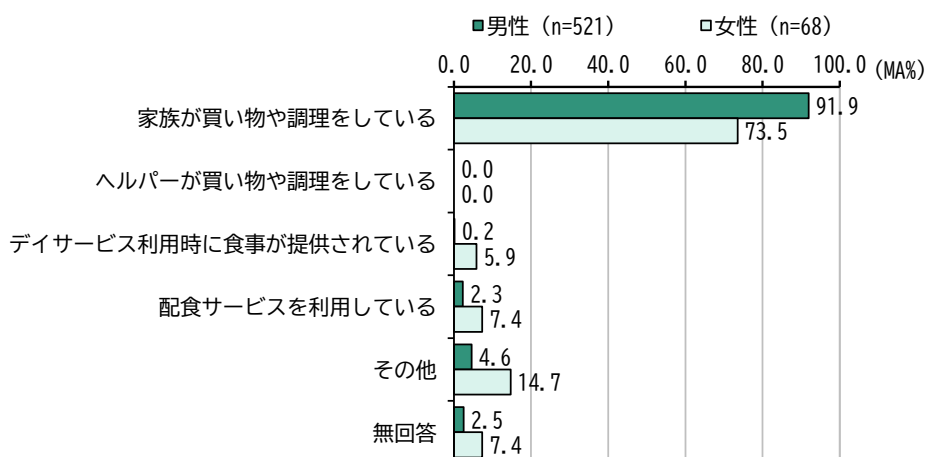
食事の確保はどのようにしているかについて、「家族が買い物や調理をしている」が 89.6%で最も多く、次いで「その他」が6.2%、「配食サービスを利用している」が2.8%となっています。また、前回調査と比較して「家族が買い物や調理をしている」が0.8ポイント減少しています。

【図表 2-4-12 食事の確保はどのようにしているか】



性別でみると、「家族が買い物や調理をしている」について、男性では91.9%、女性では73.5%となっており、男性が18.4ポイント高くなっています。

【図表 2-4-13 食事の確保はどのようにしているか（性別）】

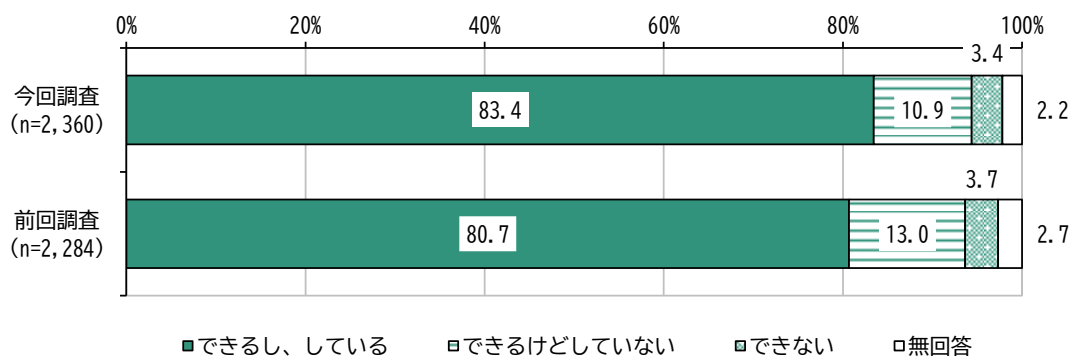


(6) 自分で請求書の支払いをしているか

問 4 ⑤ 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

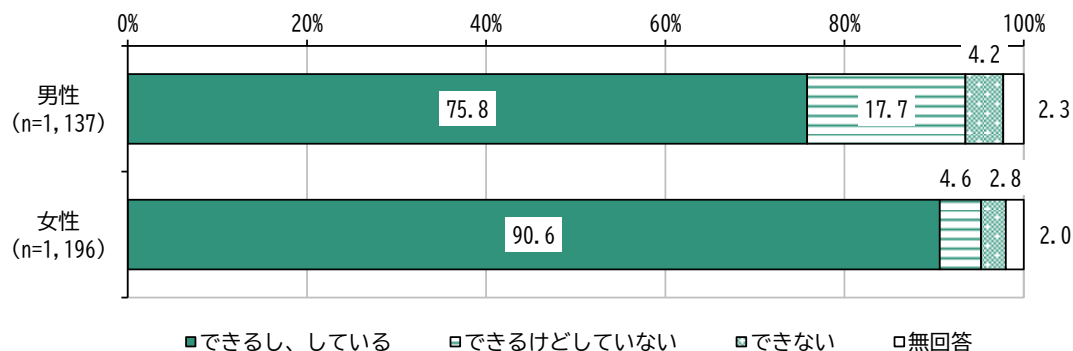
自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が 83.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 10.9%、「できない」が 3.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表 2-4-14 自分で請求書の支払いをしているか】



性別でみると、「できない」について、男性では 4.2%、女性では 2.8%となっており、男性が 1.4 ポイント高くなっています。

【図表 2-4-15 自分で請求書の支払いをしているか（性別）】



(7) 自分で預貯金の出し入れをしているか

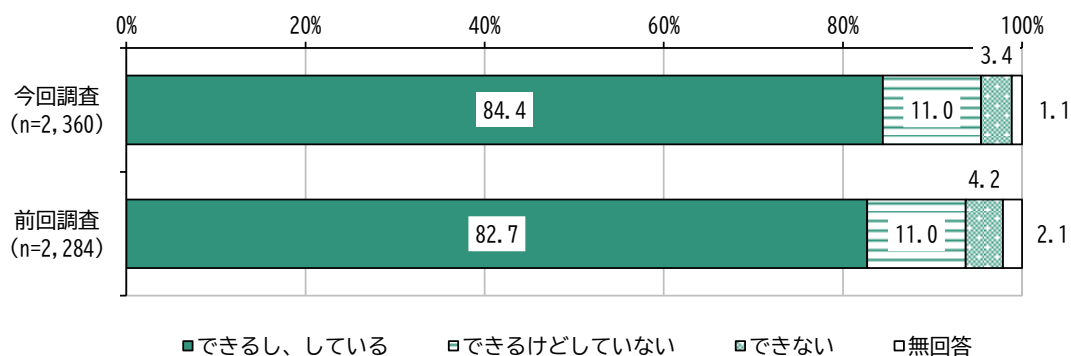
問 4

⑥

自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

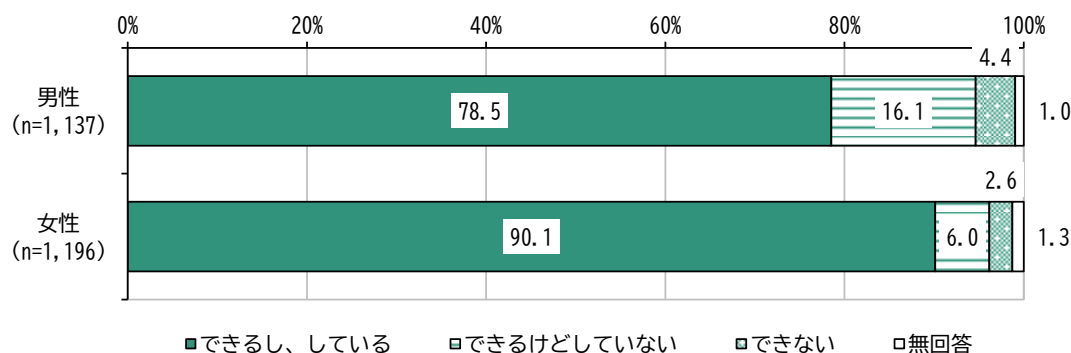
自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が 84.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.0%、「できない」が 3.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 1.7 ポイント増加しています。

【図表 2-4-16 自分で預貯金の出し入れをしているか】



性別でみると、「できない」について、男性では 4.4%、女性では 2.6%となっており、男性が 1.8 ポイント高くなっています。

【図表 2-4-17 自分で預貯金の出し入れをしているか（性別）】

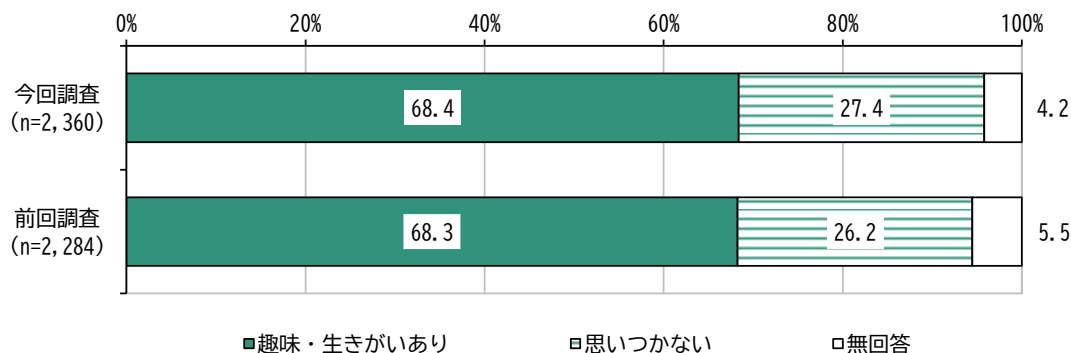


(8) 趣味・生きがいはあるか

問 4 ⑦ 趣味・生きがいがありますか。(○は1つ)

趣味・生きがいはあるかについて、「趣味・生きがいあり」が68.4%、「思いつかない」が27.4%となっています。また、前回調査と比較して「思いつかない」が1.2ポイント増加しています。

【図表 2-4-18 趣味・生きがいはあるか】



趣味・生きがいの内容について、カテゴリーに分類したところ、「運動・スポーツ」が462件で最も多く、次いで「読書」が283件、「旅行」が257件となっています。

【図表 2-4-19 趣味・生きがいの内容】

カテゴリー	内容
運動・スポーツ (462 件)	水泳、散歩、テニス、ゴルフ、登山 など
読書 (283 件)	読書、歴史書、新聞 など
旅行 (257 件)	国内旅行、日帰り旅行 など
手芸・編み物・裁縫 (218 件)	手芸、編み物、ビーズ、パッチワーク など
園芸・家庭菜園・植物 (207 件)	家庭菜園、花の手入れ、植木の剪定 など
音楽 (186 件)	音楽鑑賞、ピアノ、ギター、コンサート など
映画・テレビ鑑賞 (171 件)	映画鑑賞、ドラマ など
歌 (158 件)	カラオケ、コーラス など
ボランティア・地域活動 (96 件)	地域清掃、子ども支援、サークル運営 など
ゲーム (89 件)	麻雀、将棋、囲碁、ゲーム など
写真・カメラ (72 件)	写真撮影、カメラ など
芸術・創作 (67 件)	絵手紙、絵画、スケッチ など
食 (56 件)	料理、お菓子作り、食べ歩き など
孫・家族 (52 件)	孫の成長、家族との会話 など
仕事 (44 件)	パート、仕事、役員 など

他 71 件

(9) 情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはあるか

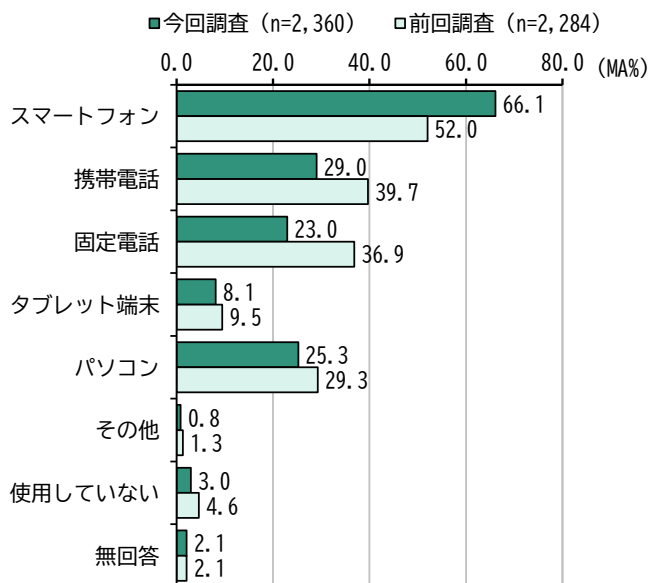
問 4

⑧-1

次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはありますか。
(〇はいくつでも)

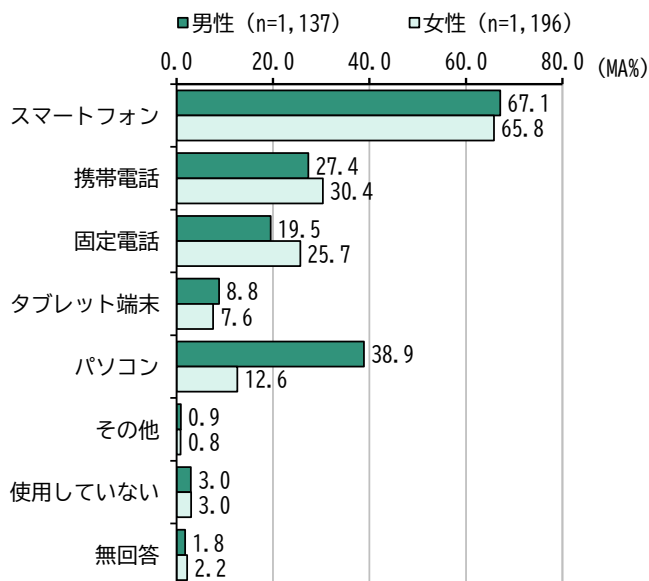
情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものがあるかについて、「スマートフォン」が66.1%で最も多く、次いで「携帯電話」が29.0%、「パソコン」が25.3%となっています。また、前回調査と比較して「スマートフォン」が14.1ポイント増加しています。

【図表 2-4-20 情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはあるか】



性別でみると、「スマートフォン」について、男性では67.1%、女性では65.8%となっており、男性が1.3ポイント高くなっています。

【図表 2-4-21 情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはあるか（性別）】



「スマートフォン」について、年齢別にみると、65～69歳が85.0%で最も多く、圏域別にみると、西圏域が68.1%で最も多くなっています。

【図表 2-4-22 情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはあるか（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	スマートフォン	携帯電話	固定電話	タブレット 端末	パソコン	その他	使用 していない	無 回答
65～69歳	441	85.0	17.5	10.7	12.9	31.7	0.9	1.1	0.9
70～74歳	654	79.7	23.1	13.9	10.7	32.7	0.5	1.4	1.4
75～79歳	515	67.2	31.3	21.4	7.0	24.3	1.0	2.3	2.1
80～84歳	370	50.8	36.2	36.5	4.9	18.1	1.4	4.1	3.5
85歳以上	340	33.5	42.6	41.2	2.9	13.5	0.9	8.2	2.6
北圏域	479	67.6	30.7	23.2	8.4	25.5	0.8	2.1	1.3
東圏域	487	65.3	28.1	25.7	8.0	25.5	1.2	3.1	2.5
西圏域	480	68.1	28.3	24.2	8.3	28.3	0.6	2.5	1.9
中央圏域	326	64.4	26.7	24.2	8.3	24.8	1.2	4.3	1.8
南圏域	484	68.0	29.8	17.6	6.8	23.6	0.4	2.9	2.5

(10) スマートフォンでどのような機能を利用しているか

問 4

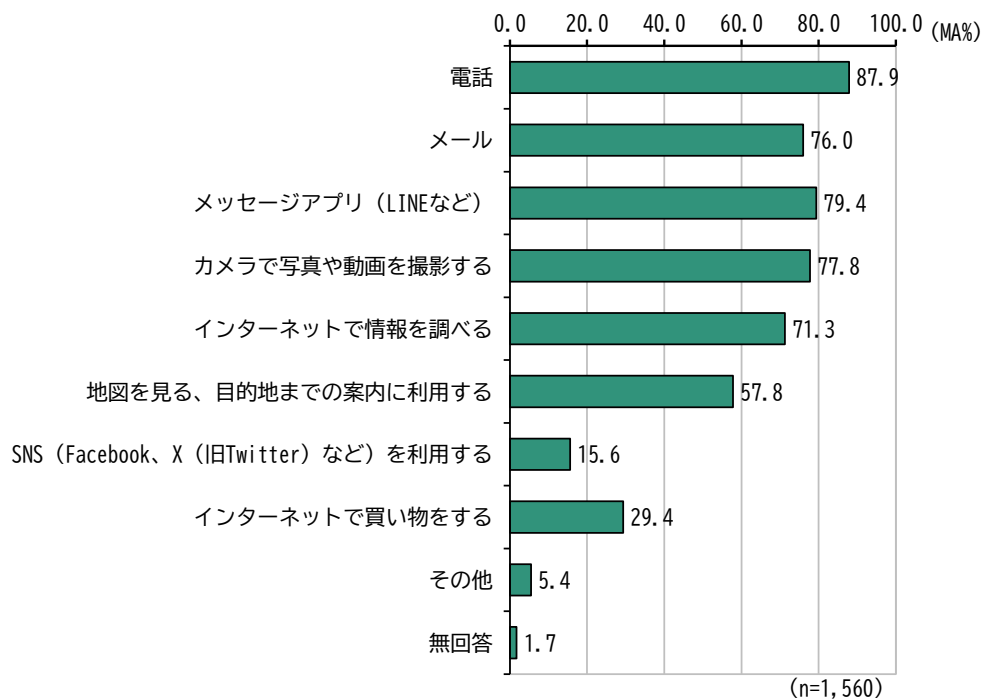
⑧-2

〈⑧-1〉で「スマートフォン」を回答された方のみ

スマートフォンでどのような機能を利用していますか。(〇はいくつでも)

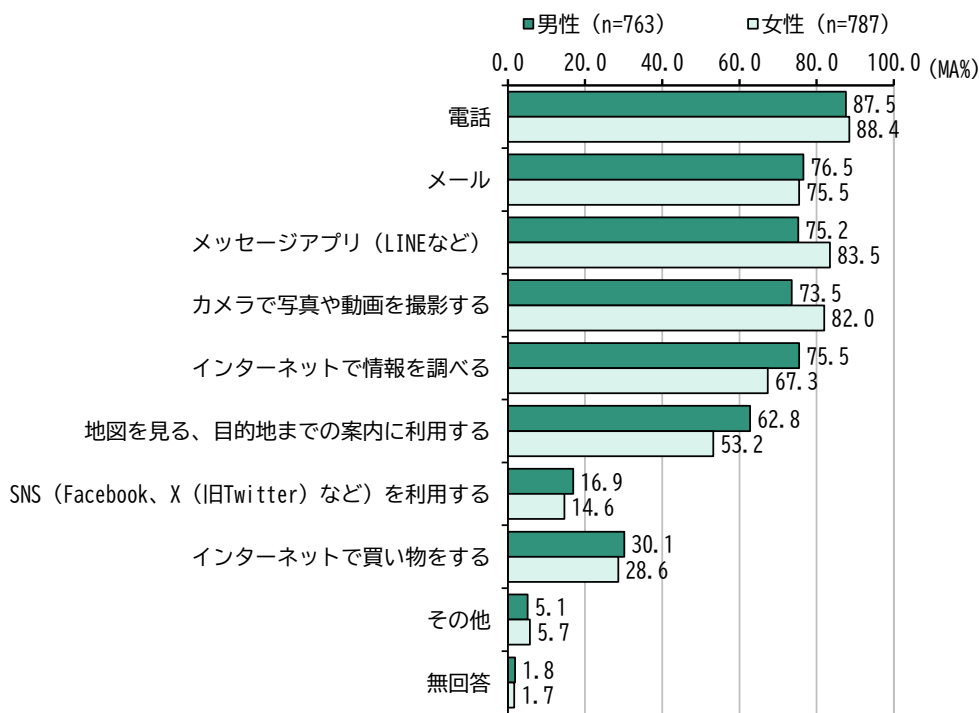
スマートフォンでどのような機能を利用しているかについて、「電話」が 87.9%で最も多く、次いで「メッセージアプリ (LINE など)」が 79.4%、「カメラで写真や動画を撮影する」が 77.8%となっています。

【図表 2-4-23 スマートフォンでどのような機能を利用しているか】



性別でみると、男性・女性ともに「電話」が最も多くなっています。

【図表 2-4-24 スマートフォンでどのような機能を利用しているか（性別）】



「インターネットで情報を調べる」について、年齢別にみると、65～69 歳が 86.7%で最も多く、圏域別にみると、中央圏域が 74.8%で最も多くなっています。

【図表 2-4-25 スマートフォンでどのような機能を利用しているか（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

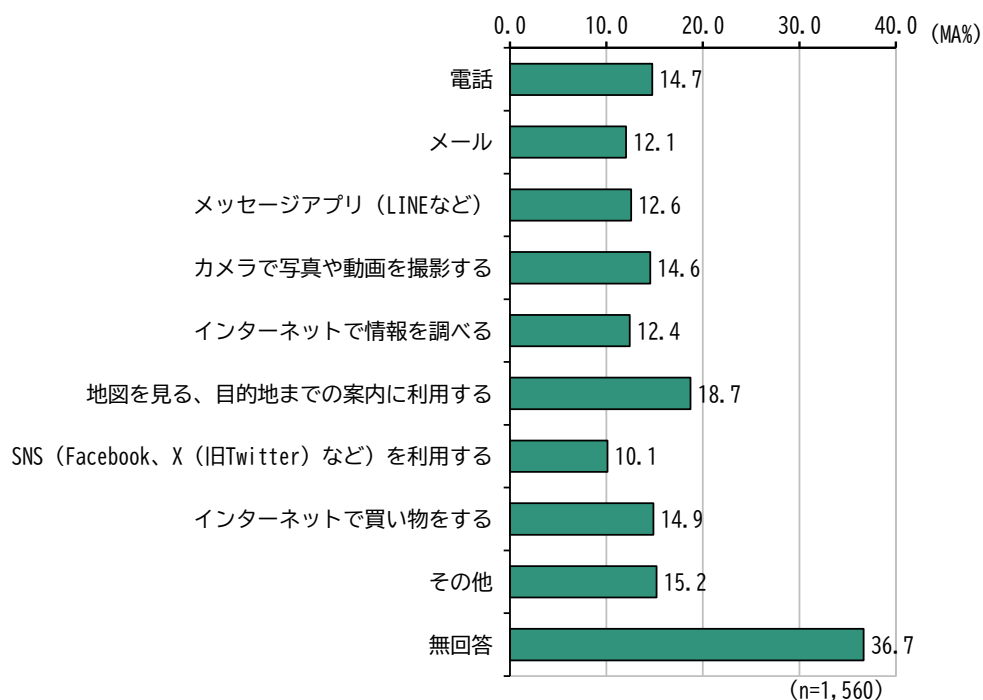
	合計 (人)	電話	メール	メッセージアプリ (LINEなど)	カメラで写真や動画を撮影する	インターネットで情報を調べる	地図を見る、目的地までの案内に利用する	SNS を利用する	インターネットで購入をする	その他	無回答
65～69歳	375	86.1	75.2	88.0	83.7	86.7	72.5	28.8	51.2	7.2	1.1
70～74歳	521	88.1	80.0	82.1	78.5	77.0	64.3	16.5	32.8	5.2	0.8
75～79歳	346	88.7	78.0	76.9	75.7	67.6	51.2	8.7	16.8	4.3	3.2
80～84歳	188	88.8	75.5	73.4	75.0	51.1	42.0	6.4	13.8	5.9	1.6
85歳以上	114	91.2	54.4	56.1	68.4	42.1	29.8	5.3	7.0	3.5	4.4
北圏域	324	89.5	75.0	75.3	75.6	64.5	52.8	14.8	27.5	5.6	1.2
東圏域	318	86.8	75.8	80.2	78.6	73.6	57.5	14.8	25.8	6.0	1.9
西圏域	327	89.0	77.4	83.8	82.6	74.0	57.8	17.7	33.3	4.9	1.8
中央圏域	210	91.4	77.6	81.9	76.2	74.8	61.4	19.5	32.4	9.0	1.0
南圏域	329	86.0	75.4	78.4	77.8	71.4	61.4	12.2	28.0	2.7	2.1

(11) 今後どのような機能を利用したいか

問 4	⑧-3	〈⑧-1〉で「スマートフォン」を回答された方のみ ⑧-2で選択した以外で今後どのような機能を利用したいですか。 (〇はいくつでも)
-----	-----	---

今後どのような機能を利用したいかについて、「地図を見る、目的地までの案内に利用する」が18.7%で最も多く、次いで「その他」が15.2%、「インターネットで買い物をする」が14.9%となっています。

【図表 2-4-26 今後どのような機能を利用したいか】



「インターネットで情報を調べる」について、年齢別にみると、85歳以上が18.4%で最も多く、圏域別にみると、中央圏域が13.3%で最も多くなっています。

【図表 2-4-27 今後どのような機能を利用したいか (年齢別・圏域別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	電話	メール	メッセージアプリ (LINEなど)	カメラで写真や動画を撮影する	インターネットで情報を調べる	地図を見る、目的地までの案内に利用する	SNSを利用する	インターネットで買い物をする	その他	無回答
65～69歳	375	9.3	6.1	10.7	10.7	9.1	14.1	11.2	14.7	22.9	39.2
70～74歳	521	12.3	10.6	11.5	13.1	11.5	19.2	12.9	16.7	16.3	37.2
75～79歳	346	15.6	14.7	13.6	15.9	12.1	17.3	8.4	15.9	11.6	35.3
80～84歳	188	16.0	12.8	12.8	12.8	17.0	23.9	7.4	11.2	10.1	36.2
85歳以上	114	34.2	27.2	18.4	32.5	18.4	27.2	5.3	11.4	5.3	30.7
北圏域	324	17.0	13.6	12.0	17.0	11.7	20.1	11.1	12.3	12.3	35.5
東圏域	318	11.9	11.3	12.3	12.3	11.6	16.0	9.7	17.3	15.7	36.5
西圏域	327	14.4	11.0	12.5	12.5	12.2	18.0	11.0	12.5	18.3	37.0
中央圏域	210	14.8	11.9	13.3	16.7	13.3	17.6	8.6	16.2	17.1	35.7
南圏域	329	14.3	11.6	12.8	14.9	11.9	21.9	10.3	15.2	12.8	38.3

(12) 現在利用している機能以外の利用をしない理由

問 4

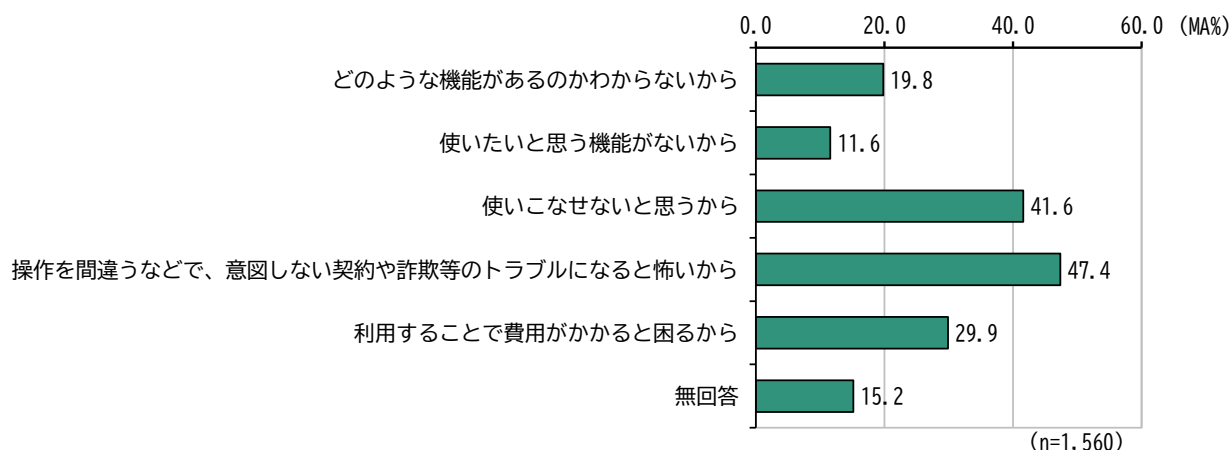
⑧-4

〈⑧-1〉で「スマートフォン」を回答された方のみ

現在利用している機能以外の利用をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

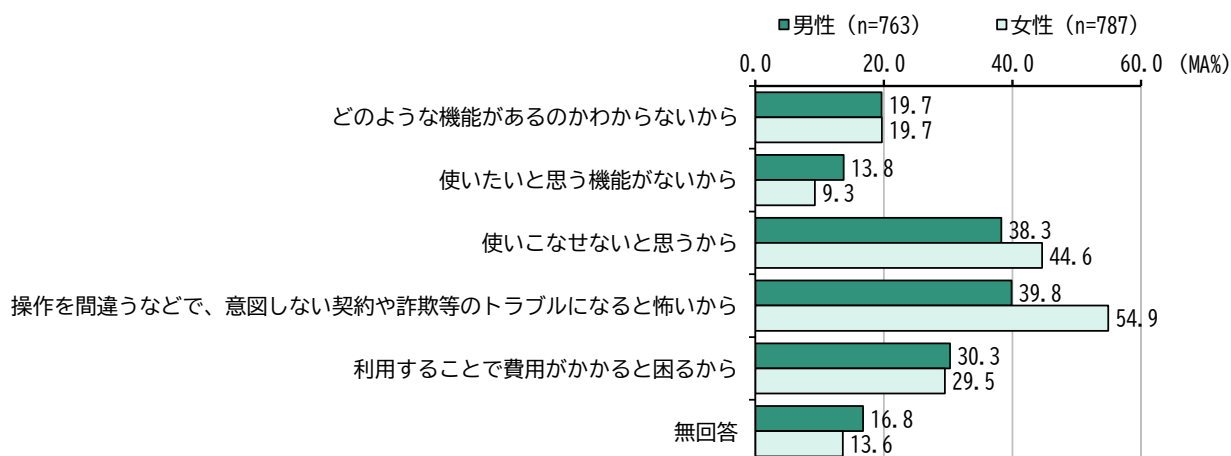
現在利用している機能以外の利用をしない理由について、「操作を間違えるなどで、意図しない契約や詐欺等のトラブルになると怖いから」が 47.4%で最も多く、次いで「使いこなせないと思うから」が 41.6%、「利用することで費用がかかると困るから」が 29.9%となっています。

【図表 2-4-28 現在利用している機能以外の利用をしない理由】



性別でみると、男性・女性ともに「操作を間違えるなどで、意図しない契約や詐欺等のトラブルになると怖いから」が最も多くなっています。

【図表 2-4-29 現在利用している機能以外の利用をしない理由（性別）】



「操作を間違ふなどで、意図しない契約や詐欺等のトラブルになると怖いから」について、年齢別にみると、80～84 歳が 54.8%で最も多く、圏域別にみると、南圏域が 51.1%で最も多くなっています。

【図表 2-4-30 現在利用している機能以外の利用をしない理由（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

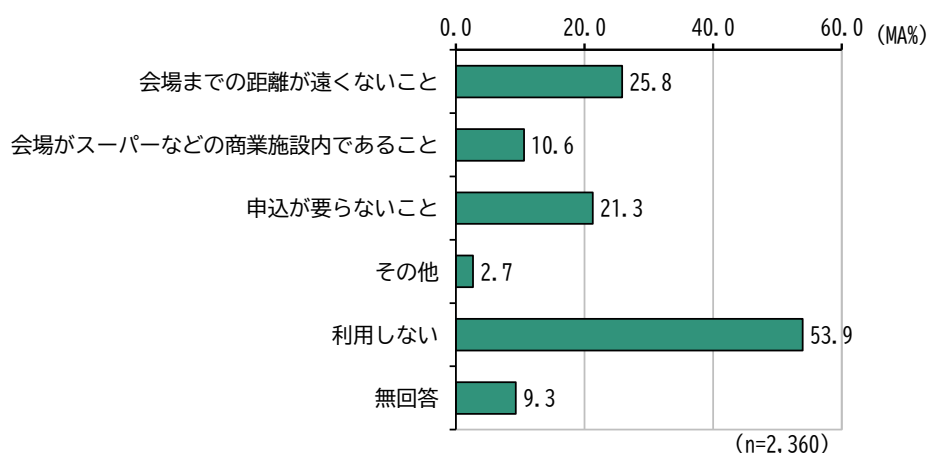
	合計 (人)	わ ど の か ら な い か ら 機 能 が あ る の か	か 使 い た い と 思 う 機 能 が な い	使 い こ な せ な い と 思 う か ら	ブ し 操 作 を 間 違 う な ど で 、 意 図 し な い 契 約 や 詐 欺 等 の ト ラ ブ ル に な る こ ろ	利 用 す る こ と で 費 用 が か か る	無 回 答
65～69歳	375	14.7	14.9	30.4	39.5	30.1	19.5
70～74歳	521	17.3	11.7	40.1	49.5	32.8	16.5
75～79歳	346	23.4	9.5	43.9	51.7	30.1	12.7
80～84歳	188	26.1	10.1	52.1	54.8	26.1	10.6
85歳以上	114	22.8	8.8	57.9	39.5	19.3	10.5
北圏域	324	22.2	9.3	45.1	47.8	30.6	15.1
東圏域	318	20.1	12.3	44.7	47.2	28.3	15.1
西圏域	327	18.3	11.0	40.4	47.4	26.6	16.8
中央圏域	210	17.1	13.8	36.7	45.2	29.0	18.6
南圏域	329	19.5	11.2	42.6	51.1	32.8	11.2

(13) スマートフォン等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談を受ける事業を利用する条件

問 4	⑧-5	市ではスマートフォン等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談をお受けする事業を実施しています。どのような条件であれば利用したいですか。(〇はいくつでも)
-----	-----	---

スマートフォン等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談を受ける事業を利用する条件について、「利用しない」が53.9%で最も多く、次いで「会場までの距離が遠くないこと」が25.8%、「申込が要らないこと」が21.3%となっています。

【図表 2-4-31 スマートフォン等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談を受ける事業を利用する条件】

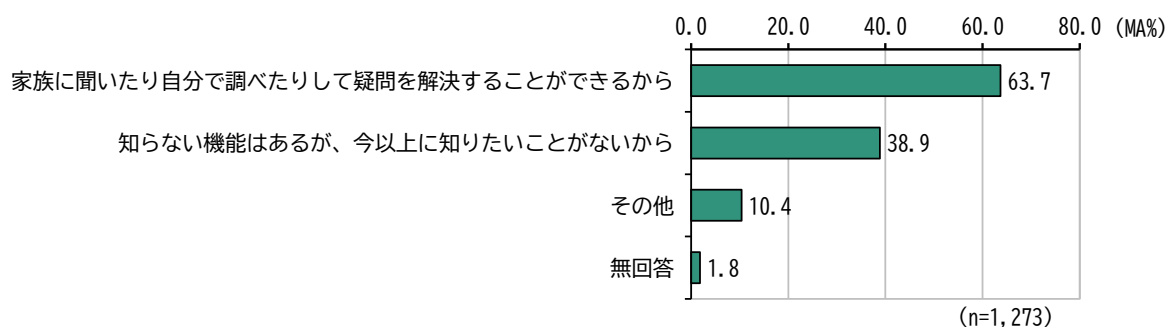


(14) 利用しない理由

問 4	⑧-6	〈⑧-5〉で「利用しない」を回答された方のみ 利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
-----	-----	--

利用しない理由について、「家族に聞いたり自分で調べたりして疑問を解決することができるから」が63.7%で最も多く、次いで「知らない機能はあるが、今以上に知りたいことがないから」が38.9%、「その他」が10.4%となっています。

【図表 2-4-32 利用しない理由】



(15) 日常生活での困りごと

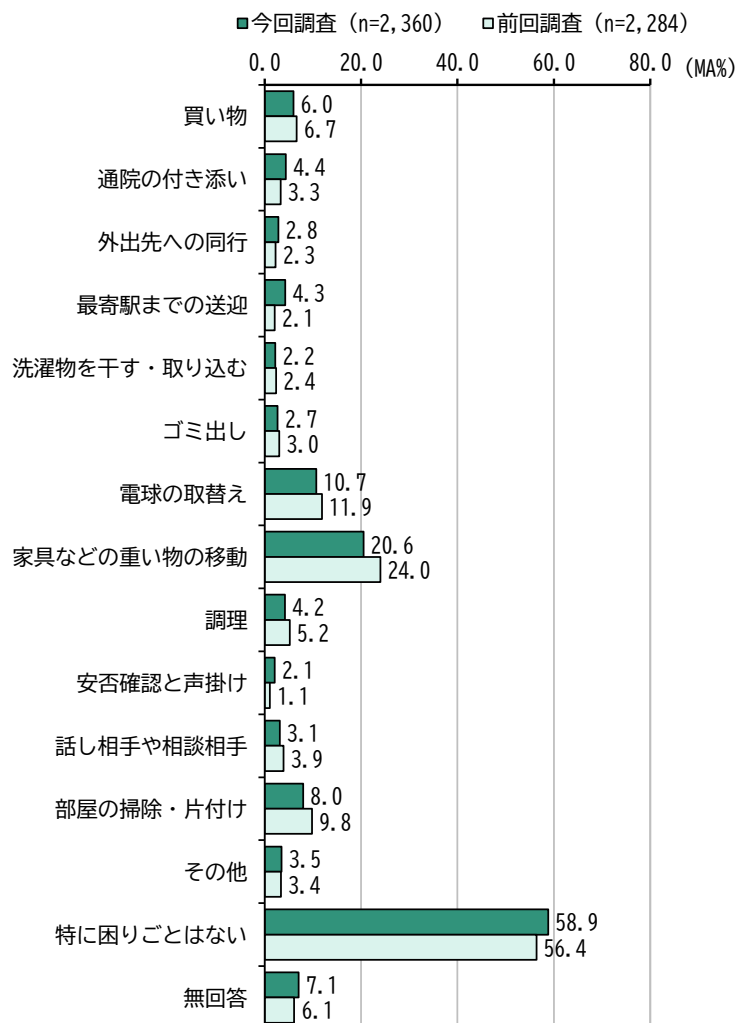
問 4

⑨

日常生活で困りごとはありませんか。(○はいくつでも)

日常生活での困りごとについて、「特に困りごとはない」が 58.9%で最も多く、次いで「家具などの重い物の移動」が 20.6%、「電球の取替え」が 10.7%となっています。また、前回調査と比較して「特に困りごとはない」が 2.5 ポイント増加しています。

【図表 2-4-33 日常生活での困りごと】



年齢別にみると、「話し相手や相談相手」「その他」「特に困りごとはない」以外の項目について、年齢が上がるにつれて割合が増加しています。また、「家具などの重い物の移動」について、65～69歳で11.6％と比較的高くなっています。

【図表 2-4-34 日常生活での困りごと（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	買い物	通院の付き添い	外出先への同行	最寄駅までの送迎	洗濯物を干す・取り込む	ゴミ出し	電球の取替え	家具などの重い物の移動	調理	安否確認と声掛け	話し相手や相談相手	部屋の掃除・片付け
65～69歳	441	1.1	1.4	0.5	0.5	0.0	0.0	3.2	11.6	1.4	1.1	1.6	4.8
70～74歳	654	3.7	2.4	1.5	1.8	0.8	1.4	6.7	14.5	3.8	1.5	3.4	5.4
75～79歳	515	4.3	3.1	1.6	3.5	1.7	2.5	12.6	24.3	2.9	2.1	1.7	8.3
80～84歳	370	9.7	6.2	3.2	7.0	4.1	3.8	13.2	25.1	5.4	2.4	3.5	9.2
85歳以上	340	14.4	11.8	9.4	11.2	5.6	6.8	22.4	33.2	9.4	3.2	5.9	14.1
北圏域	479	8.4	4.6	1.9	3.8	2.5	3.8	8.1	17.7	5.4	1.0	3.1	9.4
東圏域	487	4.7	4.1	4.1	4.7	2.7	2.5	11.5	21.1	3.9	3.3	3.1	6.6
西圏域	480	5.2	5.0	2.1	5.4	1.9	2.1	10.2	21.0	2.9	1.7	2.1	7.9
中央圏域	326	5.5	2.5	2.8	2.1	1.8	1.5	12.0	21.5	4.0	3.1	3.7	8.3
南圏域	484	5.2	4.8	2.5	3.9	1.9	2.1	11.0	21.1	3.5	0.8	2.7	6.2

	合計（人）	その他	特に困りごとはない	無回答
65～69歳	441	2.0	76.2	3.9
70～74歳	654	3.5	66.5	7.6
75～79歳	515	2.9	59.0	5.6
80～84歳	370	3.8	47.8	8.9
85歳以上	340	5.6	35.6	9.4
北圏域	479	4.4	59.9	7.3
東圏域	487	3.3	60.4	6.0
西圏域	480	4.0	59.2	5.8
中央圏域	326	3.4	59.2	5.2
南圏域	484	2.1	58.3	10.1

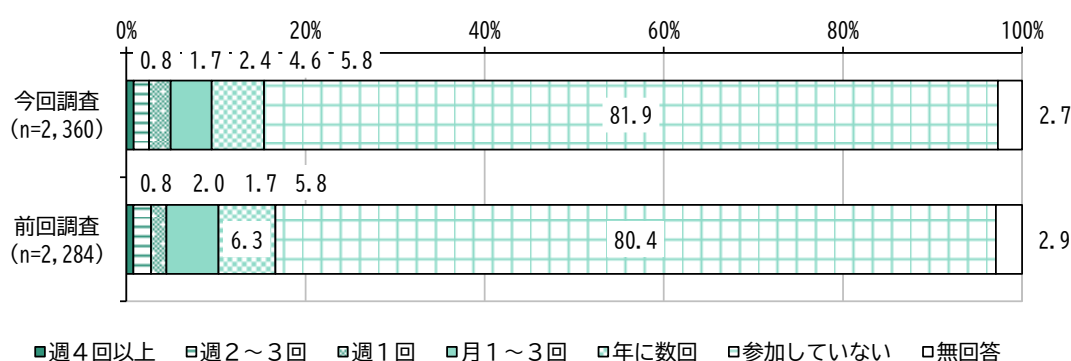
5. 地域での活動について

(1) 「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5 ①-1 「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が81.9%で最も多く、次いで「年に数回」が5.8%、「月1～3回」が4.6%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が1.5ポイント増加しています。

【図表 2-5-1 「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加しているか】

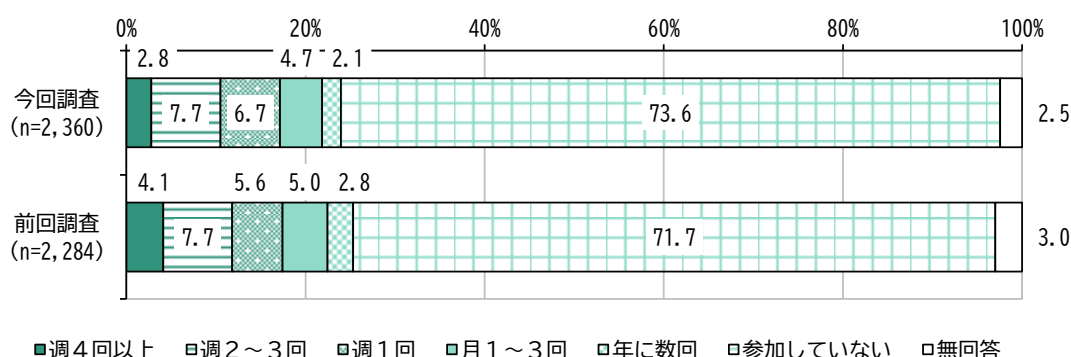


(2) 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5 ①-2 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

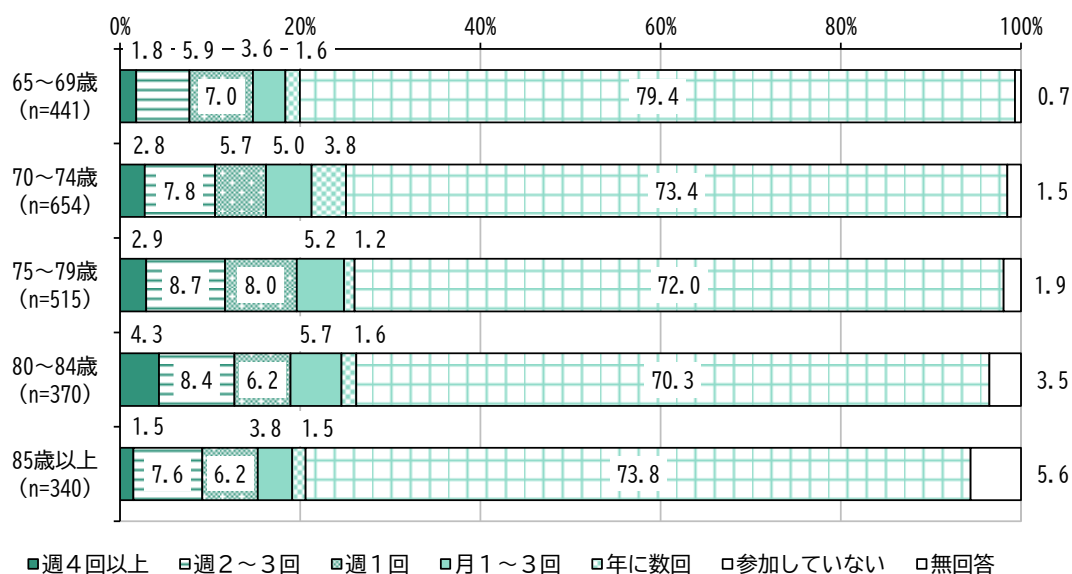
「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が73.6%で最も多く、次いで「週2～3回」が7.7%、「週1回」が6.7%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が1.9ポイント増加しています。

【図表 2-5-2 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか】



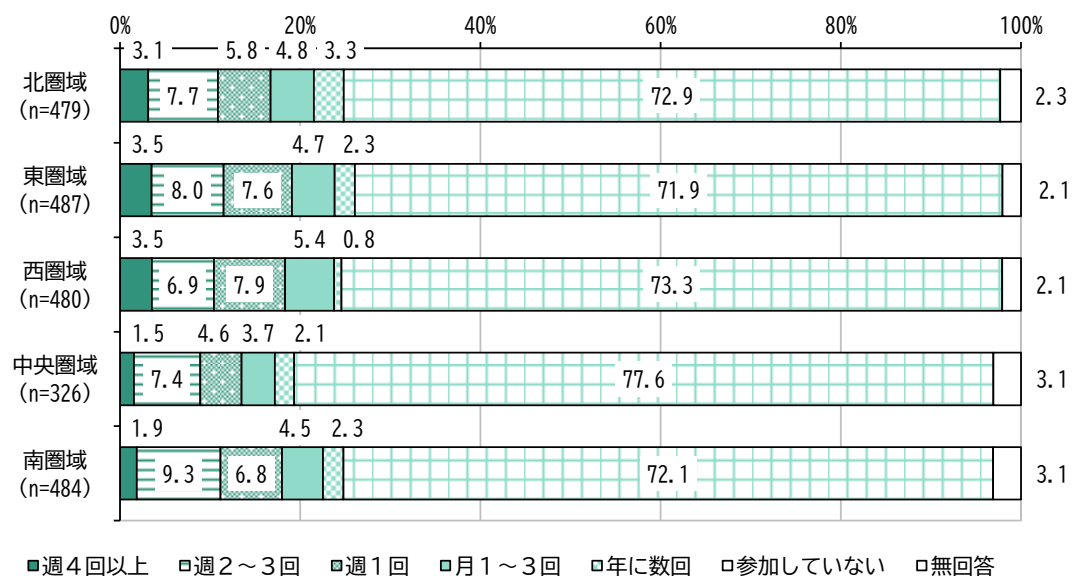
年齢別にみると、「参加していない」では、65～69歳が79.4%で最も多くなっています。

【図表 2-5-3 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか（年齢別）】



圏域別にみると、「参加していない」では、中央圏域が77.6%で最も多くなっています。

【図表 2-5-4 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか（圏域別）】

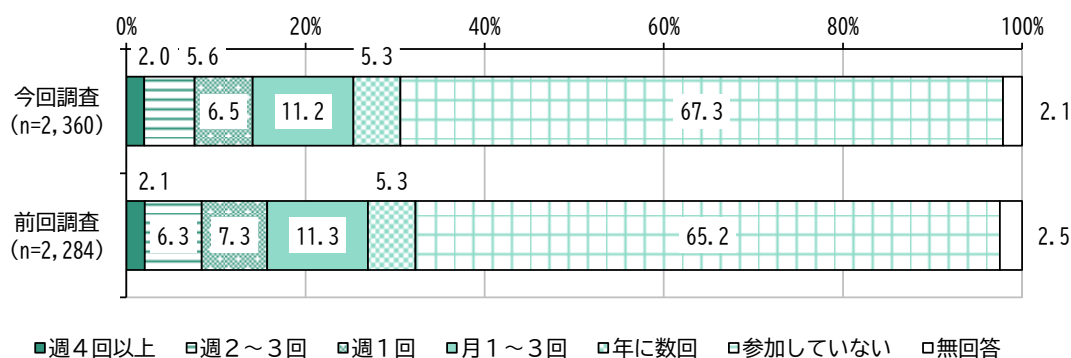


(3)「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5 ①-3 「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が67.3%で最も多く、次いで「月1～3回」が11.2%、「週1回」が6.5%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が2.1ポイント増加しています。

【図表 2-5-5 「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加しているか】

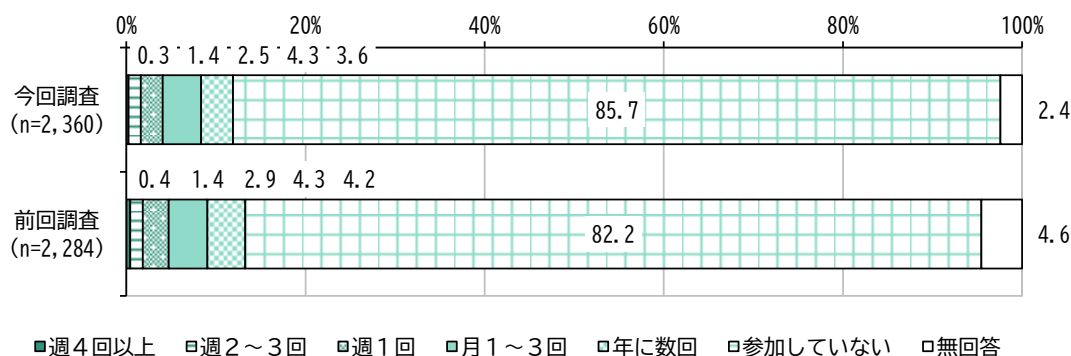


(4)「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5 ①-4 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

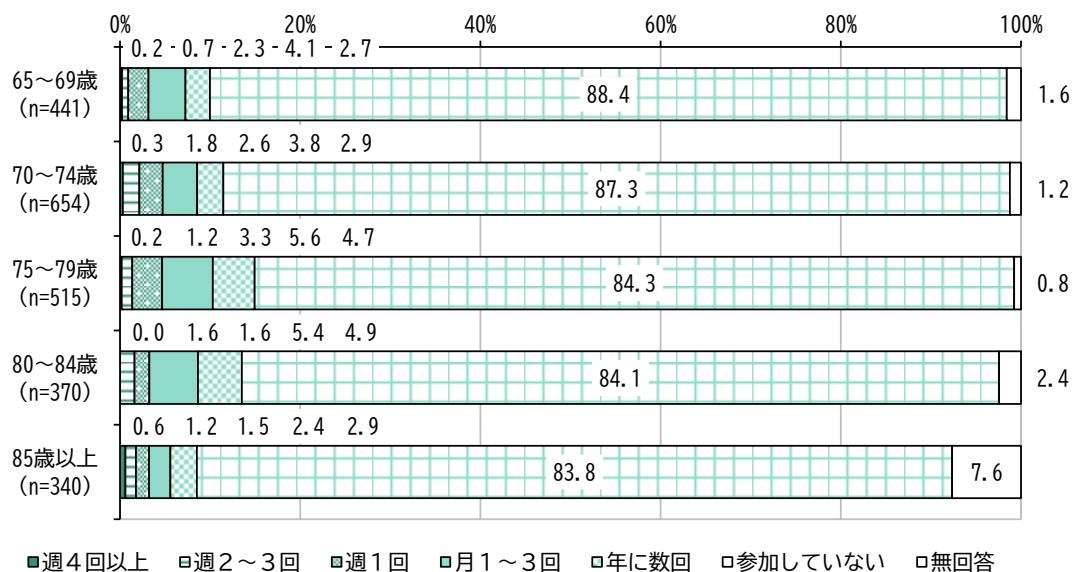
「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が85.7%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.3%、「年に数回」が3.6%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が3.5ポイント増加しています。

【図表 2-5-6 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加しているか】



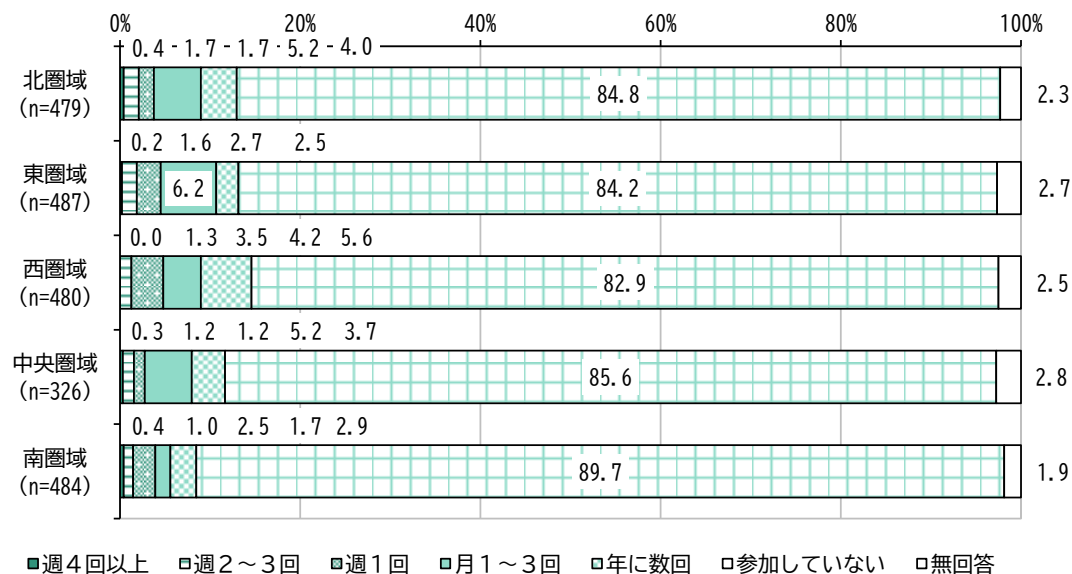
年齢別にみると、「参加していない」では、65～69歳が88.4%で最も多くなっています。

【図表 2-5-7 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加しているか（年齢別）】



圏域別にみると、「参加していない」では、南圏域が89.7%で最も多くなっています。

【図表 2-5-8 「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加しているか（圏域別）】

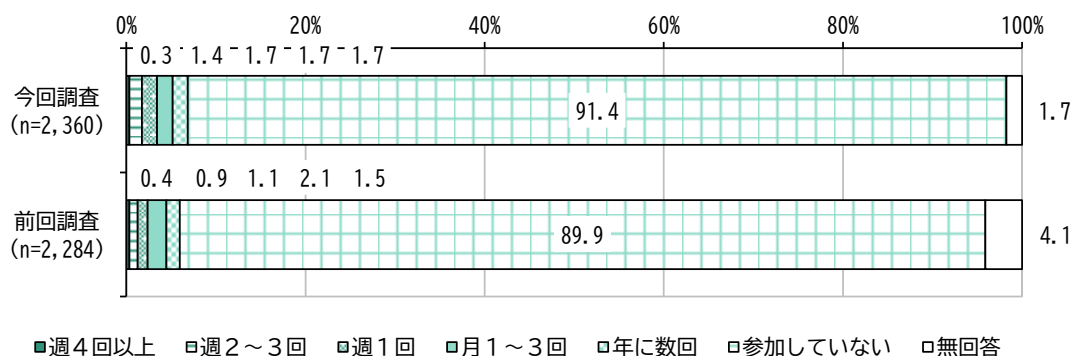


(5) 「介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5	①-5	「(いきいき交流広場、街かどデイハウス、コミュニティデイハウスなど)介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)
----	-----	--

「介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が91.4%で最も多くなっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が1.5ポイント増加しています。

【図表 2-5-9 「介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加しているか】

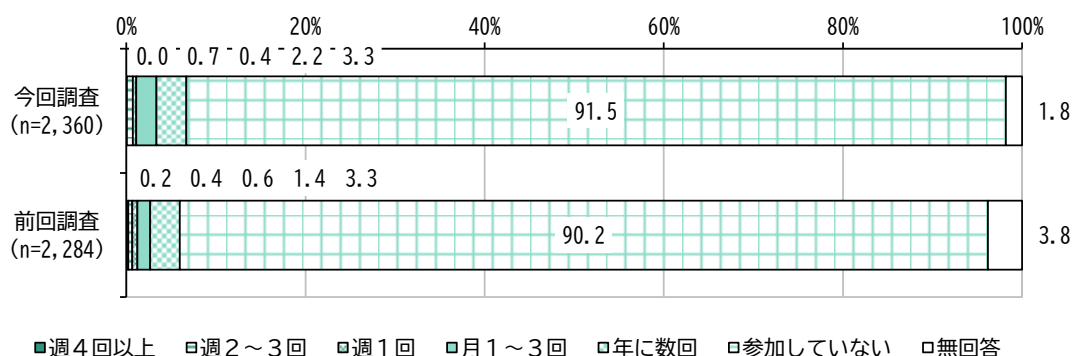


(6) 「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5	①-6	「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)
----	-----	----------------------------------

「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が91.5%で最も多く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が2.2%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が1.3ポイント増加しています。

【図表 2-5-10 「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加しているか】

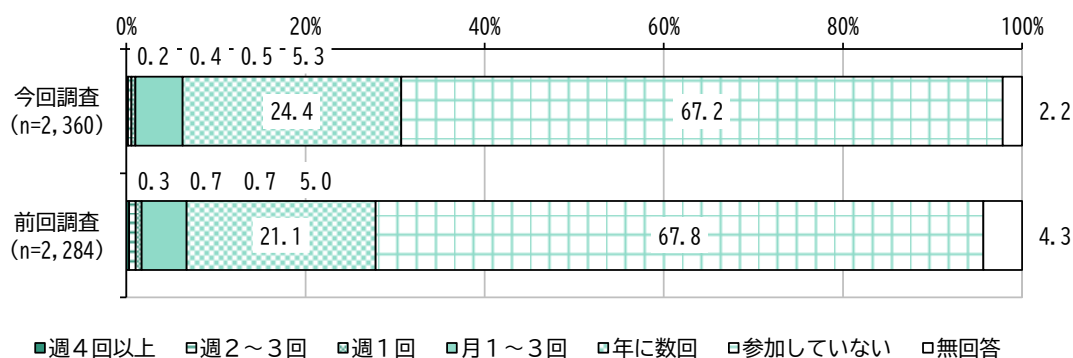


(7)「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加しているか

問5 ①-7 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

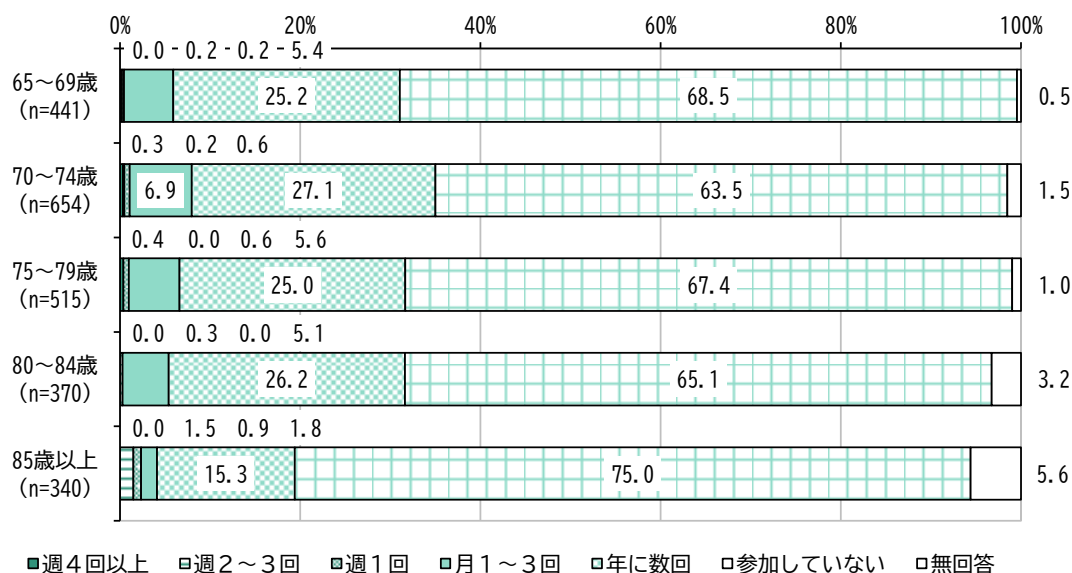
「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「参加していない」が67.2%で最も多く、次いで「年に数回」が24.4%、「月1～3回」が5.3%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が0.6ポイント減少しています。

【図表 2-5-11 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加しているか】



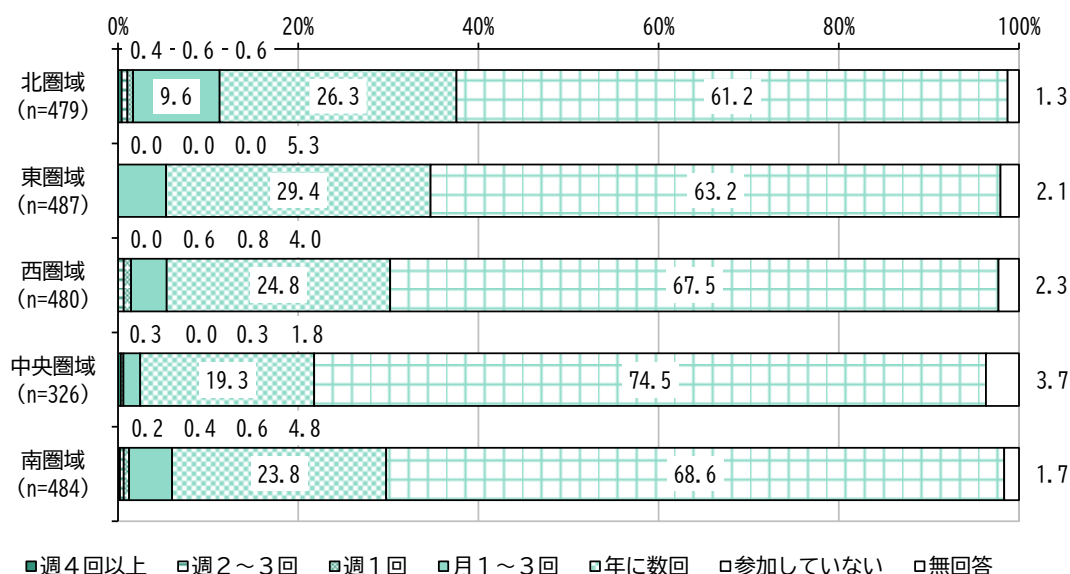
年齢別にみると、「参加していない」では、85歳以上が75.0%で最も多くなっています。

【図表 2-5-12 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加しているか（年齢別）】



圏域別にみると、「参加していない」では、中央圏域が74.5%で最も多くなっています。

【図表 2-5-13 「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加しているか（圏域別）】

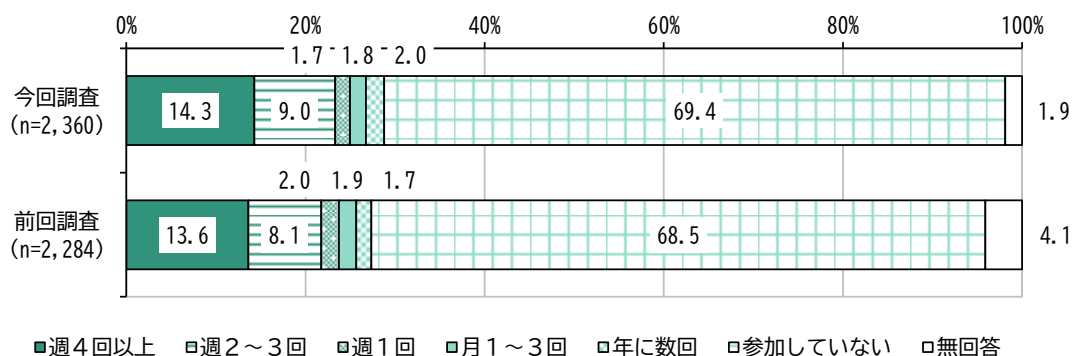


(8) 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているか

問5 ①-8 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

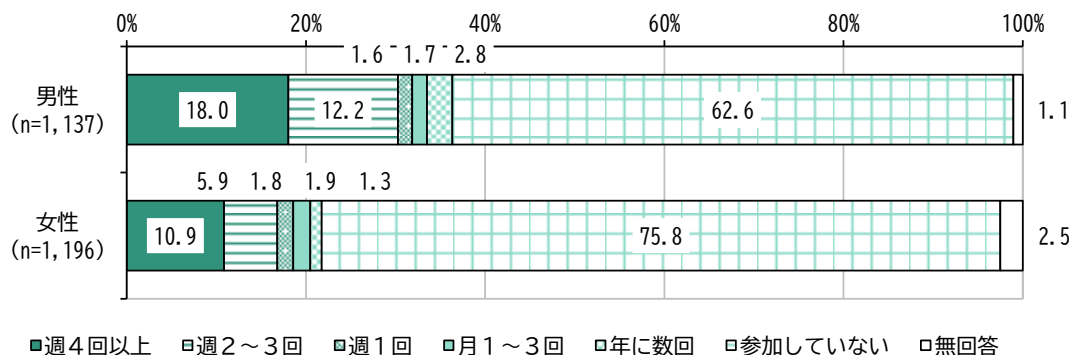
「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているかについて、「参加していない」が69.4%で最も多く、次いで「週4回以上」が14.3%、「週2～3回」が9.0%となっています。また、前回調査と比較して「参加していない」が0.9ポイント増加しています。

【図表 2-5-14 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているか】



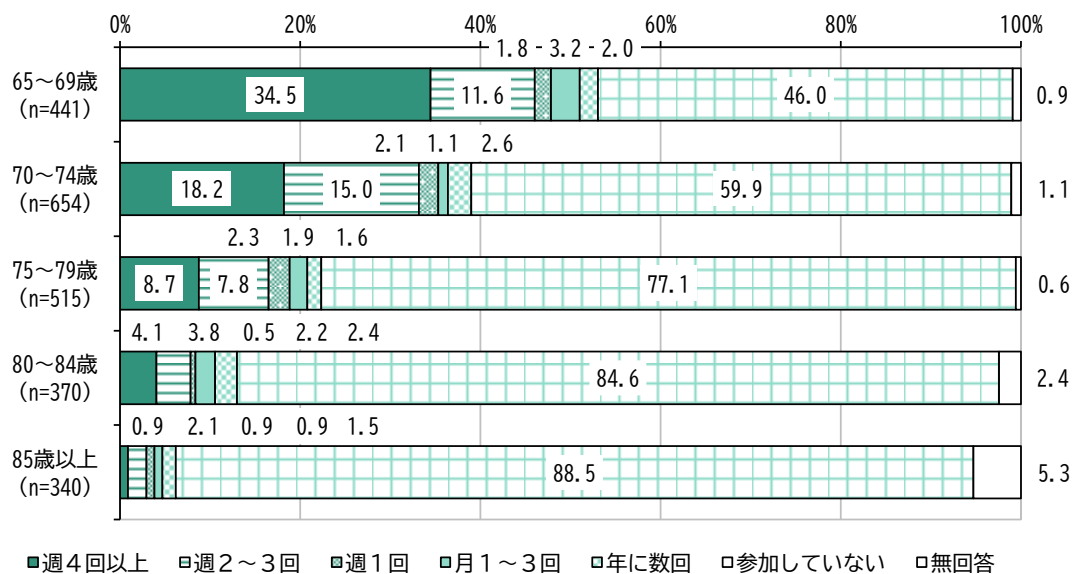
性別でみると、「参加していない」について、男性では62.6%、女性では75.8%となっており、女性が13.2ポイント高くなっています。

【図表 2-5-15 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているか（性別）】



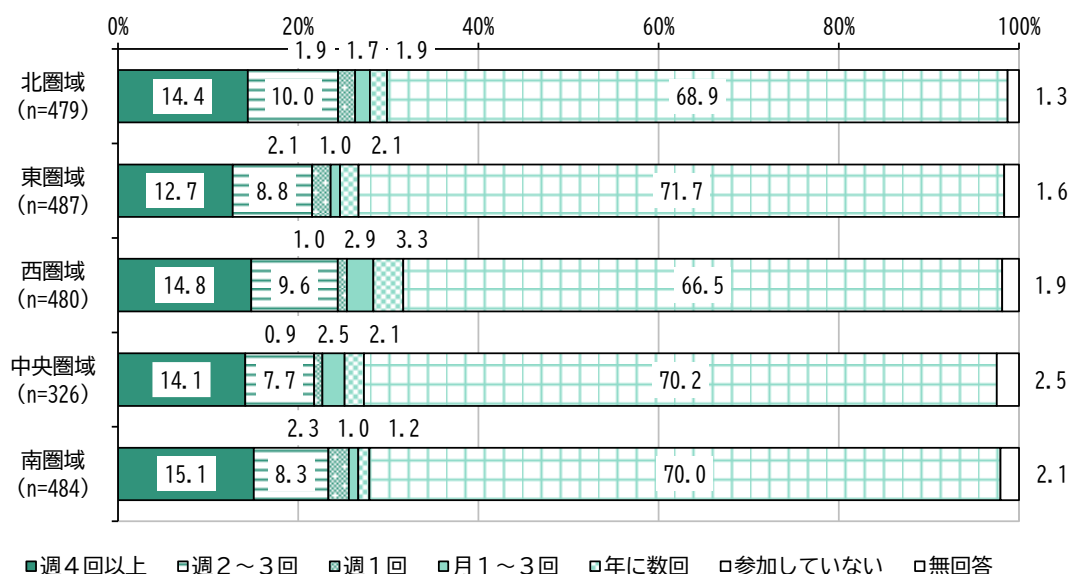
年齢別にみると、「参加していない」では、85歳以上が88.5%で最も多くなっています。

【図表 2-5-16 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているか（年齢別）】



圏域別にみると、「参加していない」では、東圏域が71.7%で最も多くなっています。

【図表 2-5-17 「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っているか（圏域別）】

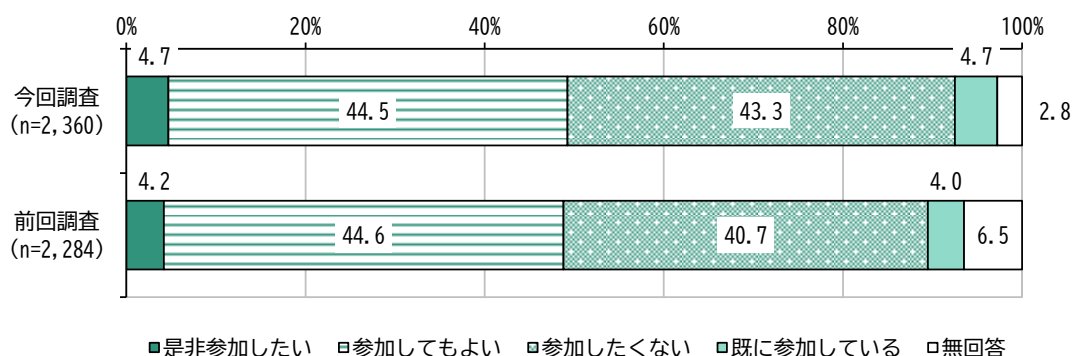


(9) 地域での活動に参加者として参加したいか

問5	②	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
----	---	--

地域での活動に参加者として参加したいかについて、「参加してもよい」が44.5%で最も多く、次いで「参加したくない」が43.3%、「是非参加したい」「既に参加している」が4.7%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が2.6ポイント増加しています。

【図表 2-5-18 地域での活動に参加者として参加したいか】

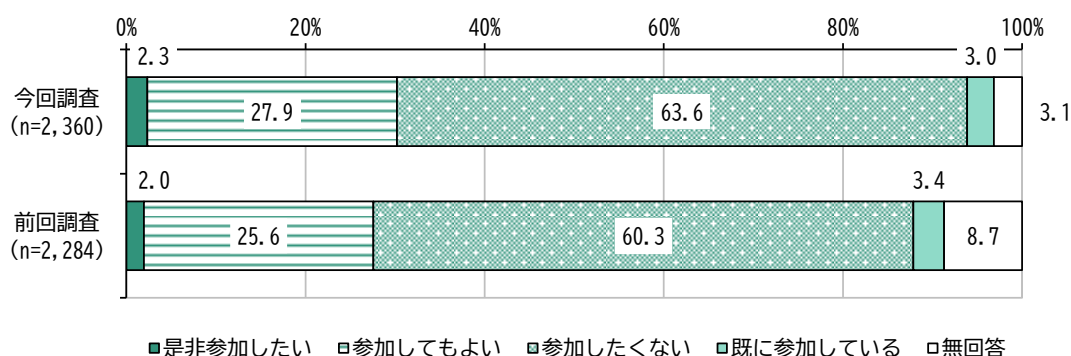


(10) 地域での活動に企画・運営として参加したいか

問5	③-1	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
----	-----	--

地域での活動に企画・運営として参加したいかについて、「参加したくない」が63.6%で最も多く、次いで「参加してもよい」が27.9%、「既に参加している」が3.0%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が3.3ポイント増加しています。

【図表 2-5-19 地域での活動に企画・運営として参加したいか】



(11) 地域づくりの活動に企画・運営として参加した際、金銭は必要か

問5	③-2	地域づくりの活動に企画・運営(お世話役)として参加した際、金銭(任意の謝礼など)は必要だと思いますか。(〇は1つ)
----	-----	---

地域づくりの活動に企画・運営として参加した際、金銭は必要かについて、「はい」が31.1%、「いいえ」が62.9%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が10.0ポイント減少しています。

【図表 2-5-20 地域づくりの活動に企画・運営として参加した際、金銭は必要か】



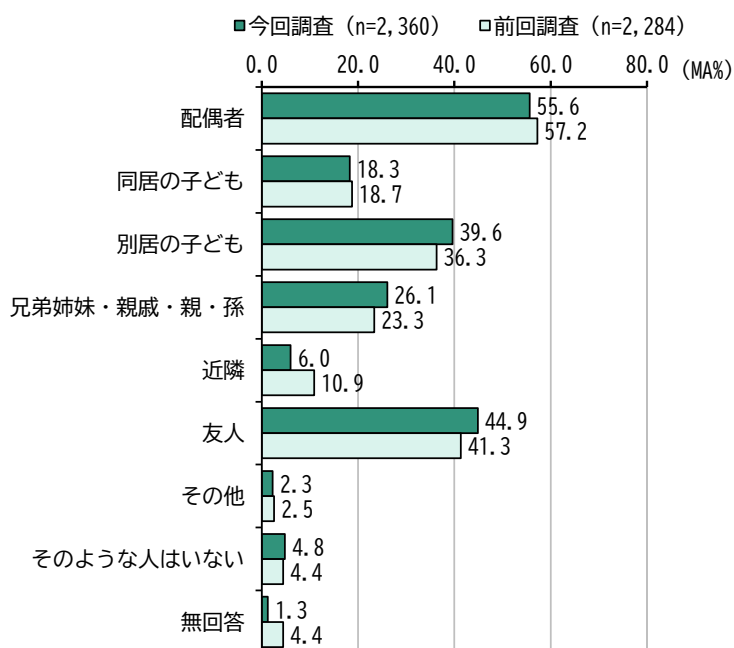
6. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 ① あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

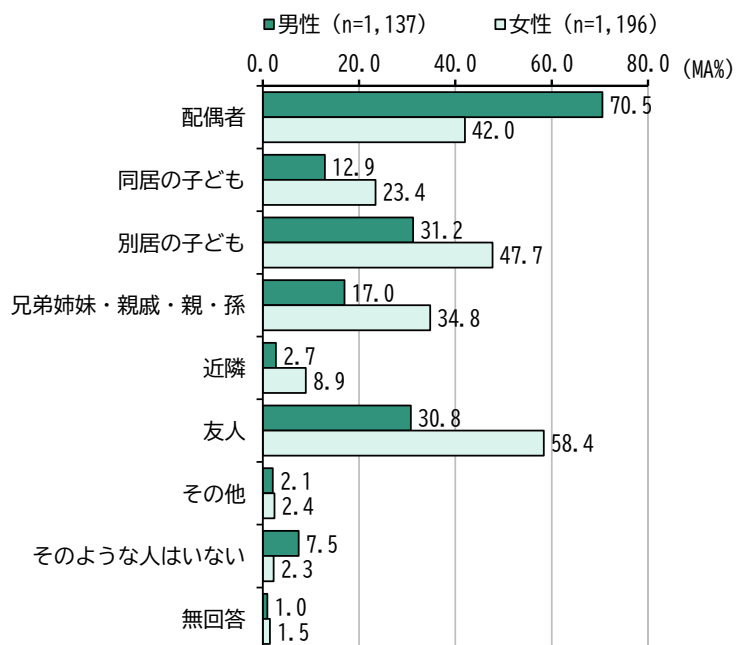
心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が55.6%で最も多く、次いで「友人」が44.9%、「別居の子ども」が39.6%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が1.6ポイント減少しています。

【図表 2-6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



性別でみると、男性では、「配偶者」が70.5%で最も多く、女性では、「友人」が58.4%で最も多くなっています。

【図表 2-6-2 心配事や愚痴を聞いてくれる人（性別）】



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

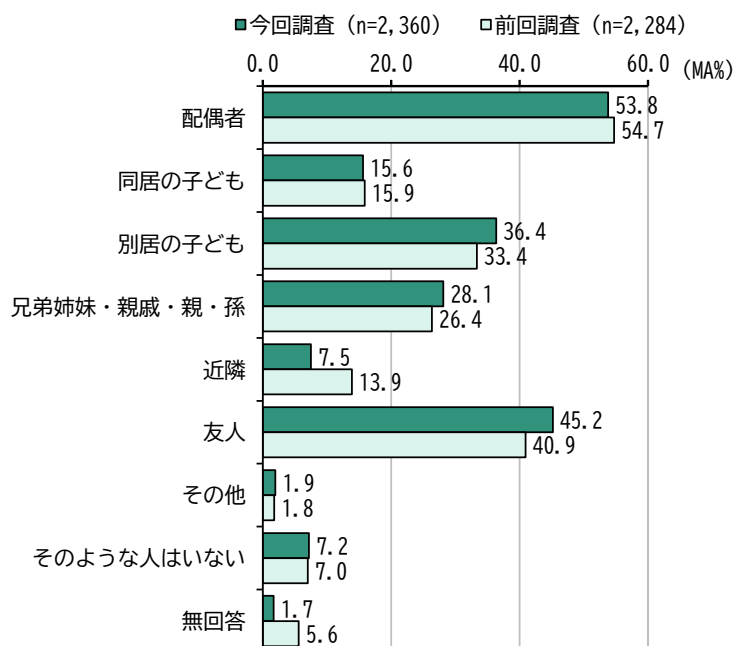
問6

②

反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(○はいくつでも)

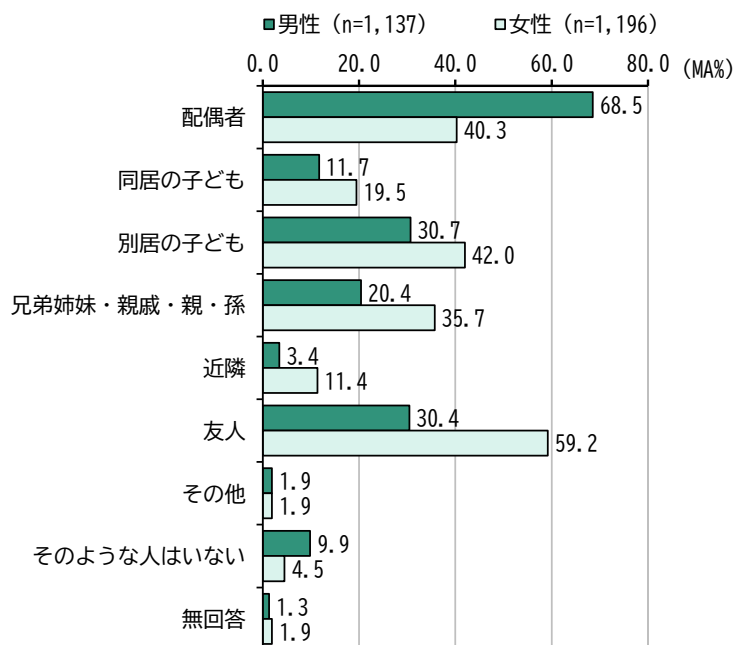
心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が53.8%で最も多く、次いで「友人」が45.2%、「別居の子ども」が36.4%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が0.9ポイント減少しています。

【図表 2-6-3 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



性別でみると、男性では、「配偶者」が68.5%で最も多く、女性では、「友人」が59.2%で最も多くなっています。

【図表 2-6-4 心配事や愚痴を聞いてあげる人（性別）】



(3) 病気のとときに看病や世話をしてくれる人

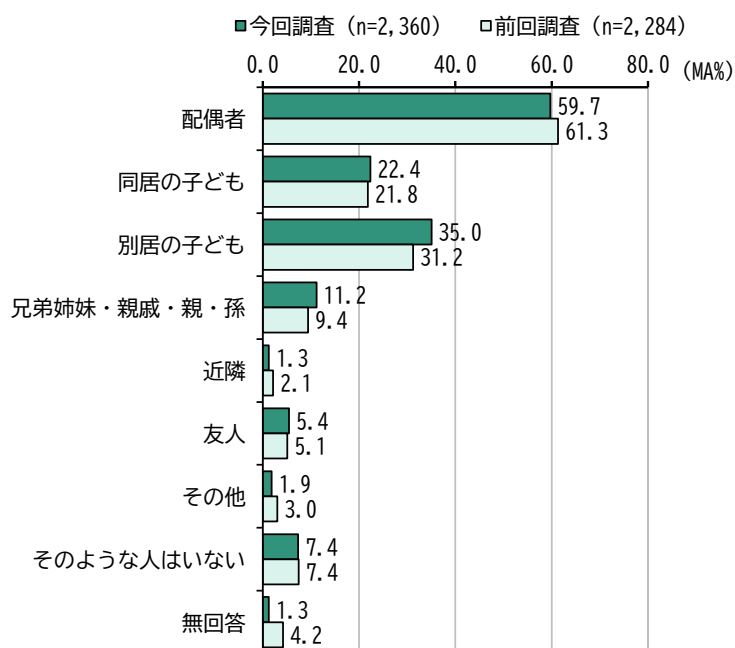
問6

③

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(〇はいくつでも)

病気のとときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 59.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 35.0%、「同居の子ども」が 22.4%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 1.6 ポイント減少しています。

【図表 2-6-5 病気のとときに看病や世話をしてくれる人】



(4) 看病や世話をしあける人

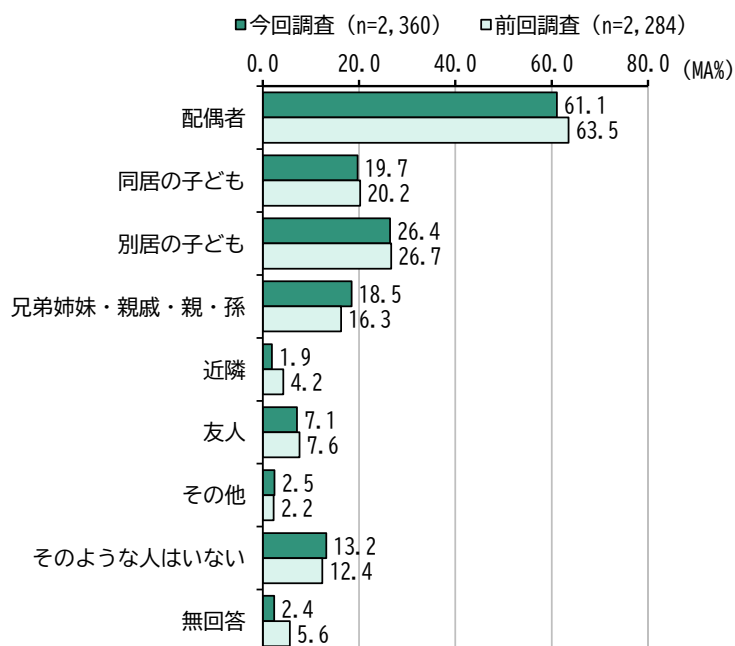
問6

④

反対に、看病や世話をしあける人(○はいくつでも)

看病や世話をしあける人について、「配偶者」が61.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が26.4%、「同居の子ども」が19.7%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が2.4ポイント減少しています。

【図表 2-6-6 看病や世話をしあける人】



(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

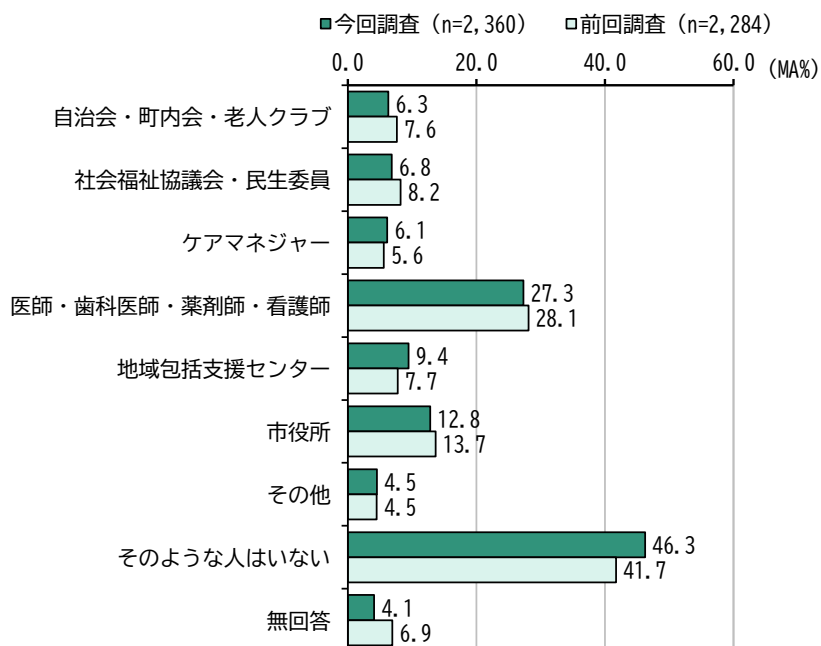
問6

⑤

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手について、「そのような人はいない」が46.3%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が27.3%、「市役所」が12.8%となっています。また、前回調査と比較して「そのような人はいない」が4.6ポイント増加しています。

【図表 2-6-7 家族や友人・知人以外の相談相手】



(6) ご近所に手助けを必要とする人がいる場合にどんな手助けができるか

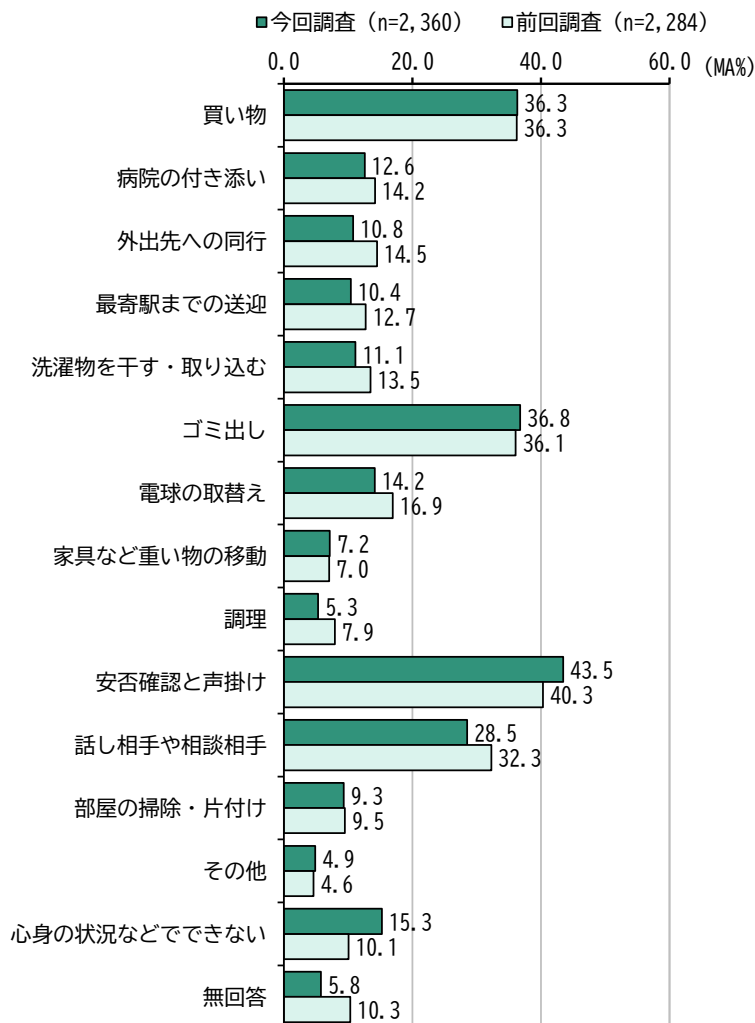
問6

⑥

もしご近所に手助けを必要とする人がいる場合に、あなたはどんな手助けができますか。(〇はいくつでも)

ご近所に手助けを必要とする人がいる場合にどんな手助けができるかについて、「安否確認と声掛け」が43.5%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が36.8%、「買い物」が36.3%となっています。また、前回調査と比較して「安否確認と声掛け」が3.2ポイント増加しています。

【図表 2-6-8 ご近所に手助けを必要とする人がいる場合にどんな手助けができるか】



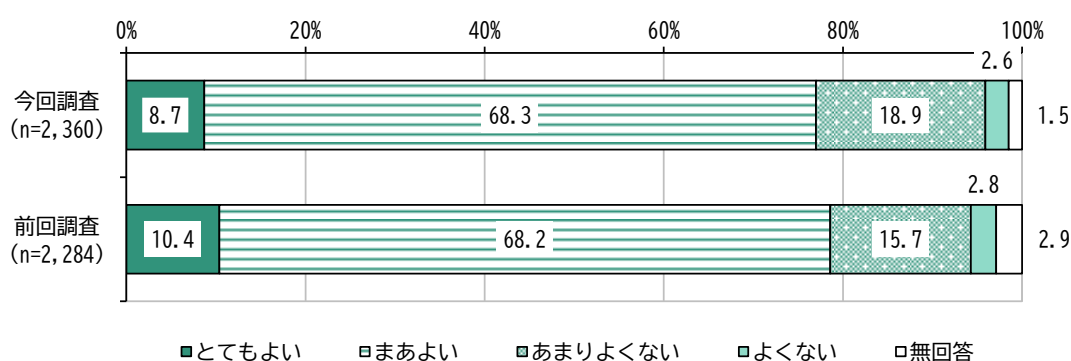
7. 健康について

(1) 健康状態

問7 ① 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

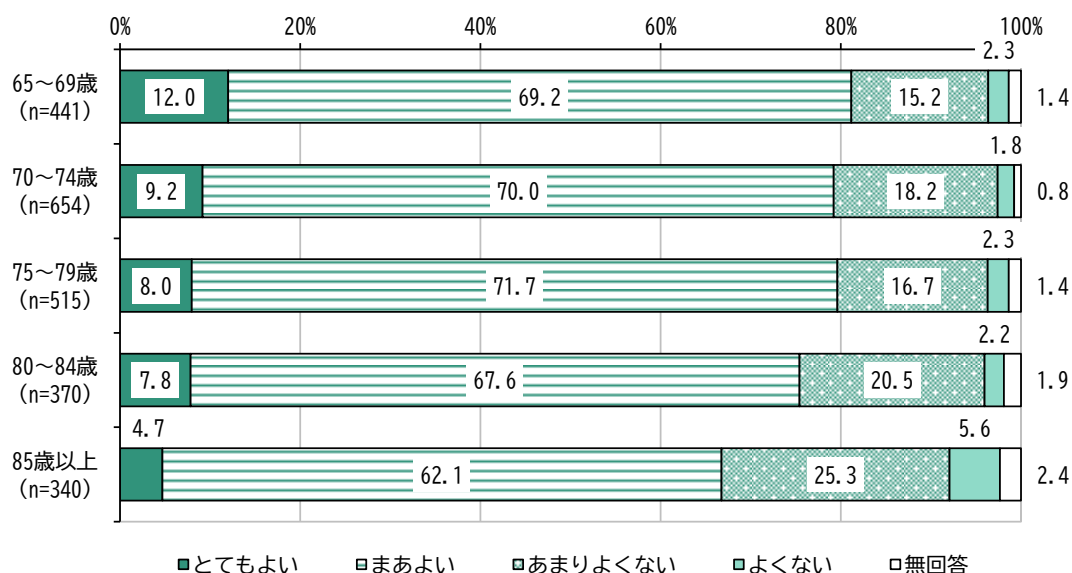
健康状態について、「まあよい」が68.3%で最も多く、次いで「あまりよくない」が18.9%、「とてもよい」が8.7%となっています。また、前回調査と比較して「とてもよい」が1.7ポイント減少しています。

【図表 2-7-1 健康状態】



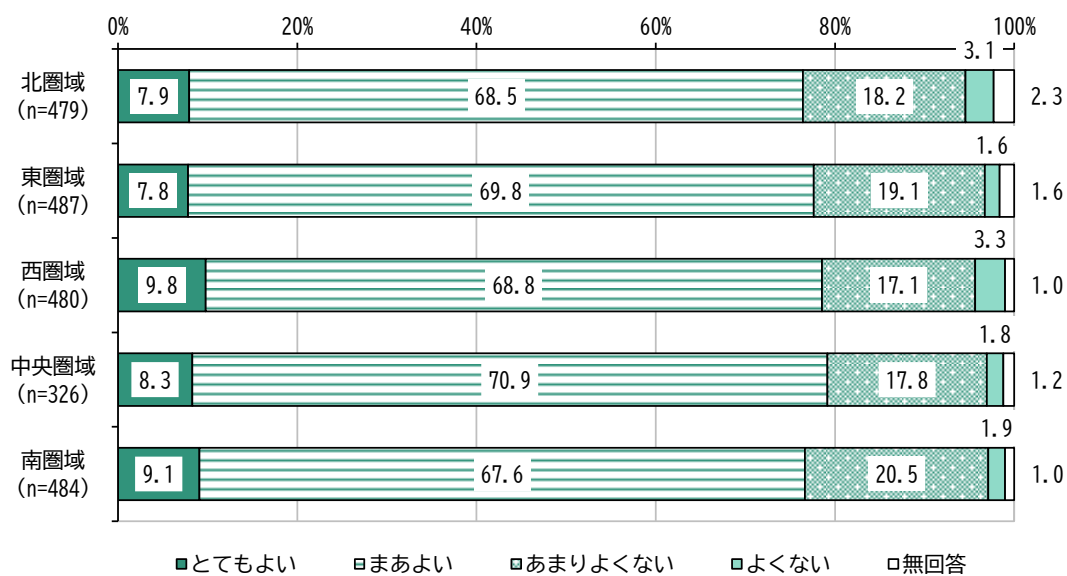
年齢別にみると、「とてもよい」では、65～69歳が12.0%で最も多くなっています。

【図表 2-7-2 健康状態（年齢別）】



圏域別にみると、「とてもよい」では、西圏域が9.8%で最も多くなっています。

【図表 2-7-3 健康状態（圏域別）】

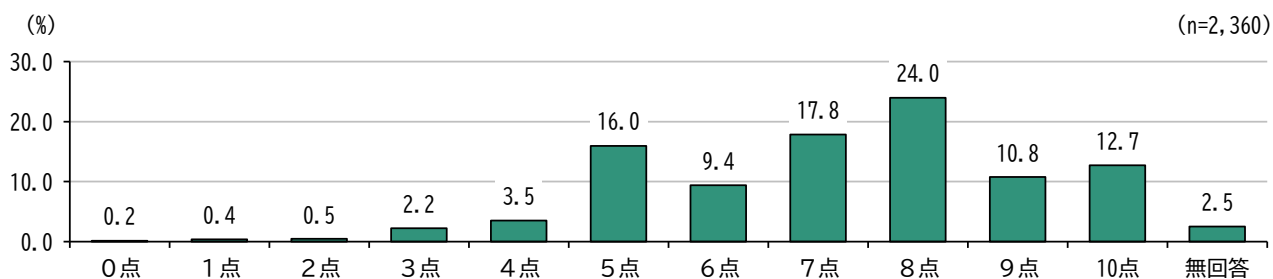


(2) 幸福度

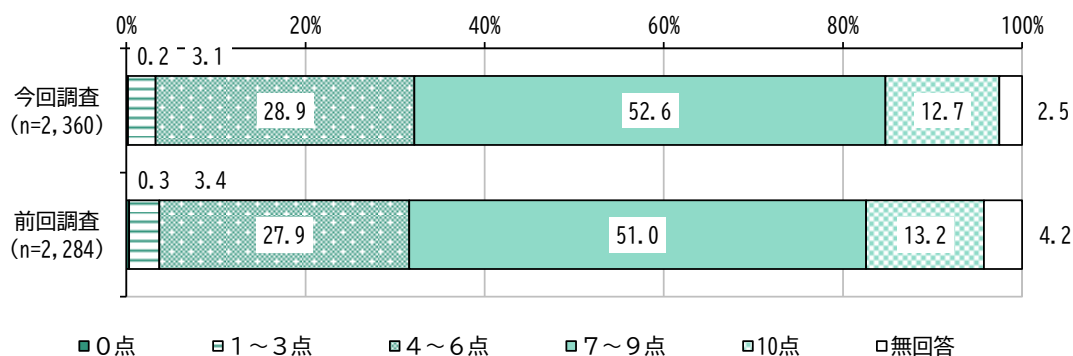
問7	②	あなたは、現在どの程度幸せですか(○は1つ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)
----	---	--

幸福度について、「7～9点」が52.6%で最も多く、次いで「4～6点」が28.9%、「10点」が12.7%となっています。(平均：7.17点) また、前回調査と比較して「7～9点」が1.6ポイント増加しています。

【図表 2-7-4 幸福度 (全体)】

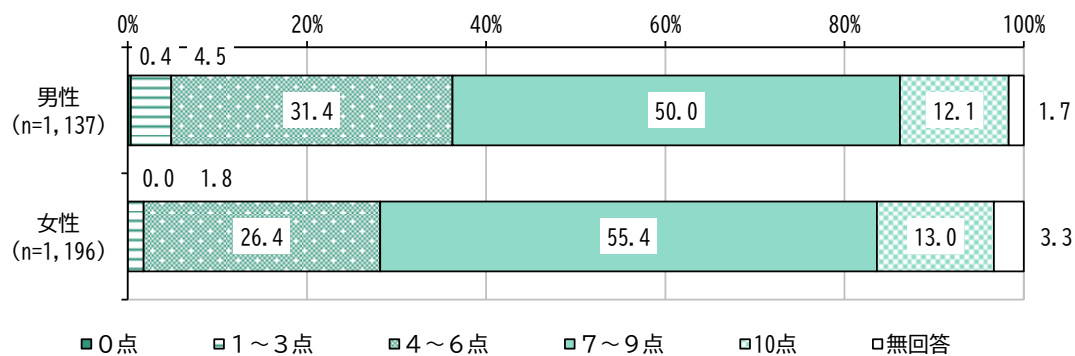


【図表 2-7-5 幸福度】



性別でみると、男性・女性ともに「7～9点」が最も多くなっています。

【図表 2-7-6 幸福度 (性別)】

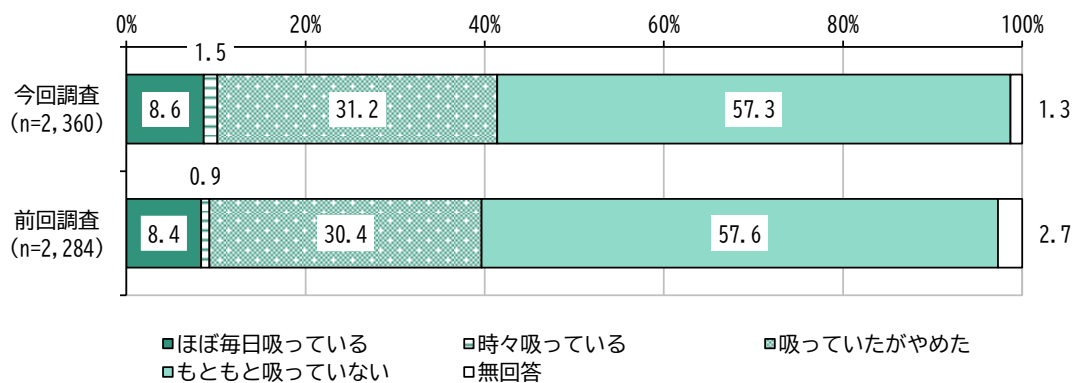


(3) 喫煙状況

問7 ③-1 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

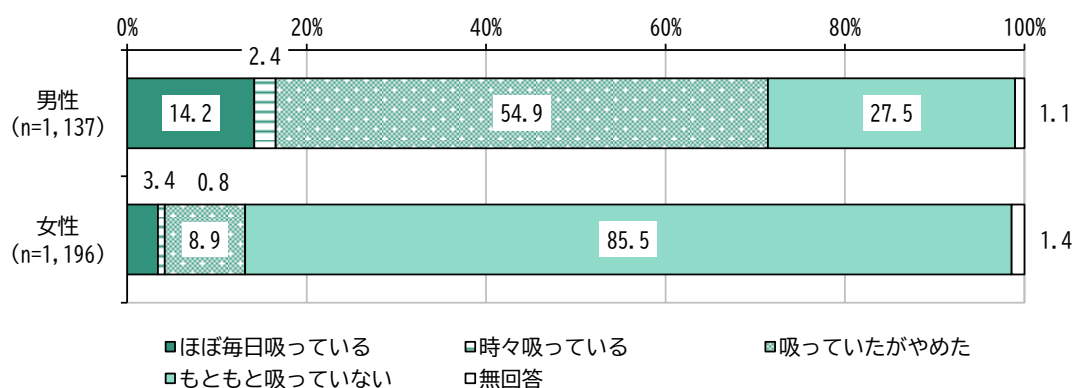
喫煙状況について、「もともと吸っていない」が57.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.2%、「ほぼ毎日吸っている」が8.6%となっています。また、前回調査と比較して「吸っていたがやめた」が0.8ポイント増加しています。

【図表 2-7-7 喫煙状況】



性別でみると、男性では、「吸っていたがやめた」が54.9%で最も多く、女性では、「もともと吸っていない」が85.5%で最も多くなっています。

【図表 2-7-8 喫煙状況（性別）】

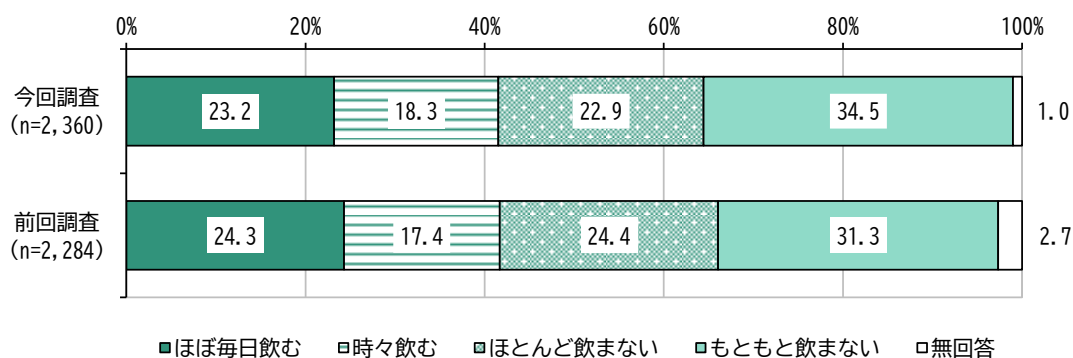


(4) 飲酒状況

問7 ③-2 お酒は飲みますか。(○は1つ)

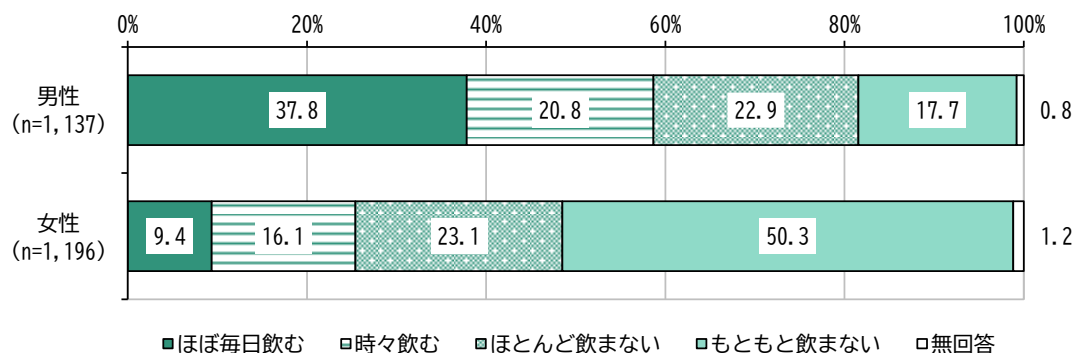
飲酒状況について、「もともと飲まない」が34.5%で最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」が23.2%、「ほとんど飲まない」が22.9%となっています。また、前回調査と比較して「もともと飲まない」が3.2ポイント増加しています。

【図表 2-7-9 飲酒状況】



性別でみると、男性では、「ほぼ毎日飲む」が37.8%で最も多く、女性では、「もともと飲まない」が50.3%で最も多くなっています。

【図表 2-7-10 飲酒状況（性別）】

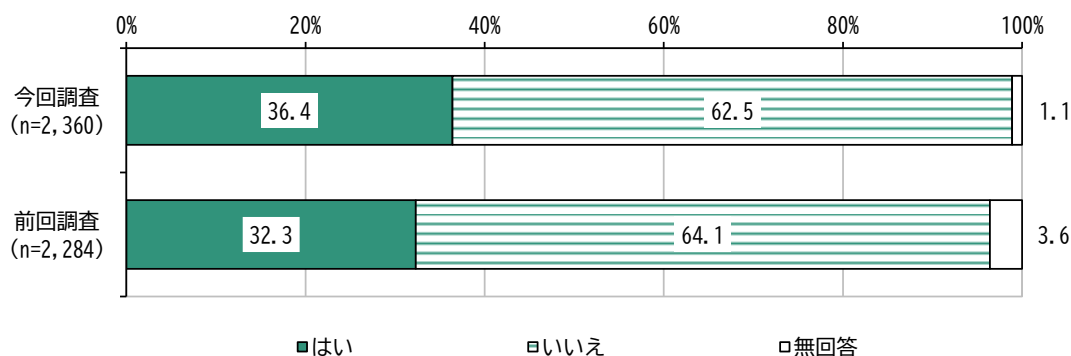


(5) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか

問7	④	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)
----	---	--

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」が36.4%、「いいえ」が62.5%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が1.6ポイント減少しています。

【図表 2-7-11 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか】

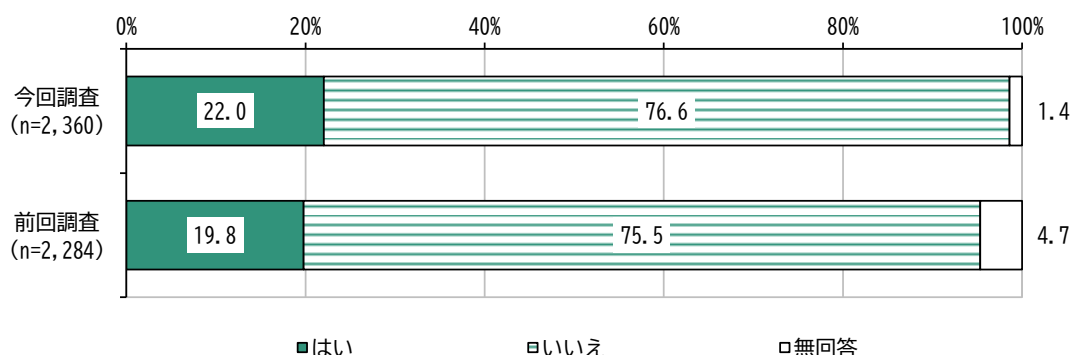


(6) この1か月間、物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか

問7	⑤	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)
----	---	---

この1か月間、物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が22.0%、「いいえ」が76.6%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が1.1ポイント増加しています。

【図表 2-7-12 この1か月間、物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか】

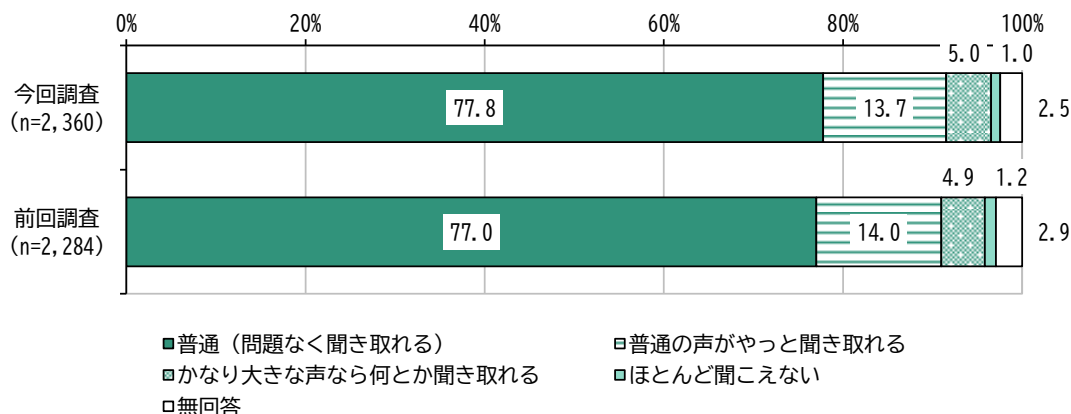


(7) 耳の聞こえの状態

問7	⑥-1	現在あなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(補聴器をつけている人は、補聴器を外した状態についてお答えください)(○は1つ)
----	-----	--

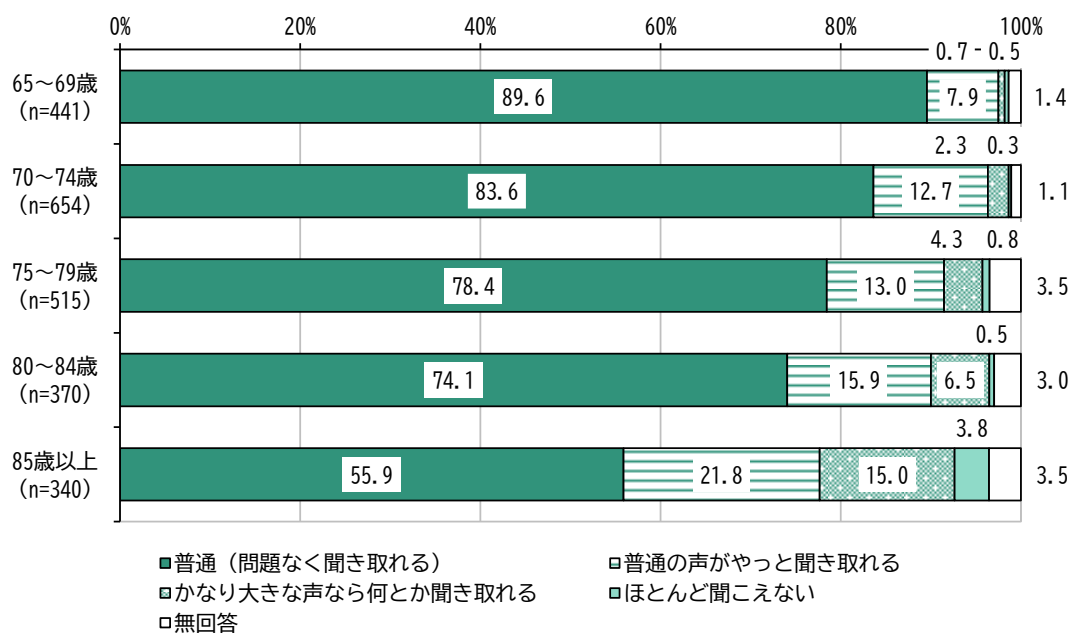
耳の聞こえの状態について、「普通（問題なく聞き取れる）」が77.8%で最も多く、次いで「普通の声がやっと聞き取れる」が13.7%、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が5.0%となっています。また、前回調査と比較して「普通（問題なく聞き取れる）」が0.8ポイント増加しています。

【図表 2-7-13 耳の聞こえの状態】



年齢別にみると、「普通（問題なく聞き取れる）」では、65～69歳が89.6%で最も多くなっています。

【図表 2-7-14 耳の聞こえの状態（年齢別）】

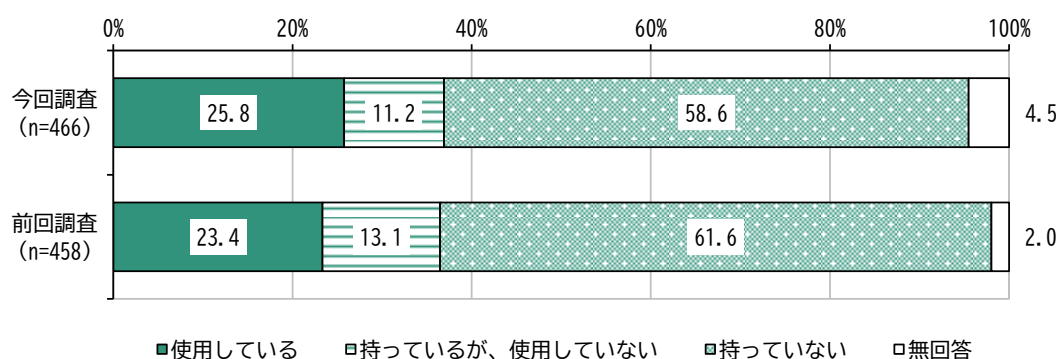


(8) 補聴器を使用しているか

問7	⑥-2	<⑥-1>で「普通の声がやっと聞き取れる」～「ほとんど聞こえない」を回答された方のみ 現在、補聴器を使用していますか。(○は1つ)
----	-----	--

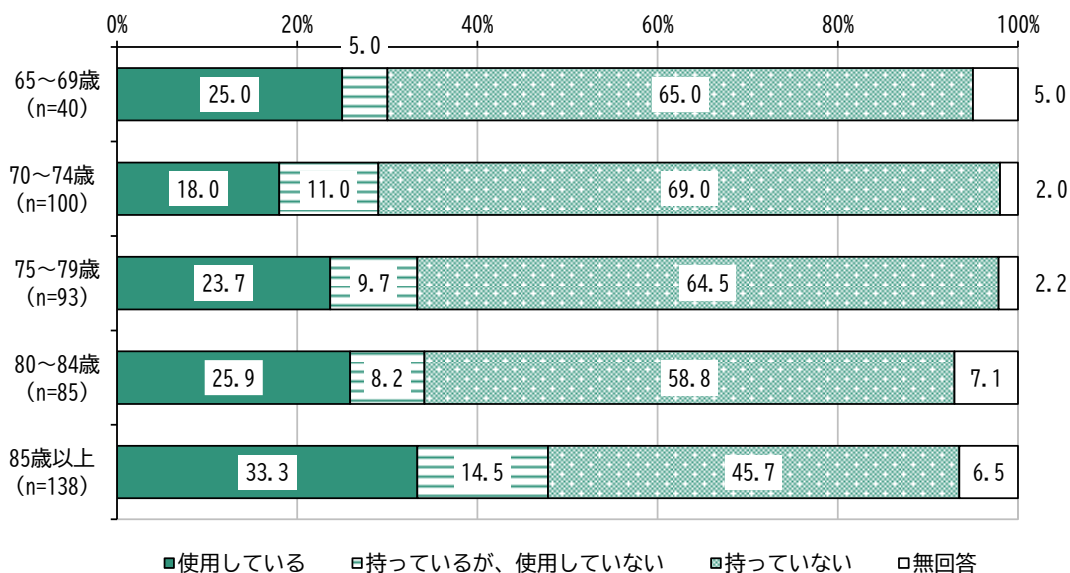
補聴器を使用しているかについて、「持っていない」が 58.6%で最も多く、次いで「使用している」が 25.8%、「持っているが、使用していない」が 11.2%となっています。また、前回調査と比較して「持っていない」が 3.0 ポイント減少しています。

【図表 2-7-15 補聴器を使用しているか】



年齢別にみると、「使用している」では、85歳以上が 33.3%で最も多くなっています。

【図表 2-7-16 補聴器を使用しているか（年齢別）】



(9) 持っていない理由

問7

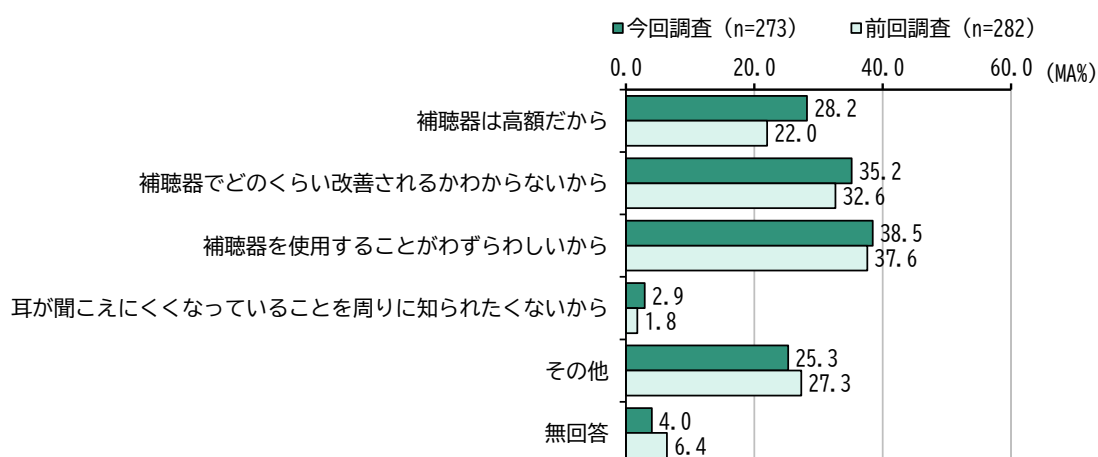
⑥-3

〈⑥-2〉で「持っていない」を回答された方のみ

持っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

持っていない理由について、「補聴器を使用することがわずらわしいから」が38.5%で最も多く、次いで「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が35.2%、「補聴器は高額だから」が28.2%となっています。また、前回調査と比較して「補聴器を使用することがわずらわしいから」が0.9ポイント増加しています。

【図表 2-7-17 持っていない理由】



(10) 現在治療中、または後遺症のある病気

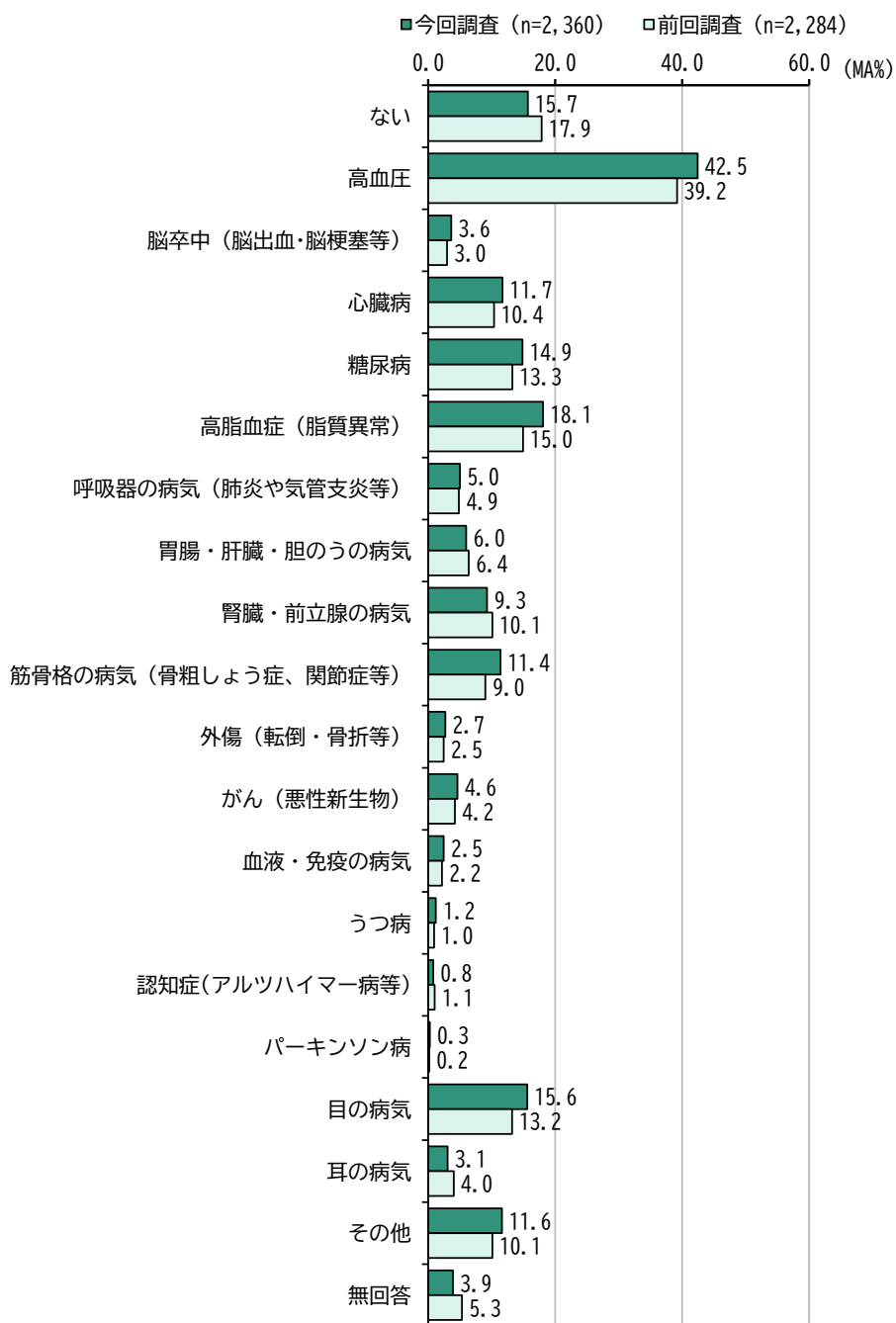
問7

⑦-1

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が42.5%で最も多く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が18.1%、「ない」が15.7%となっています。また、前回調査と比較して「高血圧」が3.3ポイント増加しています。

【図表 2-7-18 現在治療中、または後遺症のある病気】



(11) 健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいること

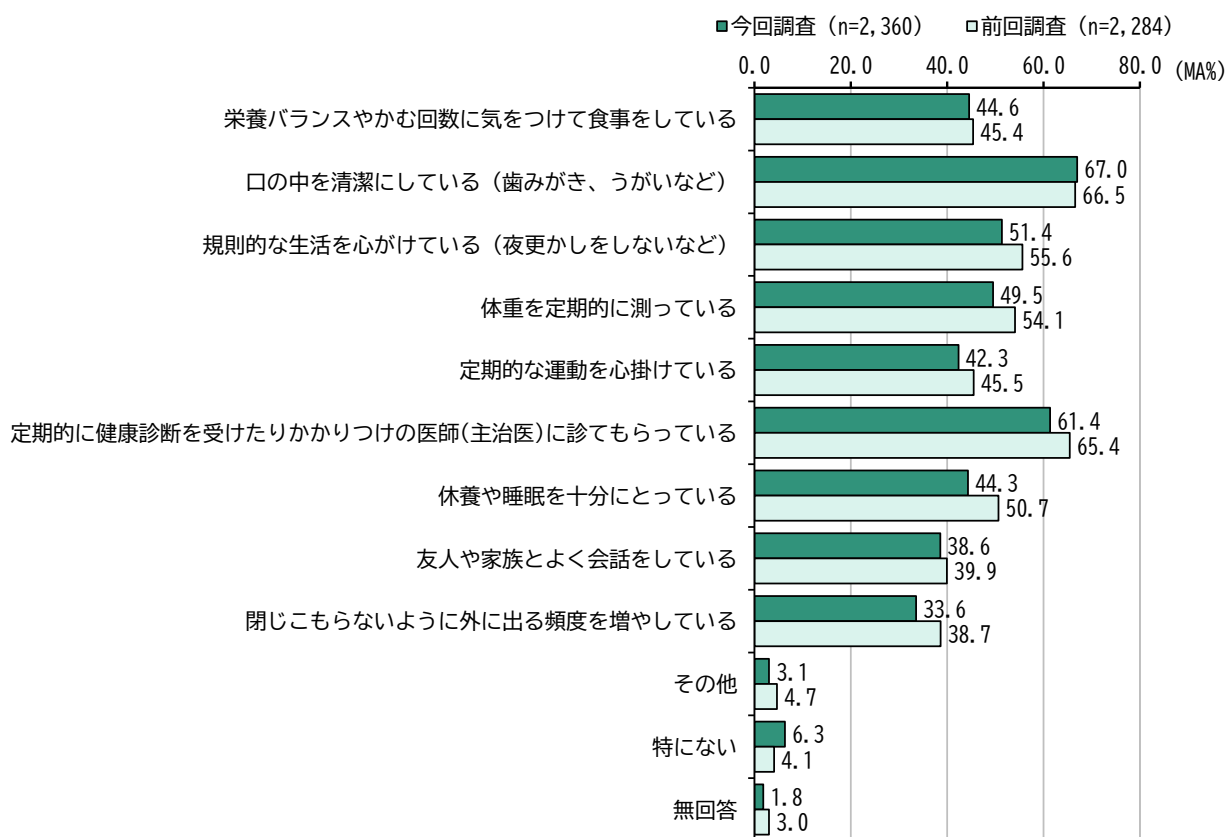
問7

⑦-2

あなたは、健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることについて、「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が67.0%で最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けたりかかりつけの医師(主治医)に診てもらっている」が61.4%、「規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）」が51.4%となっています。また、前回調査と比較して「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」が0.5ポイント増加しています。

【図表 2-7-19 健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいること】



(12) 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」はいるか

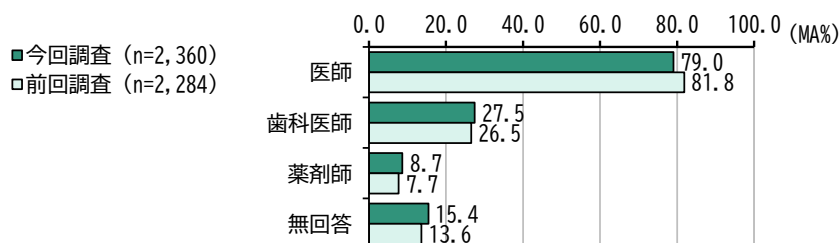
問7

⑦-3

健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などはいいますか。
(〇はいくつでも)

健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」はいるかについて、「医師」が 79.0%で最も多く、次いで「歯科医師」が 27.5%、「薬剤師」が 8.7%となっています。また、前回調査と比較して「医師」が 2.8 ポイント減少しています。

【図表 2-7-20 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」はいるか】



(13) 趣味や交流活動として実施していること

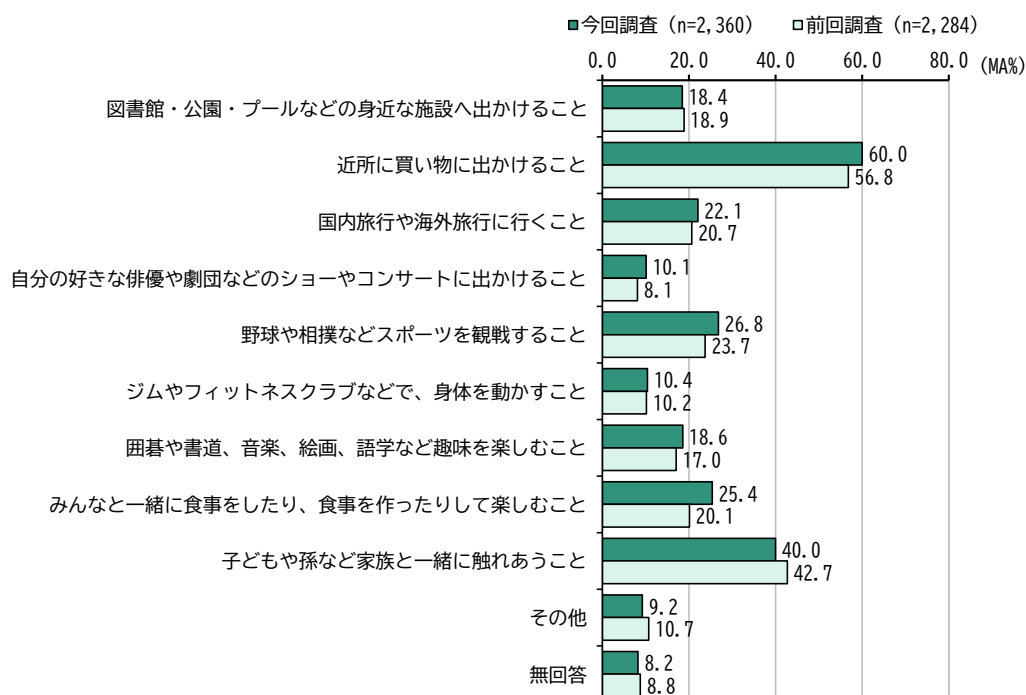
問7

⑦-4

あなたが、趣味や交流活動として実施していることはありますか。
(〇はいくつでも)

趣味や交流活動として実施していることについて、「近所に買い物に出かけること」が 60.0%で最も多く、次いで「子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと」が 40.0%、「野球や相撲などスポーツを観戦すること」が 26.8%となっています。また、前回調査と比較して「近所に買い物に出かけること」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表 2-7-21 趣味や交流活動として実施していること】

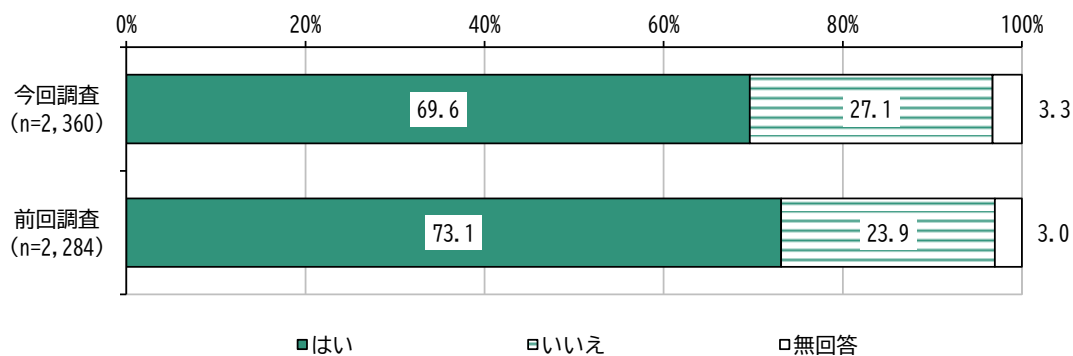


(14) 自主的に健康診断を受けているか

問7 ⑦-5 自主的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

自主的に健康診断を受けているかについて、「はい」が69.6%、「いいえ」が27.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が3.5ポイント減少しています。

【図表 2-7-22 自主的に健康診断を受けているか】

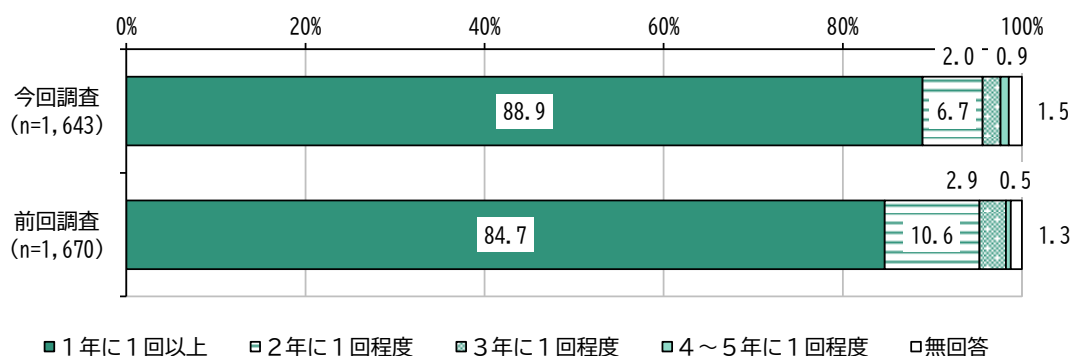


(15) 健康診断の頻度

問7 ⑦-6 <⑦-5>で「はい」を回答された方のみ
どれくらいの頻度で健康診断を受けていますか。(○は1つ)

健康診断の頻度について、「1年に1回以上」が88.9%で最も多く、次いで「2年に1回程度」が6.7%、「3年に1回程度」が2.0%となっています。また、前回調査と比較して「1年に1回以上」が4.2ポイント増加しています。

【図表 2-7-23 健康診断の頻度】

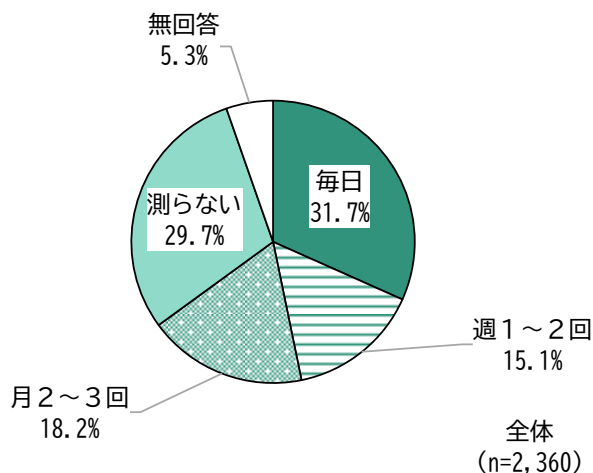


(16) 家庭での血圧測定の頻度

問7 ⑦-7 どのくらいの頻度で家庭での血圧測定をしていますか。(○は1つ)

家庭での血圧測定の頻度について、「毎日」が31.7%で最も多く、次いで「測らない」が29.7%、「月2～3回」が18.2%となっています。

【図表 2-7-24 家庭での血圧測定の頻度】

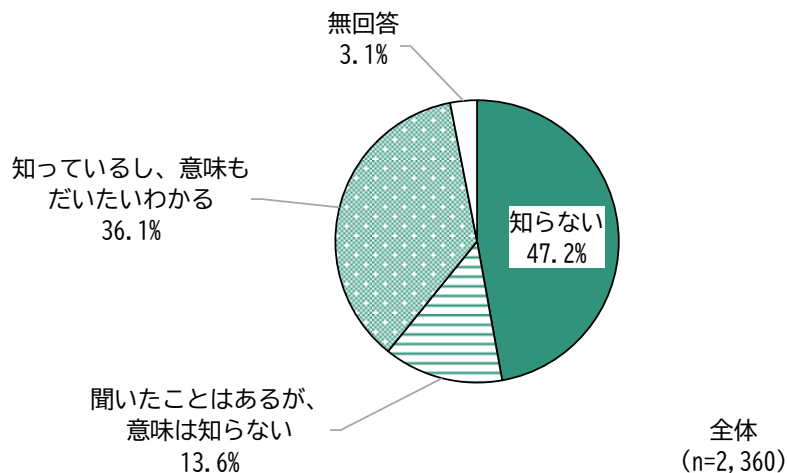


(17) フレイルという言葉を知っているか

問7 ⑦-8 フレイルという言葉を知っていましたか。(○は1つ)

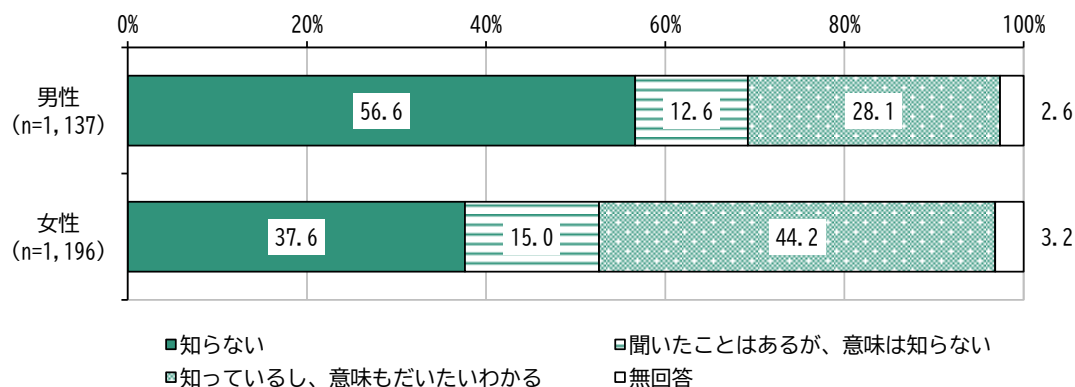
フレイルという言葉を知っているかについて、「知らない」が47.2%で最も多く、次いで「知っているし、意味もだいたいわかる」が36.1%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が13.6%となっています。

【図表 2-7-25 フレイルという言葉を知っているか】



性別でみると、男性では、「知らない」が56.6%で最も多く、女性では、「知っているし、意味もだいたいわかる」が44.2%で最も多くなっています。

【図表 2-7-26 フレイルという言葉を知っているか（性別）】



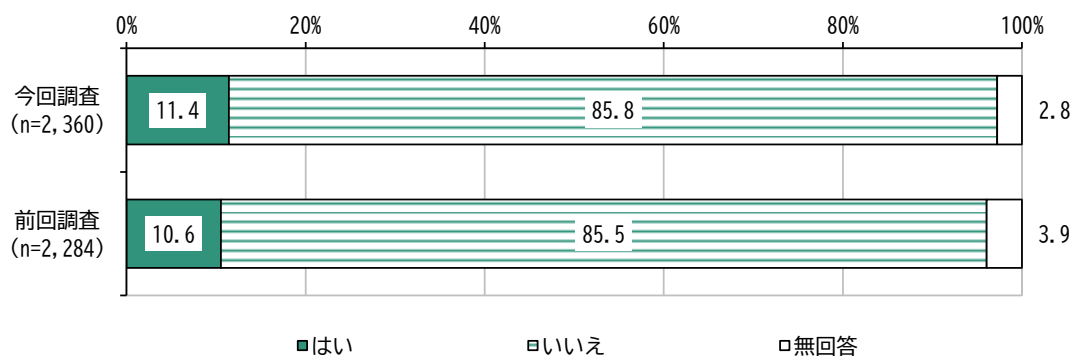
8. 認知症について

（１）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか

問8	①-1	あなた自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)
----	-----	--

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が11.4%、「いいえ」が85.8%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が0.3ポイント増加しています。

【図表 2-8-1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか】



(2) 認知症になったら、どんな支援を期待するか

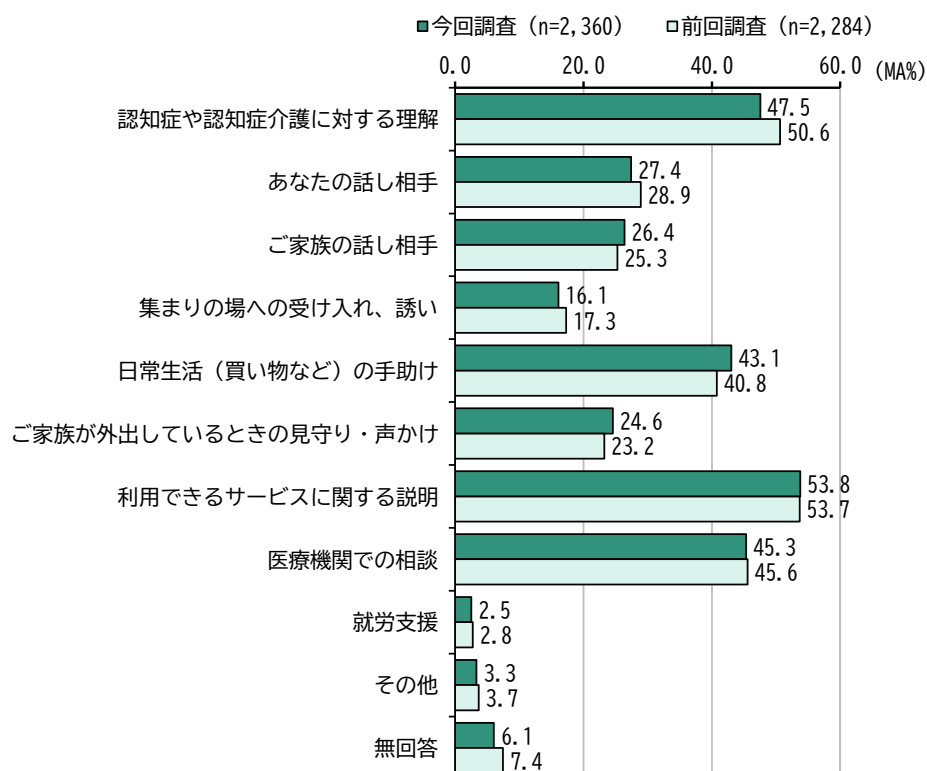
問8

①-2

あなたが認知症になったら、どんな支援を期待しますか。(〇はいくつでも)

認知症になったら、どんな支援を期待するかについて、「利用できるサービスに関する説明」が53.8%で最も多く、次いで「認知症や認知症介護に対する理解」が47.5%、「医療機関での相談」が45.3%となっています。また、前回調査と比較して「日常生活（買い物など）の手助け」が2.3ポイント増加しています。

【図表 2-8-2 認知症になったら、どんな支援を期待するか】

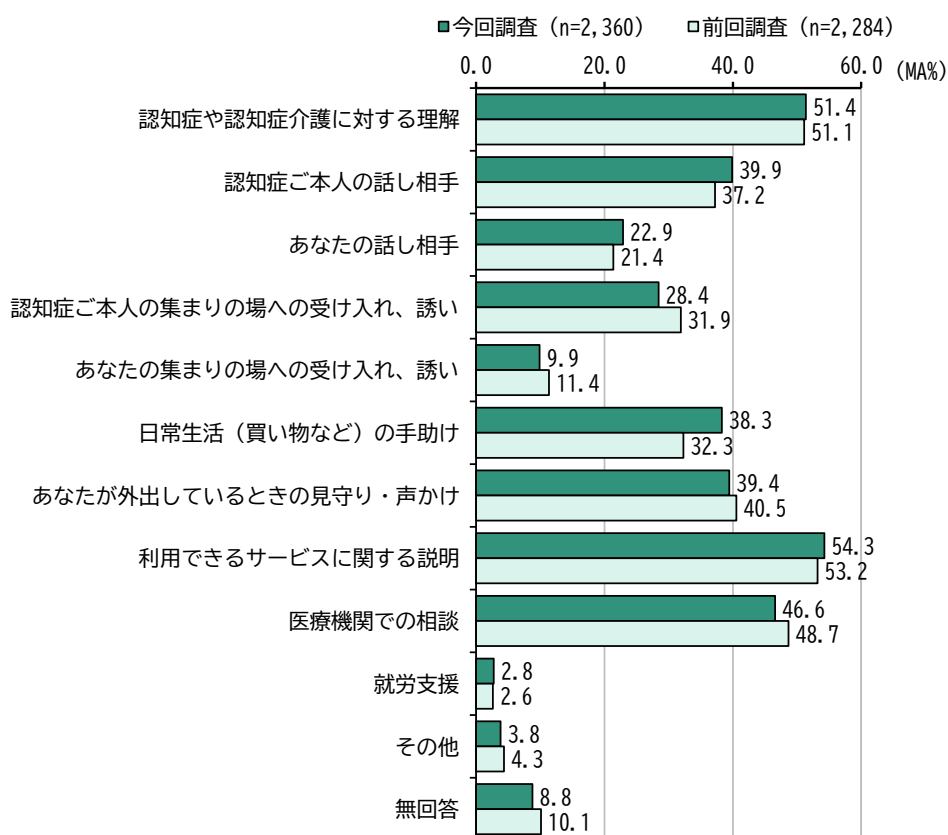


(3) 家族が認知症になったら、どんな支援を期待するか

問8	①-3	あなたの家族が認知症になったら、どんな支援を期待しますか。 (〇はいくつでも)
----	-----	--

家族が認知症になったら、どんな支援を期待するかについて、「利用できるサービスに関する説明」が54.3%で最も多く、次いで「認知症や認知症介護に対する理解」が51.4%、「医療機関での相談」が46.6%となっています。また、前回調査と比較して「利用できるサービスに関する説明」が1.1ポイント増加しています。

【図表 2-8-3 家族が認知症になったら、どんな支援を期待するか】

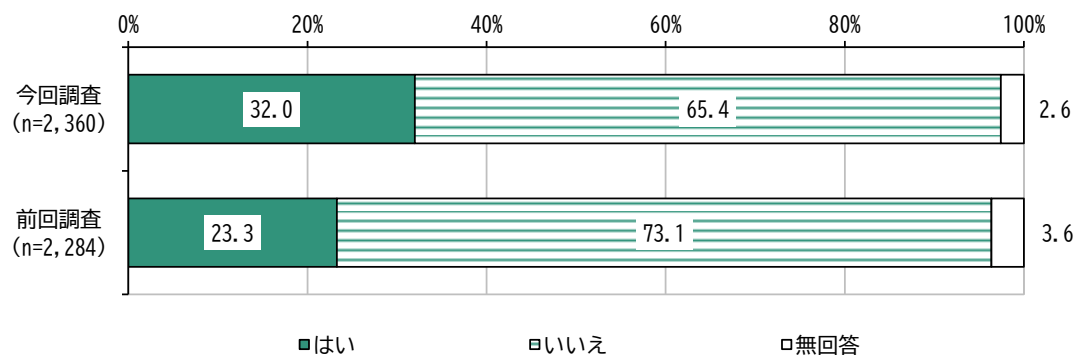


(4) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問8 ②-1 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

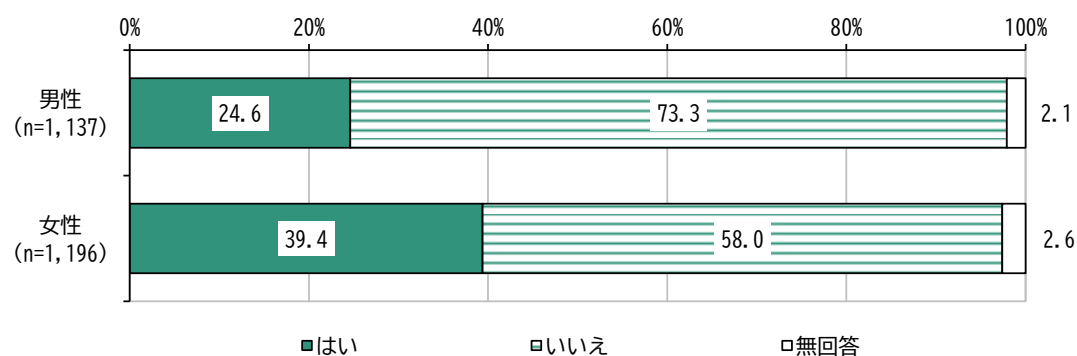
認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が32.0%、「いいえ」が65.4%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が7.7ポイント減少しています。

【図表 2-8-4 認知症に関する相談窓口を知っているか】



性別でみると、「はい」について、男性では24.6%、女性では39.4%となっており、女性が14.8ポイント高くなっています。

【図表 2-8-5 認知症に関する相談窓口を知っているか（性別）】



(5) 市の施策を知っているか

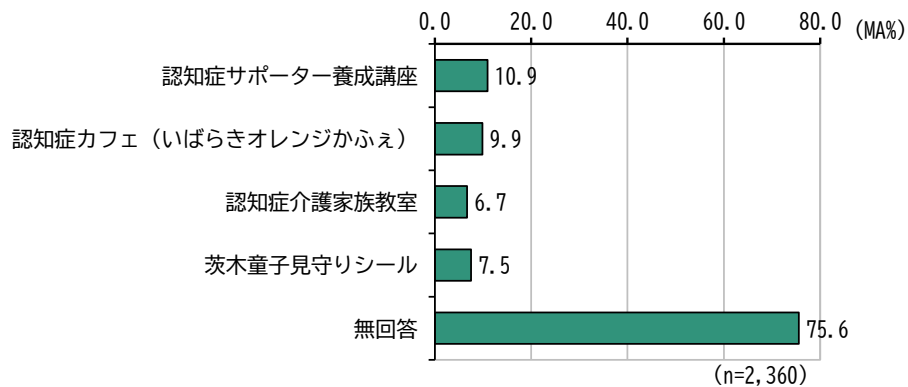
問8

②-2

次の市の施策を知っていますか？(○はいくつでも)

市の施策を知っているかについて、「認知症サポーター養成講座」が10.9%で最も多く、次いで「認知症カフェ（いばらきオレンジかふえ）」が9.9%、「茨木童子見守りシール」が7.5%となっています。

【図表 2-8-6 市の施策を知っているか】



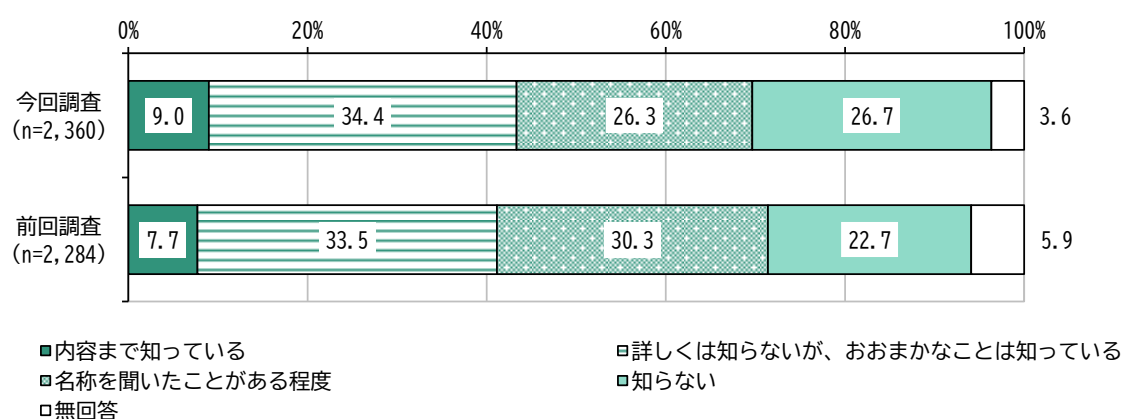
9. 毎日の生活について

(1) 「成年後見制度」を知っているか

問9 ① あなたは、「成年後見制度」を知っていますか(○は1つ)

「成年後見制度」を知っているかについて、「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が34.4%で最も多く、次いで「知らない」が26.7%、「名称を聞いたことがある程度」が26.3%となっています。また、前回調査と比較して「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が0.9ポイント増加しています。

【図表 2-9-1 「成年後見制度」を知っているか】

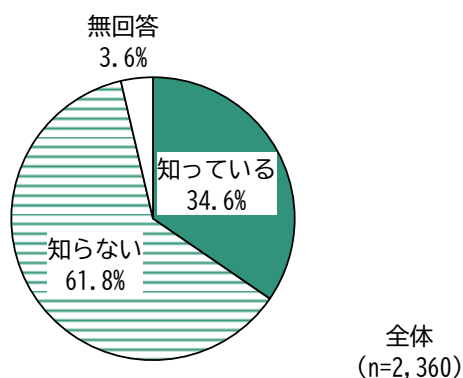


(2) 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先を知っているか

問9 ②-1 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談(通報)先を知っていますか。(○は1つ)

虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先を知っているかについて、「知っている」が34.6%、「知らない」が61.8%となっています。

【図表 2-9-2 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談先を知っているか】

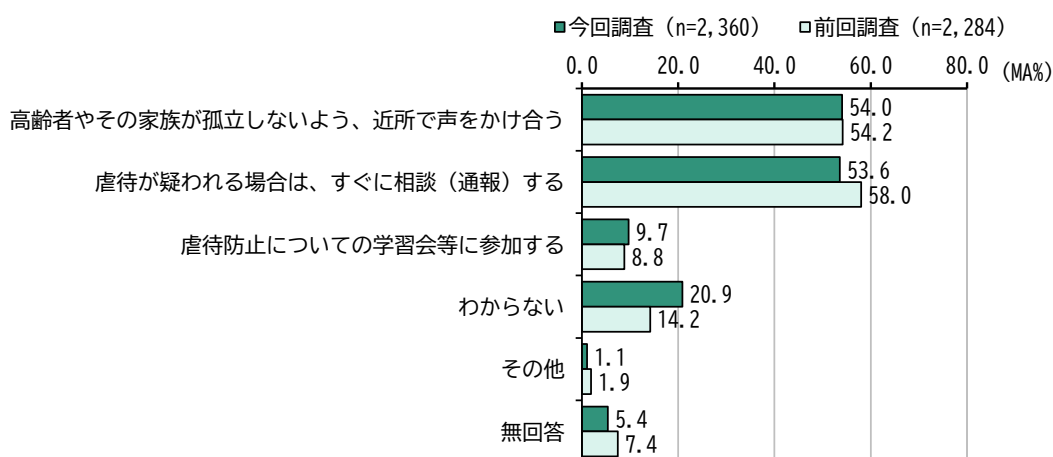


(3) 高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組みが必要か

問9	②-2	高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組みが必要と思われますか。(〇はいくつでも)
----	-----	--

高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組みが必要かについて、「高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う」が54.0%で最も多く、次いで「虐待が疑われる場合は、すぐに相談（通報）する」が53.6%、「わからない」が20.9%となっています。また、前回調査と比較して「高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う」が0.2ポイント減少しています。

【図表 2-9-3 高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取組みが必要か】

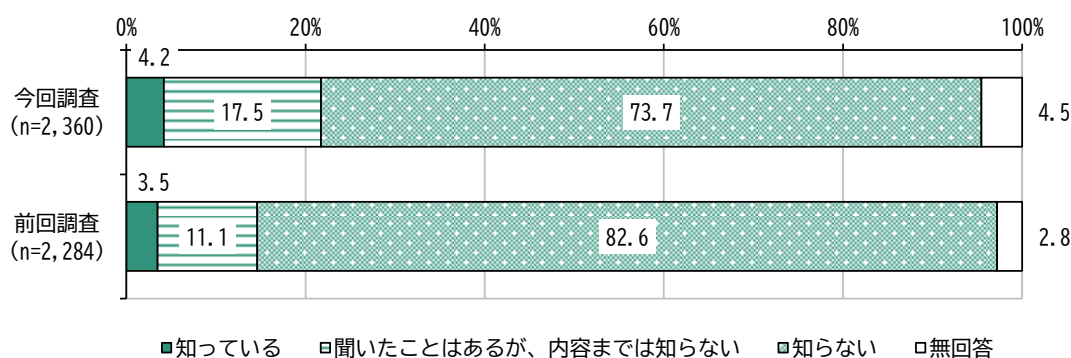


(4) 人生会議について知っているか

問9	③-1	人生会議(ACP、アドバンス・ケア・プランニング)について、知っていますか。(〇は1つ)
----	-----	--

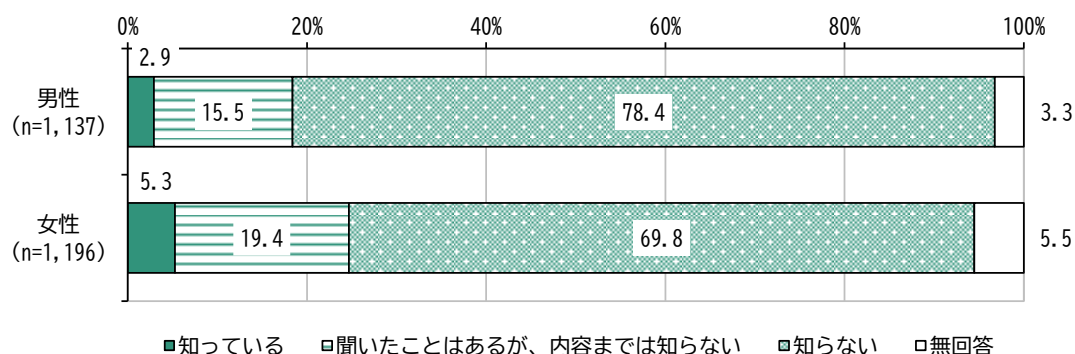
人生会議について知っているかについて、「知らない」が73.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が17.5%、「知っている」が4.2%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が8.9ポイント減少しています。

【図表 2-9-4 人生会議について知っているか】



性別でみると、「知っている」について、男性では 2.9%、女性では 5.3%となっており、女性が 2.4 ポイント高くなっています。

【図表 2-9-5 人生会議について知っているか（性別）】



(5) 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるか

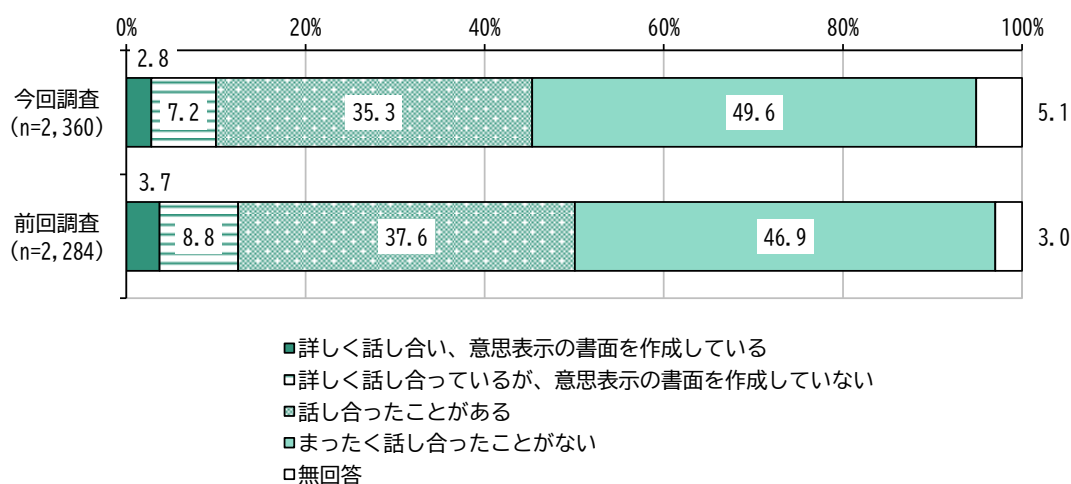
問9

③-2

人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。
(○は1つ)

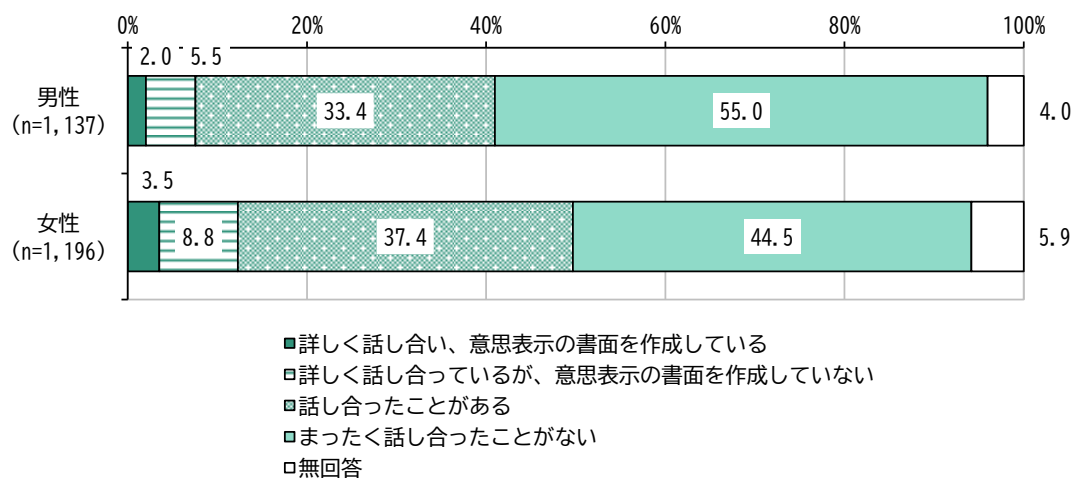
人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるかについて、「まったく話し合ったことがない」が 49.6%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が 35.3%、「詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「まったく話し合ったことがない」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表 2-9-6 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるか】



性別でみると、男性・女性ともに「まったく話し合ったことがない」が最も多くなっています。

【図表 2-9-7 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるか（性別）】

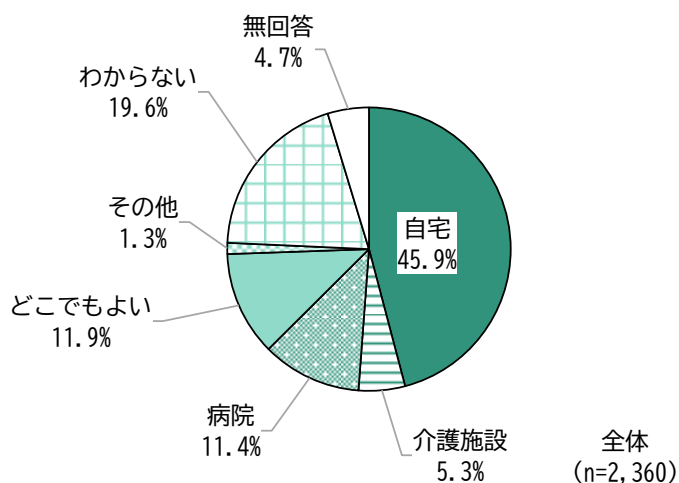


(6) 人生の最期を過ごしたい場所はどこか

問9 ③-3 人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。(○は1つ)

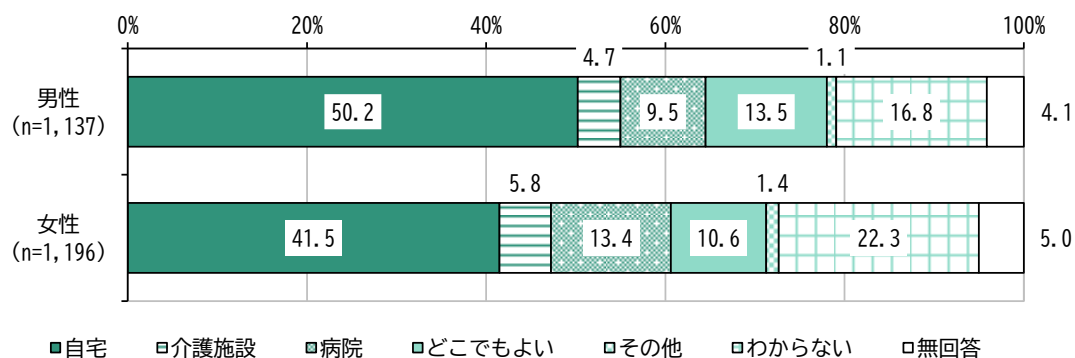
人生の最期を過ごしたい場所はどこかについて、「自宅」が45.9%で最も多く、次いで「わからない」が19.6%、「どこでもよい」が11.9%となっています。

【図表 2-9-8 人生の最期を過ごしたい場所はどこか】



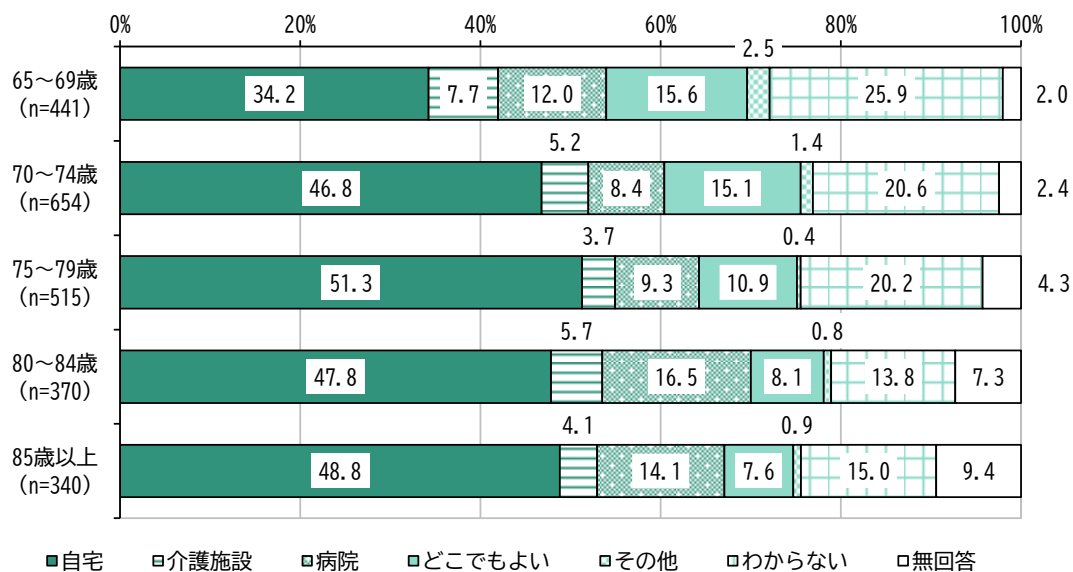
性別でみると、男性・女性ともに「自宅」が最も多くなっています。

【図表 2-9-9 人生の最期を過ごしたい場所はどこか（性別）】



年齢別にみると、「自宅」では、75～79歳が51.3%で最も多くなっています。

【図表 2-9-10 人生の最期を過ごしたい場所はどこか（年齢別）】



(7) 終活について、不安に思うこと

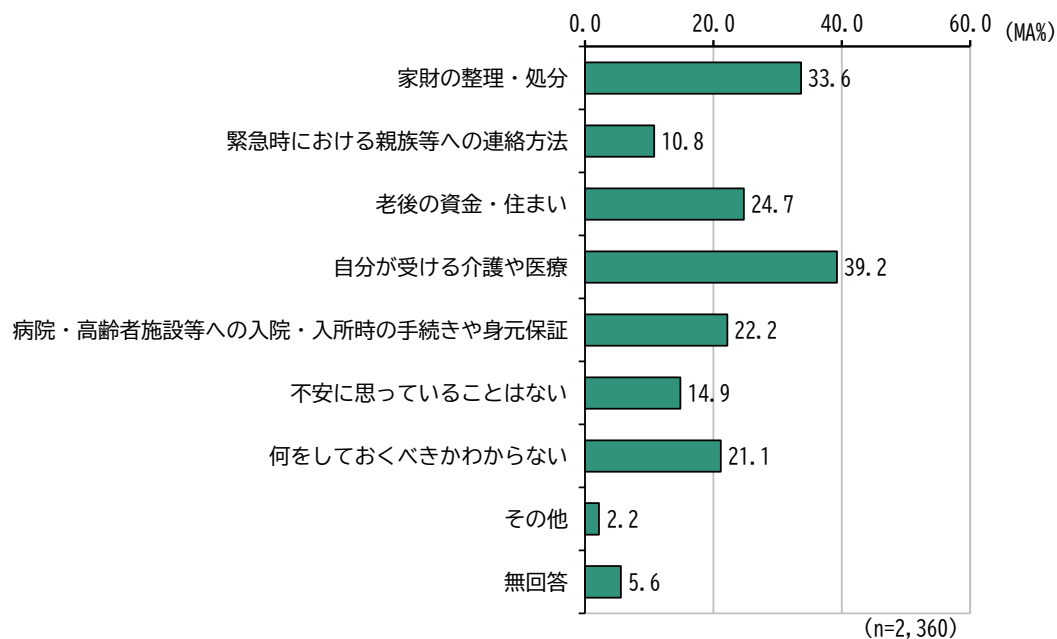
問9

④-1

終活について、現在、不安に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

終活について、不安に思うことについて、「自分が受ける介護や医療」が39.2%で最も多く、次いで「家財の整理・処分」が33.6%、「老後の資金・住まい」が24.7%となっています。

【図表 2-9-11 終活について、不安に思うこと】



(8) 終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと

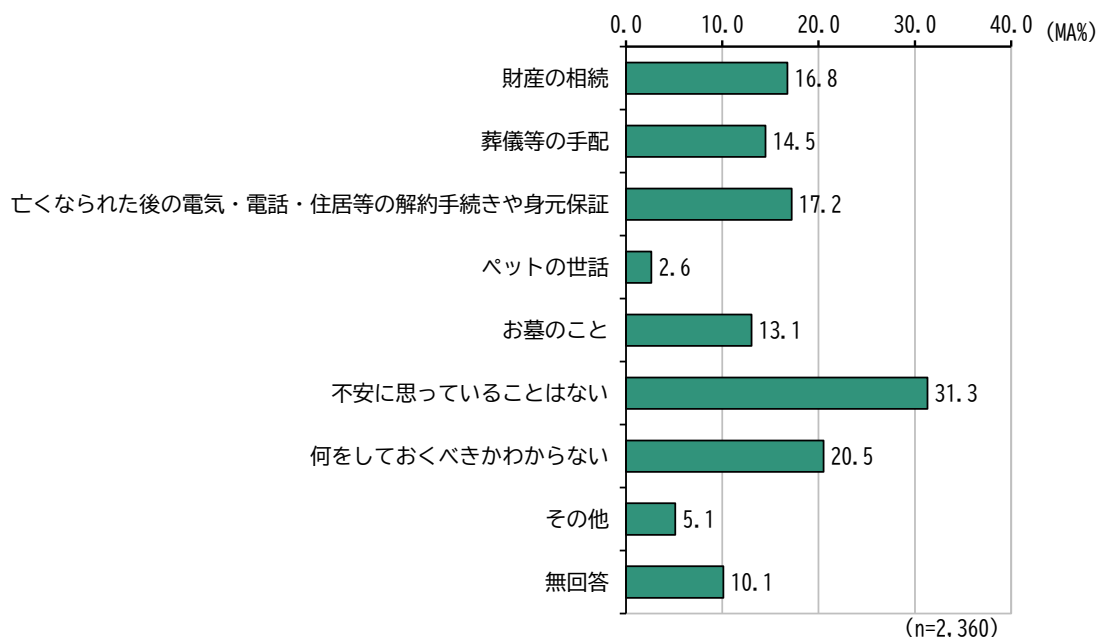
問9

④-2

終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うことはありますか。
(〇はいくつでも)

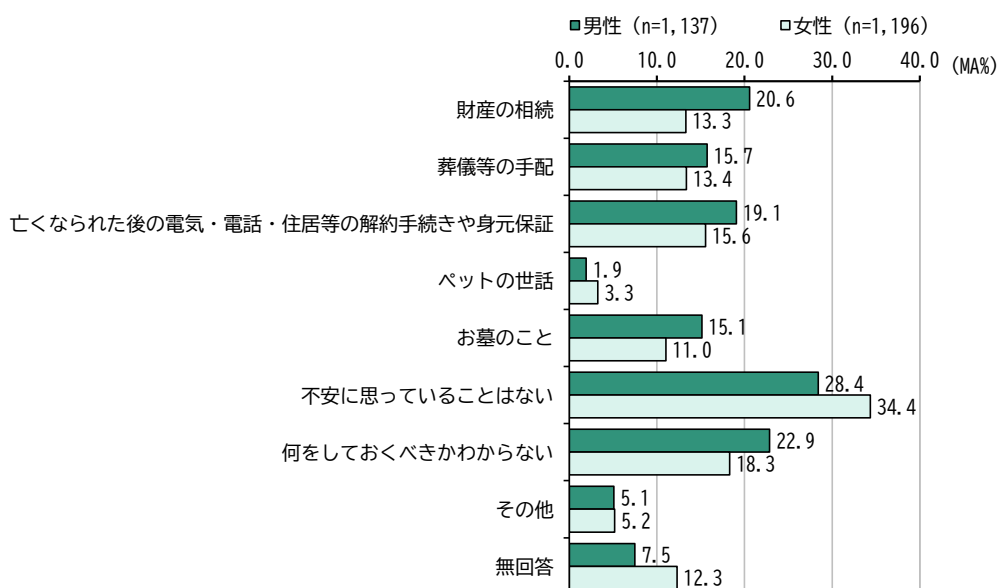
終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うことについて、「不安に思っていることはない」が31.3%で最も多く、次いで「何をしておくべきかわからない」が20.5%、「亡くなられた後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証」が17.2%となっています。

【図表 2-9-12 終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと】



性別でみると、男性・女性ともに「不安に思っていることはない」が最も多くなっています。

【図表 2-9-13 終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと（性別）】



「何をしておくべきかわからない」について、年齢別にみると、70～74歳が22.3%で最も多く、圏域別にみると、北圏域が23.8%で最も多くなっています。

【図表 2-9-14 終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

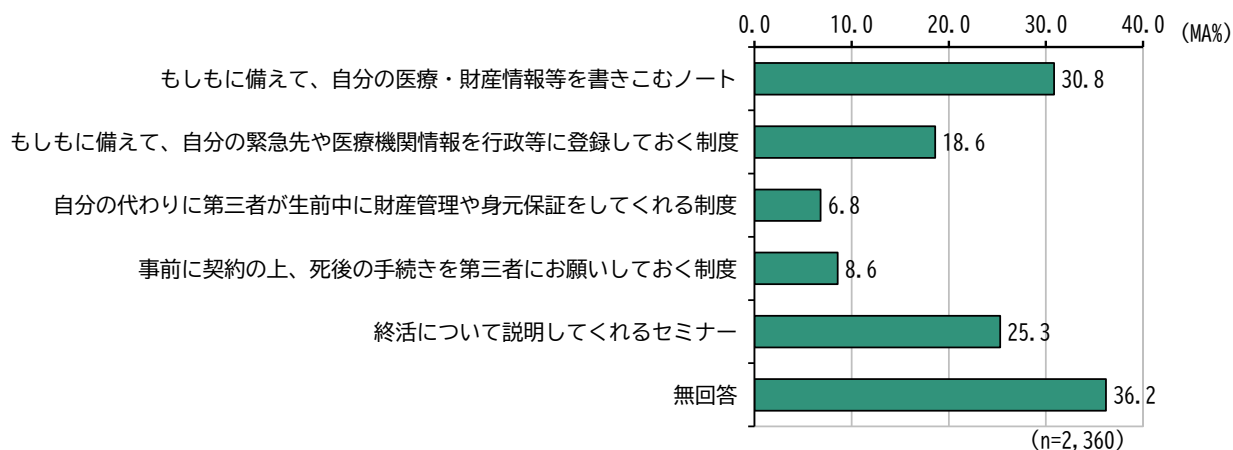
	合計（人）	財産の相続	葬儀等の手配	亡くなられた後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証	ペットの世話	お墓のこと	不安に思っていることはない	何をしておくべきかわからない	その他	無回答
65～69歳	441	19.0	14.7	20.0	4.3	14.5	29.9	20.9	4.5	6.1
70～74歳	654	20.0	17.3	19.7	2.4	14.5	29.4	22.3	5.5	6.7
75～79歳	515	16.9	13.0	16.7	2.5	13.8	31.8	19.0	4.9	9.9
80～84歳	370	13.2	14.3	14.6	1.6	13.0	32.2	21.1	3.8	14.1
85歳以上	340	12.1	12.1	13.2	2.1	7.4	35.9	18.5	6.5	16.8
北圏域	479	16.1	14.0	16.7	2.5	12.9	29.4	23.8	5.2	9.8
東圏域	487	16.2	14.8	18.9	2.3	11.3	33.3	16.0	5.5	12.5
西圏域	480	19.2	14.4	17.7	2.7	14.6	34.6	18.5	4.2	6.5
中央圏域	326	16.6	13.2	16.9	2.8	12.0	32.2	22.7	6.1	9.8
南圏域	484	16.9	15.3	14.5	2.7	14.0	29.8	20.5	4.5	11.2

(9) 終活に関わることで、興味がある制度や利用したいもの

問9	④-3	終活に関わることで、興味がある制度や利用したいものはありますか。 (〇はいくつでも)
----	-----	---

終活に関わることで、興味がある制度や利用したいものについて、「もしもに備えて、自分の医療・財産情報等を書きこむノート」が30.8%で最も多く、次いで「終活について説明してくれるセミナー」が25.3%、「もしもに備えて、自分の緊急先や医療機関情報を行政等に登録しておく制度」が18.6%となっています。

【図表 2-9-15 終活に関わることで、興味がある制度や利用したいもの】



「もしもに備えて、自分の医療・財産情報等を書きこむノート」について、年齢別にみると、70～74歳が36.2%で最も多く、圏域別にみると、西圏域が33.8%で最も多くなっています。

【図表 2-9-16 終活に関わることで、興味がある制度や利用したいもの（年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

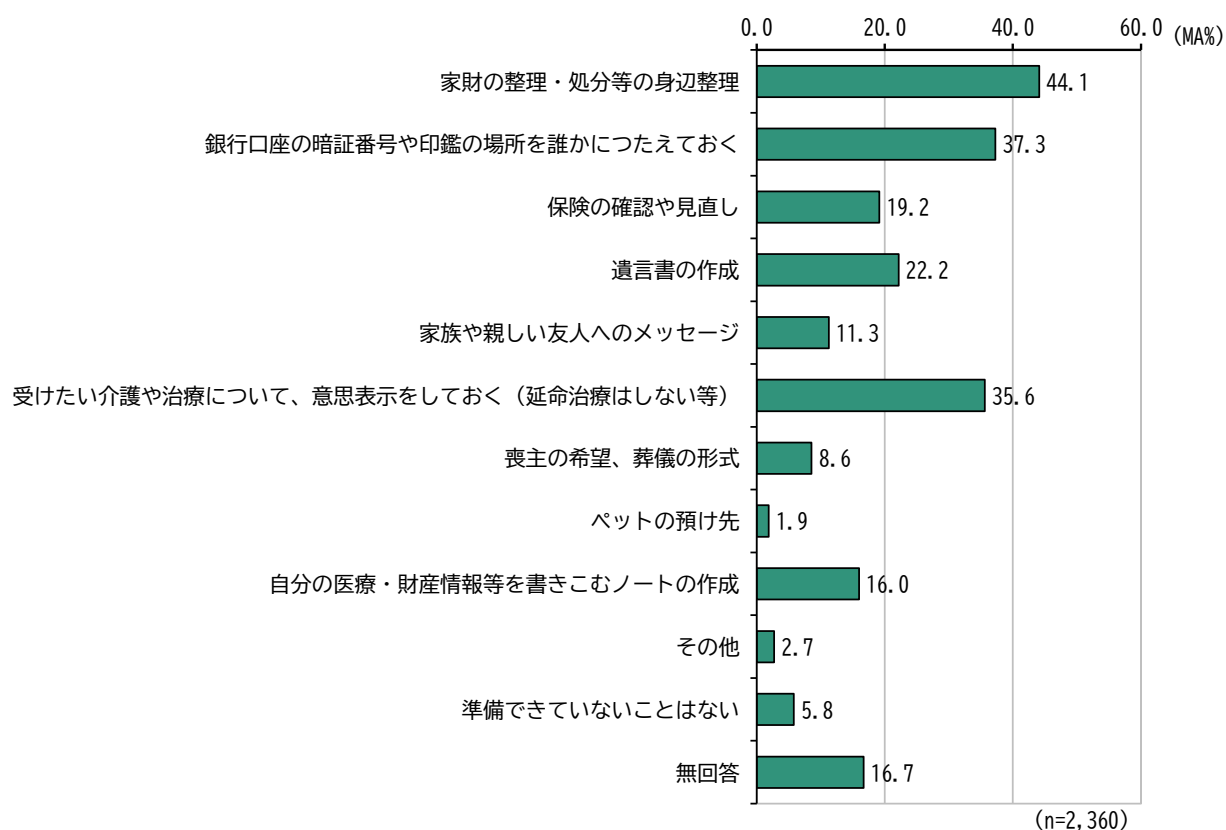
	合計 (人)	療も しも ノ・財 ト産 に情 備 等 を 書 き こ む 医 生	等 急 し も に 登 録 し て お く 制 度	を 前 自 分 中 の 代 わ り に 財 産 管 理 に 関 与 し た 制 度	お 続 事 前 に 契 約 の 上 に お 願 い し て 手 続 制 度	終 活 に 関 する セ ミ ナ ー に 参 加 し て 説 明 し て く れ る	無 回 答
65～69歳	441	34.9	22.2	9.1	12.5	31.7	24.7
70～74歳	654	36.2	19.1	8.1	9.9	28.0	29.5
75～79歳	515	29.3	17.3	6.0	7.2	25.0	35.9
80～84歳	370	27.8	18.9	4.1	4.9	21.1	45.1
85歳以上	340	22.4	15.9	5.9	7.6	16.2	52.9
北圏域	479	30.1	18.6	5.2	9.2	22.3	38.2
東圏域	487	31.6	18.5	5.5	8.6	28.1	35.5
西圏域	480	33.8	18.8	7.1	7.9	27.5	31.0
中央圏域	326	30.4	19.0	8.3	10.4	22.1	39.3
南圏域	484	30.6	18.2	7.2	7.2	25.8	36.4

(10) 事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはあるか

問9	④-4	もしもに備えて、事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはありますか。(〇はいくつでも)
----	-----	---

事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはあるかについて、「家財の整理・処分等の身辺整理」が44.1%で最も多く、次いで「銀行口座の暗証番号や印鑑の場所を誰かにつたえておく」が37.3%、「受けたい介護や治療について、意思表示をしておく（延命治療はしない等）」が35.6%となっています。

【図表 2-9-17 事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはあるか】



(11) 準備できていない理由

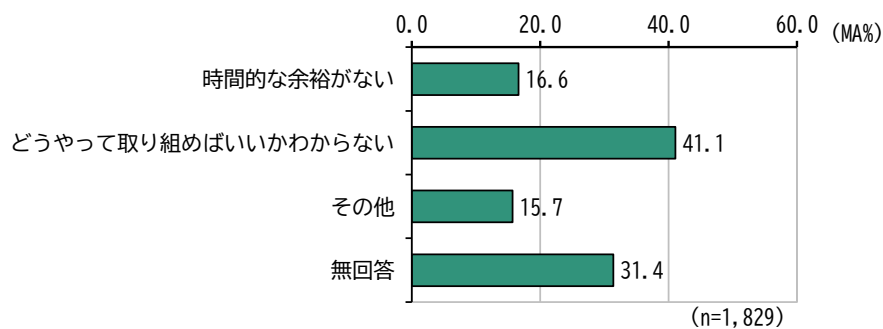
問9

④-5

〈④-4〉で「家財の整理・処分等の身辺整理」～「その他」を回答された方のみ
準備できていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

準備できていない理由について、「どうやって取り組めばいいかわからない」が41.1%で最も多く、次いで「時間的な余裕がない」が16.6%となっています。

【図表 2-9-18 準備できていない理由】



(12) 在宅医療について知っているか

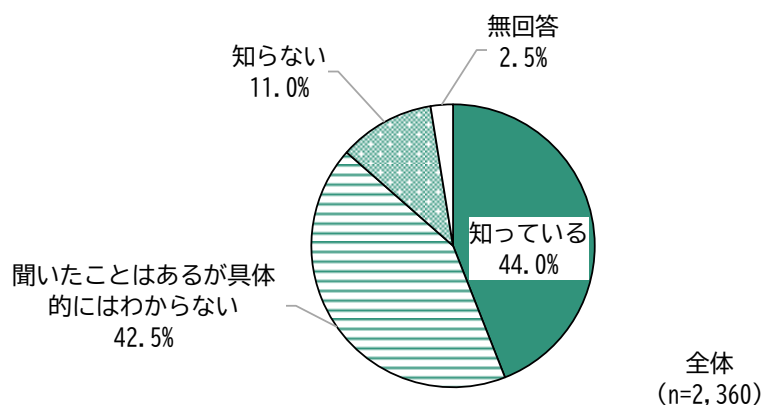
問9

⑤-1

在宅医療について知っていますか。(〇は1つ)

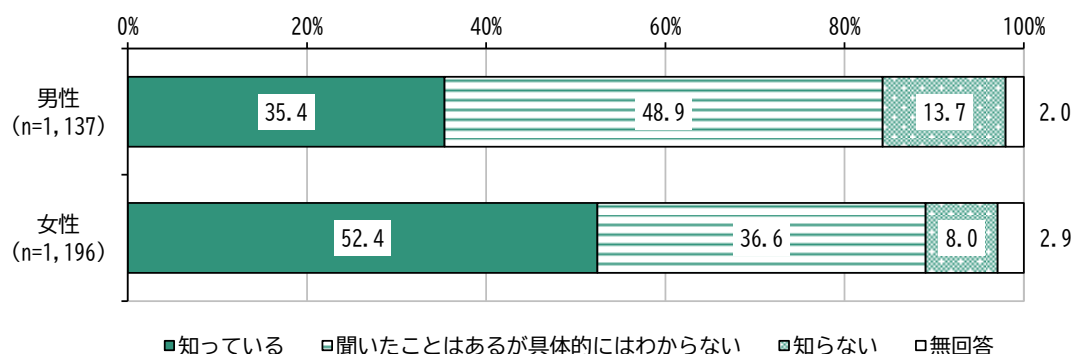
在宅医療について知っているかについて、「知っている」が44.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが具体的にはわからない」が42.5%、「知らない」が11.0%となっています。

【図表 2-9-19 在宅医療について知っているか】



性別でみると、男性では、「聞いたことはあるが具体的にはわからない」が 48.9%で最も多く、女性では、「知っている」が 52.4%で最も多くなっています。

【図表 2-9-20 在宅医療について知っているか（性別）】



(13) 通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うか

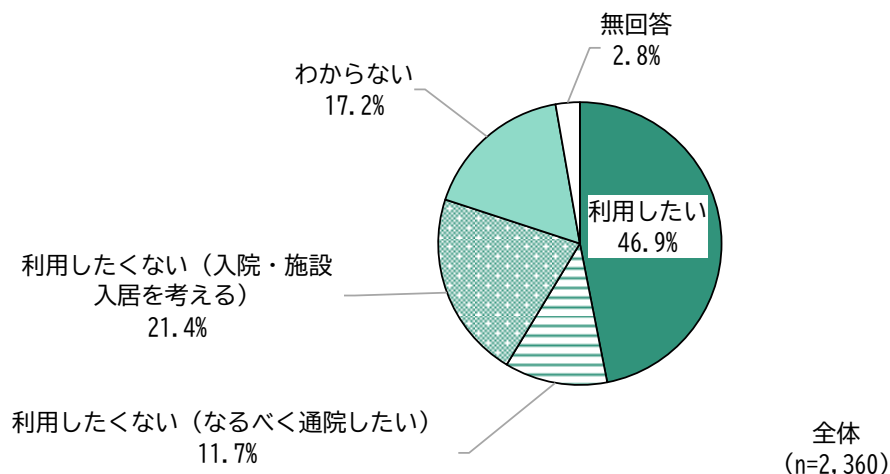
問9

⑤-2

将来、通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思いますか。(○は1つ)

通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うかについて、「利用したい」が 46.9%で最も多く、次いで「利用したくない（入院・施設入居を考える）」が 21.4%、「わからない」が 17.2%となっています。

【図表 2-9-21 通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うか】



(14) 在宅医療に対してどのような印象があるか

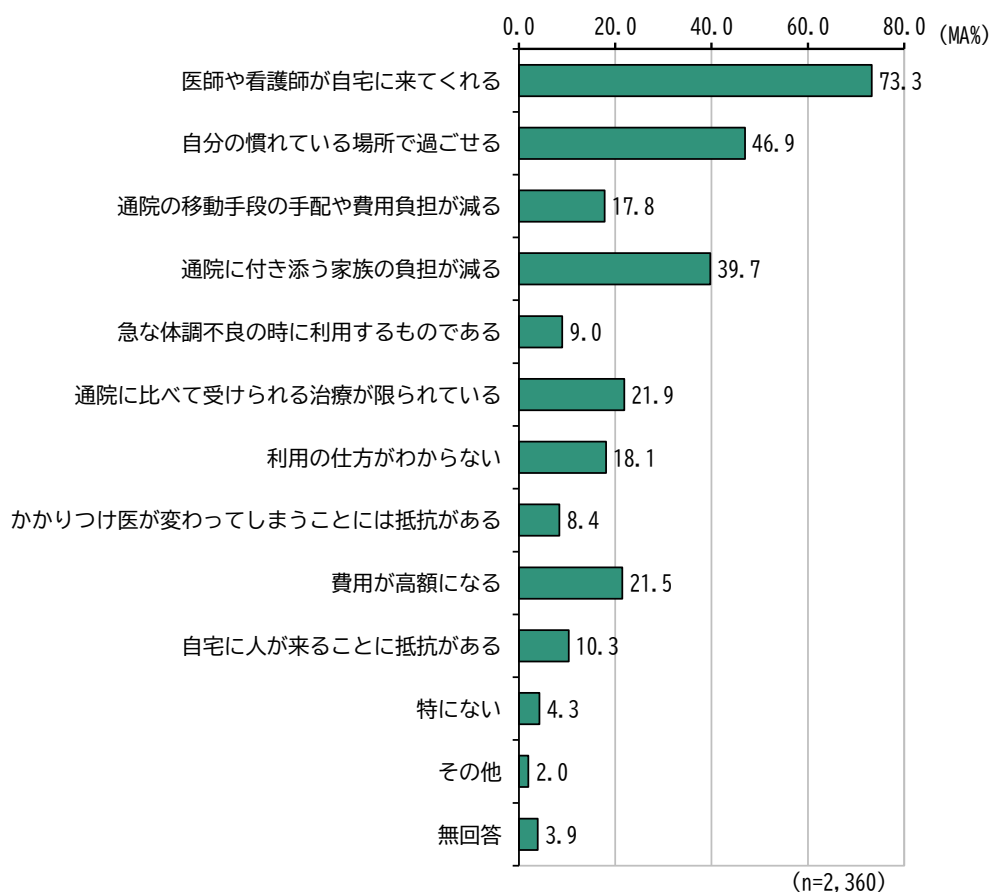
問9

⑤-3

在宅医療に対してどのような印象がありますか。(〇はいくつでも)

在宅医療に対してどのような印象があるかについて、「医師や看護師が自宅に来てくれる」が 73.3%で最も多く、次いで「自分の慣れている場所で過ごせる」が 46.9%、「通院に付き添う家族の負担が減る」が 39.7%となっています。

【図表 2-9-22 在宅医療に対してどのような印象があるか】

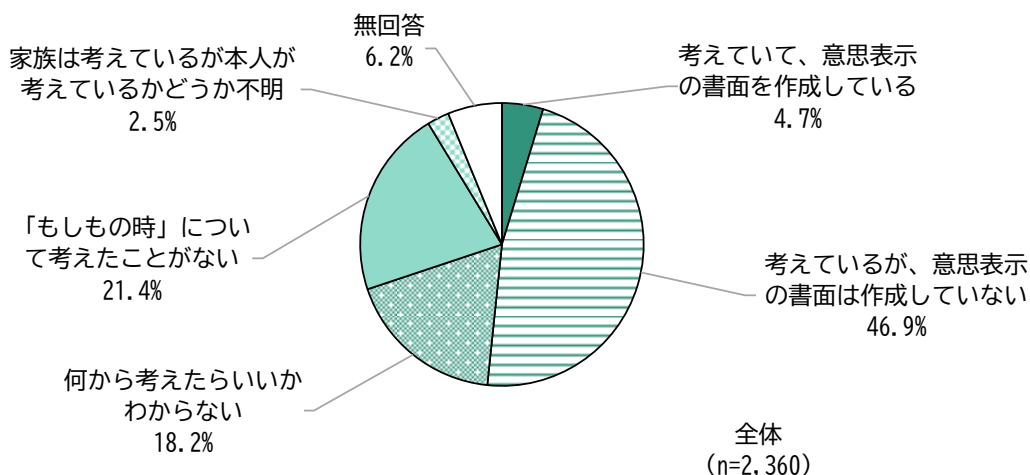


(15) 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるか

問9	⑤-4	容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、考えたことはありますか。(○は1つ)
----	-----	--

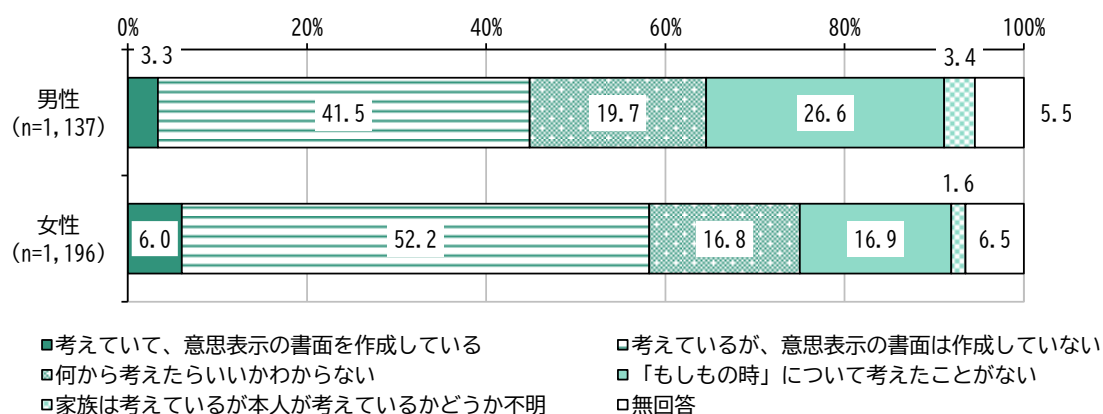
容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるかについて、「考えているが、意思表示の書面は作成していない」が46.9%で最も多く、次いで「もしもの時」について考えたことがない」が21.4%、「何から考えたらいいかわからない」が18.2%となっています。

【図表 2-9-23 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるか】



性別でみると、男性・女性ともに「考えているが、意思表示の書面は作成していない」が最も多くなっています。

【図表 2-9-24 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるか（性別）】

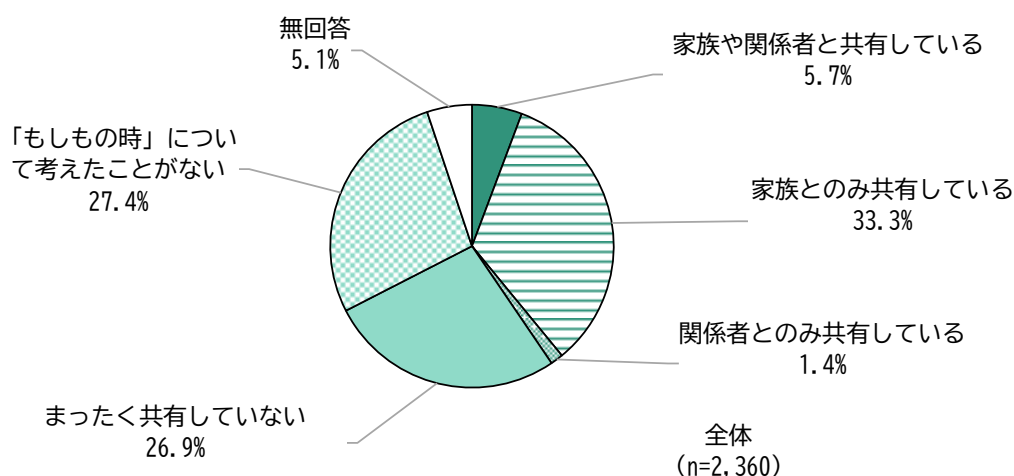


(16) 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか

問9	⑤-5	容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、家族や関係者(主治医・ケアマネジャー等)と共有していますか。(○は1つ)
----	-----	--

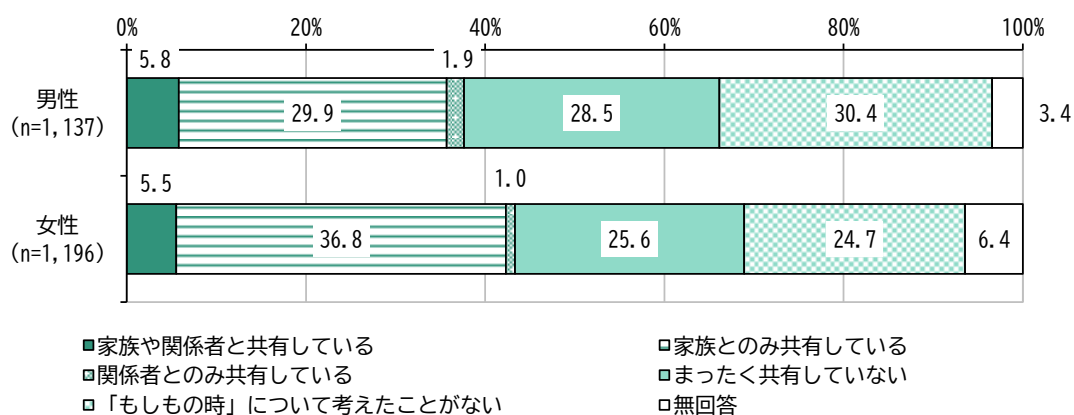
容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているかについて、「家族とのみ共有している」が33.3%で最も多く、次いで「「もしもの時」について考えたことがない」が27.4%、「まったく共有していない」が26.9%となっています。

【図表 2-9-25 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか】



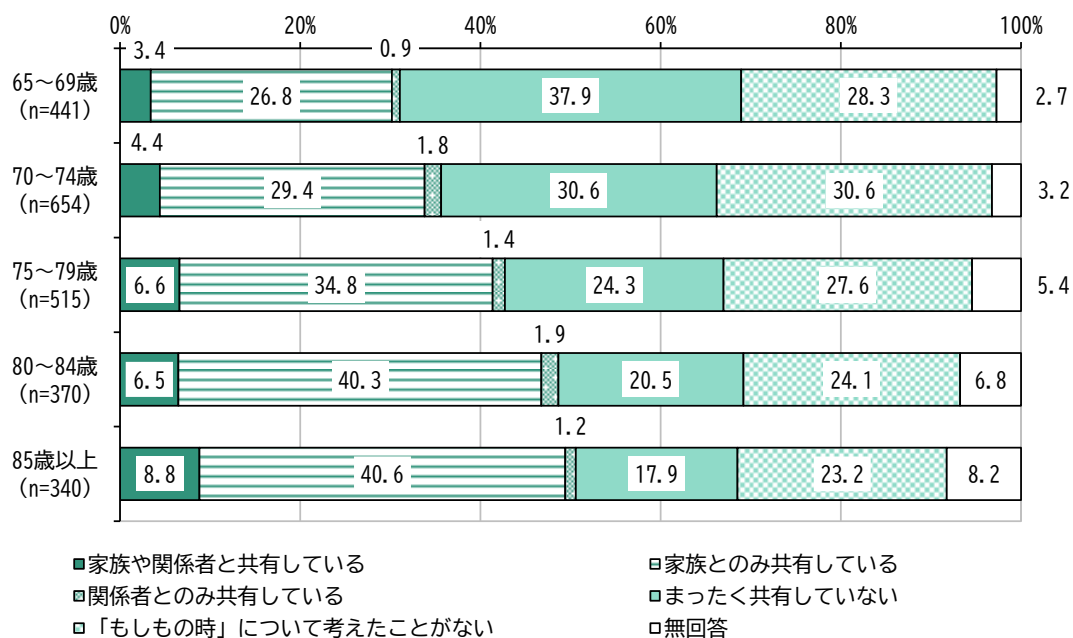
性別でみると、男性では、「「もしもの時」について考えたことがない」が30.4%で最も多く、女性では、「家族とのみ共有している」が36.8%で最も多くなっています。

【図表 2-9-26 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか（性別）】



年齢別にみると、「家族や関係者と共有している」では、85歳以上が8.8%で最も多くなっています。

【図表 2-9-27 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか（年齢別）】



10. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 運動機能の低下

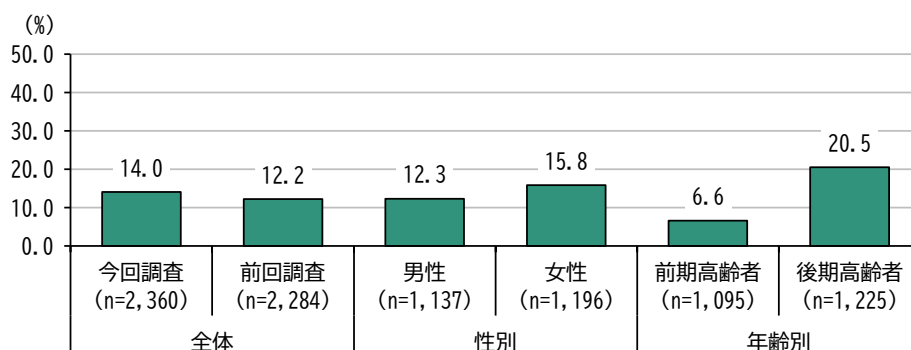
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表 2-10-1 運動機能の低下を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 2	①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問 2	②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問 2	③-1	15 分位続けて歩いていますか。	「できない」
問 2	④	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問 2	⑤	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

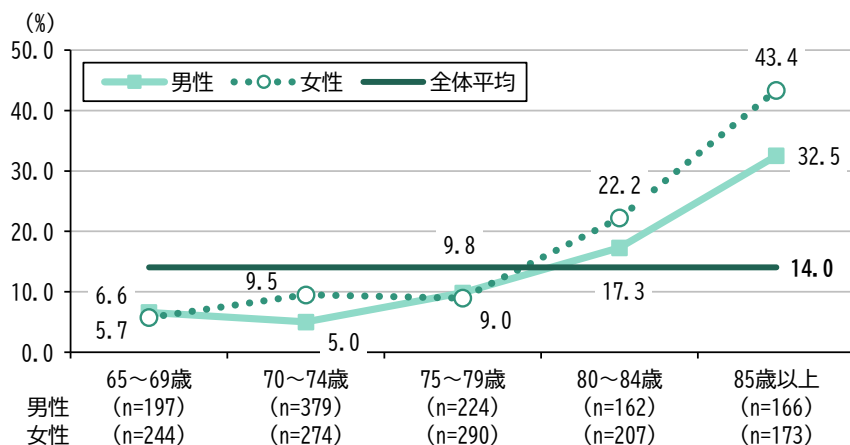
運動機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 14.0%となっています。前回調査と比較すると、1.8 ポイント増加しています。

【図表 2-10-2 運動機能の低下 該当者の割合】



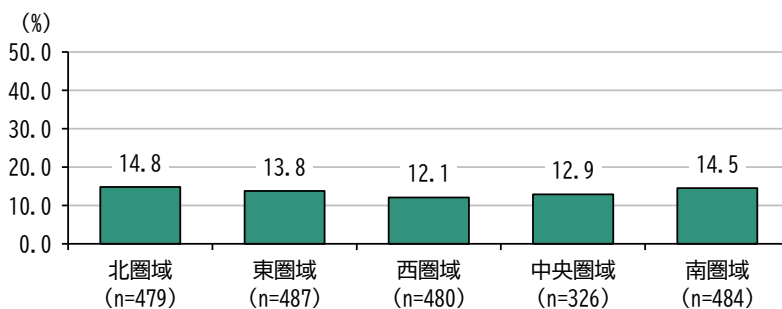
性別・年齢別にみると、男性・女性ともに 75～79 歳から年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85 歳以上が最も多くなっています。

【図表 2-10-3 運動機能の低下 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、北圏域が 14.8% で最も高くなっています。

【図表 2-10-4 運動機能の低下 該当者の割合（圏域別）】



(2) 低栄養状態

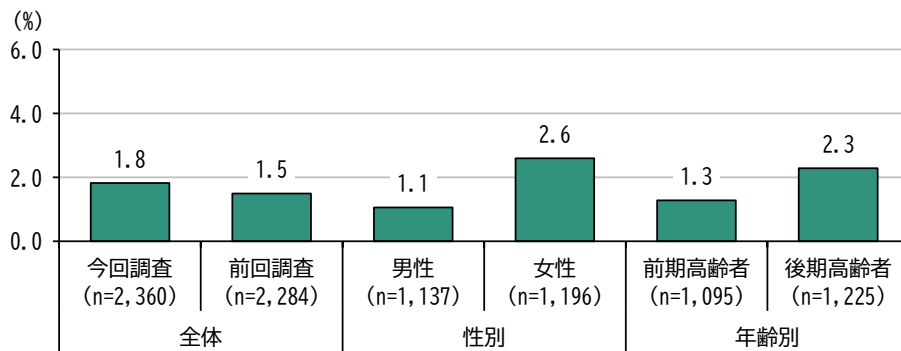
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

【図表 2-10-5 低栄養状態を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 3	①	身長と体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI (体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下
問 3	②	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	「はい」

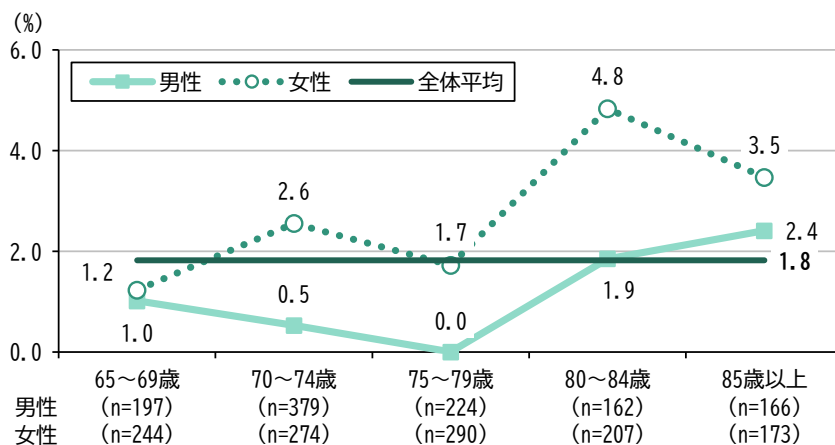
低栄養状態と判断された高齢者の割合は、全体で1.8%となっています。前回調査と比較すると、0.3ポイント増加しています。

【図表 2-10-6 低栄養状態 該当者の割合】



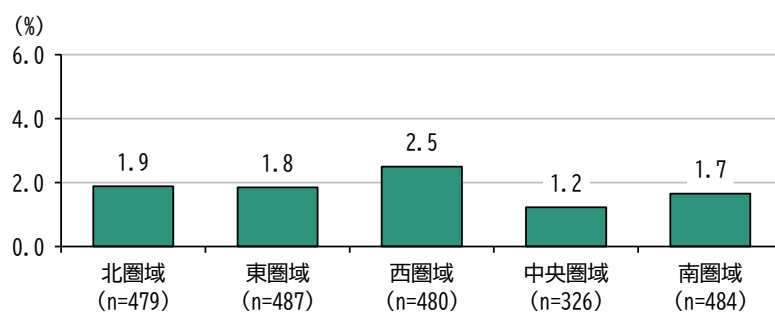
性別・年齢別にみると、男性では85歳以上が2.4%で最も多く、女性では80～84歳が4.8%で最も多くなっています。

【図表 2-10-7 低栄養状態 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、西圏域が2.5%で最も高くなっています。

【図表 2-10-8 低栄養状態 該当者の割合（圏域別）】



(3) 閉じこもり傾向

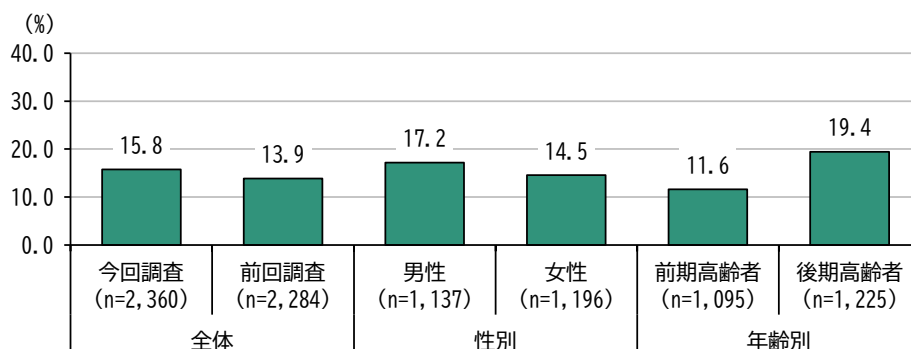
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【図表 2-10-9 閉じこもり傾向を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 2	⑥	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

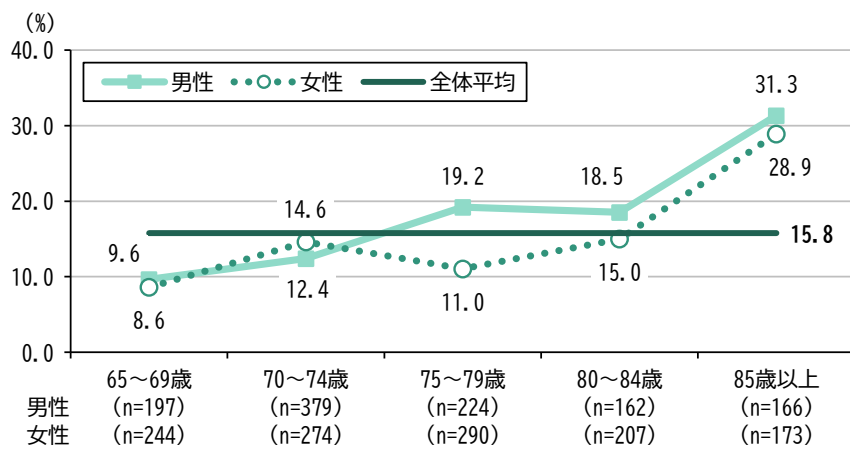
閉じこもり傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 15.8%となっています。前回調査と比較すると、1.9 ポイント増加しています。

【図表 2-10-10 閉じこもり傾向 該当者の割合】



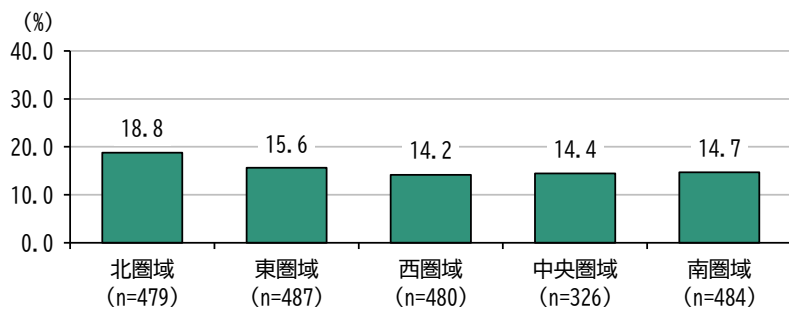
性別・年齢別にみると、男性・女性ともに85歳以上が最も多くなっています。

【図表 2-10-11 閉じこもり傾向 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、北圏域が18.8%で最も高くなっています。

【図表 2-10-12 閉じこもり傾向 該当者の割合（圏域別）】



(4) 認知機能の低下

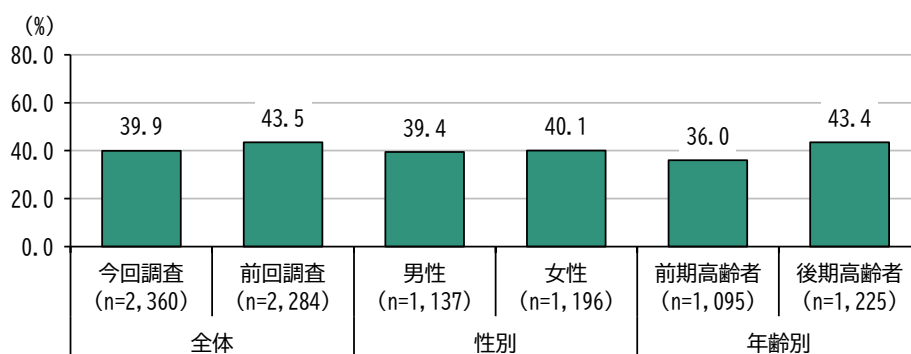
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表 2-10-13 認知機能の低下を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 4	①	物忘れが多いと感じますか。	「はい」

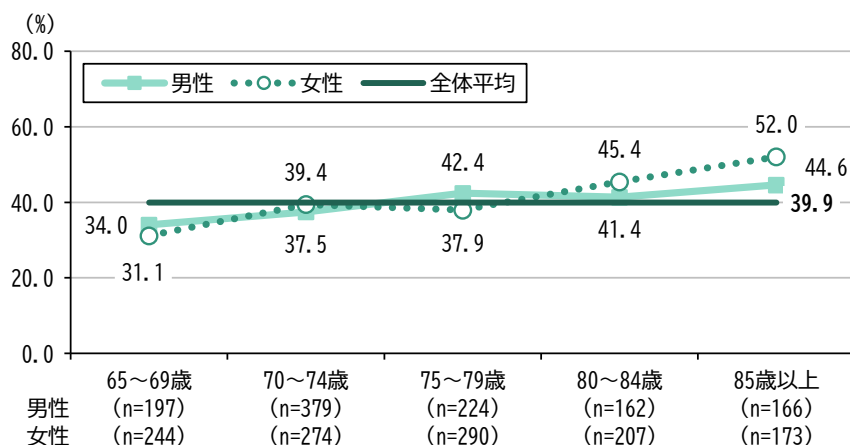
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 39.9%となっています。前回調査と比較すると、3.6 ポイント減少しています。

【図表 2-10-14 認知機能の低下 該当者の割合】



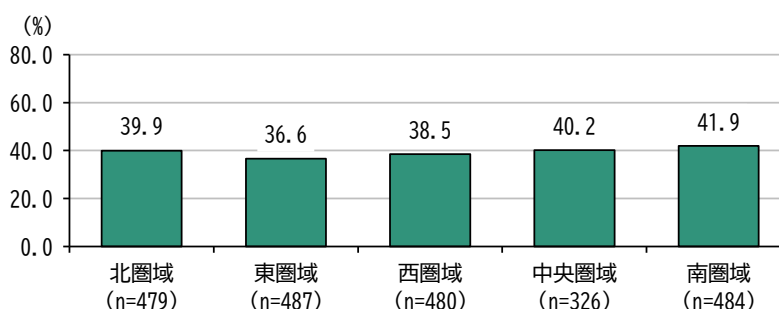
性別・年齢別にみると、男性・女性ともに 85 歳以上が最も多くなっています。

【図表 2-10-15 認知機能の低下 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、南圏域が41.9%で最も高くなっています。

【図表 2-10-16 認知機能の低下 該当者の割合（圏域別）】



(5) うつ傾向

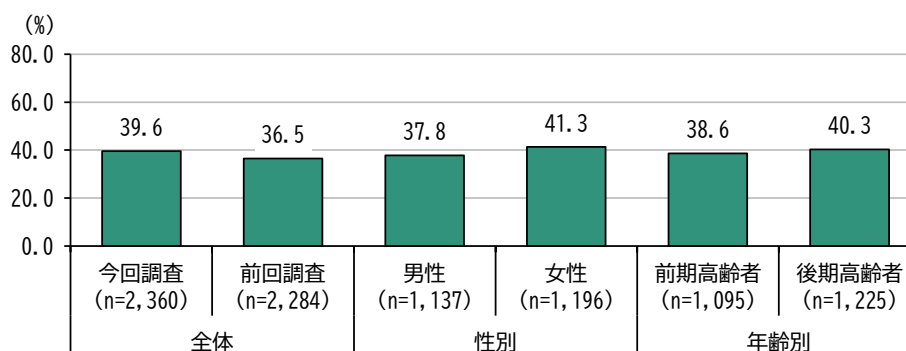
下記の2設問について、いずれか1問でも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【図表 2-10-17 うつ傾向を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問7	④	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問7	⑤	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

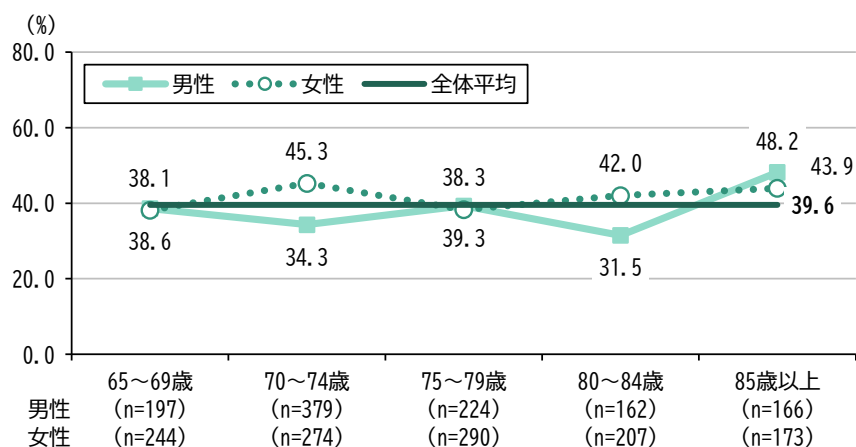
うつ傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 39.6%となっています。前回調査と比較すると、3.1ポイント増加しています。

【図表 2-10-18 うつ傾向 該当者の割合】



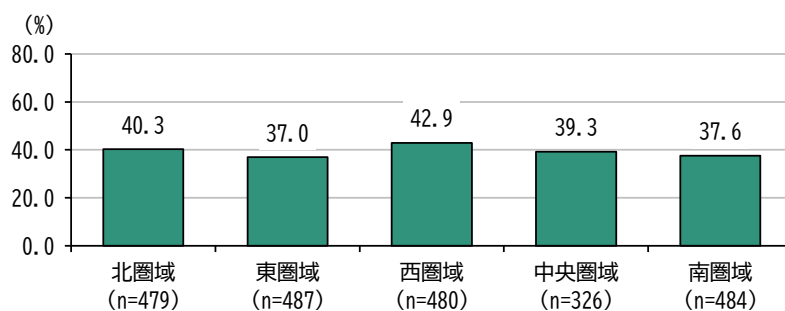
性別・年齢別にみると、男性では 85 歳以上が 48.2%で最も多く、女性では 70～74 歳が 45.3%で最も多くなっています。

【図表 2-10-19 うつ傾向 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、西圏域が 42.9%で最も高くなっています。

【図表 2-10-20 うつ傾向 該当者の割合（圏域別）】



(6) 転倒リスク

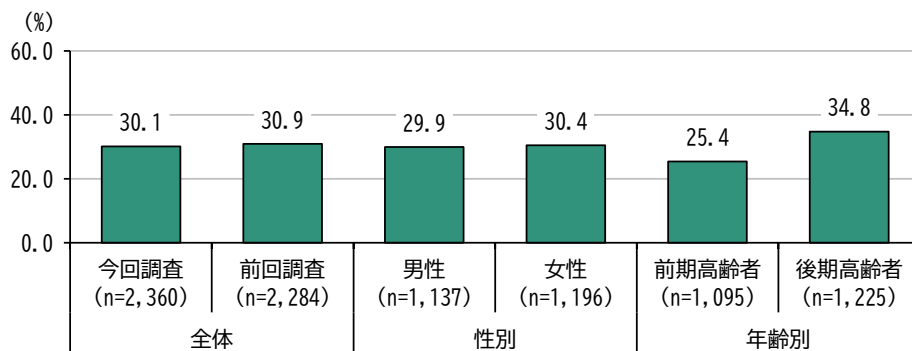
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表 2-10-21 転倒リスクを判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 2	④	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

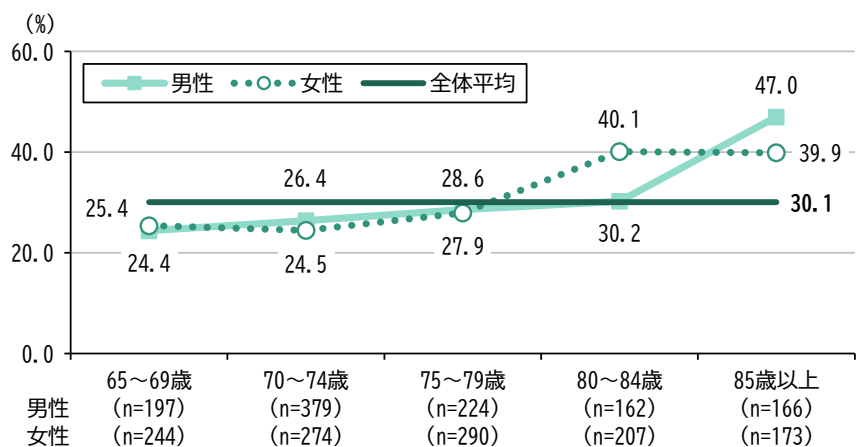
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で 30.1%となっています。前回調査と比較すると、0.8 ポイント減少しています。

【図表 2-10-22 転倒リスク 該当者の割合】



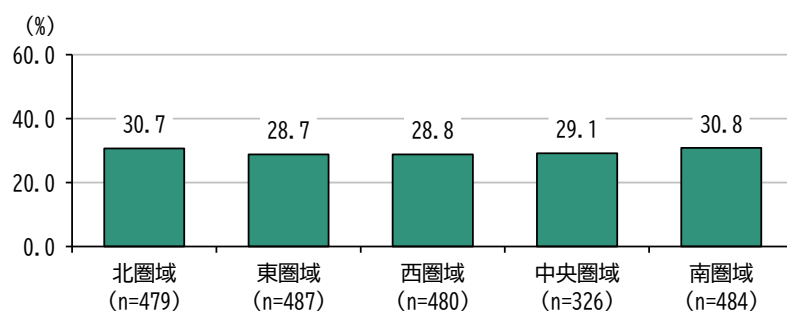
性別・年齢別にみると、男性では 85 歳以上が 47.0%で最も多く、女性では 80～84 歳が 40.1%で最も多くなっています。

【図表 2-10-23 転倒リスク 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、南圏域が30.8%で最も高くなっています。

【図表 2-10-24 転倒リスク 該当者の割合（圏域別）】



（７）IADL の低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の５設問について、該当する選択肢を回答した場合を１点として、５点満点で評価し、４点以下の場合、IADL（手段的日常生活自立度）が低下している高齢者として判定しました。

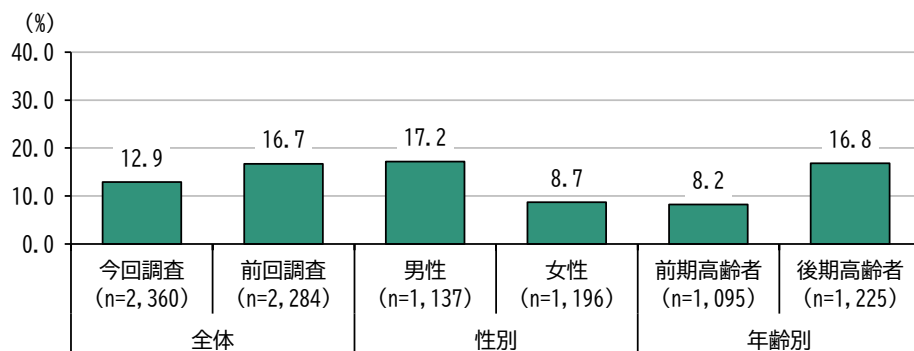
※IADL（手段的日常生活自立度）とは、買物、電話、外出等、ADL（日常生活動作：起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容）よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

【図表 2-10-25 IADL の低下を判定するための項目】

		設問	該当する選択肢
問 4	②	バスや電車を使って１人で外出していますか。 (自家用車でも可)	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 4	③	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 4	④-1	自分で食事の用意をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 4	⑤	自分で請求書の支払いをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 4	⑥	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」

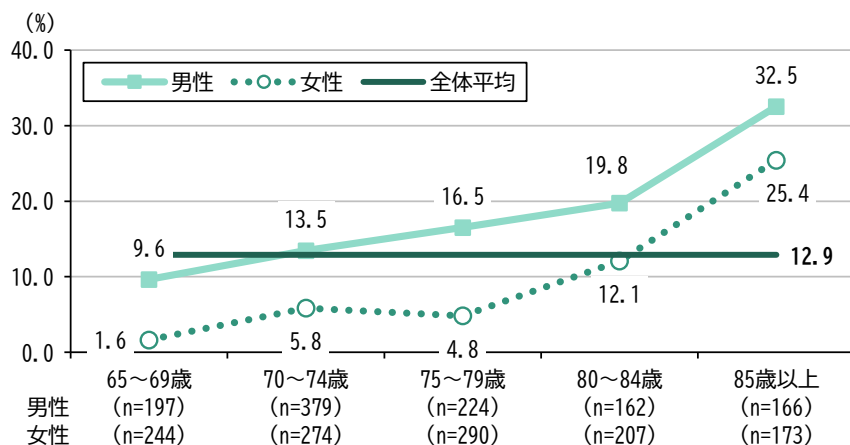
IADL が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 12.9%となっています。前回調査と比較すると、3.8 ポイント減少しています。

【図表 2-10-26 IADL の低下 該当者の割合】



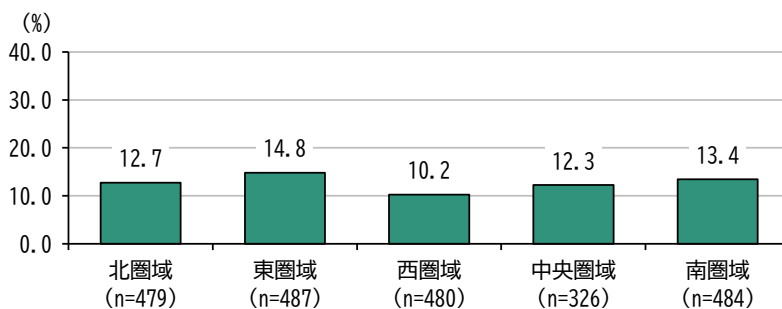
性別・年齢別にみると、男性・女性ともに 75～79 歳から年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85 歳以上が最も多くなっています。

【図表 2-10-27 IADL の低下 該当者の割合（性別・年齢別）】



圏域別でみると、東圏域が 14.8% で最も高くなっています。

【図表 2-10-28 IADL の低下 該当者の割合（圏域別）】



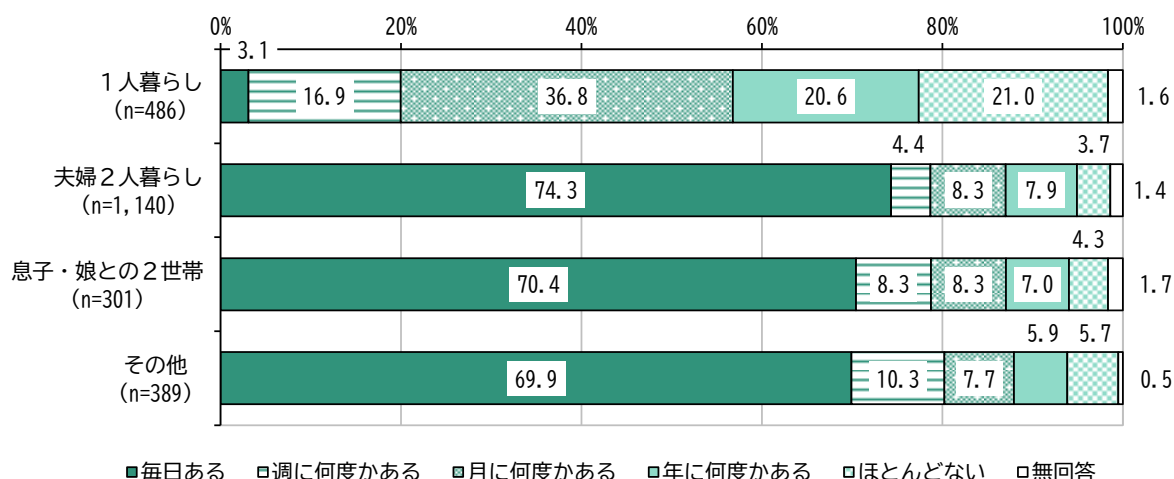
11. その他の分析

(1) 1人暮らし高齢者の状況

① 共食の状況

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「毎日ある」が3.1%となっており、他の世帯と比較して共食の機会が大幅に少なくなっています。

【図表 2-11-1 共食の状況（世帯類型別）】



② 日常生活での困りごと

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「電球の取替え」「家具などの重い物の移動」といった転倒・落下等の事故リスクが高い作業が他の世帯と比較して多くなっています。また、「安否確認と声掛け」「話し相手や相談相手」といった見守り関連も他の世帯と比較して多くなっています。

【図表 2-11-2 日常生活での困りごと（世帯類型別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)													
	合計(人)	買い物	添通いの付き	同行出先への	の最送寄迎駅まで	むす洗・濯取物を込干	ゴミ出し	え電球の取替	動重家具などの移の	調理	声安否確認と	話し相手や	相談し相手や
1人暮らし	486	7.8	4.3	3.3	5.6	3.5	3.5	21.4	29.4	5.3	6.2	7.4	7.4
夫婦2人暮らし	1,140	4.7	3.6	2.1	3.5	1.5	2.2	7.6	18.3	3.9	0.9	1.5	1.5
息子・娘との2世帯	301	6.3	6.6	3.3	3.0	2.0	3.0	9.0	18.6	3.7	1.3	4.3	4.3
その他	389	7.5	5.7	4.4	5.4	2.8	2.6	8.2	18.3	4.6	1.3	1.8	1.8

	合計(人)	除部・屋片の付掃	その他	と特はな困りごと	無回答
1人暮らし	486	13.0	5.8	42.4	7.2
夫婦2人暮らし	1,140	5.4	3.2	65.0	6.8
息子・娘との2世帯	301	7.3	4.0	62.1	3.7
その他	389	9.5	1.5	59.6	9.3

③ 心配事や愚痴を聞いてくれる人

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「そのような人はいない」が10.7%となっており、他の世帯と比較して相談機会が大幅に少なくなっています。

【図表 2-11-3 心配事や愚痴を聞いてくれる人（世帯類型別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	配偶者	同居 の子ども	別居 の子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	近 隣	友 人	そ 他	い そ な の よ う な 人 は	無 回 答
1人暮らし	486	2.3	0.4	44.2	34.2	9.1	57.2	3.7	10.7	2.3
夫婦2人暮らし	1,140	85.2	2.5	45.4	22.2	4.4	41.5	1.1	2.3	1.1
息子・娘との2世帯	301	44.2	64.1	28.9	25.2	5.6	39.9	1.7	3.7	1.3
その他	389	46.0	49.1	26.7	28.3	6.4	44.0	4.1	4.9	0.5

④ 病気のときに看病や世話をしてくれる人

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「そのような人はいない」が24.5%となっており、他の世帯と比較して病気時の支援が大幅に少なくなっています。

【図表 2-11-4 病気のときに看病や世話をしてくれる人（世帯類型別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計 (人)	配偶者	同居 の子ども	別居 の子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	近 隣	友 人	そ 他	い そ な の よ う な 人 は	無 回 答
1人暮らし	486	1.0	0.6	48.1	22.0	3.3	14.4	4.1	24.5	2.9
夫婦2人暮らし	1,140	91.6	2.9	38.2	7.8	0.7	2.9	0.7	2.3	0.9
息子・娘との2世帯	301	47.2	79.1	20.9	5.6	0.7	2.7	1.0	1.7	1.3
その他	389	51.4	59.9	20.8	11.6	0.8	3.6	3.3	4.9	0.3

⑤ 終活について不安に思うこと

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「緊急時における親族等への連絡方法」が18.3%となっており、他の世帯と比較して多くなっています。

【図表 2-11-5 終活について不安に思うこと（世帯類型別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	家財の整理・処分	緊急時における親族等への連絡方法	老後の資金・住まい	自分が受ける介護や医療	病院・高齢者施設等への入所手続きや身元保証	不安に思っていることはな	何をしておくべきかわから	その他	無回答
1人暮らし	486	36.0	18.3	25.3	34.8	24.5	13.4	22.6	3.7	5.6
夫婦2人暮らし	1,140	35.1	9.6	26.1	42.0	23.1	14.1	19.7	1.4	4.7
息子・娘との2世帯	301	28.6	6.3	18.3	32.9	15.9	22.6	17.3	2.3	9.0
その他	389	31.4	7.5	25.4	42.7	20.6	13.6	25.7	2.8	4.1

⑥ ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと

世帯類型別にみると、1人暮らしでは「亡くなられた後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証」が23.9%となっており、他の世帯と比較して多くなっています。

【図表 2-11-6 終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うこと（世帯類型別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	財産の相続	葬儀等の手配	亡くなられた後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証	ペットの世話	お墓のこと	不安に思っていることはな	何をしておくべきかわから	その他	無回答
1人暮らし	486	12.1	15.6	23.9	3.5	12.3	33.3	18.5	7.0	8.2
夫婦2人暮らし	1,140	19.1	14.6	17.5	2.5	13.2	30.5	21.1	4.1	9.2
息子・娘との2世帯	301	15.9	10.0	9.0	1.0	10.0	38.9	17.6	3.7	14.6
その他	389	16.7	15.4	14.4	3.6	14.9	27.5	23.1	7.2	10.5

1人暮らし高齢者の状況【総括】

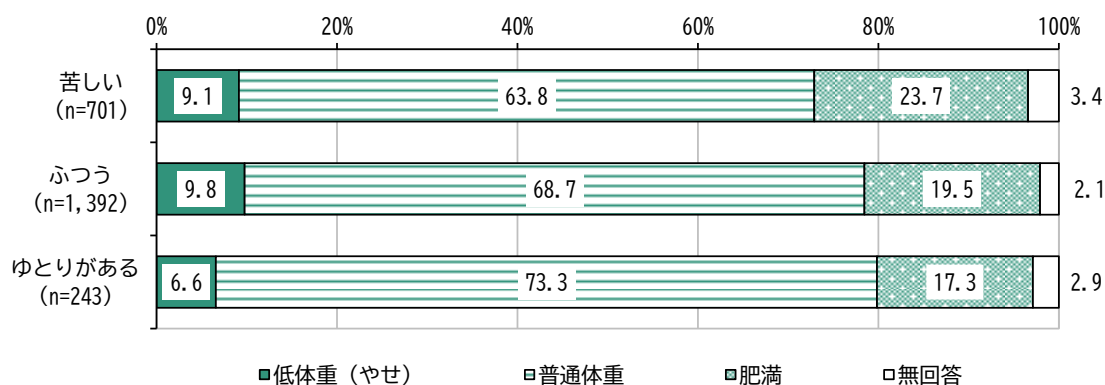
1人暮らし世帯では、他の世帯と比べて日常生活における交流の機会が少ない傾向があります。共食の機会が限られ、安否確認や話し相手といった見守り面でのニーズも大きく、心配事や愚痴を聞いてくれる相手がいない人も多くみられます。病気の際に看病や世話をしてくれる人がいないケースも目立ち、支援の不足が課題となっています。さらに、終活に関しても緊急時の連絡方法や死後の手続きへの不安が強く、1人暮らし特有の心配が浮き彫りになっています。

(2) 生活困窮者の状況

① BMI (※)

経済状況にゆとりがあるほど「普通体重」の割合が大きく、経済状況が苦しいほど「肥満」の割合が大きくなっています。

【図表 2-11-7 BMI (経済状況別)】

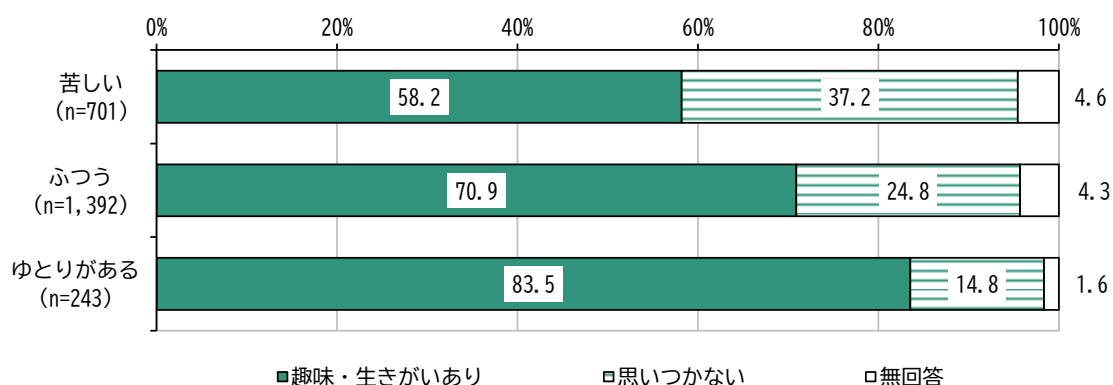


※ BMI(Body Mass Index)は、体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} によって算出される、肥満度の国際的な指標です。(BMI 18.5 未満：低体重 (やせ)、BMI 18.5～25 未満：普通体重、BMI 25 以上：肥満で算出)

② 趣味・生きがいはあるか

経済状況別にみると、経済状況にゆとりがあるほど「趣味・生きがいあり」の割合が大きく、経済状況が苦しいほど「思いつかない」の割合が大きくなっています。

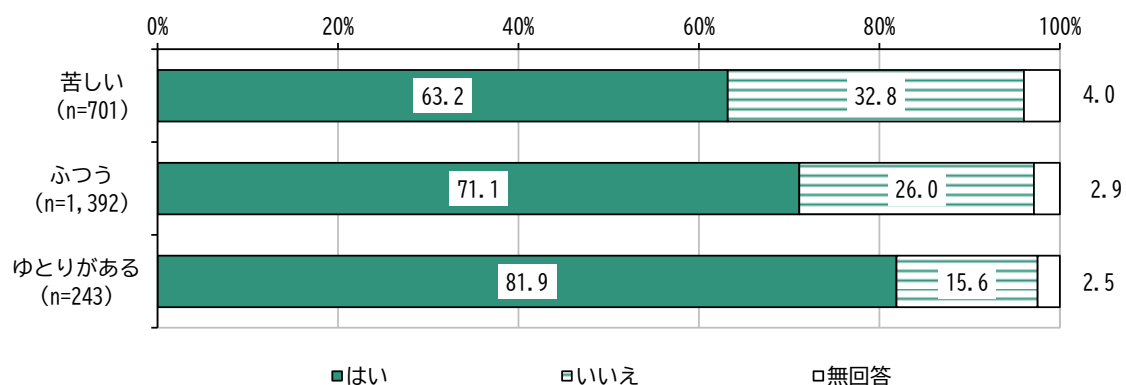
【図表 2-11-8 趣味・生きがいはあるか (経済状況別)】



③ 自主的に健康診断を受けているか

経済状況別にみると、経済状況にゆとりがあるほど「はい」の割合が大きく、経済状況が苦しいほど「いいえ」の割合が大きくなっています。

【図表 2-11-9 自主的に健康診断を受けているか（経済状況別）】



生活困窮者の状況【総括】

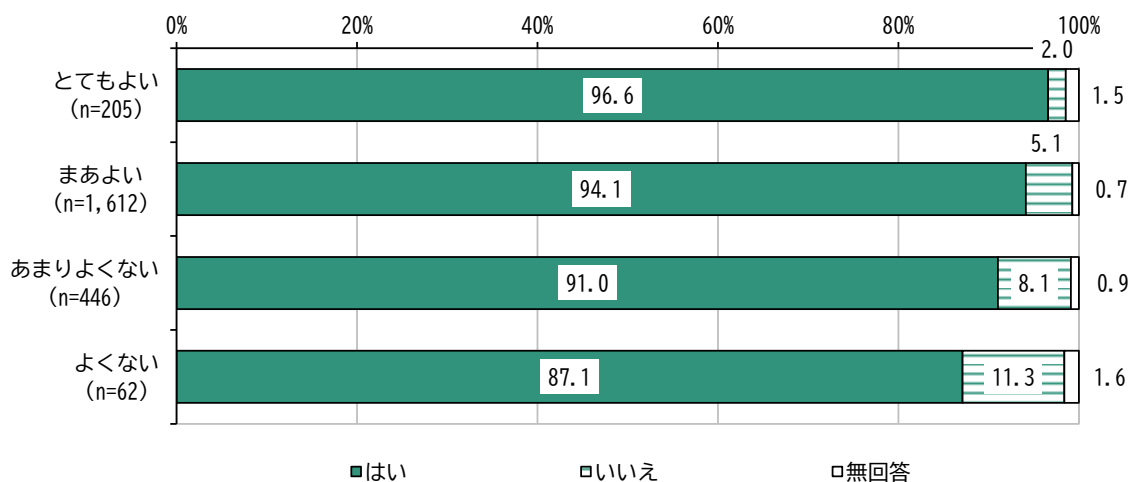
生活困窮者では、経済的な制約が健康や生活の質に大きく影響しています。食生活等が不安定になりやすく、肥満が増える傾向があります。また、趣味や生きがいを見つけにくく、生活の楽しみが乏しくなりがちです。さらに、費用負担等から自主的な健康診断の受診も控えられやすく、健康リスクの早期発見が難しくなります。こうした状況は、生活困窮者の健康格差を一層広げる要因となっています。

(3) 健康状態と歯・口腔の状況

① 歯磨きを毎日しているか

健康状態別にみると、健康状態が良いほど「はい」の割合が大きく、健康状態が悪いほど「いいえ」の割合が大きくなっています。

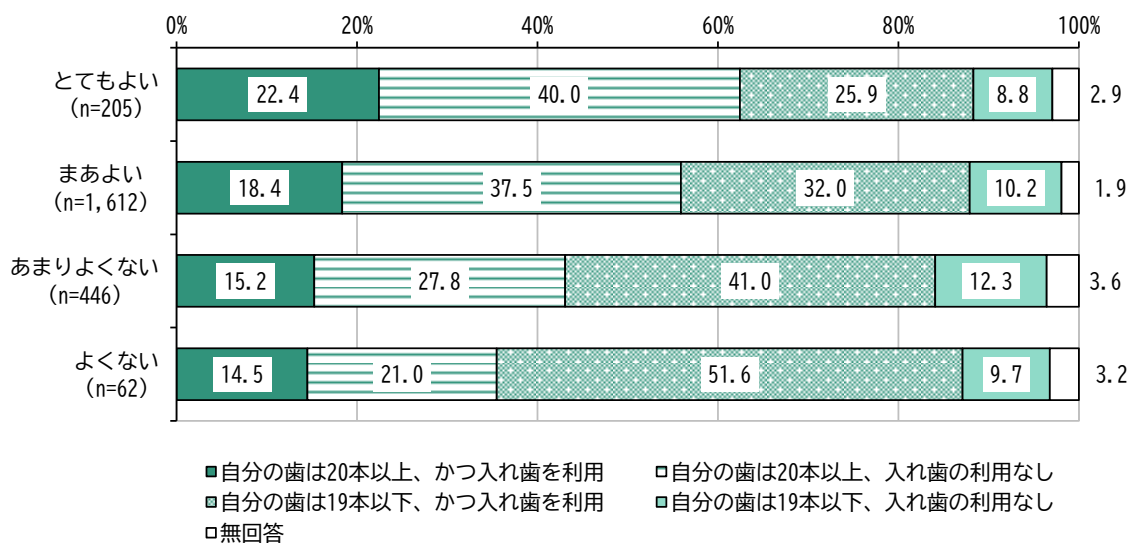
【図表 2-11-10 歯磨きを毎日しているか（健康状態別）】



② 歯の数と入れ歯の利用状況

健康状態別にみると、健康状態が良いほど『自分の歯は20本以上』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯20本以上、入れ歯の利用なし」の合計）の割合が大きくなっています。

【図表 2-11-11 歯磨きを毎日しているか（健康状態別）】



健康状態と歯・口腔の状況【総括】

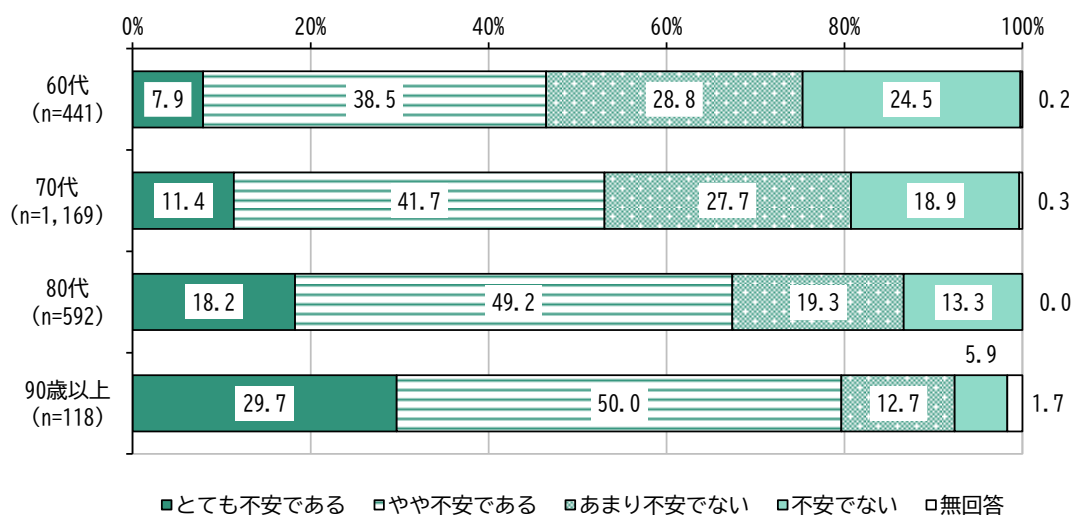
健康状態が悪い人ほど毎日の歯磨きが習慣化しにくく、口腔ケアが不十分になりがちです。また、歯の本数にも健康状態が反映され、健康な人ほど自分の歯を多く保ち、入れ歯に頼る必要が少ない傾向があります。一方、健康状態が悪い人では歯の喪失が進みやすく、入れ歯の利用が増えています。

（４）転倒に対する不安の状況

① 年代別にみる転倒に対する不安は大きいのか

年代が上がるほど『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）の割合が増加しています。

【図表 2-11-12 転倒に対する不安は大きいのか（年代別）】

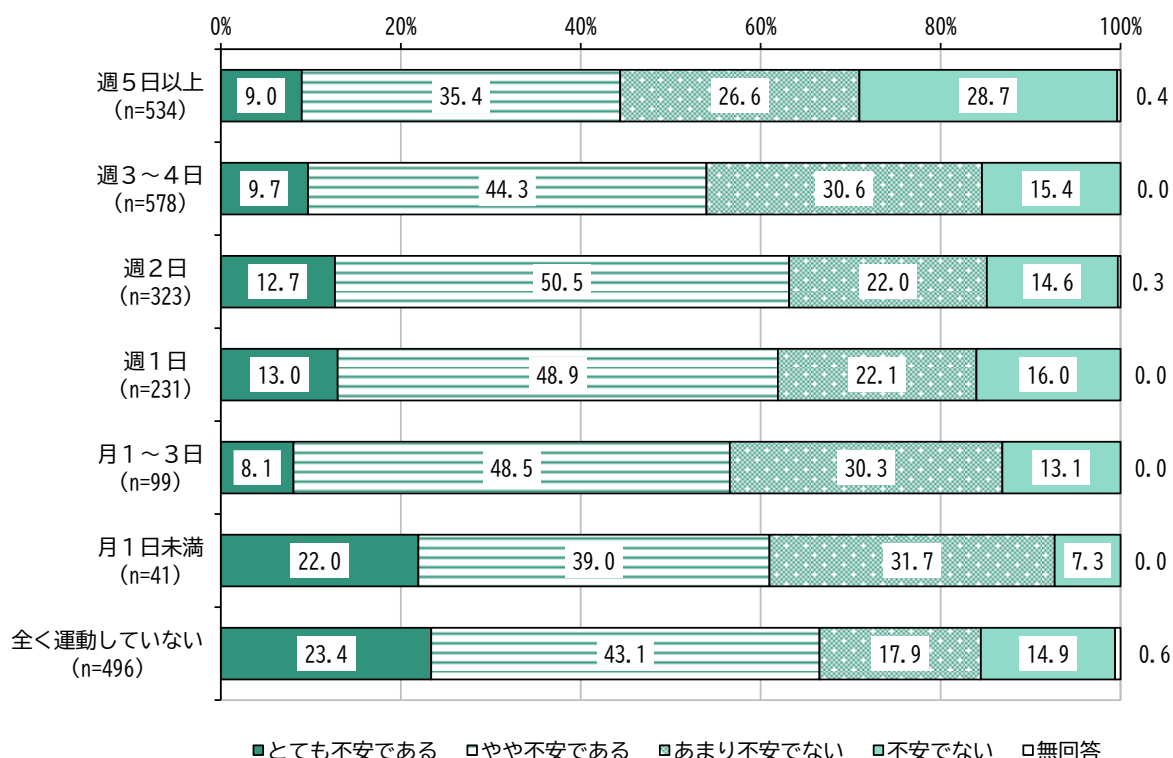


② 運動頻度別にみる転倒に対する不安は大きい

『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）では、週5日以上が44.4%で最も低く、全く運動していないが66.5%と最も高くなっています。

また、「とても不安である」について、運動頻度が『月1日未満』（「月1日未満」と「全く運動していない」の合計）の人は運動頻度が『月1日以上』（「週5日以上」～「月1～3日」の合計）の人の約2倍になっています。

【図表 2-11-13 転倒に対する不安は大きい（運動頻度別）】



転倒に対する不安の状況【総括】

転倒への不安は、年代が上がるほど高くなる傾向がみられます。運動頻度別では、週5日以上の人が最も不安が低く、全く運動していない人が最も高い結果でした。また「とても不安である」は、月1日未満の運動層が月1日以上の人約2倍となり、運動不足が強い不安につながりやすいことが示されています。

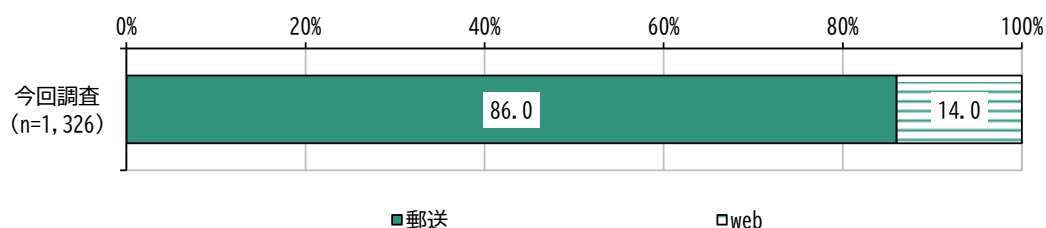
第3章 在宅介護実態調査結果

1. 回答者の属性

(1) 回答方法

回答方法について、「郵送」が86.0%、「web」が14.0%となっています。

【図表 3-1-1 回答方法】

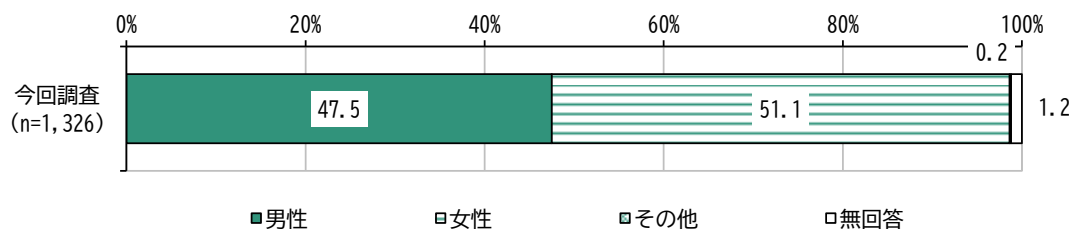


(2) 性別

A票 問1 ① 性別について、ご回答ください。(1つを選択)

性別について、「男性」が47.5%、「女性」が51.1%となっています。

【図表 3-1-2 性別】

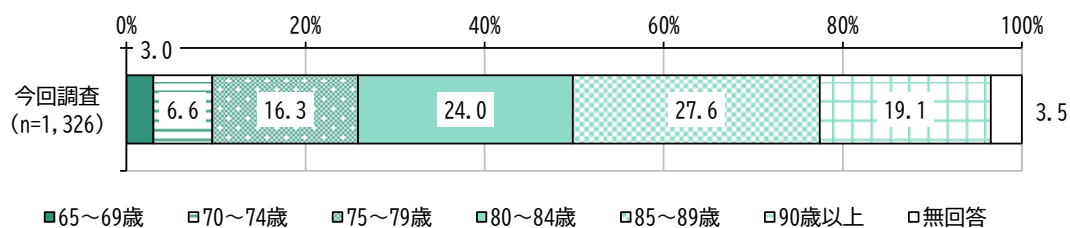


(3) 年齢

A票 問1 ② 年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

年齢について、「85～89歳」が27.6%で最も多く、次いで「80～84歳」が24.0%、「90歳以上」が19.1%となっています。

【図表 3-1-3 年齢】

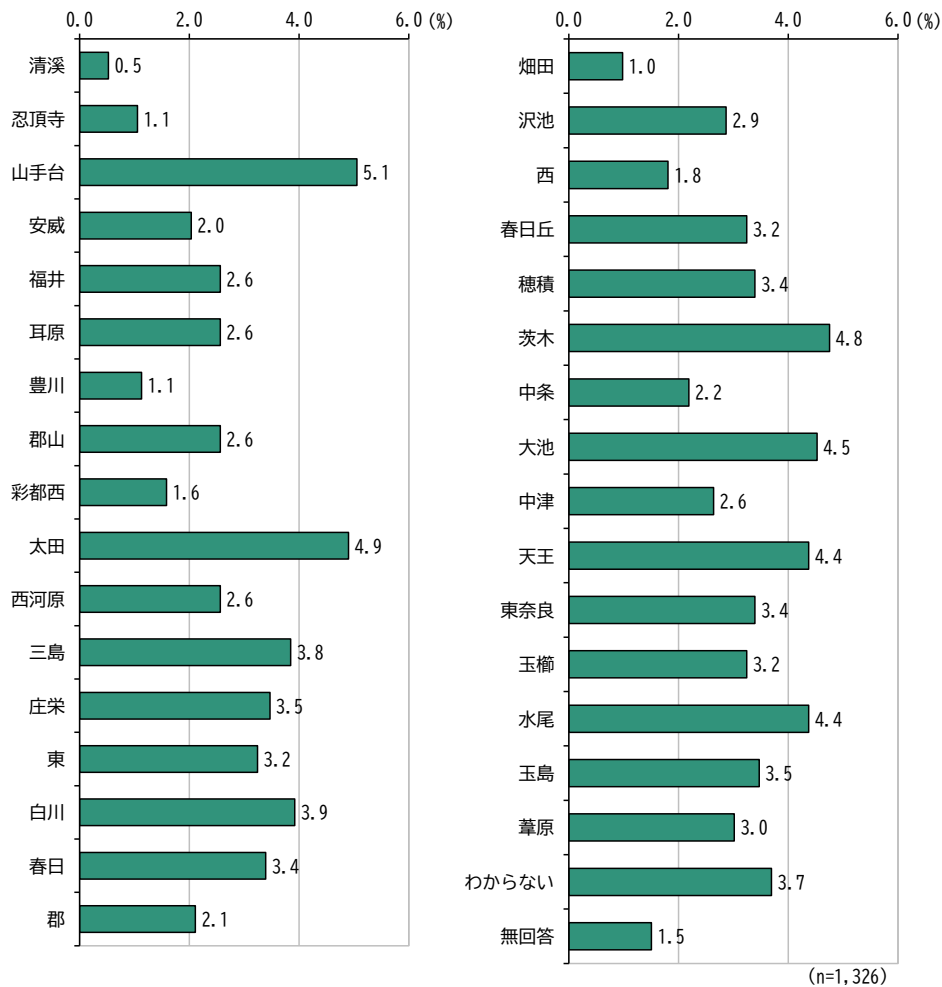


(4) 住まい

A票	問1	③	お住まいの小学校区を教えてください。(1つを選択)
----	----	---	---------------------------

住まいについて、「山手台」が5.1%で最も多く、次いで「太田」が4.9%、「茨木」が4.8%となっています。

【図表 3-1-4 住まい】

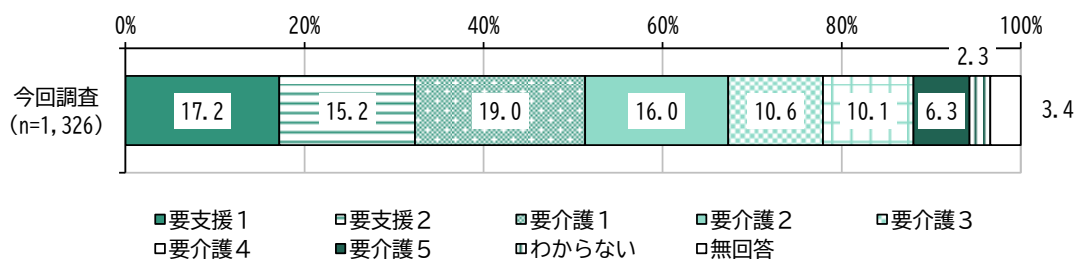


(5) 要介護度

A票	問1	④	要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)
----	----	---	--------------------------

要介護度について、「要介護1」が19.0%で最も多く、次いで「要支援1」が17.2%、「要介護2」が16.0%となっています。

【図表 3-1-5 要介護度】

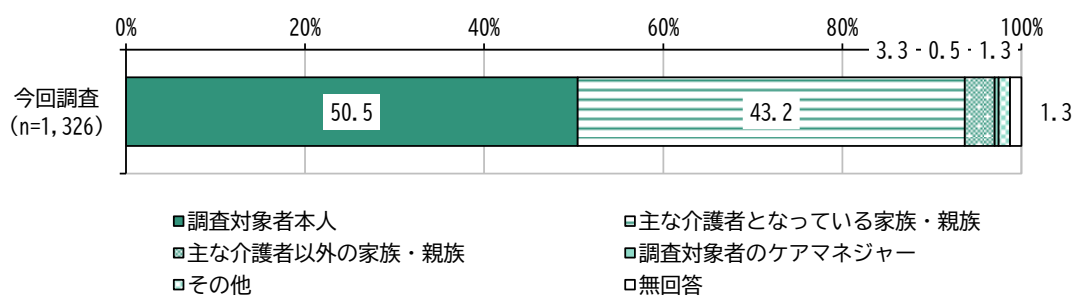


(6) 回答者

A票	問1	⑤	現在、この調査票にご回答をいただいているのはどなたですか。(1つを選択)
----	----	---	--------------------------------------

回答者について、「調査対象者本人」が 50.5%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 43.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.3%となっています。

【図表 3-1-6 回答者】

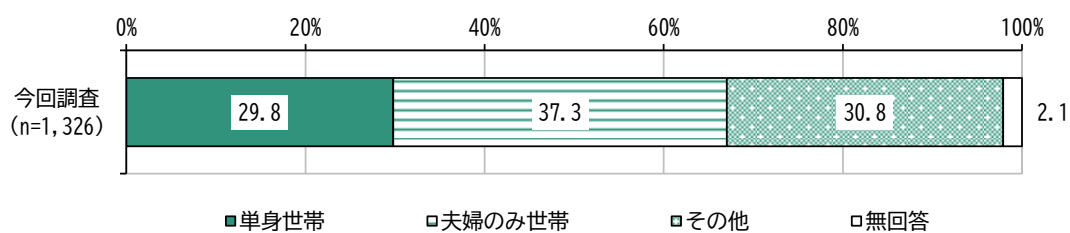


(7) 世帯類型

A票	問1	⑥	世帯類型についてご回答ください。(1つを選択)
----	----	---	-------------------------

世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が 37.3%で最も多く、次いで「その他」が 30.8%、「単身世帯」が 29.8%となっています。

【図表 3-1-7 世帯類型】



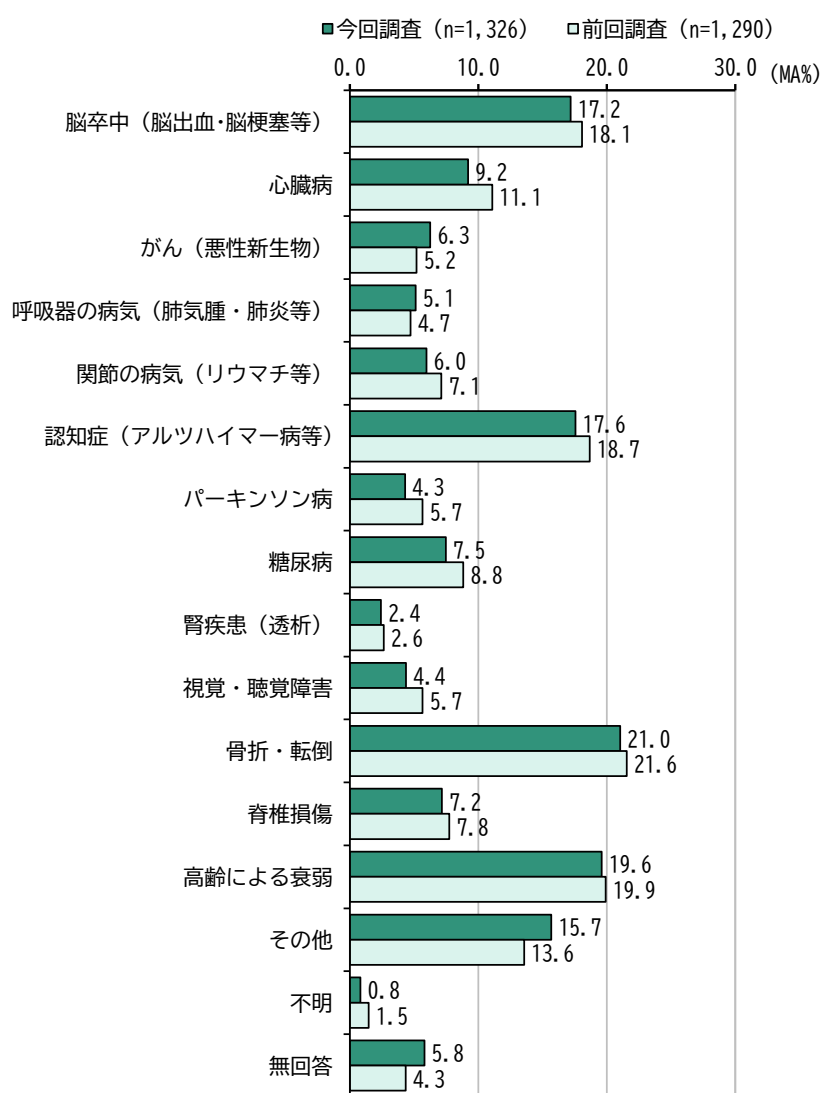
2. 介護・介助の状況について

(1) 介護・介助が必要になった原因

A票 問2 ① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(複数選択可)

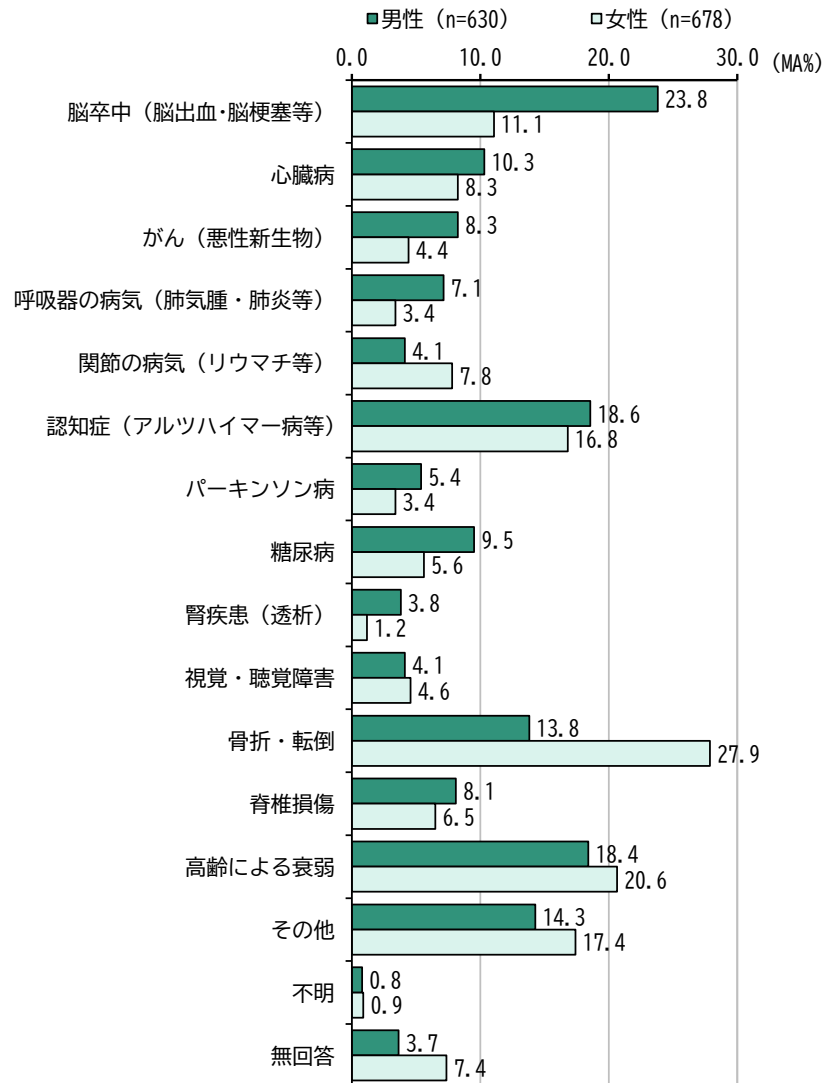
介護・介助が必要になった原因について、「骨折・転倒」が21.0%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が19.6%、「認知症（アルツハイマー病等）」が17.6%となっています。また、前回調査と比較して「骨折・転倒」が0.6ポイント減少しています。

【図表 3-2-1 介護・介助が必要になった原因】



性別でみると、男性では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が23.8%で最も多く、女性では、「骨折・転倒」が27.9%で最も多くなっています。

【図表 3-2-2 介護・介助が必要になった原因（性別）】



「骨折・転倒」について、認定状況別にみると、要介護1が25.8%で最も多く、圏域別にみると、西圏域が23.3%で最も多くなっています。

【図表 3-2-3 介護・介助が必要になった原因（認定状況別・年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷
要支援1	228	7.9	7.9	7.0	5.7	7.9	5.3	1.8	6.1	1.8	5.3	20.2	7.0
要支援2	201	6.5	11.9	9.0	3.0	9.0	3.5	4.5	6.5	4.0	3.5	25.4	11.4
要介護1	252	17.9	9.9	6.0	2.8	7.1	18.7	4.0	7.9	2.0	6.0	25.8	7.5
要介護2	212	20.8	7.5	6.6	7.1	4.7	24.1	3.8	13.2	2.8	5.2	18.9	9.0
要介護3	140	31.4	4.3	5.0	5.0	4.3	41.4	5.7	6.4	3.6	3.6	14.3	4.3
要介護4	134	28.4	9.0	5.2	9.0	3.0	26.9	7.5	3.7	3.0	3.0	21.6	5.2
要介護5	83	26.5	12.0	6.0	3.6	2.4	20.5	8.4	2.4	0.0	1.2	21.7	4.8
65～74歳	127	31.5	6.3	3.1	2.4	7.1	5.5	11.0	3.9	3.1	0.8	12.6	7.9
75～84歳	534	19.1	8.8	7.7	3.9	8.4	16.7	5.4	9.7	3.2	4.1	19.3	7.1
85歳以上	619	11.5	10.5	5.8	6.9	4.0	21.8	1.8	6.6	1.6	5.3	25.0	7.4
北圏域	253	15.4	9.9	5.1	5.1	6.3	19.0	4.0	8.7	3.2	4.7	18.2	4.7
東圏域	291	19.2	9.6	6.2	3.1	6.2	16.8	3.4	7.6	2.4	5.2	21.0	6.2
西圏域	236	19.9	7.6	8.5	6.4	7.2	19.1	5.1	8.5	1.7	1.7	23.3	8.5
中央圏域	187	13.9	8.0	6.4	5.3	6.4	17.1	6.4	7.0	2.1	4.8	20.9	7.5
南圏域	290	17.9	8.3	6.6	6.2	4.8	15.2	4.1	5.5	3.1	5.2	22.4	8.3

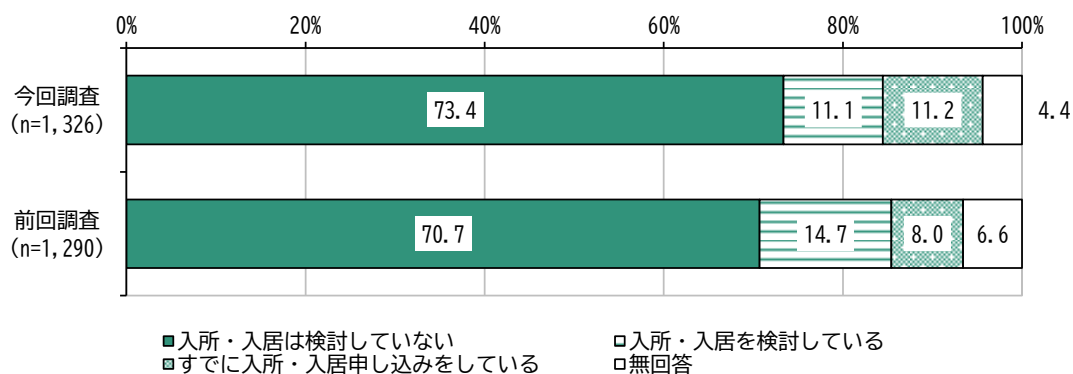
	合計（人）	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援1	228	20.2	18.4	0.9	11.4
要支援2	201	20.9	17.4	0.5	5.0
要介護1	252	20.2	14.3	0.4	3.2
要介護2	212	23.6	16.5	0.9	0.5
要介護3	140	19.3	7.9	0.0	2.1
要介護4	134	17.2	13.4	1.5	0.0
要介護5	83	16.9	28.9	1.2	0.0
65～74歳	127	1.6	22.8	0.8	2.4
75～84歳	534	12.5	14.2	1.1	6.2
85歳以上	619	30.4	15.2	0.6	5.7
北圏域	253	20.2	19.4	0.4	6.3
東圏域	291	19.9	16.5	0.3	4.5
西圏域	236	22.9	15.7	0.4	4.2
中央圏域	187	17.1	18.2	1.6	5.3
南圏域	290	18.6	12.4	1.4	6.6

(2) 施設等への入所・入居の検討状況

A票	問2	②	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 (1つを選択)
----	----	---	---

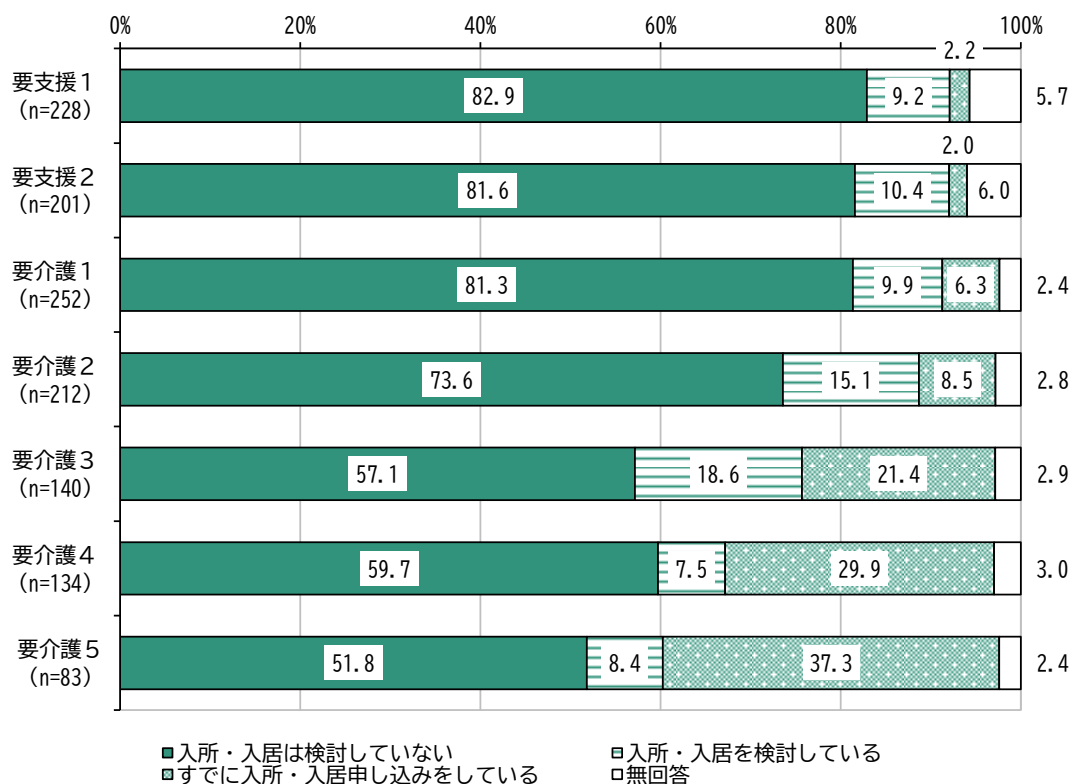
施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が73.4%で最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.2%、「入所・入居を検討している」が11.1%となっています。また、前回調査と比較して「入所・入居は検討していない」が2.7ポイント増加しています。

【図表 3-2-4 施設等への入所・入居の検討状況】



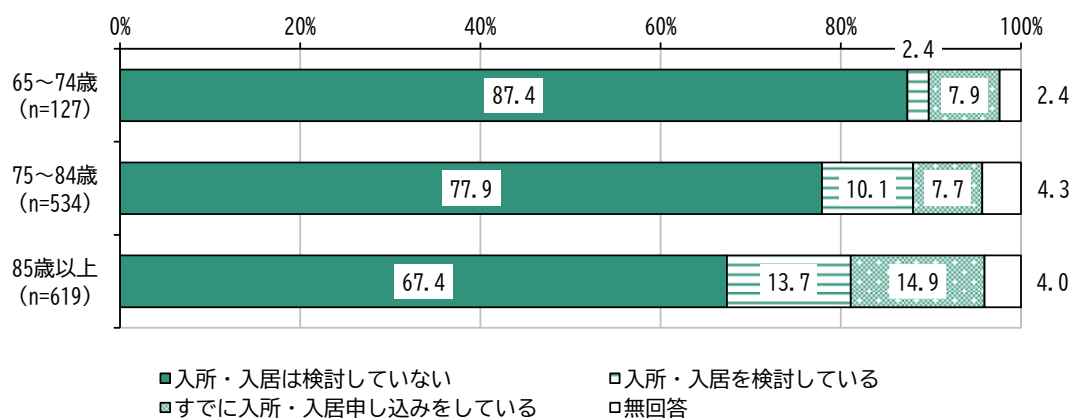
認定状況別にみると、「入所・入居は検討していない」では、要支援1が82.9%で最も多くなっています。

【図表 3-2-5 施設等への入所・入居の検討状況（認定状況別）】



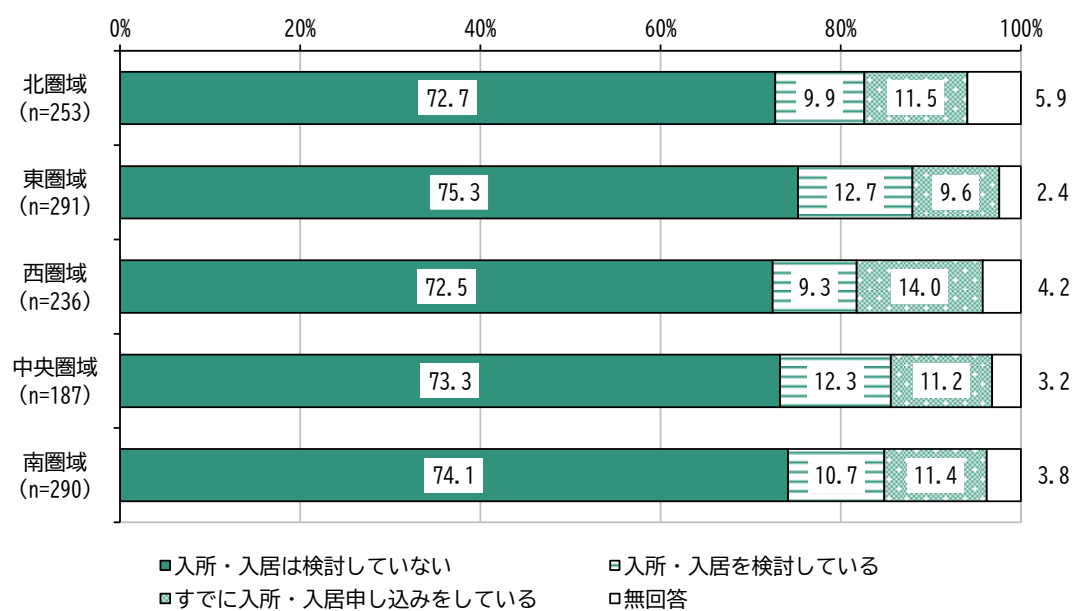
年齢別にみると、「入所・入居は検討していない」では、65～74 歳が 87.4%で最も多くなっています。

【図表 3-2-6 施設等への入所・入居の検討状況（年齢別）】



圏域別にみると、「入所・入居は検討していない」では、東圏域が 75.3%で最も多くなっています。

【図表 3-2-7 施設等への入所・入居の検討状況（圏域別）】

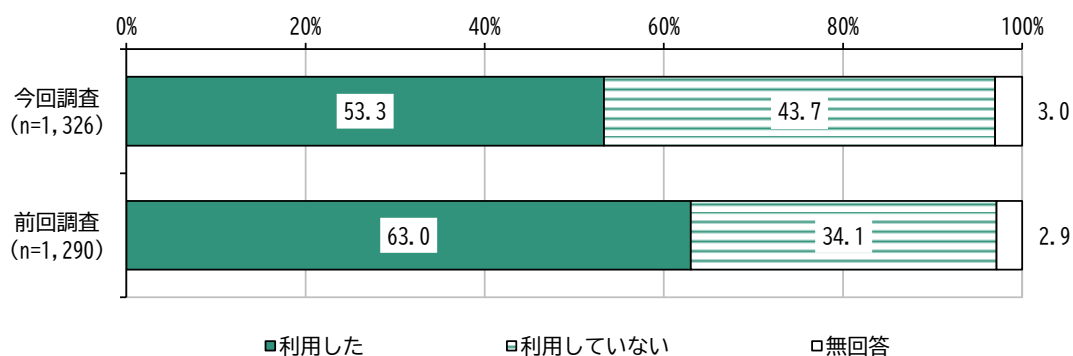


(3) 1 か月間の介護保険サービスの利用状況

A票	問2	③	令和7年 10 月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)
----	----	---	--

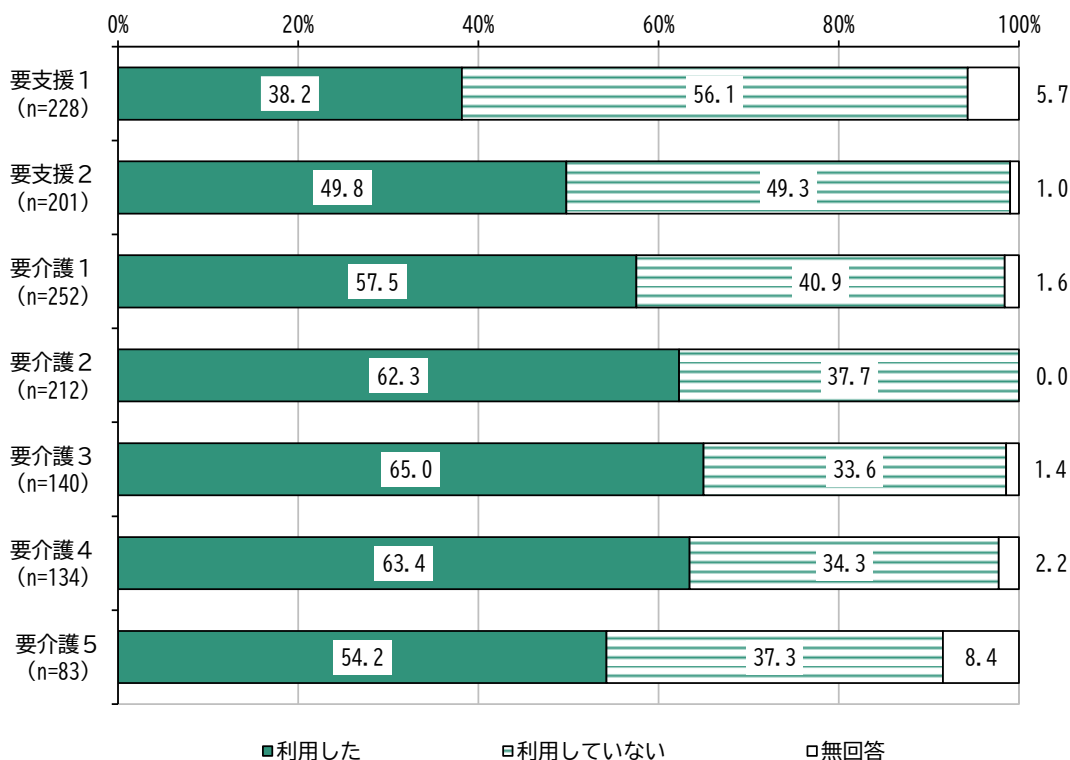
1 か月間の介護保険サービスの利用状況について、「利用した」が53.3%、「利用していない」が43.7%となっています。また、前回調査と比較して「利用した」が9.7ポイント減少しています。

【図表 3-2-8 1 か月間の介護保険サービスの利用状況】



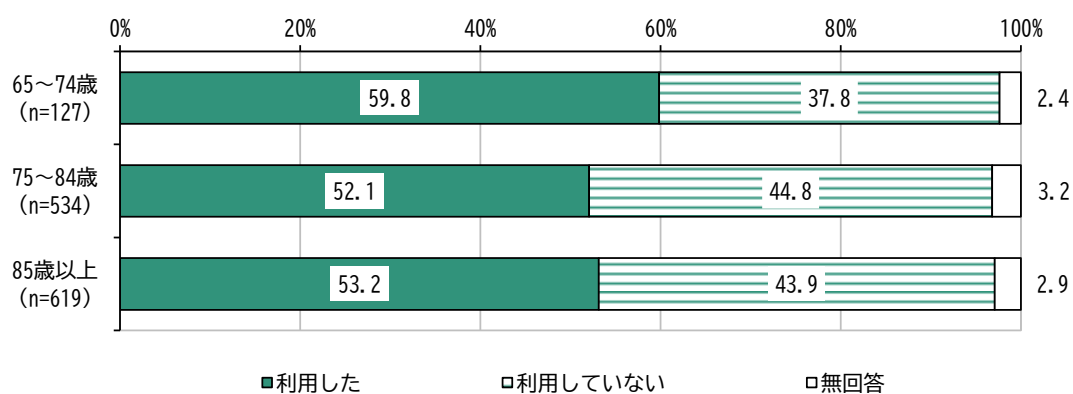
認定状況別にみると、「利用した」では、要介護3が65.0%で最も多くなっています。

【図表 3-2-9 1 か月間の介護保険サービスの利用状況（認定状況別）】



年齢別にみると、「利用した」では、65～74 歳が 59.8%で最も多くなっています。

【図表 3-2-10 1 か月間の介護保険サービスの利用状況（年齢別）】

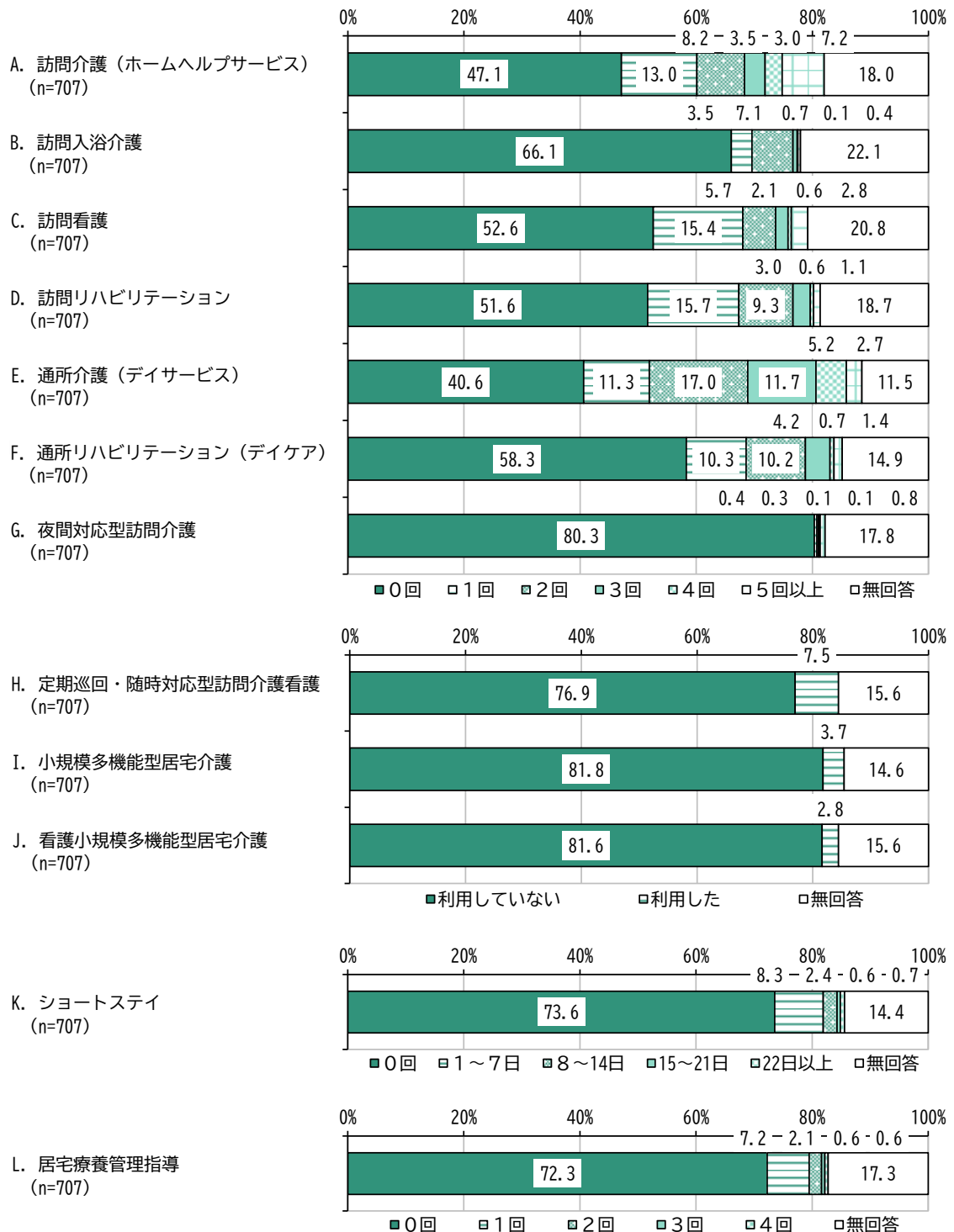


(4) 1 か月間の介護保険サービスの利用回数

A票	問2	④	〈③〉で「利用した」を回答された方のみにお伺いします。 以下の介護保険サービスについて、令和7年 10 月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回」を選択してください。
----	----	---	--

1 か月間の介護保険サービスの利用回数について、『利用した』（「0回」以外）では、「通所介護（デイサービス）」が47.9%で最も多くなっています。

【図表 3-2-11 1 か月間の介護保険サービスの利用回数】



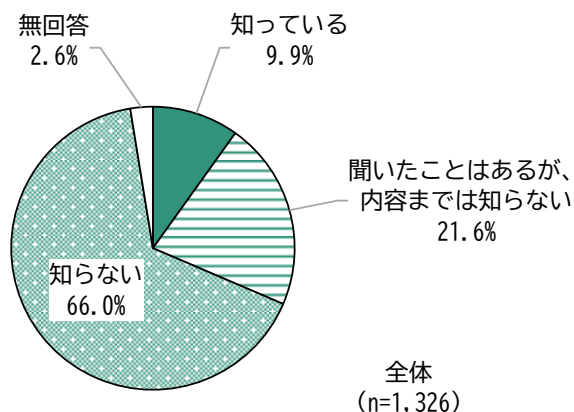
3. 人生の最期について

(1) 人生会議について知っているか

A票	問3	①	人生会議(ACP、アドバンス・ケア・プランニング)について、知っていますか。 (1つを選択)
----	----	---	---

人生会議について知っているかについて、「知らない」が66.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が21.6%、「知っている」が9.9%となっています。

【図表 3-3-1 人生会議について知っているか】

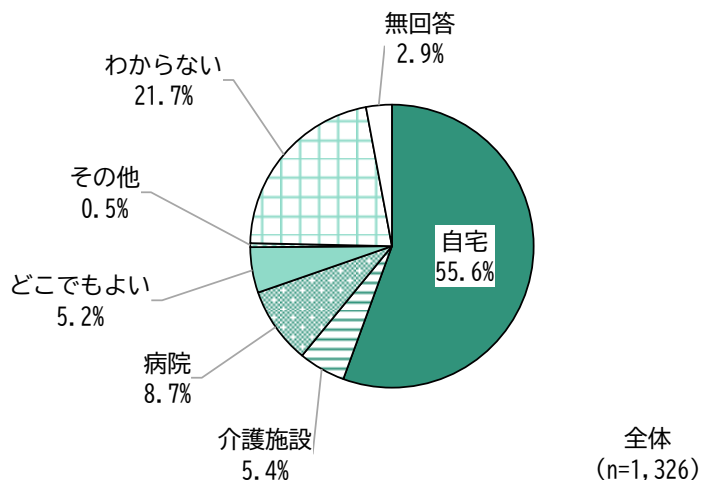


(2) 人生の最期を過ごしたい場所

A票	問3	②	人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。(1つを選択)
----	----	---	-----------------------------

人生の最期を過ごしたい場所について、「自宅」が55.6%で最も多く、次いで「わからない」が21.7%、「病院」が8.7%となっています。

【図表 3-3-2 人生の最期を過ごしたい場所】

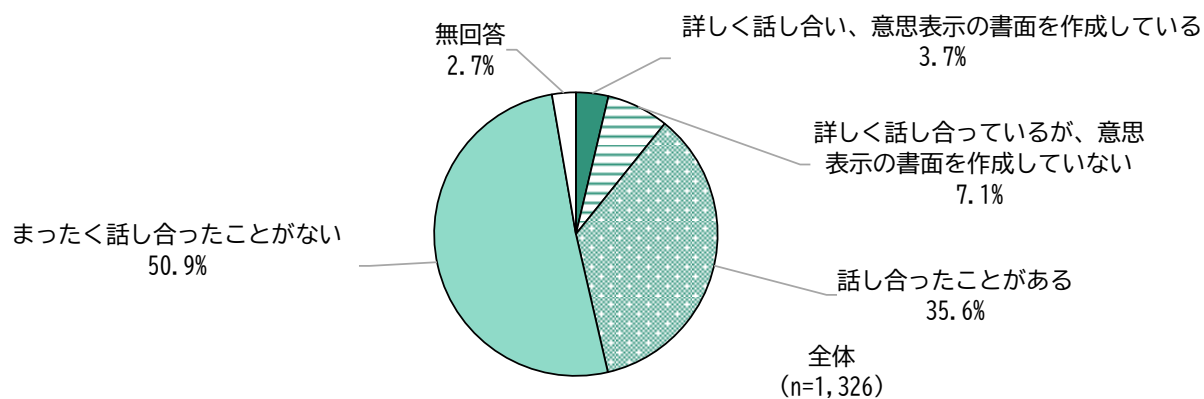


(3) 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるか

A票	問3	③	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。 (1つを選択)
----	----	---	--

人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるかについて、「まったく話し合ったことがない」が50.9%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が35.6%、「詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない」が7.1%となっています。

【図表 3-3-3 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがあるか】



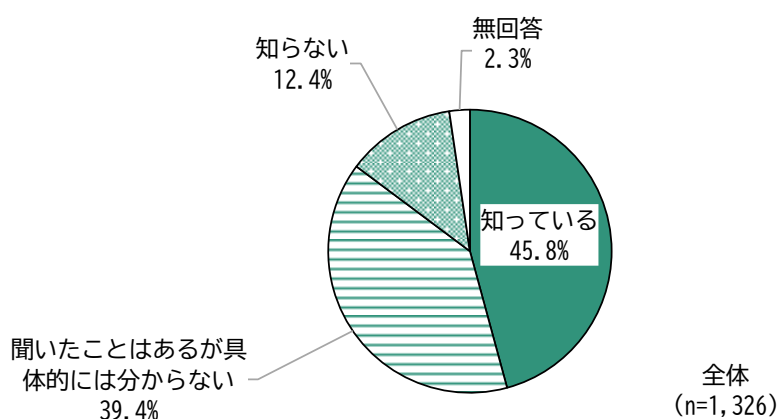
4. 在宅医療について

(1) 在宅医療について知っているか

A票	問4	①	在宅医療について知っていますか。(1つを選択) ※在宅医療とは、寝たきり等により通院に支障がある方に対し、医師等が自宅(施設等を含む。)を訪問し、継続的に医療行為を行うものです。通院が困難になった時の選択肢の1つとして、住み慣れた環境で生活をしながら療養することができます。
----	----	---	--

在宅医療について知っているかについて、「知っている」が45.8%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが具体的には分からない」が39.4%、「知らない」が12.4%となっています。

【図表 3-4-1 在宅医療について知っているか】

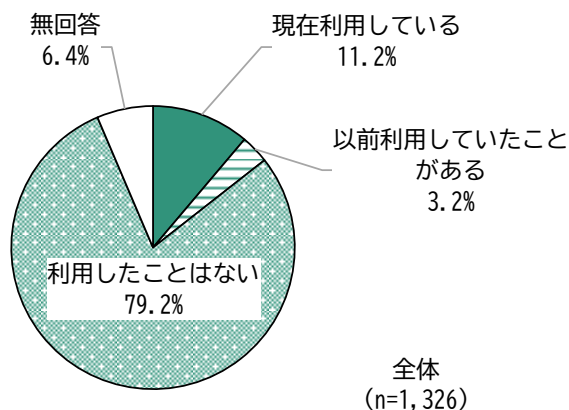


(2) 在宅医療の利用状況

A票	問4	②	在宅医療を利用していますか。(1つを選択)
----	----	---	-----------------------

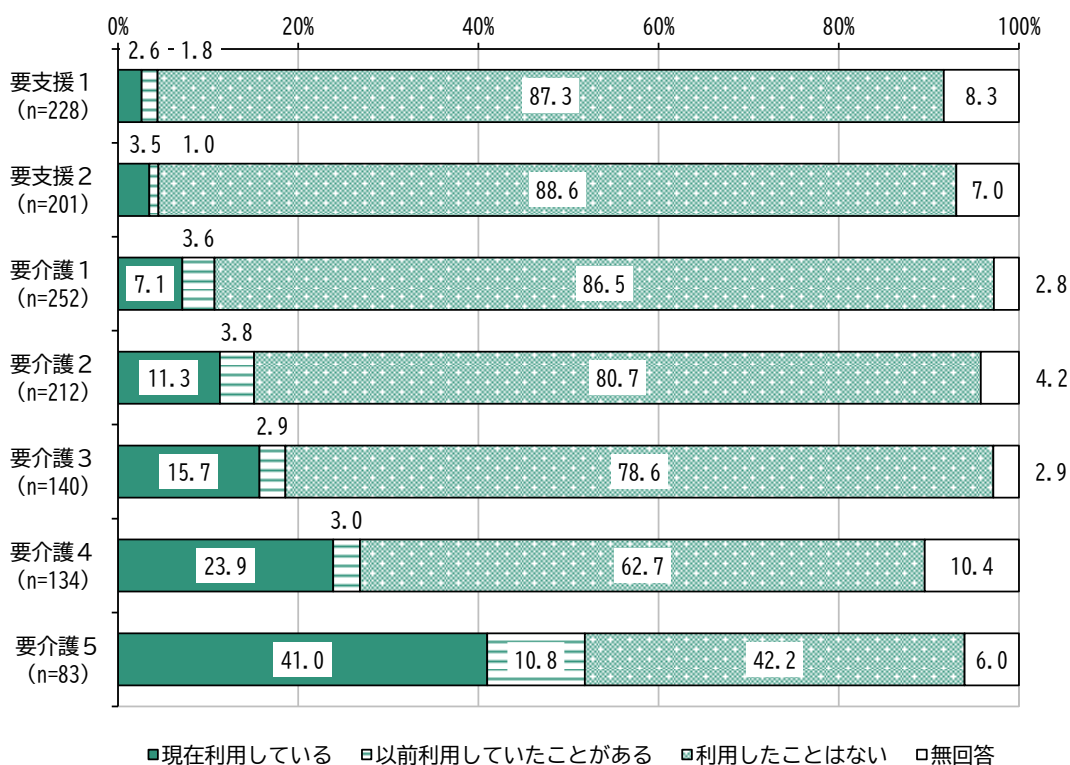
在宅医療の利用状況について、「利用したことはない」が79.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が11.2%、「以前利用していたことがある」が3.2%となっています。

【図表 3-4-2 在宅医療の利用状況】



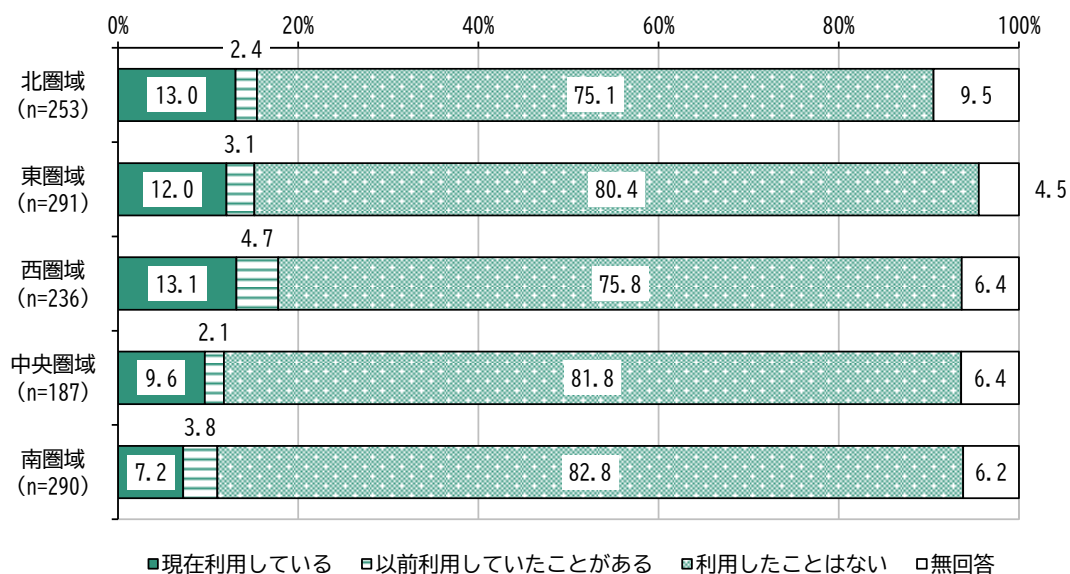
認定状況別にみると、「現在利用している」では、要介護5が41.0%で最も多くなっています。

【図表 3-4-3 在宅医療の利用状況（認定状況別）】



圏域別にみると、「現在利用している」では、西圏域が13.1%で最も多くなっています。

【図表 3-4-4 在宅医療の利用状況（圏域別）】

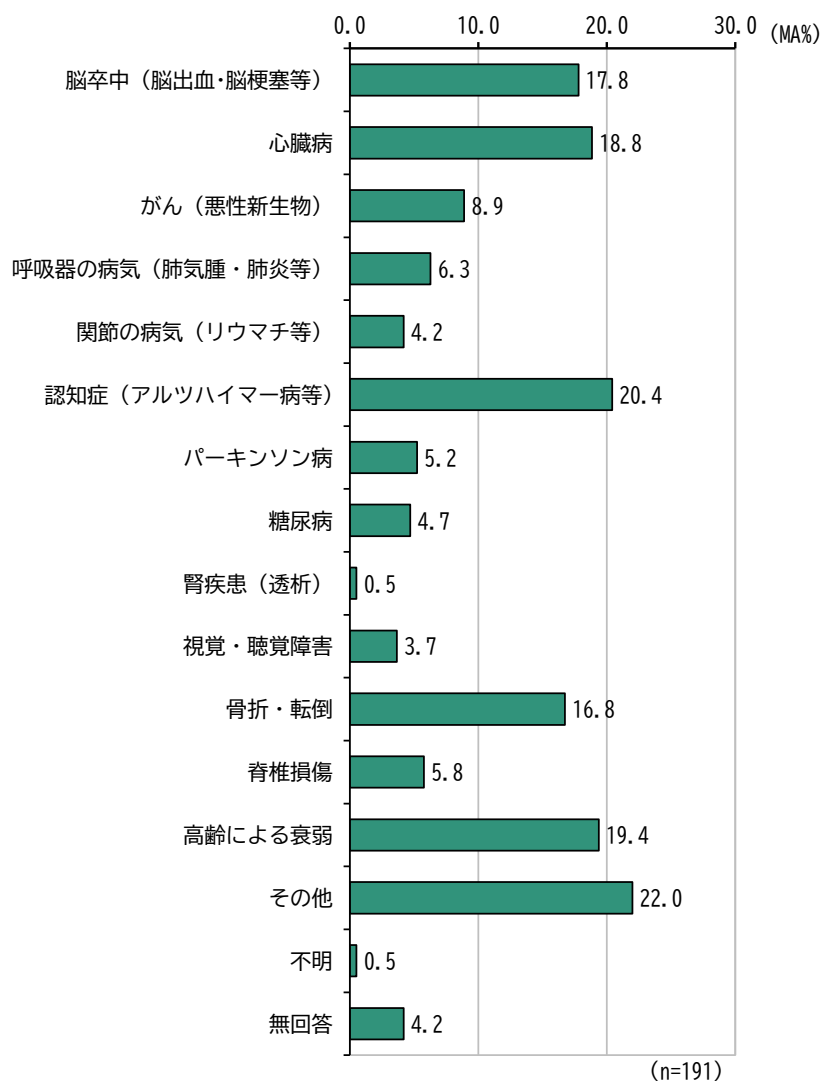


(3) 在宅医療を利用している要因

A票	問4	③ 〈②〉で「現在利用している」「以前利用していたことがある」を回答された方 のみにお伺いします。 在宅医療を利用している(利用していた)要因は何ですか。(複数選択可)
----	----	---

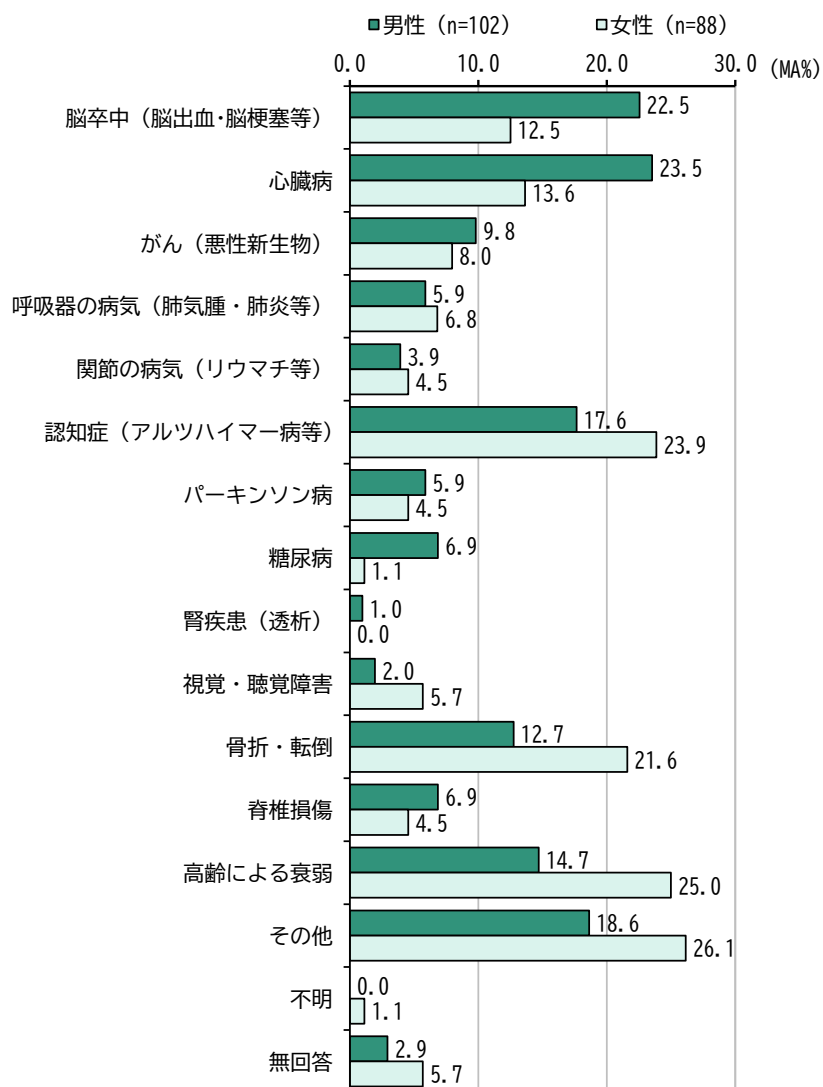
在宅医療を利用している要因について、「その他」が22.0%で最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」が20.4%、「高齢による衰弱」が19.4%となっています。

【図表 3-4-5 在宅医療を利用している要因】



性別でみると、男性では、「心臓病」が23.5%で最も多く、女性では、「その他」が26.1%で最も多くなっています。

【図表 3-4-6 在宅医療を利用している要因（性別）】



在宅医療を利用している要因が「認知症（アルツハイマー病等）」である方について、認定状況別にみると、要介護3が30.8%で最も多く、圏域別にみると、西圏域が28.6%で最も多くなっています。

【図表 3-4-7 在宅医療を利用している要因（認定状況別・年齢別・圏域別）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

	合計（人）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷
要支援1	10	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
要支援2	9	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0
要介護1	27	3.7	22.2	7.4	7.4	3.7	7.4	7.4	7.4	0.0	0.0	25.9	3.7
要介護2	32	15.6	12.5	12.5	12.5	6.3	21.9	0.0	0.0	0.0	9.4	12.5	15.6
要介護3	26	26.9	15.4	3.8	7.7	7.7	30.8	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7	3.8
要介護4	36	22.2	22.2	11.1	5.6	0.0	27.8	5.6	5.6	0.0	0.0	22.2	2.8
要介護5	43	25.6	14.0	7.0	4.7	0.0	20.9	9.3	2.3	0.0	2.3	11.6	7.0
65～74歳	14	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
75～84歳	62	24.2	12.9	14.5	4.8	6.5	24.2	4.8	8.1	1.6	3.2	14.5	8.1
85歳以上	107	13.1	25.2	7.5	8.4	3.7	22.4	3.7	3.7	0.0	4.7	19.6	5.6
北圏域	39	15.4	10.3	7.7	2.6	0.0	20.5	5.1	2.6	2.6	5.1	20.5	5.1
東圏域	44	25.0	22.7	9.1	2.3	6.8	13.6	2.3	4.5	0.0	4.5	15.9	4.5
西圏域	42	16.7	21.4	14.3	9.5	2.4	28.6	11.9	7.1	0.0	0.0	28.6	11.9
中央圏域	22	13.6	22.7	4.5	9.1	4.5	18.2	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	4.5
南圏域	32	18.8	9.4	9.4	6.3	6.3	18.8	3.1	3.1	0.0	3.1	6.3	3.1

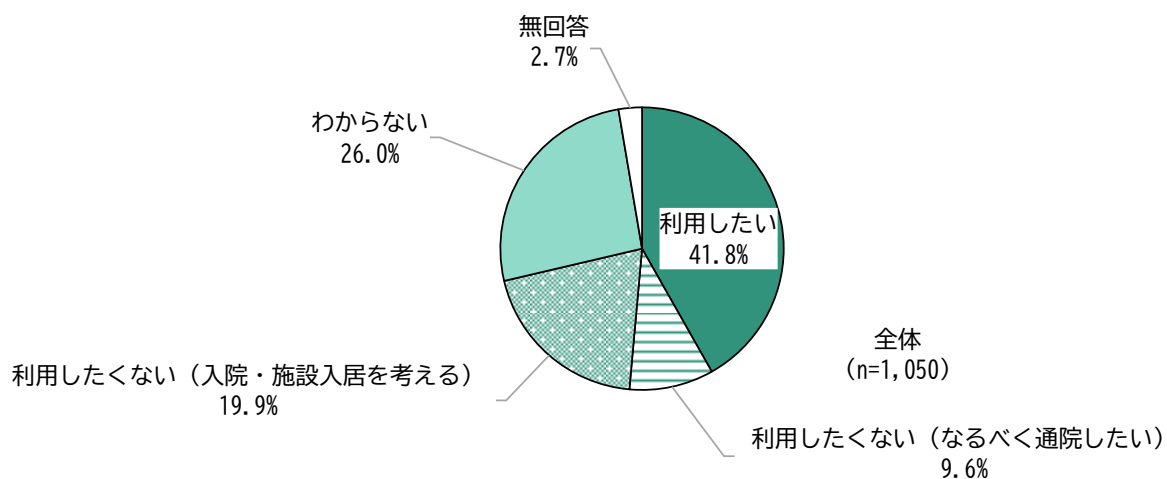
	合計（人）	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援1	10	30.0	20.0	10.0	10.0
要支援2	9	22.2	11.1	0.0	11.1
要介護1	27	33.3	22.2	0.0	3.7
要介護2	32	6.3	31.3	0.0	9.4
要介護3	26	11.5	11.5	0.0	7.7
要介護4	36	16.7	25.0	0.0	0.0
要介護5	43	23.3	23.3	0.0	0.0
65～74歳	14	7.1	42.9	0.0	14.3
75～84歳	62	9.7	21.0	0.0	4.8
85歳以上	107	28.0	18.7	0.9	1.9
北圏域	39	15.4	25.6	0.0	0.0
東圏域	44	20.5	27.3	0.0	2.3
西圏域	42	21.4	16.7	0.0	4.8
中央圏域	22	27.3	18.2	4.5	13.6
南圏域	32	15.6	21.9	0.0	6.3

(4) 通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うか

A票	問4	④	〈②〉で「利用したことはない」を回答された方のみにお伺いします。 将来、通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思いますか。(1つを選択)
----	----	---	--

通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うかについて、「利用したい」が41.8%で最も多く、次いで「わからない」が26.0%、「利用したくない（入院・施設入居を考える）」が19.9%となっています。

【図表 3-4-8 通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思うか】



（５）在宅医療に対してどのような印象があるか

A票

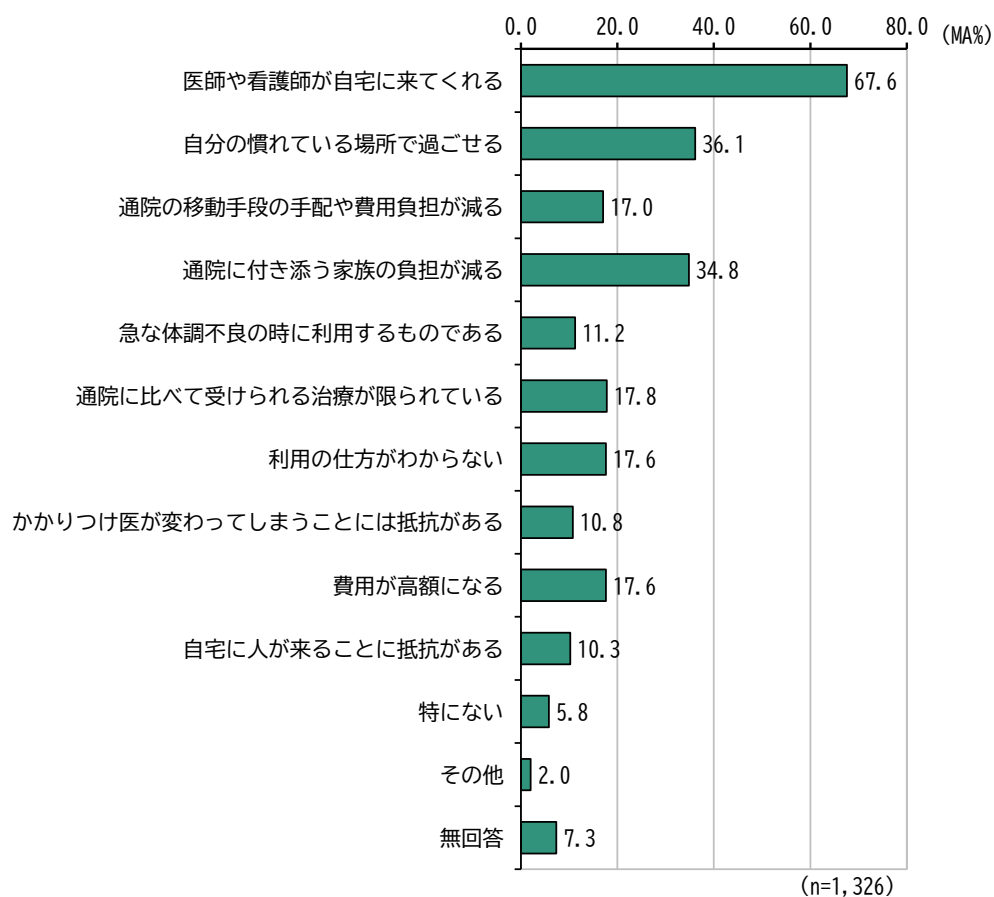
問4

⑤

在宅医療に対してどのような印象がありますか。(複数選択可)

在宅医療に対してどのような印象があるかについて、「医師や看護師が自宅に来てくれる」が 67.6%で最も多く、次いで「自分の慣れている場所で過ごせる」が 36.1%、「通院に付き添う家族の負担が減る」が 34.8%となっています。

【図表 3-4-9 在宅医療に対してどのような印象があるか】

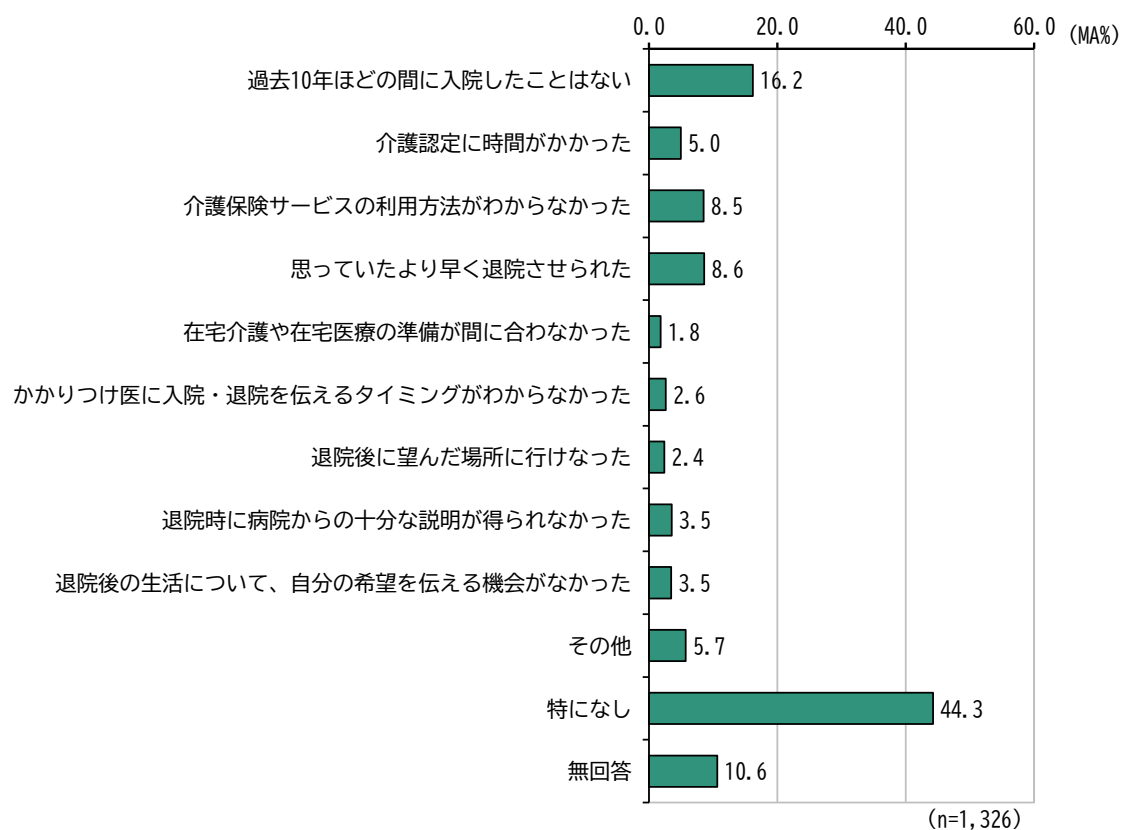


(6) 10 年間に入院したことはあったか、その際、退院時に困ったことはあったか

A票	問4	⑥	過去 10 年ほどの間に入院したことはありますか。その際、退院時に困ったことはありましたか。(複数選択可)
----	----	---	---

10 年間に入院したことはあったか、その際、退院時に困ったことはあったかについて、「特になし」が 44.3%で最も多く、次いで「過去 10 年ほどの間に入院したことはない」が 16.2%、「思っていたより早く退院させられた」が 8.6%となっています。

【図表 3-4-10 10 年間に入院したことはあったか、その際、退院時に困ったことはあったか】

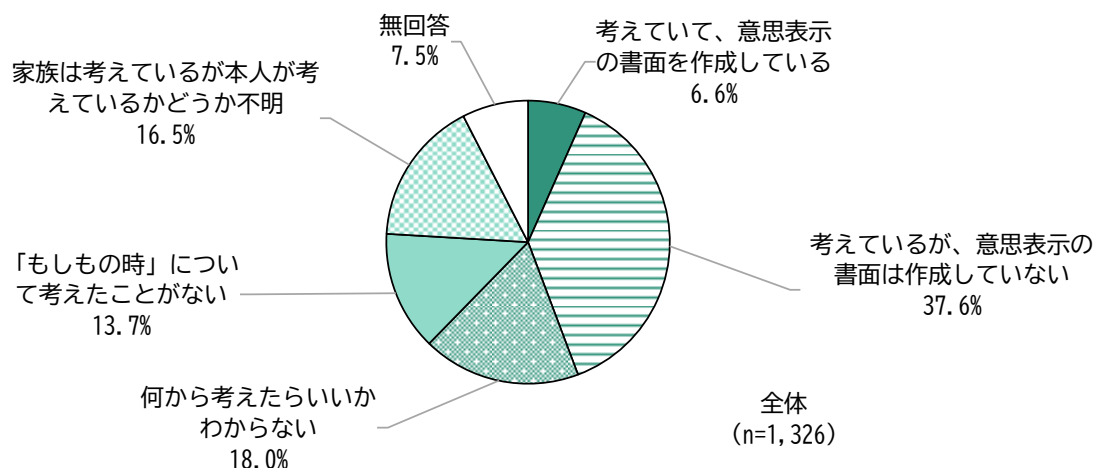


(7) 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるか

A票	問4	⑦	容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、考えたことはありますか。(1つを選択)
----	----	---	---

容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるかについて、「考えているが、意思表示の書面は作成していない」が37.6%で最も多く、次いで「何から考えたらいいかわからない」が18.0%、「家族は考えているが本人が考えているかどうか不明」が16.5%となっています。

【図表 3-4-11 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示について、考えたことはあるか】

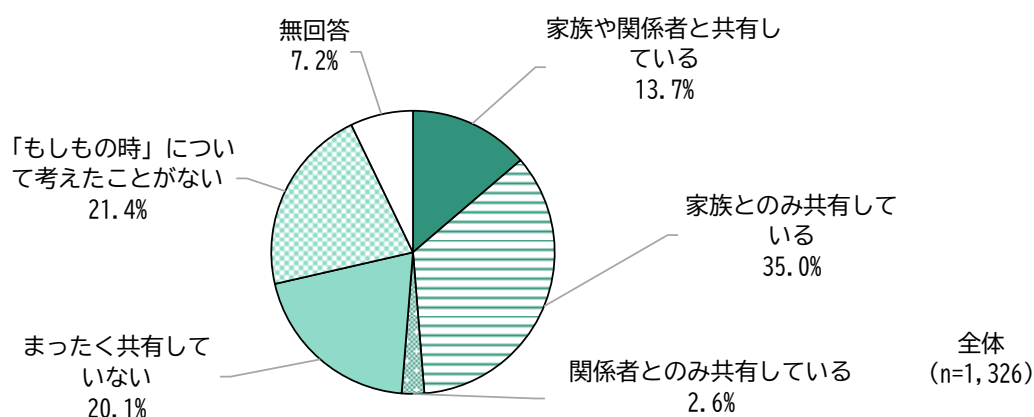


(8) 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか

A票	問4	⑧	容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、家族や関係者(主治医・ケアマネジャー等)と共有していますか。(1つを選択)
----	----	---	---

容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているかについて、「家族とのみ共有している」が35.0%で最も多く、次いで「もしもの時について考えたことがない」が21.4%、「まったく共有していない」が20.1%となっています。

【図表 3-4-12 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示について、家族や関係者と共有しているか】



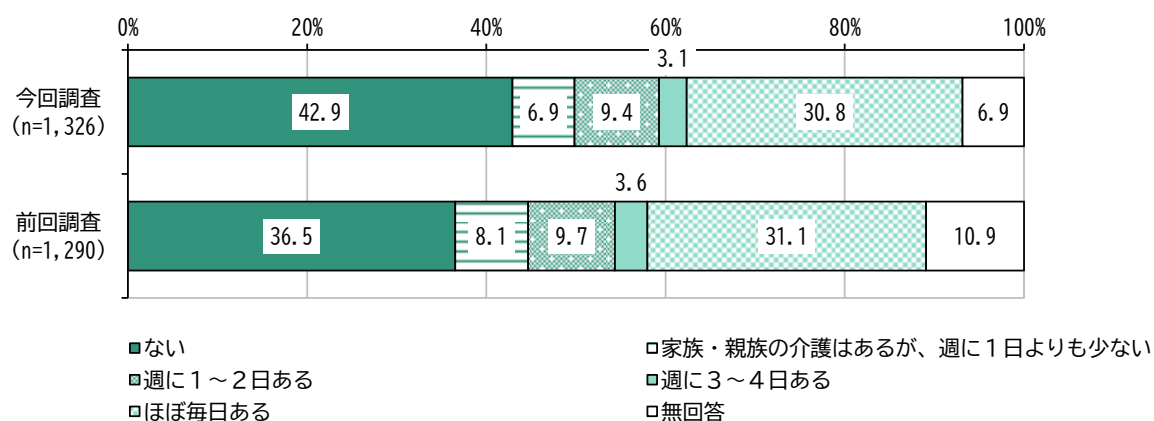
5. ご家族やご親族からの介護について

(1) 家族等からの介護の状況

A票	問5	①	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)
----	----	---	--

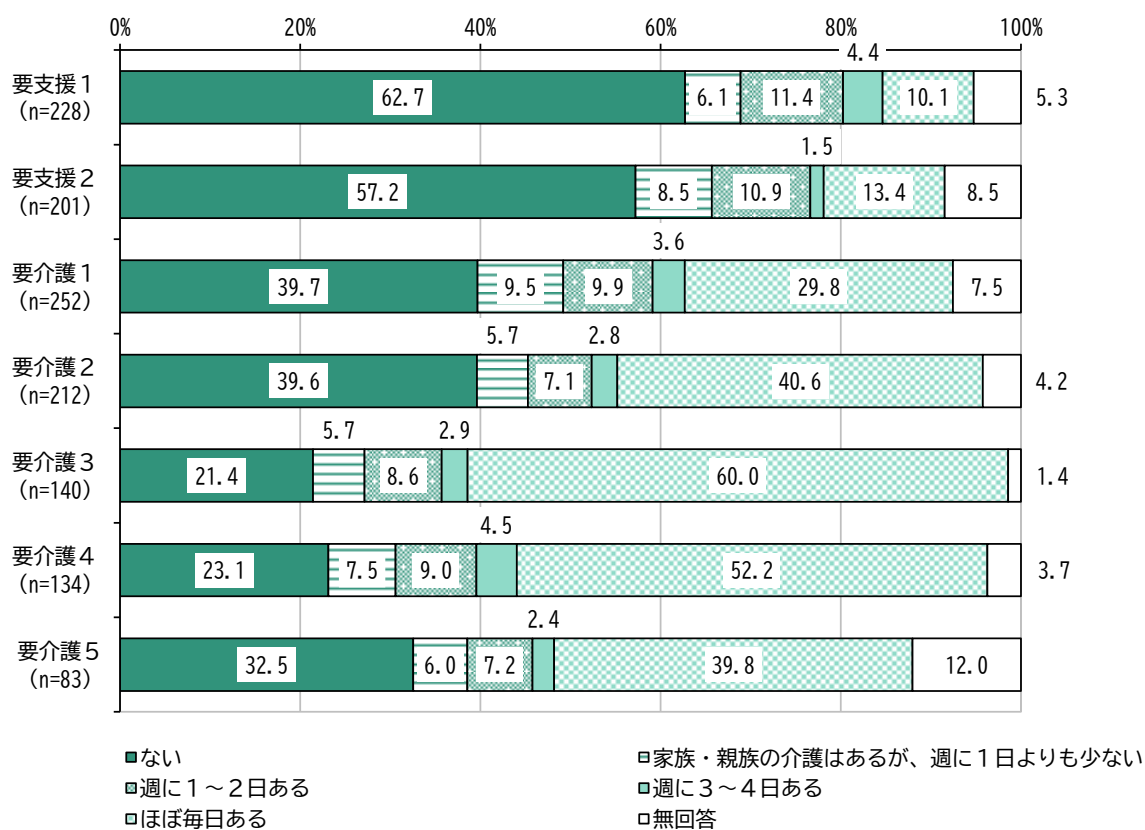
家族等からの介護の状況について、「ない」が42.9%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が30.8%、「週に1～2日ある」が9.4%となっています。また、前回調査と比較して「ない」が6.4ポイント増加しています。

【図表 3-5-1 家族等からの介護の状況】



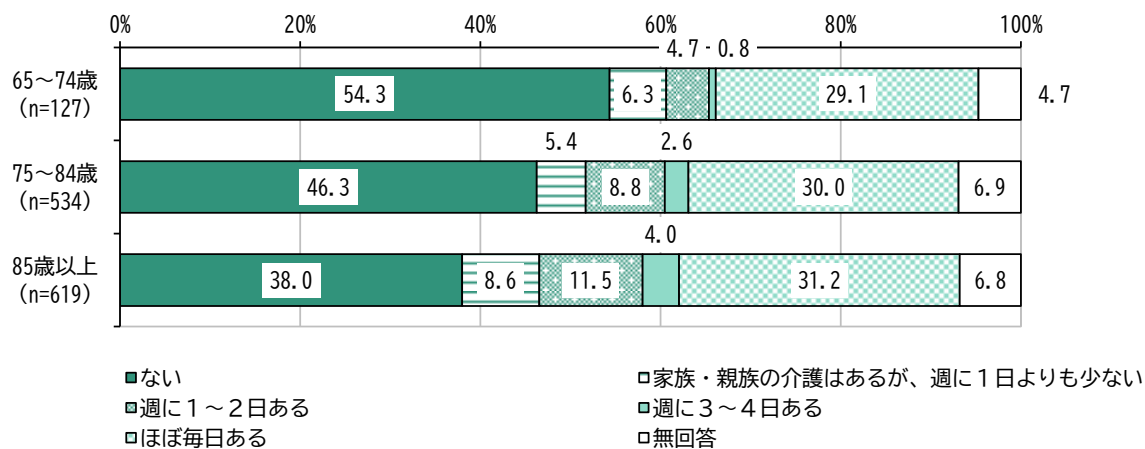
認定状況別にみると、「ない」では、要介護1が62.7%で最も多くなっています。

【図表 3-5-2 家族等からの介護の状況（認定状況別）】



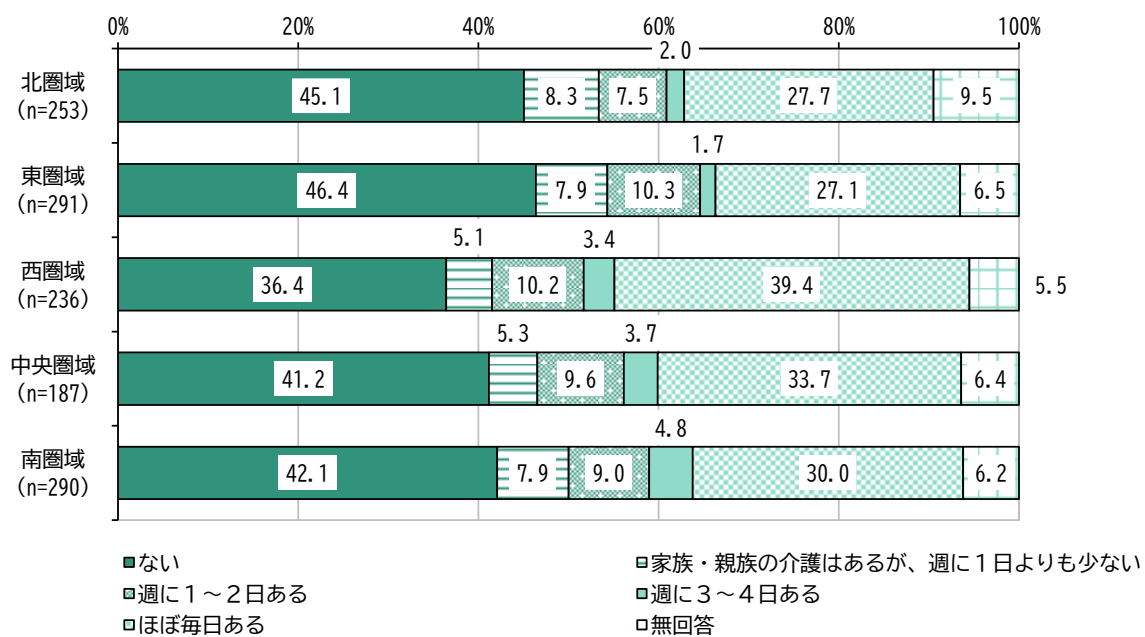
年齢別にみると、「ない」では、65～74歳が54.3%で最も多くなっています。

【図表 3-5-3 家族等からの介護の状況（年齢別）】



圏域別にみると、「ない」では、東圏域が46.4%で最も多くなっています。

【図表 3-5-4 家族等からの介護の状況（圏域別）】



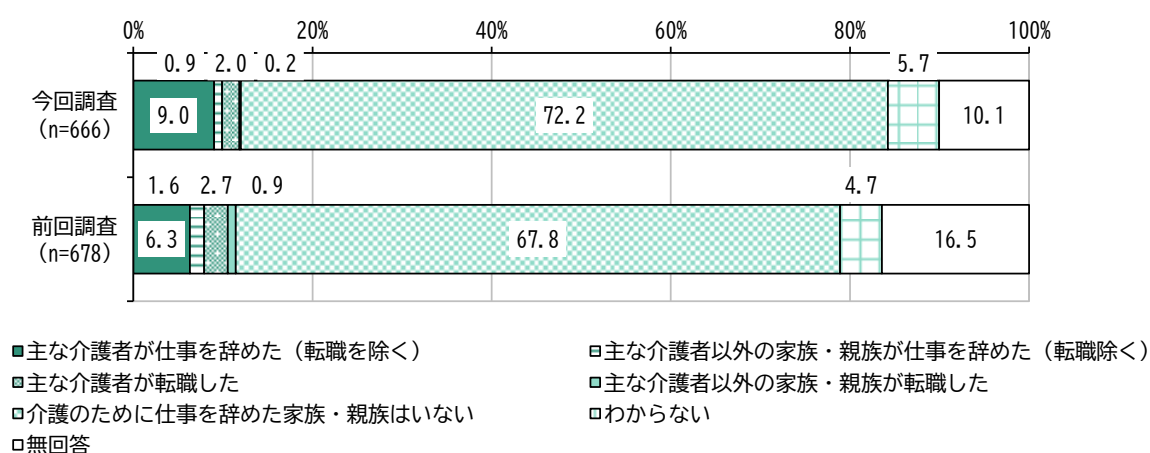
6. 主な介護者について

(1) 介護のために仕事を辞めた人はいるか

B票	問1	①	ご家族やご親族の中で、ご本人様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(1つを選択)
----	----	---	--

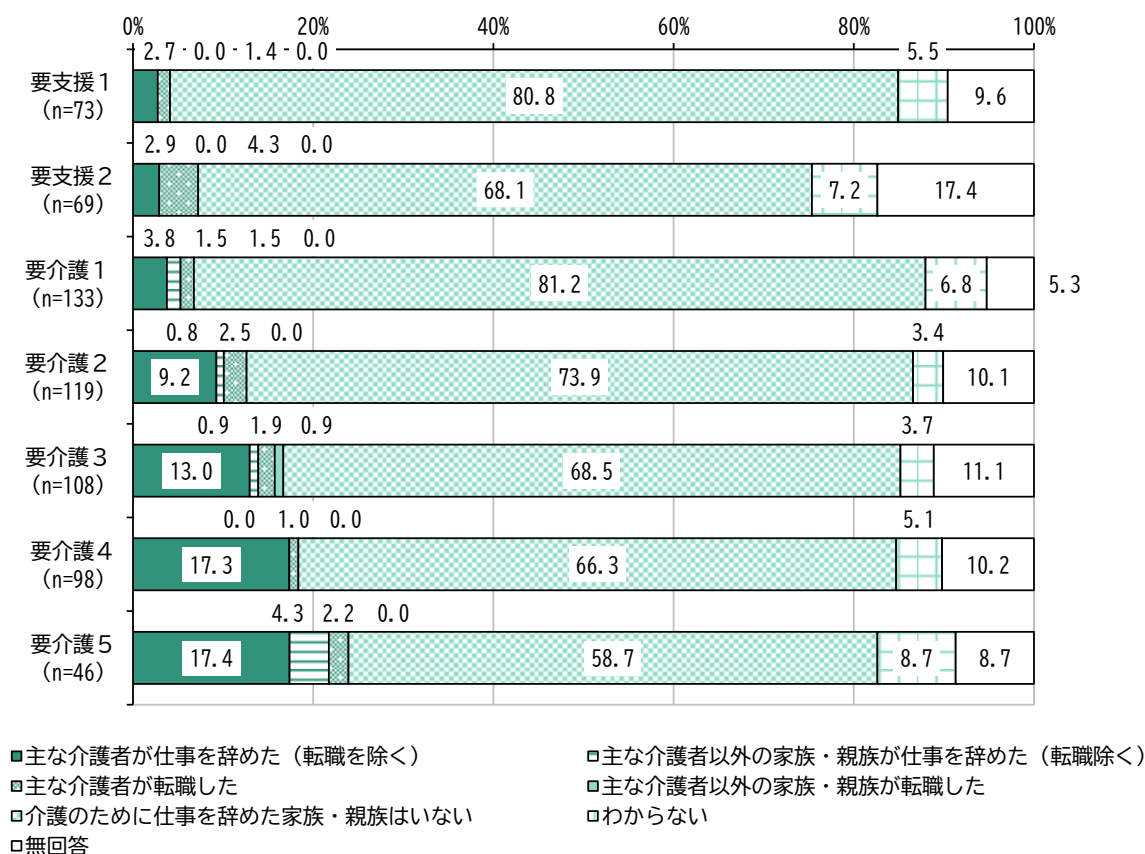
介護のために仕事を辞めた人はいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が72.2%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」が9.0%、「わからない」が5.7%となっています。また、前回調査と比較して「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が4.4ポイント増加しています。

【図表 3-6-1 介護のために仕事を辞めた人はいるか】



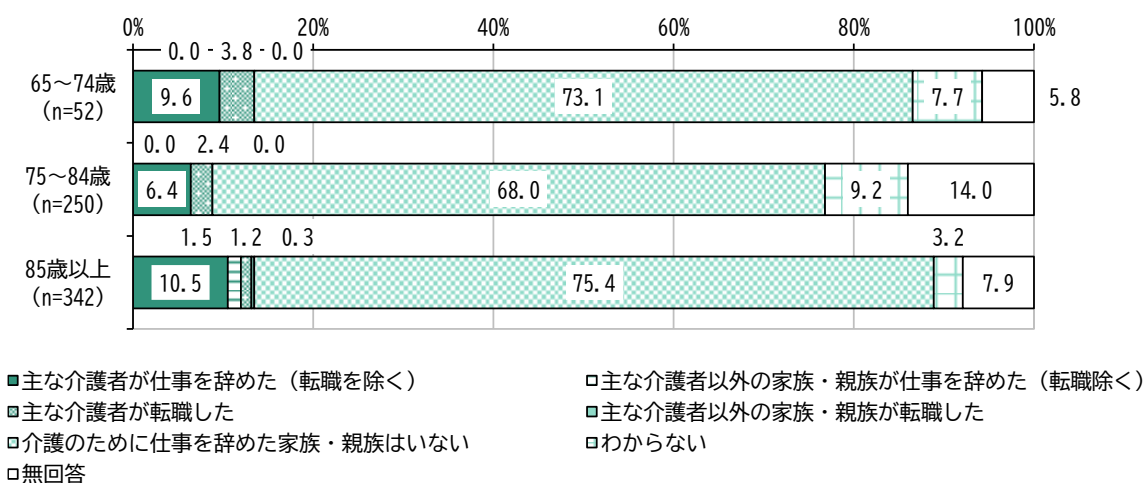
認定状況別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」では、要介護5が17.4%で最も多くなっています。

【図表 3-6-2 介護のために仕事を辞めた人はいるか（認定状況別）】



年齢別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」では、85歳以上が10.5%で最も多くなっています。

【図表 3-6-3 介護のために仕事を辞めた人はいるか（年齢別）】

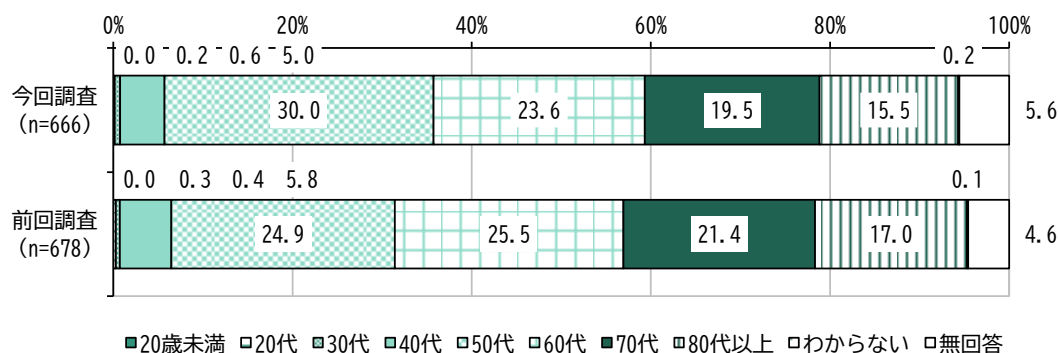


(2) 主な介護者の年齢

B票 問1 ② 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

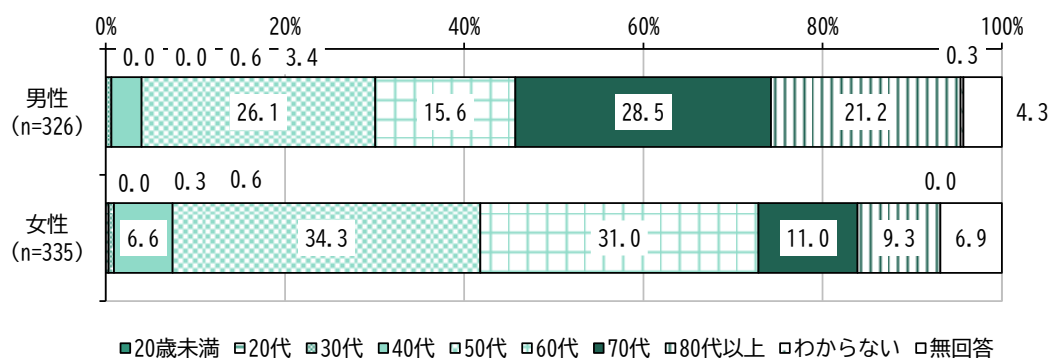
主な介護者の年齢について、「50代」が30.0%で最も多く、次いで「60代」が23.6%、「70代」が19.5%となっています。また、前回調査と比較して「50代」が5.1ポイント増加しています。

【図表 3-6-4 主な介護者の年齢】



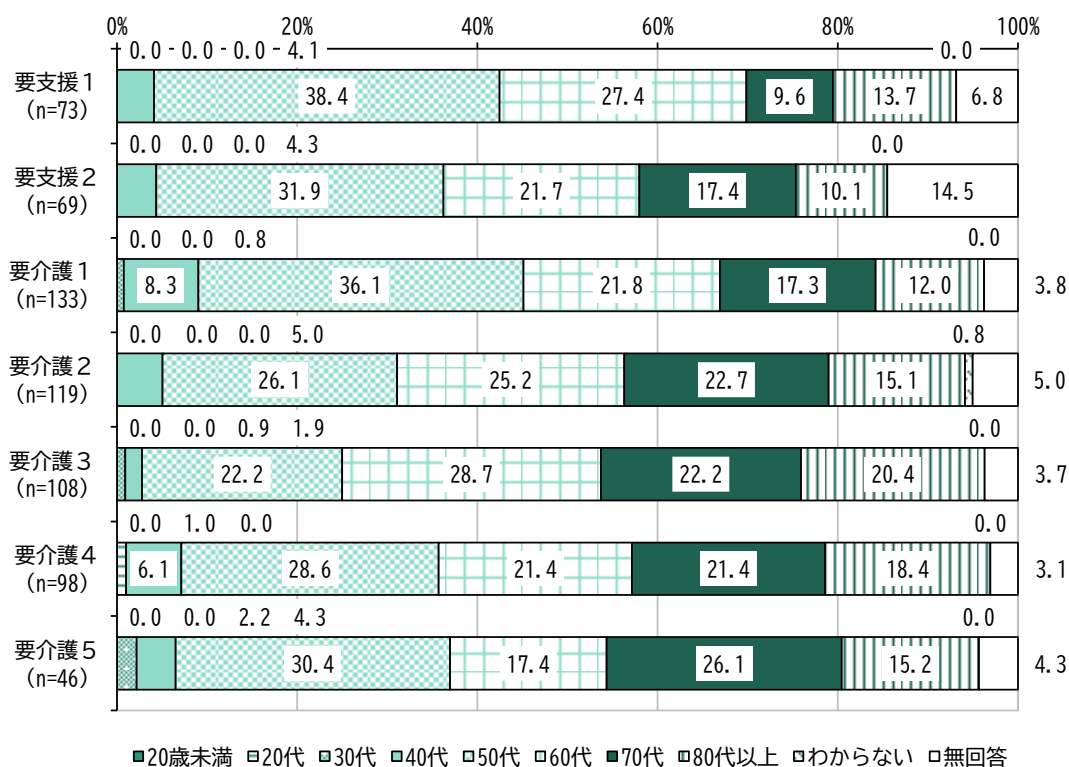
性別でみると、男性では、「70代」が28.5%で最も多く、女性では、「50代」が34.3%で最も多くなっています。

【図表 3-6-5 主な介護者の年齢（性別）】



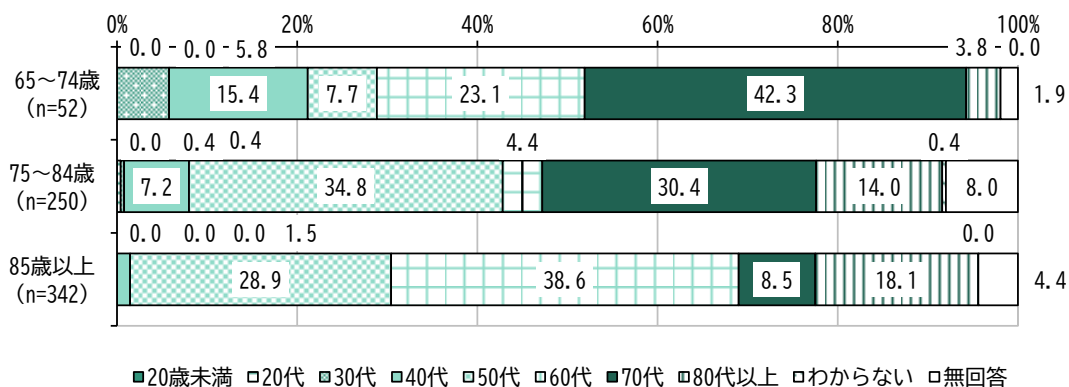
認定状況別にみると、「50代」では、要支援1が38.4%で最も多くなっています。

【図表 3-6-6 主な介護者の年齢（認定状況別）】



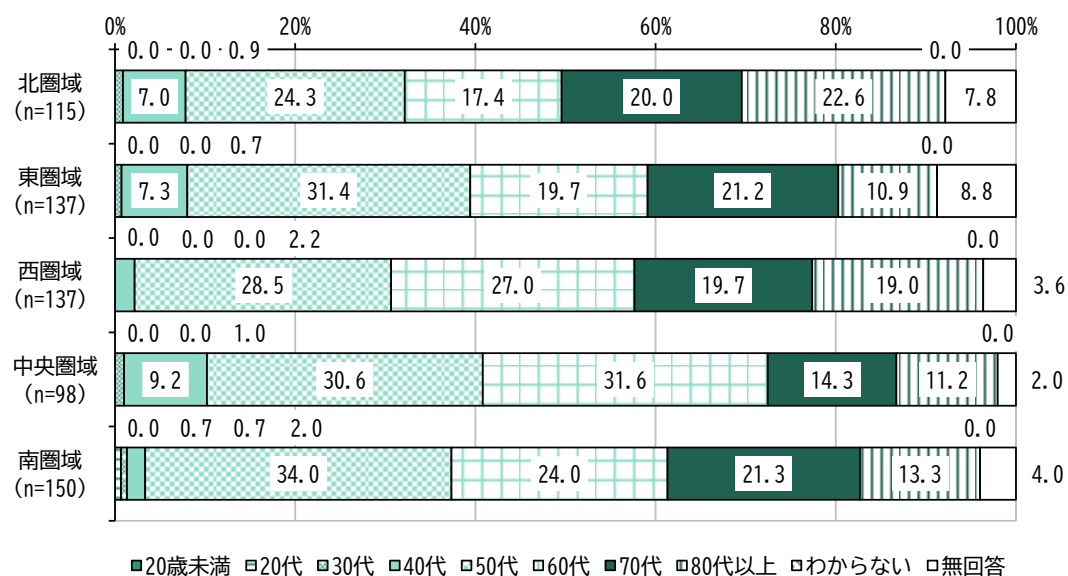
年齢別にみると、「50代」では、75～84歳が34.8%で最も多くなっています。

【図表 3-6-7 主な介護者の年齢（年齢別）】



圏域別にみると、「50代」では、南圏域が34.0%で最も多くなっています。

【図表 3-6-8 主な介護者の年齢（圏域別）】

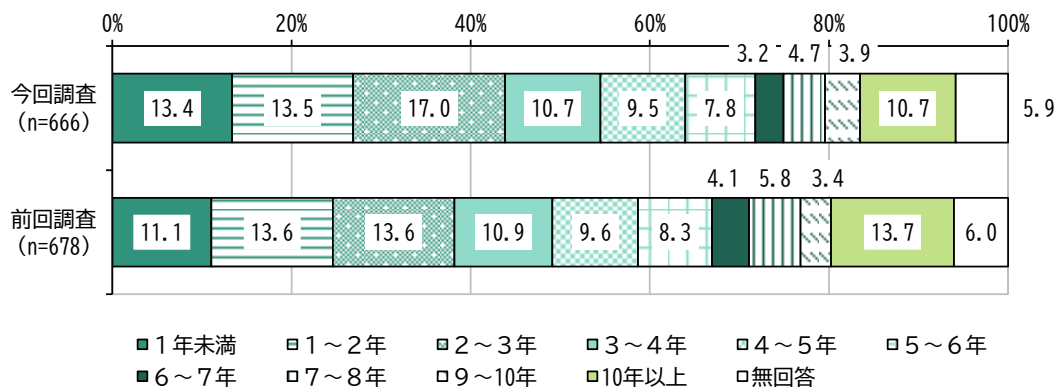


(3) 介護の期間

B票	問1	③	どのくらいの期間、介護をされていますか。(1つを選択)
----	----	---	-----------------------------

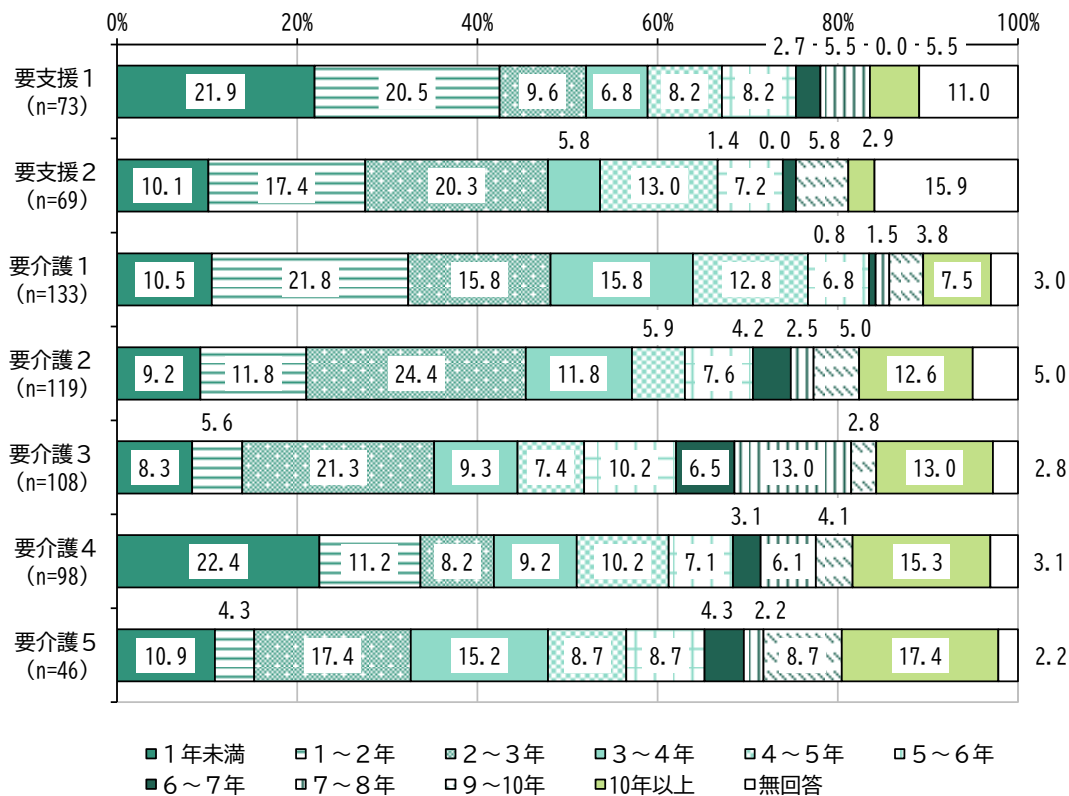
介護の期間について、「2～3年」が17.0%で最も多く、次いで「1～2年」が13.5%、「1年未満」が13.4%となっています。また、前回調査と比較して「2～3年」が3.4ポイント増加しています。

【図表 3-6-9 介護の期間】



認定状況別にみると、「1年未満」では、要介護4が22.4%で最も多くなっています。

【図表 3-6-10 介護の期間（認定状況別）】

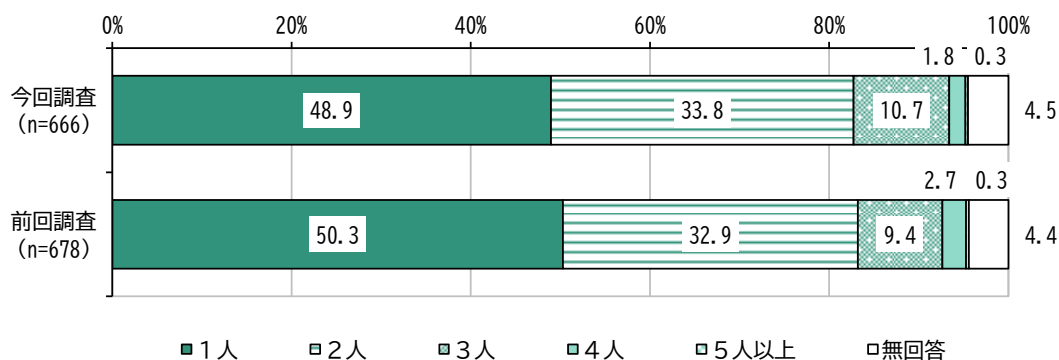


(4) 主な介護者を含め、家族の何人で看ているか

B票	問1	④	主な介護者を含め、家族の何人で看ていますか。(ヘルパーを含まない) (1つを選択)
----	----	---	--

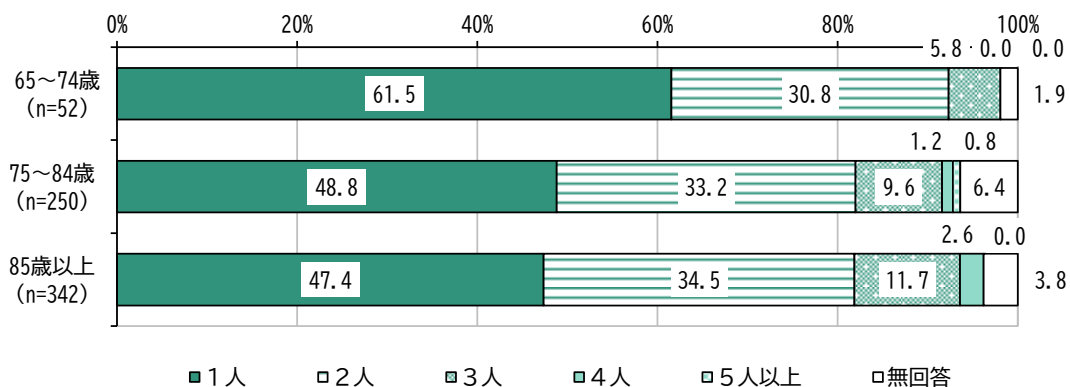
主な介護者を含め、家族の何人で看ているかについて、「1人」が48.9%で最も多く、次いで「2人」が33.8%、「3人」が10.7%となっています。また、前回調査と比較して「1人」が1.4ポイント減少しています。

【図表 3-6-11 主な介護者を含め、家族の何人で看ているか】



年齢別にみると、「1人」では、65～74歳が61.5%で最も多くなっています。

【図表 3-6-12 主な介護者を含め、家族の何人で看ているか（年齢別）】



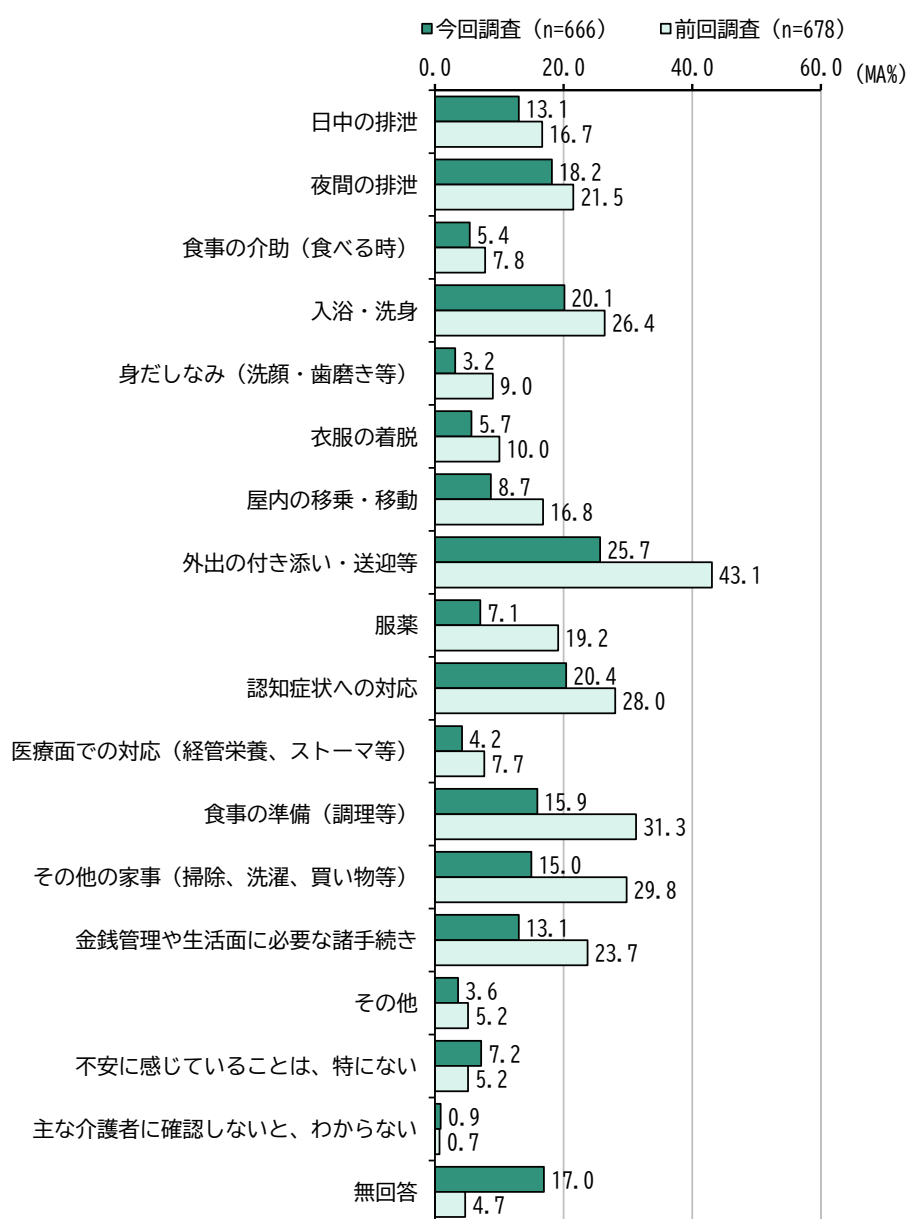
7. 主な介護者の状況について

(1) 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等

B票	問2	①-1	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、お答えください。(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで選択可)
----	----	-----	--

生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「外出の付き添い・送迎等」が25.7%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が20.4%、「入浴・洗身」が20.1%となっています。また、前回調査と比較して「外出の付き添い・送迎等」が17.4ポイント減少しています。

【図表 3-7-1 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等】

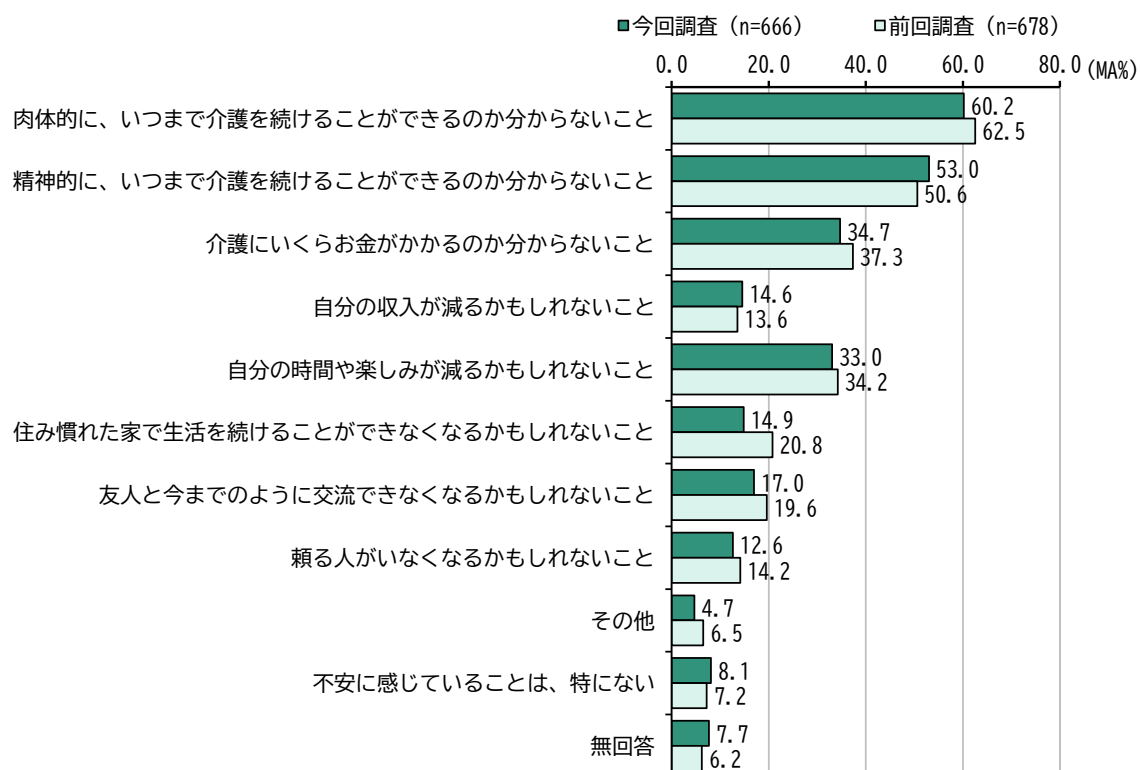


(2) 介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安

B票	問2	①-2	今後介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、ご回答ください。(複数選択可)
----	----	-----	--

介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、「肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと」が60.2%で最も多く、次いで「精神的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと」が53.0%、「介護にいくらお金がかかるのか分からないこと」が34.7%となっています。また、前回調査と比較して「肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと」が2.3ポイント減少しています。

【図表 3-7-2 介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安】



(3) 介護者自身の困りごとの相談相手

B票

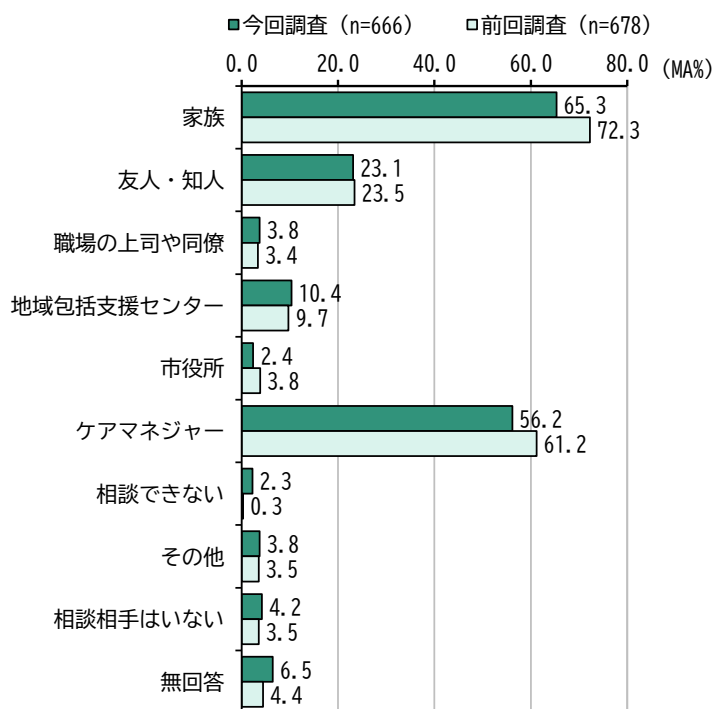
問2

①-3

介護者自身の困りごとの相談相手について、ご回答ください。(複数選択可)

介護者自身の困りごとの相談相手について、「家族」が65.3%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が56.2%、「友人・知人」が23.1%となっています。また、前回調査と比較して「家族」が7.0ポイント減少しています。

【図表 3-7-3 介護者自身の困りごとの相談相手】

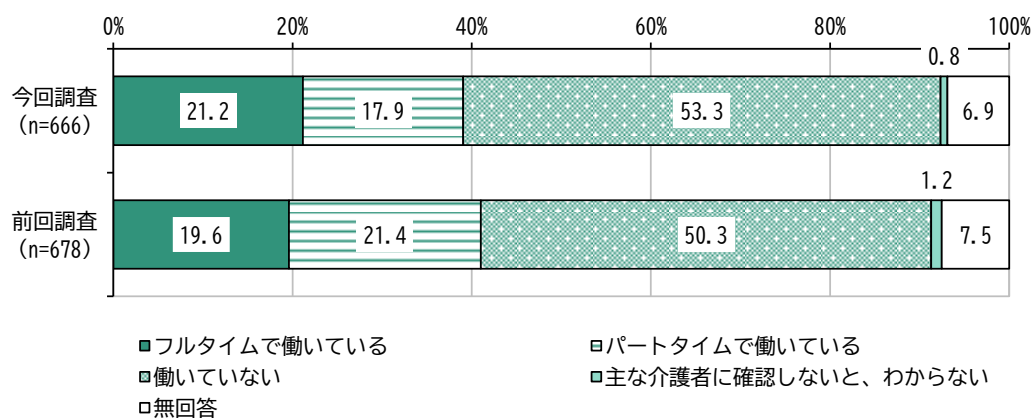


(4) 主な介護者の勤務形態

B票 問2 ② 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

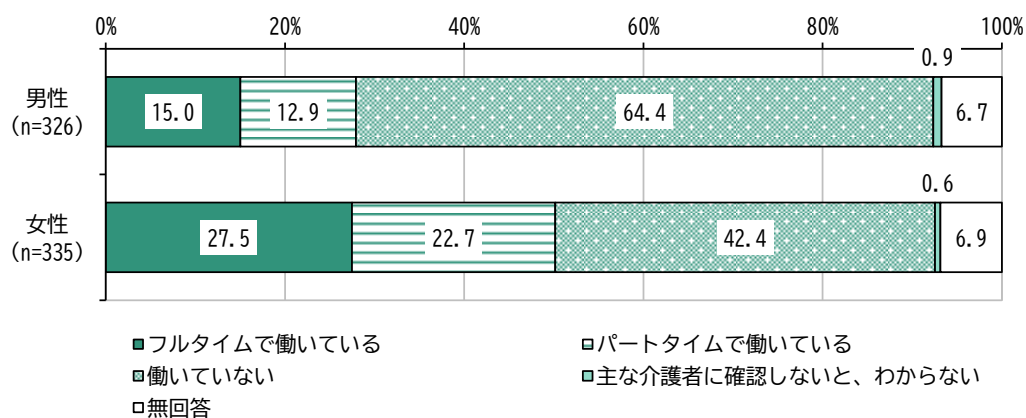
主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が53.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が21.2%、「パートタイムで働いている」が17.9%となっています。また、前回調査と比較して「働いていない」が3.0ポイント増加しています。

【図表 3-7-4 主な介護者の勤務形態】



性別でみると、「働いていない」について、男性では64.4%、女性では42.4%となっており、男性が22.0ポイント高くなっています。

【図表 3-7-5 主な介護者の勤務形態（性別）】

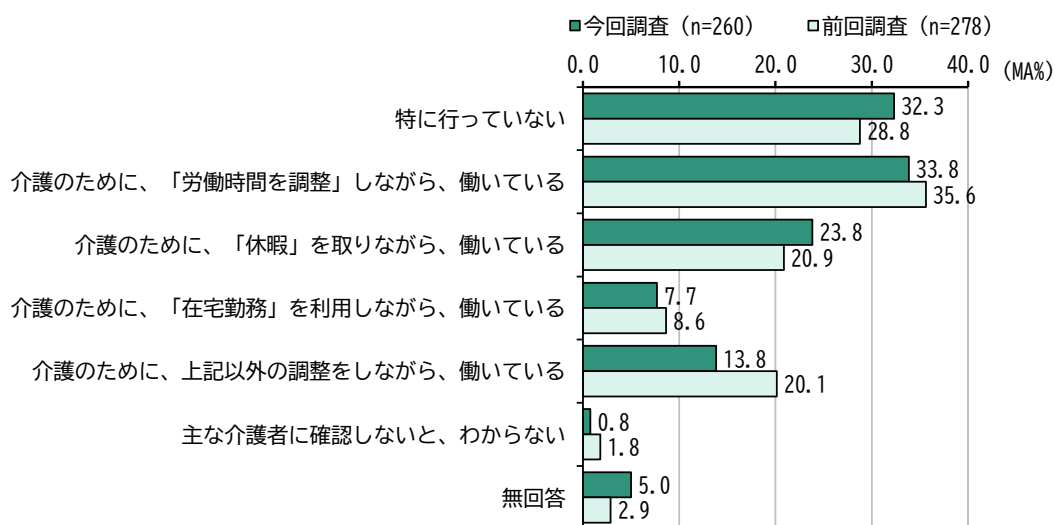


(5) 主な介護者の働き方の調整等の状況

B票	問2	③	〈②〉で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみにお伺いします。 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数選択可)
----	----	---	--

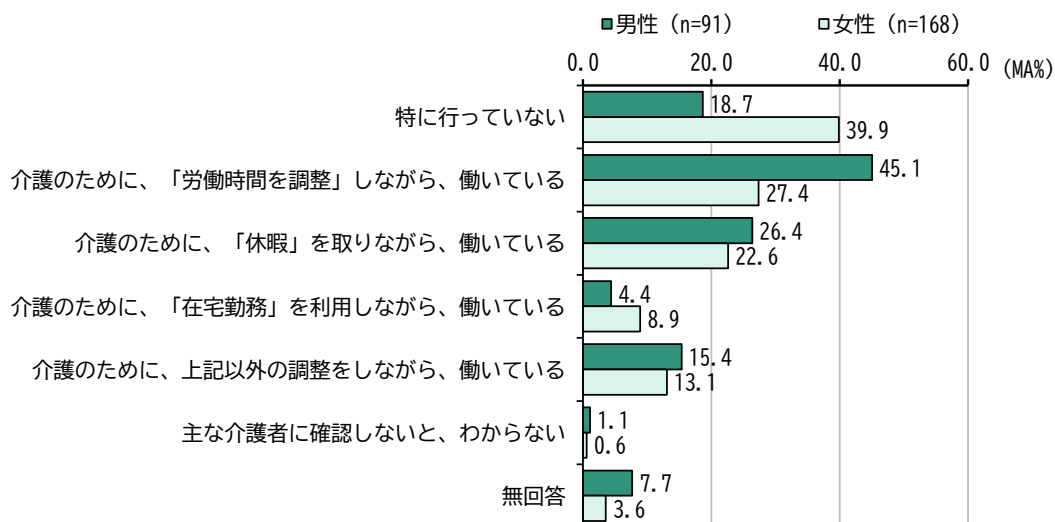
主な介護者の働き方の調整等の状況について、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が33.8%で最も多く、次いで「特に行っていない」が32.3%、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が23.8%となっています。また、前回調査と比較して「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が1.8ポイント減少しています。

【図表 3-7-6 主な介護者の働き方の調整等の状況】



性別でみると、男性では、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が45.1%で最も多く、女性では、「特に行っていない」が39.9%で最も多くなっています。

【図表 3-7-7 主な介護者の働き方の調整等の状況（性別）】

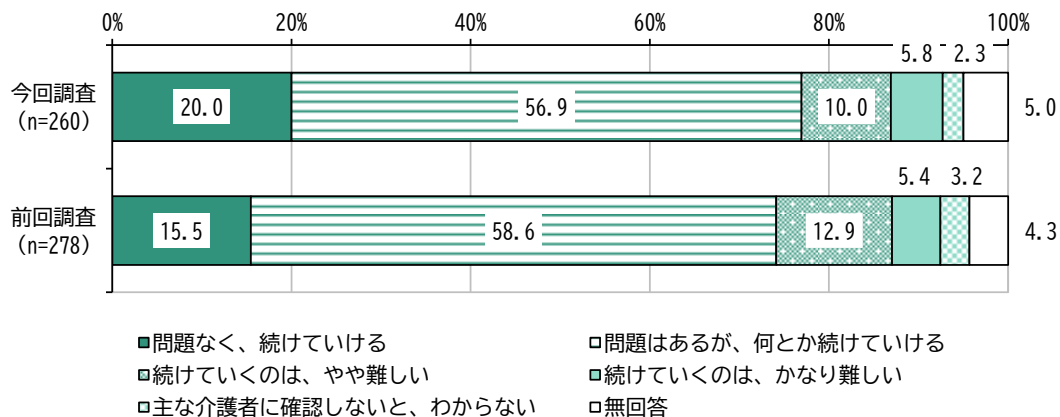


(6) 主な介護者は今後も働きながら続けていけるか

B票	問2	④	〈②〉で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみにお伺いします。 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。 (1つを選択)
----	----	---	--

主な介護者は今後も働きながら続けていけるかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が56.9%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.0%となっています。また、前回調査と比較して「問題はあるが、何とか続けていける」が1.7ポイント減少しています。

【図表 3-7-8 主な介護者は今後も働きながら続けていけるか】

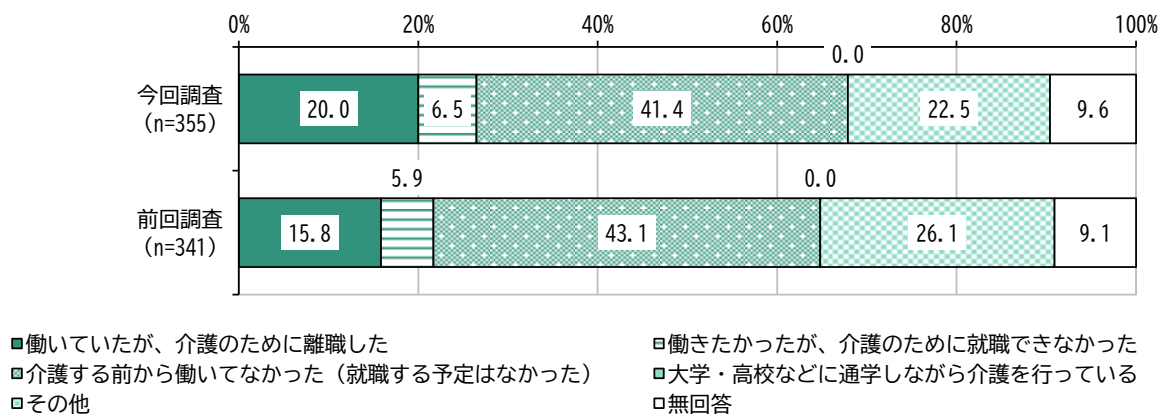


(7) 働いていない理由

B票	問2	⑤	〈②〉で「働いていない」を回答された方のみにお伺いします。 働いていない理由について、ご回答ください。(1つを選択)
----	----	---	--

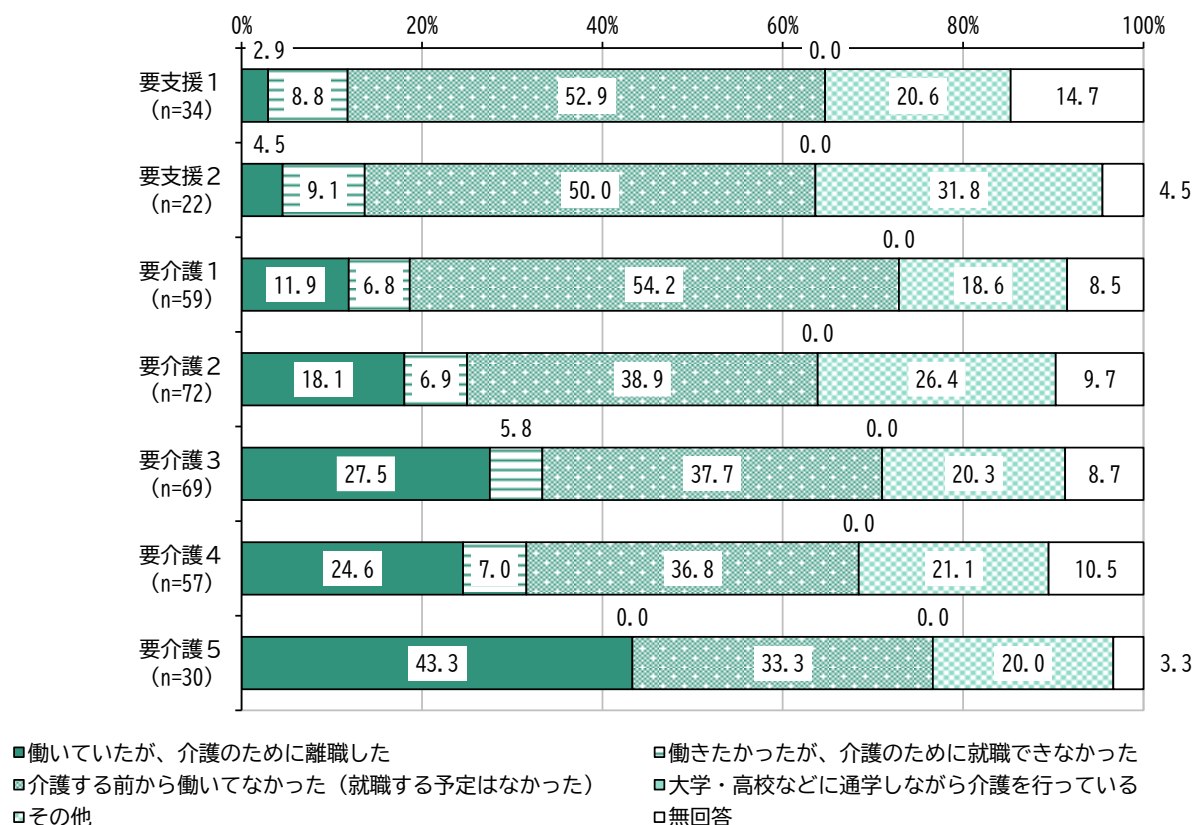
働いていない理由について、「介護する前から働いてなかった（就職する予定はなかった）」が41.4%で最も多く、次いで「その他」が22.5%、「働いていたが、介護のために離職した」が20.0%となっています。また、前回調査と比較して「介護する前から働いてなかった（就職する予定はなかった）」が1.7ポイント減少しています。

【図表 3-7-9 働いていない理由】



認定状況別にみると、「働いていたが、介護のために離職した」では、要介護5が43.3%で最も多くなっています。

【図表 3-7-10 働いていない理由（認定状況別）】

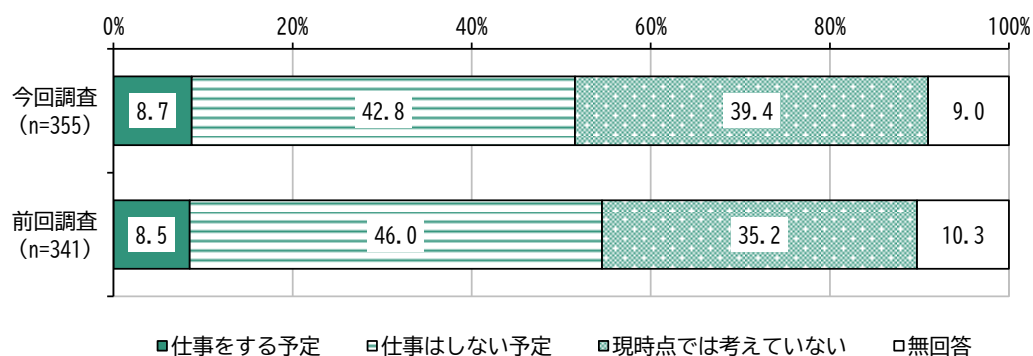


（８）介護が終了した後の介護者の生活

B票	問2	⑥	〈②〉で「働いていない」を回答された方のみにお伺いします。
			介護が終了した後の介護者ご自身の生活について、考えられていることはありますか。（1つを選択）

介護が終了した後の介護者の生活について、「仕事はしない予定」が42.8%で最も多く、次いで「現時点では考えていない」が39.4%、「仕事をする予定」が8.7%となっています。また、前回調査と比較して「仕事はしない予定」が3.2ポイント減少しています。

【図表 3-7-11 介護が終了した後の介護者の生活】



(9) 介護者に対する支援で必要だと思うもの

B票

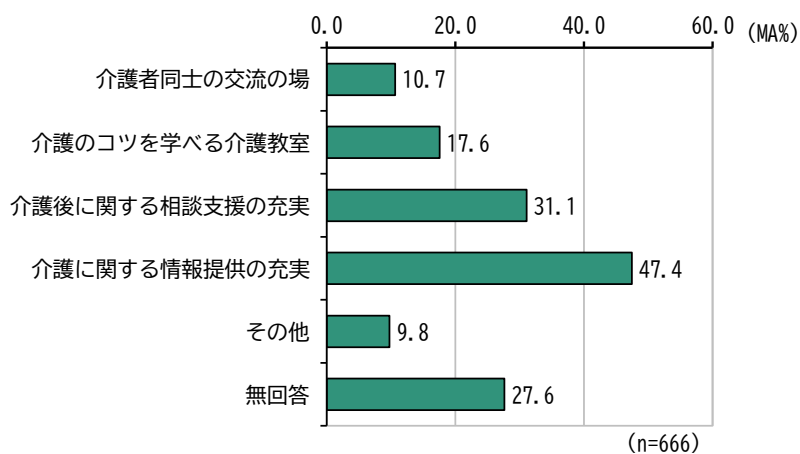
問2

⑦

介護者に対する支援で必要だと思うものは何ですか。(複数選択可)

介護者に対する支援で必要だと思うものについて、「介護に関する情報提供の充実」が47.4%で最も多く、次いで「介護後に関する相談支援の充実」が31.1%、「介護のコツを学べる介護教室」が17.6%となっています。

【図表 3-7-12 介護者に対する支援で必要だと思うもの】



第4章 介護保険事業者調査結果

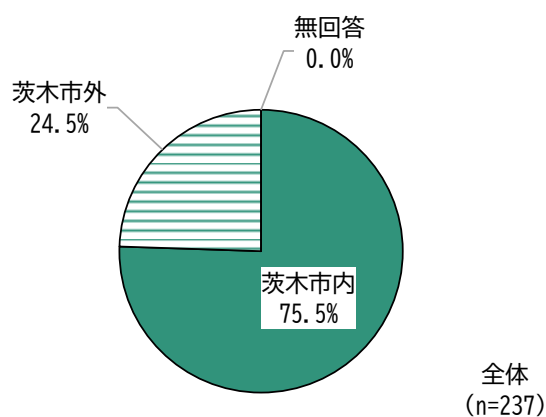
1. 法人の概要

(1) 代表所在地

問1	②	代表所在地
----	---	-------

代表所在地について、「茨木市内」が75.5%、「茨木市外」が24.5%となっています。

【図表 4-1-1 代表所在地】

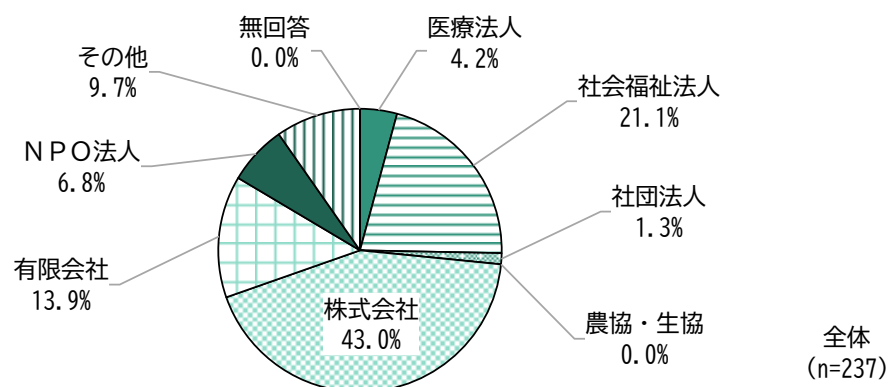


(2) 法人種別

問1	③	法人種別(1つを選択)
----	---	-------------

法人種別について、「株式会社」が43.0%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が21.1%、「有限会社」が13.9%となっています。

【図表 4-1-2 法人種別】



(3) 提供するサービス

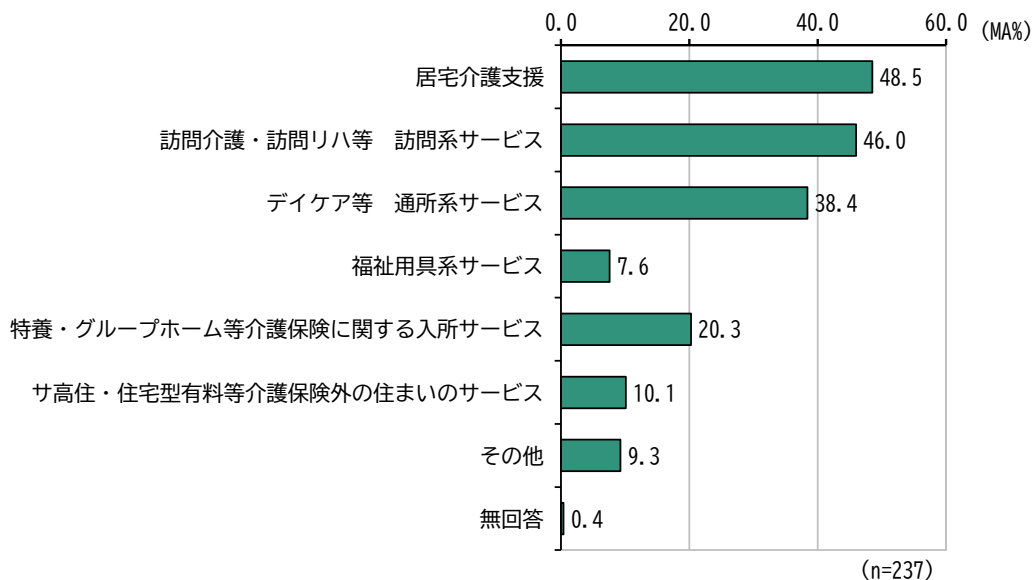
問1

⑤

貴法人が提供するサービスについてお答えください。(複数選択可)

提供するサービスについて、「居宅介護支援」が 48.5%で最も多く、次いで「訪問介護・訪問リハ等 訪問系サービス」が 46.0%、「デイケア等 通所系サービス」が 38.4%となっています。

【図表 4-1-3 提供するサービス】



(4) サービスの提供先

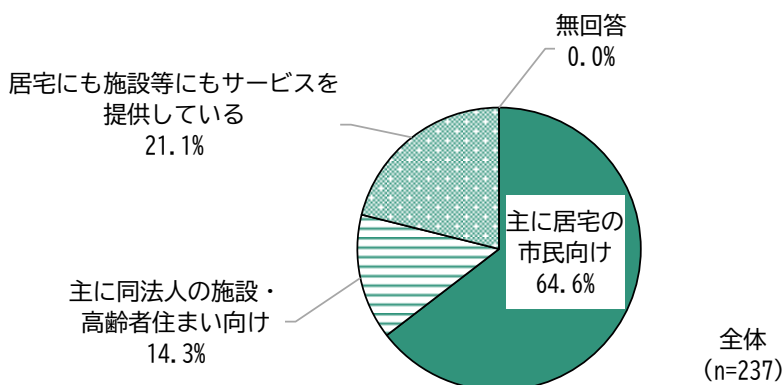
問1

⑥

サービスの提供先についてお答えください。(1つを選択)

サービスの提供先について、「主に居宅の市民向け」が 64.6%で最も多く、次いで「居宅にも施設等にもサービスを提供している」が 21.1%、「主に同法人の施設・高齢者住まい向け」が 14.3%となっています。

【図表 4-1-4 サービスの提供先】



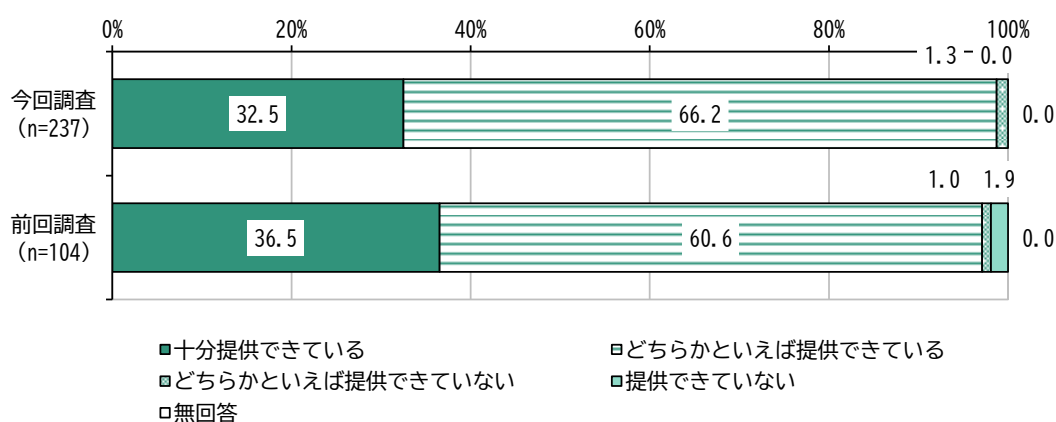
2. サービスについて

(1) サービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思うか

問2	①	サービス提供に対する自己評価について、全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思いますか。(1つを選択)
----	---	--

サービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思うかについて、「どちらかといえば提供できている」が66.2%で最も多く、次いで「十分提供できている」が32.5%、「どちらかといえば提供できていない」が1.3%となっています。また、前回調査と比較して「どちらかといえば提供できている」が5.7ポイント増加しています。

【図表 4-2-1 サービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思うか】



(2) 介護保険サービス以外の事業を実施しているか

問2

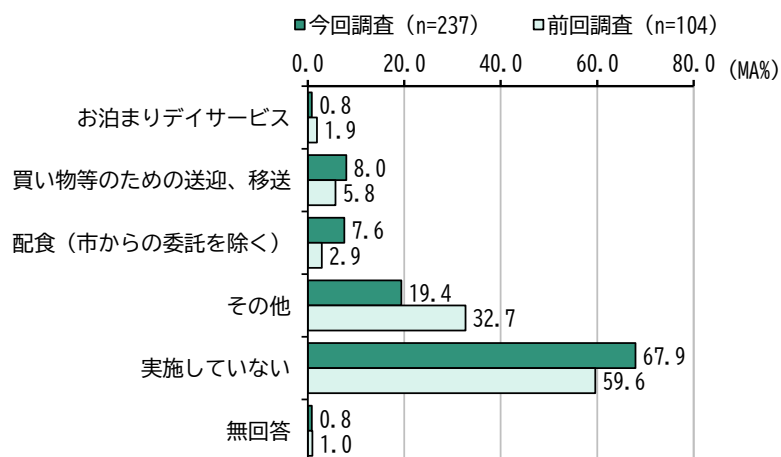
②

貴法人独自で介護保険サービス以外の事業を実施していますか。(複数選択可)

介護保険サービス以外の事業を実施しているかについて、「実施していない」が67.9%で最も多く、次いで「その他」が19.4%、「買い物等のための送迎、移送」が8.0%となっています。また、前回調査と比較して「実施していない」が8.3ポイント増加しています。

「その他」の内容について、『日常生活支援・ヘルパー』(18件)、『介護タクシー・通院支援』(7件)などがあります。

【図表 4-2-2 介護保険サービス以外の事業を実施しているか】



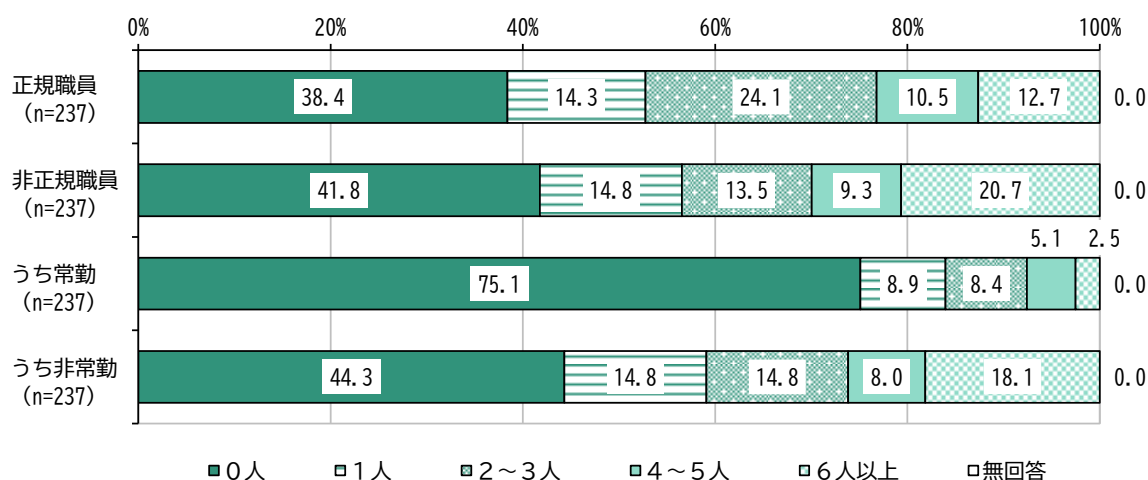
3. 職員について

(1) 介護職員の採用状況

問3	①	令和6年度における介護職員の採用状況を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。(数字を入力) (令和6年4月1日～令和7年3月31日、茨木市内での事業状況)
----	---	--

介護職員の採用状況について、「正規職員」が平均 1.97 人、「非正規職員」が平均 3.62 人となっており、「うち常勤」が平均 0.77 人、「うち非常勤」が平均 2.95 人となっています。

【図表 4-3-1 介護職員の採用状況】



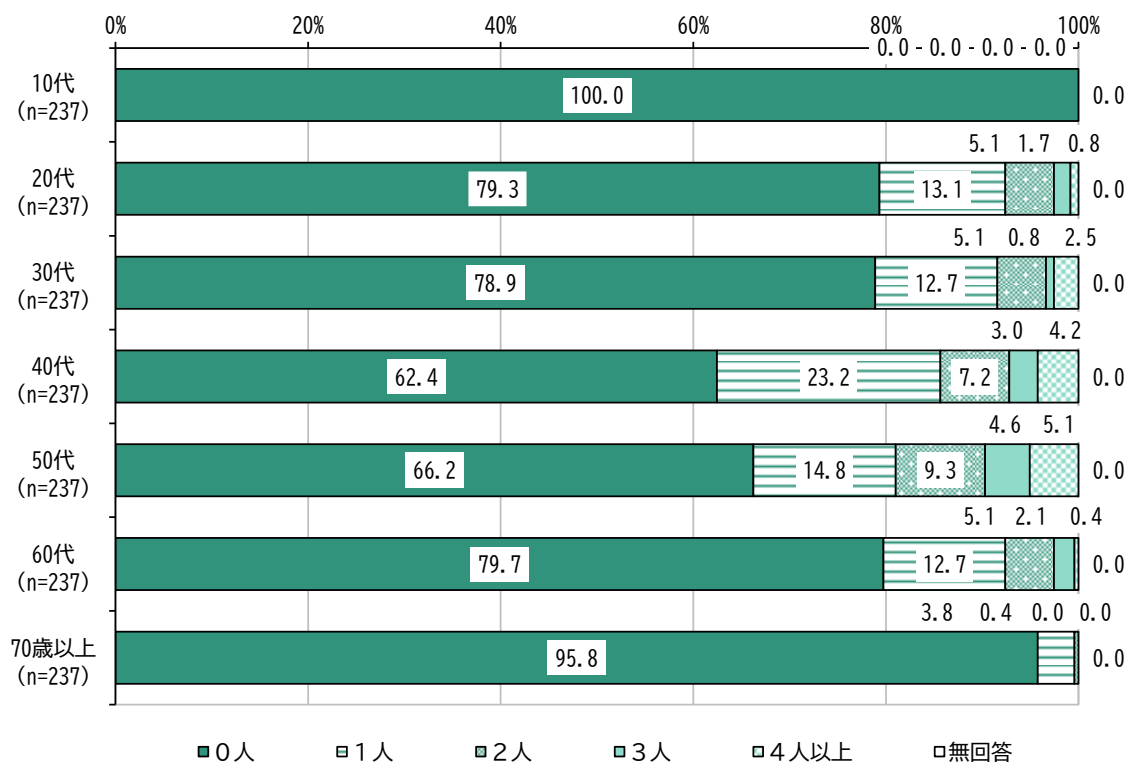
【図表 4-3-2 介護職員の採用状況（平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
正規職員	1.97	2.57
非正規職員	3.62	3.33
うち常勤	0.77	0.15
うち非常勤	2.95	3.05

① 正規職員

採用した正規職員の年齢について、「70 歳以上」が平均 0.68 人で最も多く、次いで「50 代」が平均 0.43 人、「30 代」が平均 0.32 人となっています。

【図表 4-3-3 介護職員の採用状況（年齢別）】



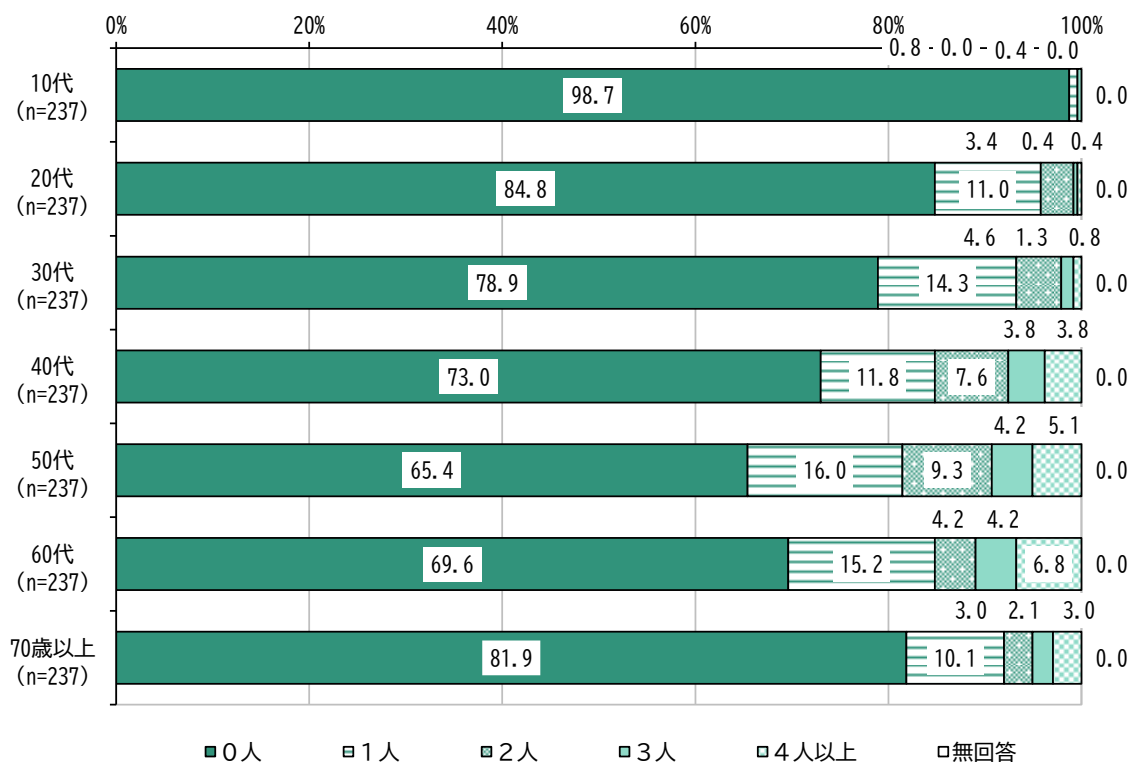
【図表 4-3-4 介護職員の採用状況（年齢別・平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
10代	0.00	-
20代	0.02	0.46
30代	0.32	0.48
40代	0.21	0.74
50代	0.43	0.61
60代	0.31	0.23
70歳以上	0.68	0.05

② 非正規職員

採用した非正規職員の年齢について、「20代」「50代」が平均0.78人で最も多く、次いで「30代」が平均0.71人、「10代」が平均0.59人となっています。

【図表 4-3-5 介護職員の採用状況（年齢別）】



【図表 4-3-6 介護職員の採用状況（年齢別・平均）】

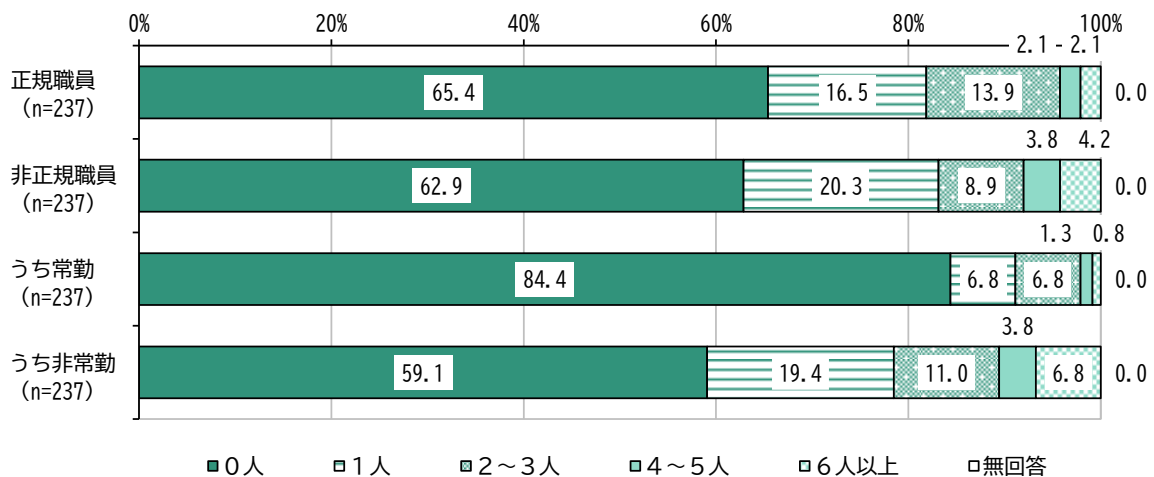
	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
10代	0.59	-
20代	0.78	0.25
30代	0.71	0.50
40代	0.31	0.77
50代	0.78	0.58
60代	0.05	0.64
70歳以上	0.41	0.46

(2) 介護職員の離職状況

問3	②	令和6年度における介護職員の離職状況を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。また、勤続年数は、貴法人での勤続年数としてください。(数字を入力) (令和6年4月1日～令和7年3月31日、茨木市内での事業状況)
----	---	--

介護職員の離職状況について、「正規職員」が平均 0.63 人、「非正規職員」が平均 1.10 人となっており、「うち常勤」が平均 0.36 人、「うち非常勤」が平均 1.30 人となっています。

【図表 4-3-7 介護職員の離職状況】



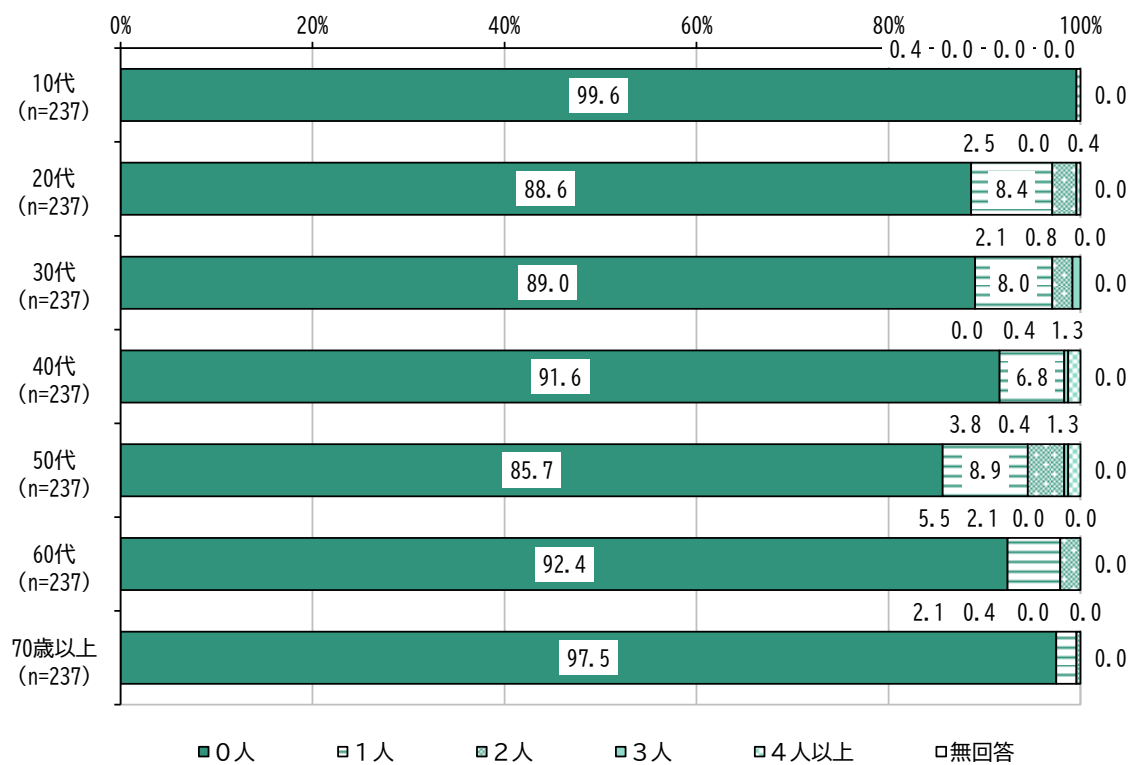
【図表 4-3-8 介護職員の離職状況（平均）】

単位（人）		
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
正規職員	0.63	1.38
非正規職員	1.10	1.75
うち常勤	0.36	0.10
うち非常勤	1.30	1.60

① 正規職員（年齢別）

離職した正規職員の年齢について、「30代」「50代」が平均0.15人で最も多く、次いで「70歳以上」が平均0.14人、「60代」が平均0.12人となっています。

【図表 4-3-9 介護職員の離職状況（年齢別）】



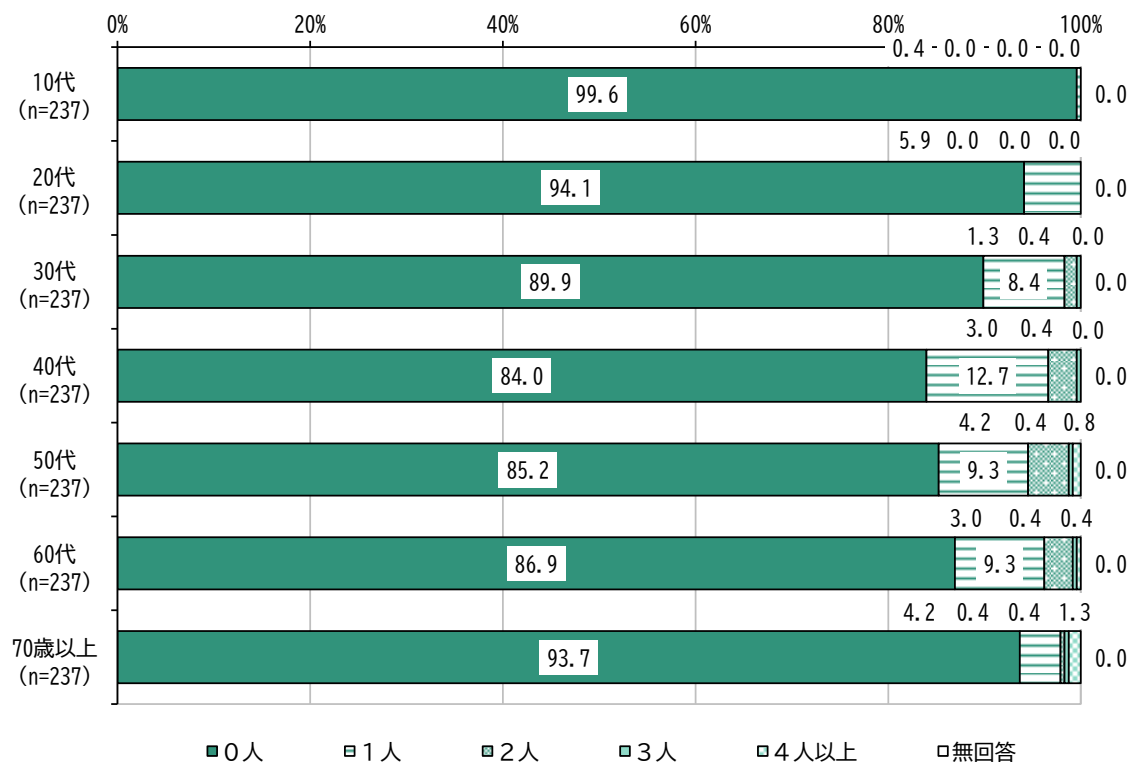
【図表 4-3-10 介護職員の離職状況（年齢別・平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
10代	0.00	-
20代	0.00	0.34
30代	0.15	0.28
40代	0.06	0.30
50代	0.15	0.30
60代	0.12	0.12
70歳以上	0.14	0.00

② 非正規職員（年齢別）

離職した非正規職員の年齢について、「20代」が平均 0.24 人で最も多く、次いで「30代」が平均 0.22 人、「10代」が平均 0.20 人となっています。

【図表 4-3-11 介護職員の離職状況（年齢別）】



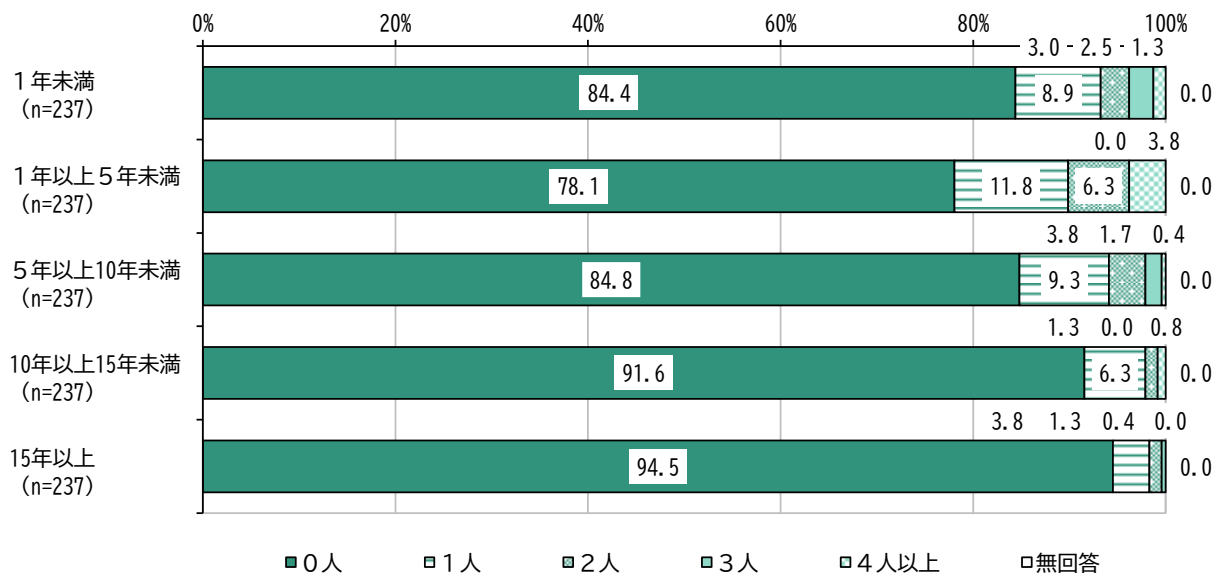
【図表 4-3-12 介護職員の離職状況（年齢別・平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
10代	0.20	-
20代	0.24	0.11
30代	0.22	0.25
40代	0.10	0.39
50代	0.19	0.23
60代	0.03	0.18
70歳以上	0.13	0.14

③ 正規職員（勤続年数別）

離職した正規職員の勤続年数について、「5年以上10年未満」が平均0.50人で最も多く、次いで「1年以上5年未満」「10年以上15年未満」が平均0.45人、「1年未満」が平均0.29人となっています。

【図表 4-3-13 介護職員の離職状況（勤続年数別）】



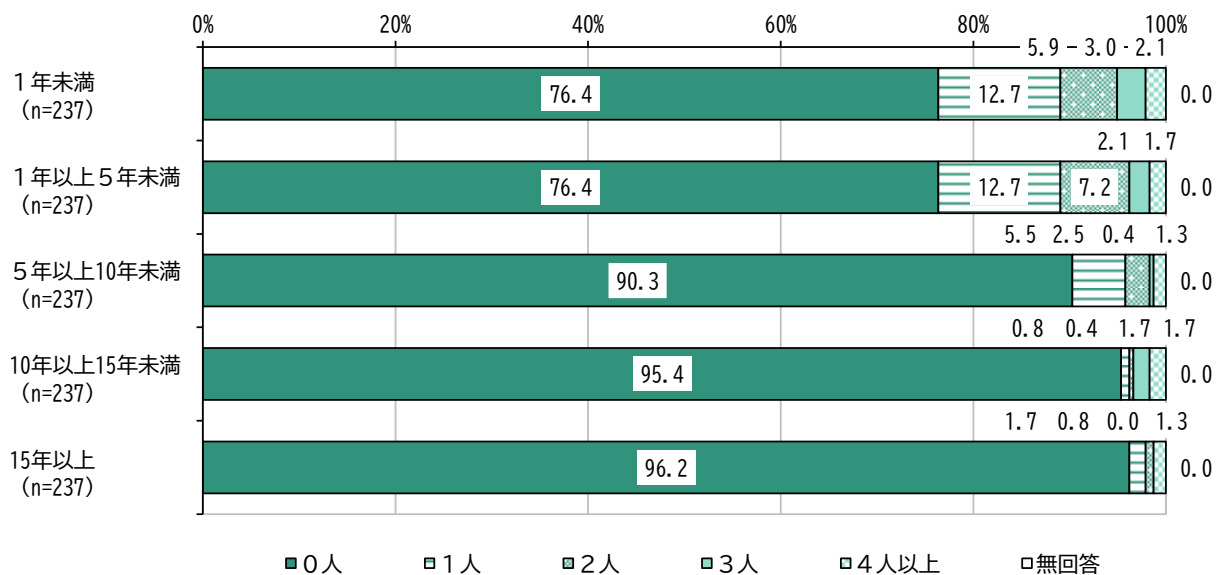
【図表 4-3-14 介護職員の離職状況（勤続年数別・平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
1年未満	0.29	0.35
1年以上5年未満	0.45	0.58
5年以上10年未満	0.50	0.27
10年以上15年未満	0.45	0.04
15年以上	0.27	0.00

④ 非正規職員（勤続年数別）

離職した非正規職員の勤続年数について、「1年未満」が平均0.20人で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が平均0.19人、「1年以上5年未満」が平均0.12人となっています。

【図表 4-3-15 介護職員の離職状況（勤続年数別）】



【図表 4-3-16 介護職員の離職状況（勤続年数別・平均）】

	単位（人）	
	今回調査 (n=237)	前回調査 (n=104)
1年未満	0.20	0.70
1年以上5年未満	0.12	0.80
5年以上10年未満	0.19	0.16
10年以上15年未満	0.08	0.03
15年以上	0.10	0.03

(3) 職員の処遇向上のために取り組んでいること

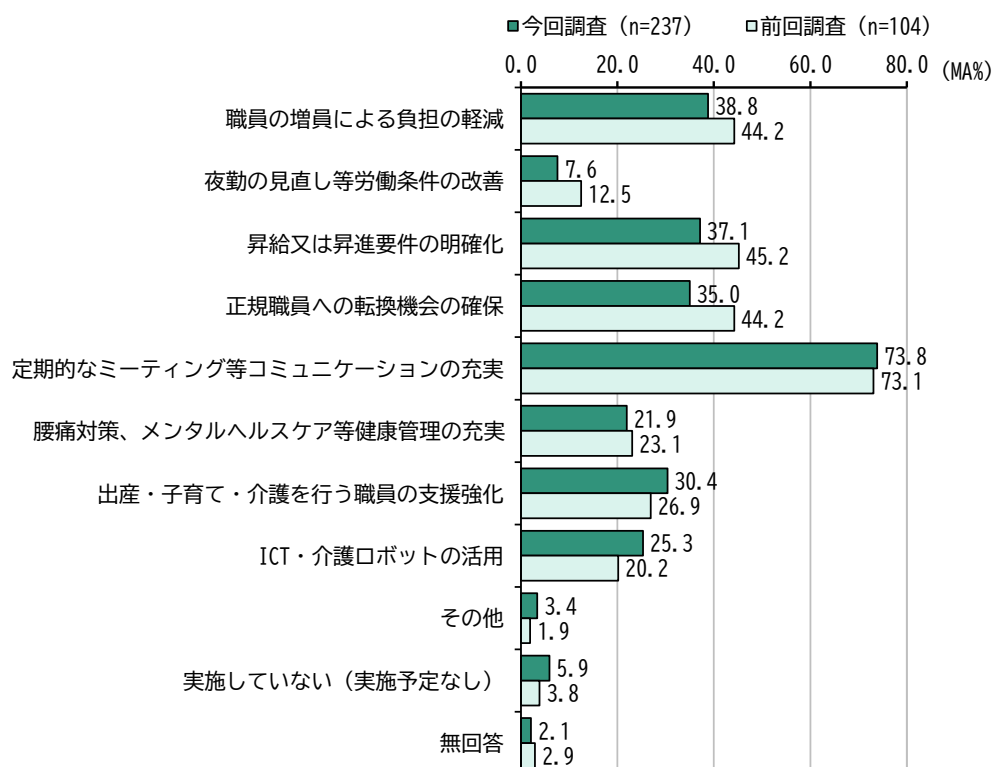
問3

③

職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

職員の処遇向上のために取り組んでいることについて、「定期的なミーティング等コミュニケーションの充実」が73.8%で最も多く、次いで「職員の増員による負担の軽減」が38.8%、「昇給又は昇進要件の明確化」が37.1%となっています。また、前回調査と比較して「ICT・介護ロボットの活用」が5.1ポイント増加しています。

【図表 4-3-17 職員の処遇向上のために取り組んでいること】

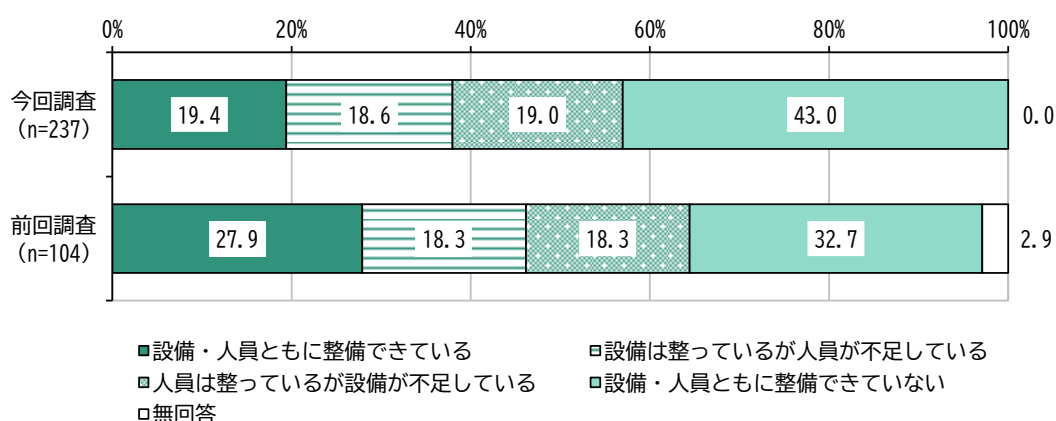


(4) 事業所での ICT の推進について、その体制は整備できているか

問3 ④ 事業所での ICT の推進について、その体制は整備できていますか。(1つを選択)

事業所での ICT の推進について、その体制は整備できているかについて、「設備・人員ともに整備できていない」が43.0%で最も多く、次いで「設備・人員ともに整備できている」が19.4%、「人員は整っているが設備が不足している」が19.0%となっています。また、前回調査と比較して「設備・人員ともに整備できていない」が10.3ポイント増加しています。

【図表 4-3-18 事業所での ICT の推進について、その体制は整備できているか】

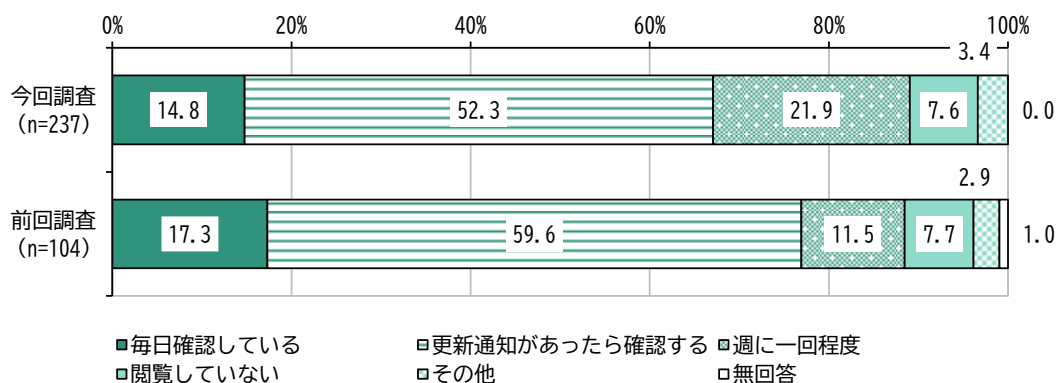


(5) ケア倶楽部の閲覧頻度

問3 ⑤ 市ではケア倶楽部で情報を発信していますが、どれくらいの頻度でケア倶楽部を閲覧していますか。(1つを選択)

ケア倶楽部の閲覧頻度について、「更新通知があったら確認する」が52.3%で最も多く、次いで「週に一回程度」が21.9%、「毎日確認している」が14.8%となっています。また、前回調査と比較して「更新通知があったら確認する」が7.3ポイント減少しています。

【図表 4-3-19 ケア倶楽部の閲覧頻度】



(6)「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を活用しているか

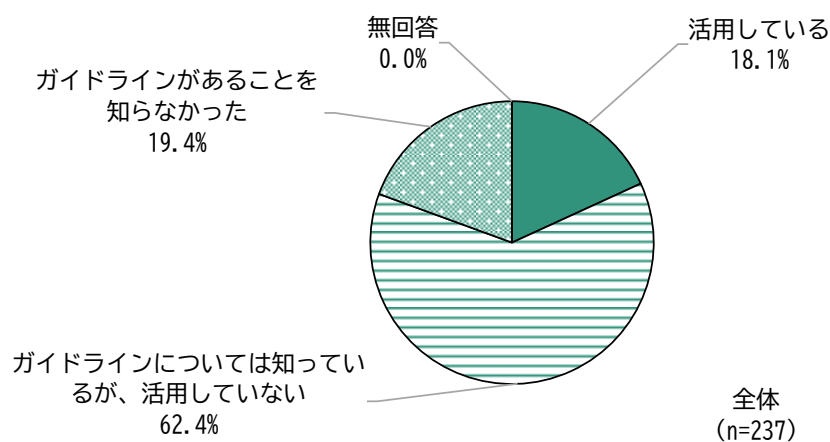
問3

⑥

業務改善を行うに当たり、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」は活用していますか？(1つを選択)

「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を活用しているかについて、「ガイドラインについては知っているが、活用していない」が62.4%で最も多く、次いで「ガイドラインがあることを知らなかった」が19.4%、「活用している」が18.1%となっています。

【図表 4-3-20 「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を活用しているか】



(7) 職員の採用のために取り組んでいること

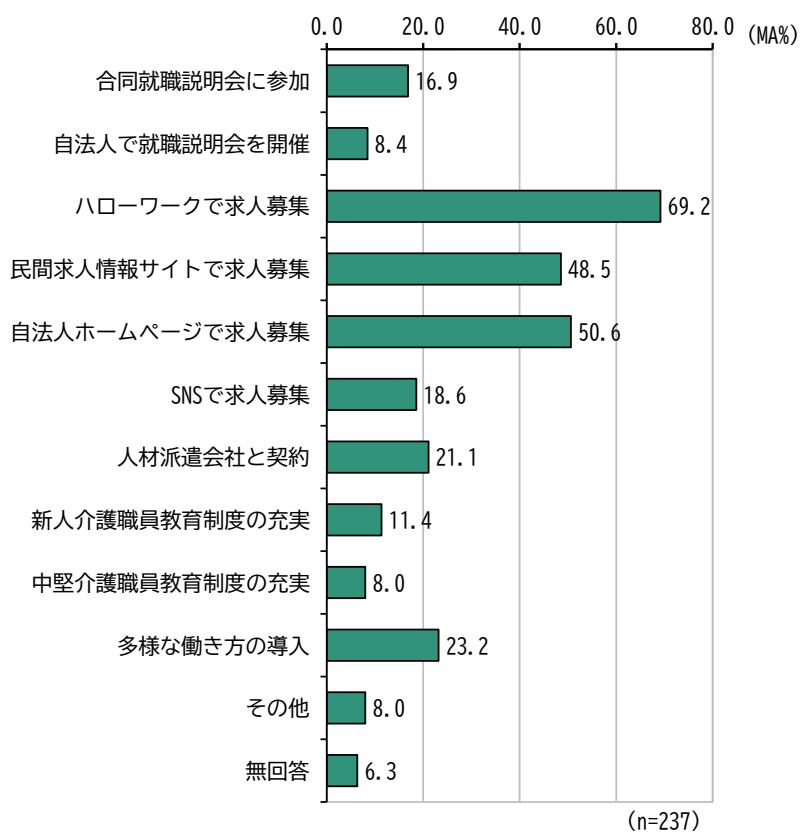
問3

⑦

職員の採用のために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

職員の採用のために取り組んでいることについて、「ハローワークで求人募集」が69.2%で最も多く、次いで「自法人ホームページで求人募集」が50.6%、「民間求人情報サイトで求人募集」が48.5%となっています。

【図表 4-3-21 職員の採用のために取り組んでいること】



(8) 職員の離職理由

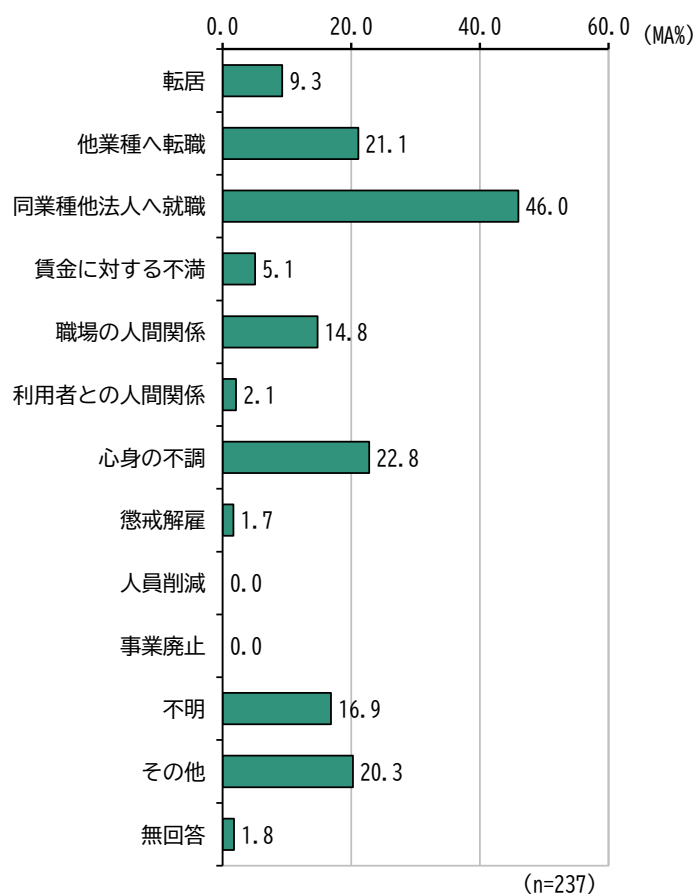
問3

⑧

職員の離職理由を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。(数字を入力)

職員の離職理由について、「同業種他法人へ就職」が46.0%で最も多く、次いで「心身の不調」が22.8%、「他業種へ転職」が21.1%となっています。

【図表 4-3-22 職員の離職理由】



(9) 外国人介護職員の採用のために取り組んでいること

問3

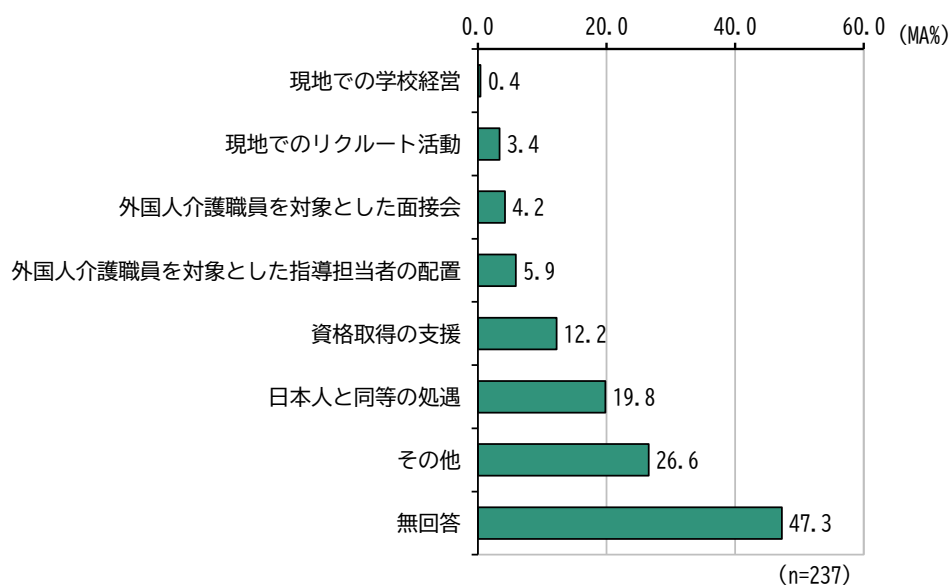
⑨

外国人介護職員の採用のために取り組んでいることはありますか。
(複数選択可)

外国人介護職員の採用のために取り組んでいることについて、「その他」が 26.6%で最も多く、次いで「日本人と同等の処遇」が 19.8%、「資格取得の支援」が 12.2%となっています。

「その他」の内容について、『取り組んでいない』(40 件)、『外国人の採用を考えていない』(6 件)などがあります。

【図表 4-3-23 外国人介護職員の採用のために取り組んでいること】



(10) 事業所での ICT の推進について、導入しているもの

問3

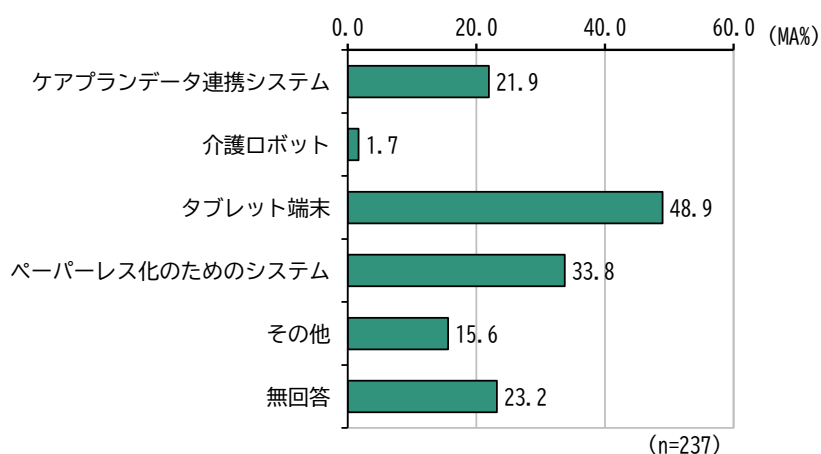
⑩

事業所での ICT の推進について、導入しているものを教えてください。
(複数選択可)

事業所での ICT の推進について、導入しているものについて、「タブレット端末」が 48.9%で最も多く、次いで「ペーパーレス化のためのシステム」が 33.8%、「ケアプランデータ連携システム」が 21.9%となっています。

「その他」の内容について、『導入していない』(15 件)、『インカム』(4 件)などがあります。

【図表 4-3-24 事業所での ICT の推進について、導入しているもの】



(11) 運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要か

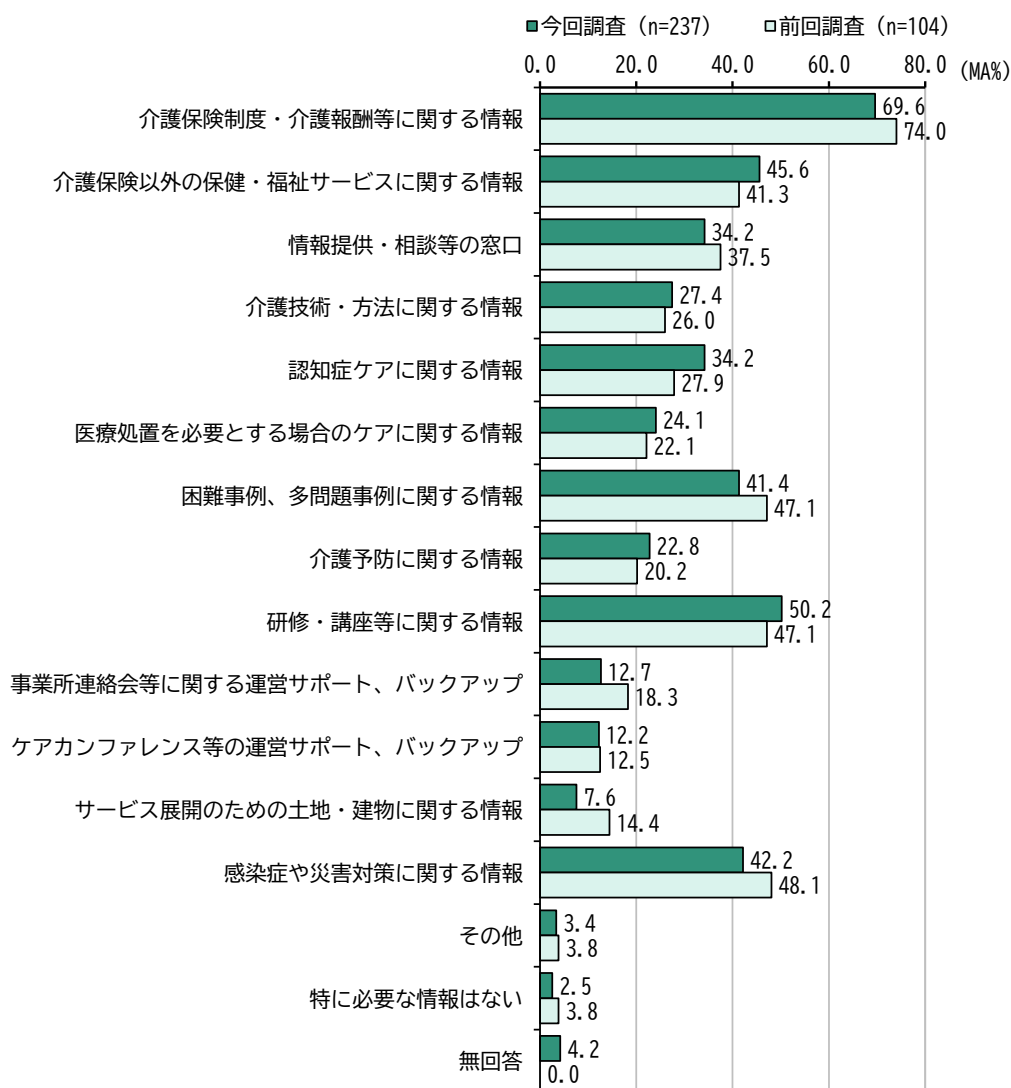
問3

⑪

貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。
(複数選択可)

運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要かについて、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が69.6%で最も多く、次いで「研修・講座等に関する情報」が50.2%、「介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報」が45.6%となっています。また、前回調査と比較して「認知症ケアに関する情報」が6.3ポイント増加しています。

【図表 4-3-25 運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要か】



4. 医療機関との連携について

(1) 医療機関との連携について、法人として取り組んでいること

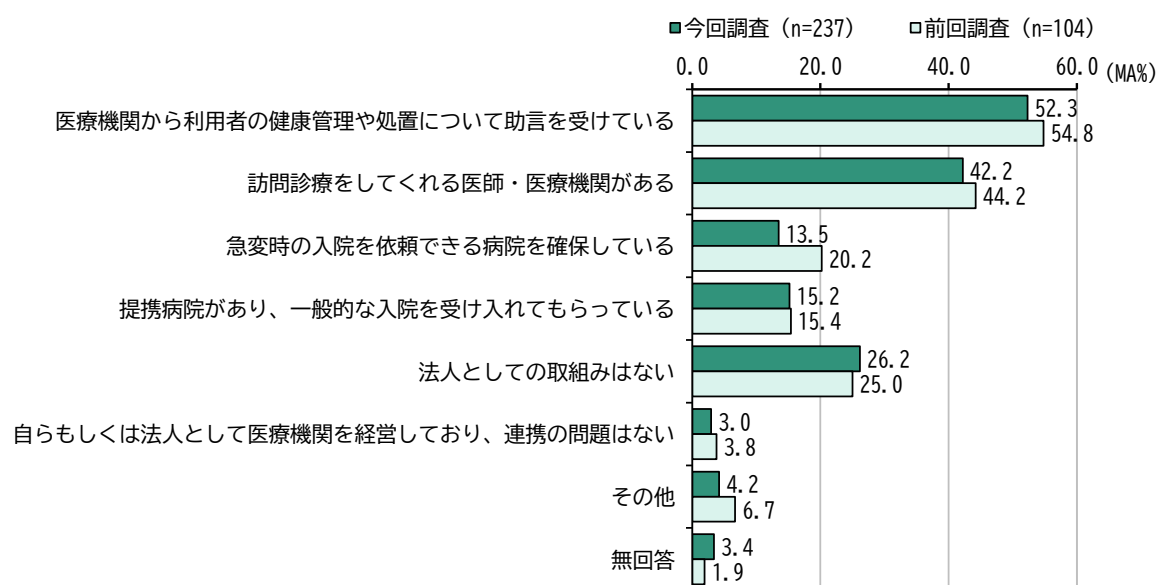
問4

①

医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか。
(複数選択可)

医療機関との連携について、法人として取り組んでいることについて、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が52.3%で最も多く、次いで「訪問診療をしてくれる医師・医療機関がある」が42.2%、「法人としての取組みはない」が26.2%となっています。また、前回調査と比較して「急変時の入院を依頼できる病院を確保している」が6.7ポイント減少しています。

【図表 4-4-1 医療機関との連携について、法人として取り組んでいること】

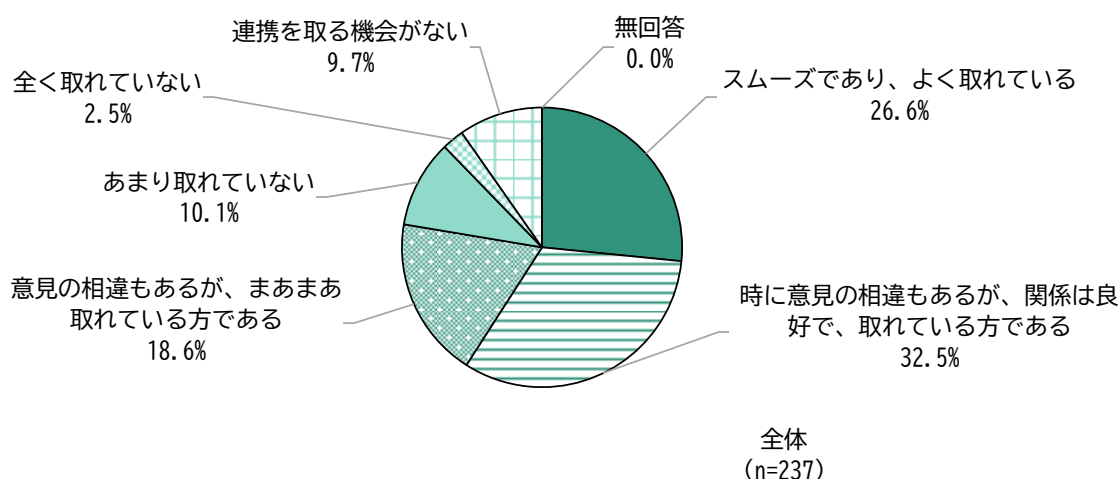


(2) 医療機関との連携について、連携は取れていると思うか

問4 ② 医療機関との連携について、連携は取れていると思いますか。(1つを選択)

医療機関との連携について、連携は取れていると思うかについて、「時に意見の相違もあるが、関係は良好で、取れている方である」が 32.5%で最も多く、次いで「スムーズであり、よく取れている」が 26.6%、「意見の相違もあるが、まあまあ取れている方である」が 18.6%となっています。

【図表 4-4-2 医療機関との連携について、連携は取れていると思うか】

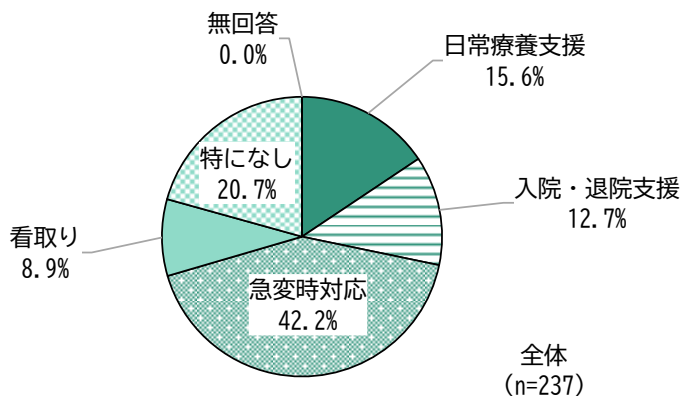


(3) 最も連携が難しいと感じる場面

問4 ③ 医療との連携が必要な以下の4つの場面において、最も連携が難しいと感じる場面はいつですか。(1つを選択)

最も連携が難しいと感じる場面について、「急変時対応」が 42.2%で最も多く、次いで「特になし」が 20.7%、「日常療養支援」が 15.6%となっています。

【図表 4-4-3 最も連携が難しいと感じる場面】



(4) 医療と介護等の連携が難しい理由

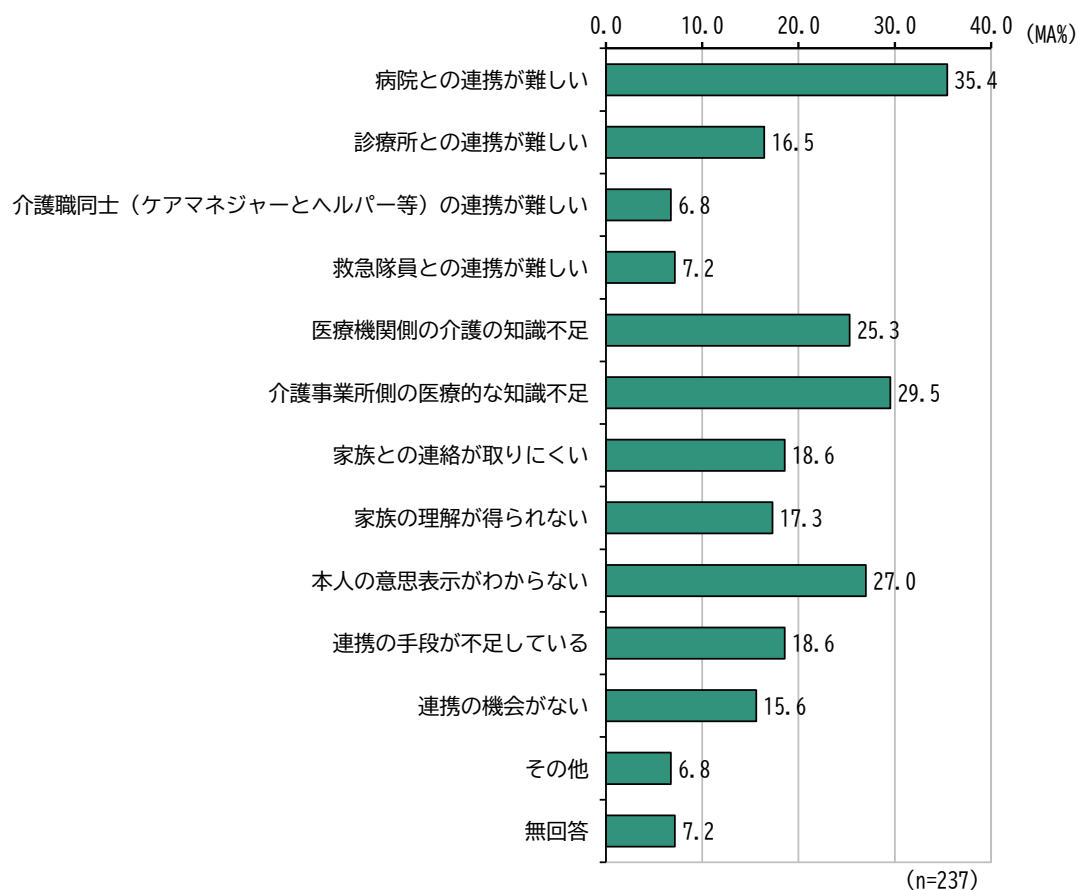
問4

④

医療と介護等の連携が難しい理由は何ですか。(複数選択可)

医療と介護等の連携が難しい理由について、「病院との連携が難しい」が 35.4%で最も多く、次いで「介護事業所側の医療的な知識不足」が 29.5%、「本人の意思表示がわからない」が 27.0%となっています。

【図表 4-4-4 医療と介護等の連携が難しい理由】

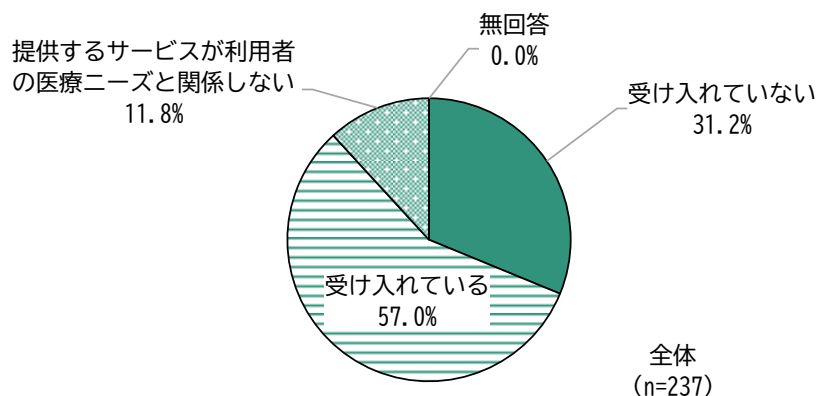


（５）医療ニーズの高い利用者を受け入れているか

問4 ⑤ 医療ニーズの高い利用者を受け入れていますか。(1つを選択)

医療ニーズの高い利用者を受け入れているかについて、「受け入れている」が 57.0%で最も多く、次いで「受け入れていない」が 31.2%、「提供するサービスが利用者の医療ニーズと関係しない」が 11.8%となっています。

【図表 4-4-5 医療ニーズの高い利用者を受け入れているか】

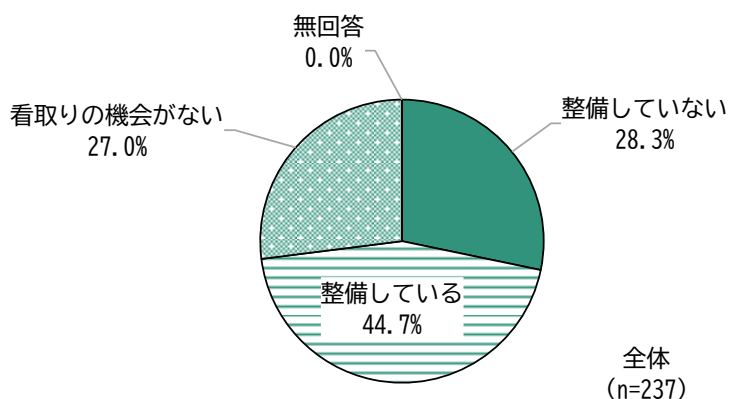


（６）看取りの体制を整備しているか

問4 ⑥ 看取りの体制を整備していますか。(1つを選択)

看取りの体制を整備しているかについて、「整備している」が 44.7%で最も多く、次いで「整備していない」が 28.3%、「看取りの機会がない」が 27.0%となっています。

【図表 4-4-6 看取りの体制を整備しているか】



(7) 看取りができない理由

問4	⑦	看取りができない(困難な)理由を教えてください。 (回答できない場合は空白でも可)
----	---	--

看取りができない理由について、カテゴリーに分類したところ、「人手不足」「事業形態的に看取りの機会がない」が13件で最も多く、次いで「医療との連携不足」が6件、「家族の協力不足」が4件となっています。

【図表 4-4-7 看取りができない理由】

カテゴリー	内容
人手不足 (13件)	職員の人員不足
	看取りができる介護力・経験・知識がない など
事業形態的に看取りの機会がない (13件)	通所・訪問サービスのため
	看取り状態の利用者がいない など
医療との連携不足 (6件)	看取りを受けてくれる主治医が少ない
	医療機関によって対応が異なる など
家族の協力不足 (3件)	家族の協力が得られない
	高齢世帯や独居世帯が多く在宅看取りが難しい など

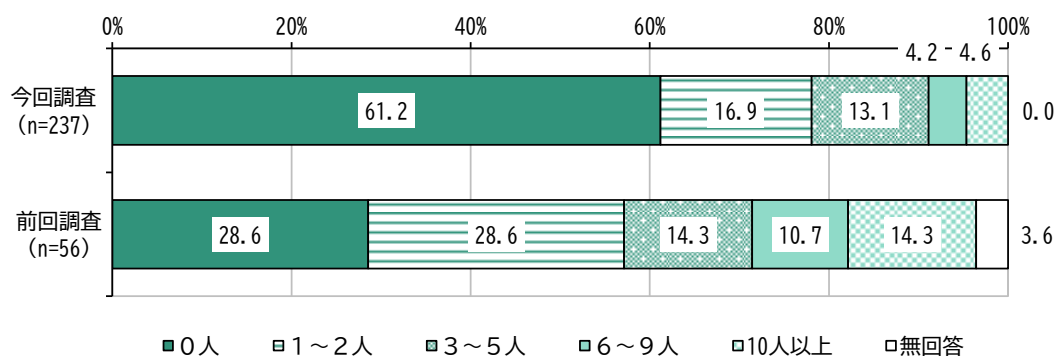
他3件

(8) 施設での看取りにかかわった実人数

問4	⑧	令和6年4月1日～令和7年3月 31 日までの施設(事業所)での看取りにかかわった実人数を教えてください。(数字を入力)
----	---	--

施設での看取りにかかわった実人数について、「0人」が61.2%で最も多く、次いで「1～2人」が16.9%、「3～5人」が13.1%となっています。また、前回調査と比較して「0人」が32.6ポイント増加しています。

【図表 4-4-8 施設での看取りにかかわった実人数】

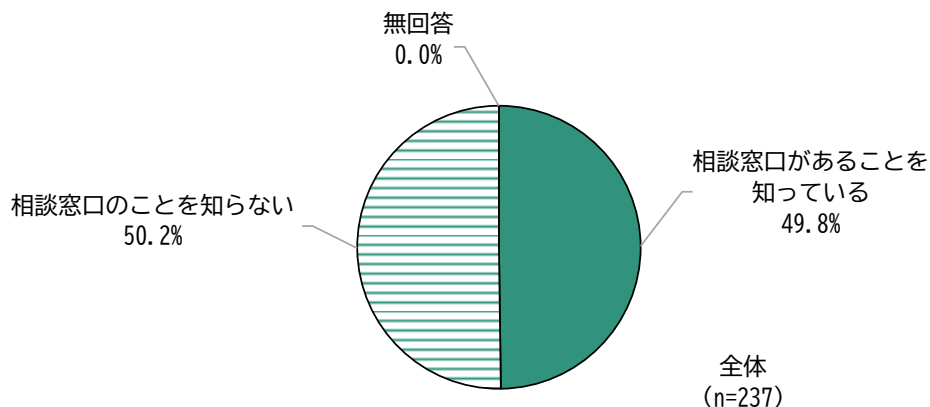


(9) 在宅医療等連携コーディネーターの認知状況

問4	⑨	関係者向けの、医療と介護等の連携に関する相談窓口である、在宅医療等連携コーディネーターについてご存じですか。(1つを選択)
----	---	---

在宅医療等連携コーディネーターの認知状況について、「相談窓口があることを知っている」が49.8%、「相談窓口のことを知らない」が50.2%となっています。

【図表 4-4-9 在宅医療等連携コーディネーターの認知状況】



5. 本アンケートについて

(1) アンケート調査に関する意見

問5	①	このアンケート調査に関するご意見があれば教えてください。 (自由記載・空白でも可)
----	---	--

アンケート調査に関する意見について、カテゴリーに分類したところ、「介護報酬・制度の問題」が10件で最も多く、次いで「人員の不足・高齢化」が8件、「ICT導入の問題」が7件となっています。

【図表 4-5-10 アンケート調査に関する意見】

カテゴリー	内容
介護報酬・制度の問題 (10件)	介護報酬が物価・賃金に追いつかない
	制度の老朽化 など
人員の不足・高齢化 (8件)	人員確保が困難
	ヘルパーの高齢化 など
ICT導入の問題 (7件)	ICTを使いこなせない職員が多い
	ICTを使いこなせる職員の負担が増える など
医療と介護の連携 (4件)	看取りを受け入れる事業者が少ない
	医療と介護の連携不足 など

他 28 件

1. 介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調査票

【ご回答にあたって】

調査票を記入されたのはななですか。(○は1つ)
1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄)
3. その他 ()

問1 あなたの家族や生活状況について

①-1 性別をおたすねします。(○は1つ)
1. 男性
2. 女性
3. その他

①-2 年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)
1. 65～69 歳
2. 70～74 歳
3. 75～79 歳
4. 80～84 歳
5. 85～89 歳
6. 90 歳以上

①-3 あなたの住まいの小学校区を教えてください。(○は1つ)
1. 清溪
2. 忍頂寺
3. 山手台
4. 安威
5. 福井
6. 耳原
7. 豊川
8. 郡山
9. 彩都西
10. 太田
11. 西河原
12. 三島
13. 庄栄
14. 東
15. 白川
16. 春日
17. 郡
18. 畑田
19. 沢池
20. 西
21. 春日丘
22. 穂積
23. 茨木
24. 中条
25. 大池
26. 中津
27. 天王
28. 東奈良
29. 玉櫛
30. 水尾
31. 玉島
32. 葦原
33. わからない (町・丁目を記入)

② 家族構成をお教えてください。(○は1つ)
1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()

③ あなたは、普段の生活でななかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)
1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

④ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)
1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

介護予防・日常生活圏域二一ス調査

茨本市の保健福祉社に関するアンケート調査

◆ご協力をお願い◆

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。
さて、本市では、市民の皆様が豊かで充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービスや介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取組みを進めています。この調査は、高齢者施策の充実を目的として、65 歳以上の市民の皆様から無作為に抽出した 3,000 人の方を対象に実施しています。ご記入いただいた内容につきましては、個人情報保護に十分な注意を払い、本調査の目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年(2025年)11月 茨本市長 福岡 洋一

ご記入にあたってのお願い

- ◆回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、数字などを記入いただくものがあります。「○は1つ」「○はいくつでも」など回答方法を指定していますので、ご注意のうえ、ご回答ください。ご記入の際は、鉛筆やボールペンなど、お手元にある使いやすいものをご自由にお使いください。
- ◆質問には、令和7年11月1日現在でお答えください。
- ◆ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が代筆していただいても差し支えございません。
- ◆質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内になるべく具体的に記入してください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月19日(金)**までに
ご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名の記入や切手の貼付は不要です。

この調査は、パソコンやスマートフォン、タブレットからでもご回答いただけます。下記の二次元コードまたはURLから専用ウェブサイトにアクセスし、ID・パスワードを入力の上、ご回答ください。インターネットで回答していただいた場合、本調査票のご返送は不要です。

URL	
ID	
パスワード	

調査票のご記入にあたって、身近な方による読み上げや代筆が難しい場合や、ご不明な点がございましたら、どうぞ最寄介護課までお気軽にご連絡ください。

この調査に関するお問い合わせ先
茨本市 健康医療部 長寿介護課
電話：072-620-1639 FAX：072-622-5950

問2 からだを動かすことについて

<①> 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

<②> 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

<③-1> 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

<③-2> 現在、あなたはどれくらいの頻度で運動をしていますか。(○は1つ)

1. 週5日以上

2. 週3～4日

3. 週2日

4. 週1日

5. 月1～3日

6. 月1日未満

7. 全く運動していない

<③-3> あなたは普段どれくらいの範囲まで歩いて出かけますか。(○は1つ)

1. 歩いて5分以内

2. 歩いて15分以内

3. 歩いて30分以内

4. 歩いて45分以内

5. 歩いて1時間以内

6. 歩いて1時間以上

<④> 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある

2. 1度ある

3. ない

<⑤> 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である

2. やや不安である

3. あまり不安でない

4. 不安でない

<⑥> 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない

2. 週1回

3. 週2～4回

4. 週5回以上

<⑦-1> 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている

2. 減っている

3. あまり減っていない

4. 減っていない

<⑦-2> 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

<⑦-2> で「1. はい」を回答された方のみ

<⑦-3> 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気のため

2. 障害のため

3. 足腰などの痛みの不安

4. トイレの心配（失禁など）

5. 外での楽しみがない

6. 経済的に出られない

7. 交通手段がない

8. 階段等、段差が多く移動しにくい

9. 外出するための移動手段がない

10. 車や自転車の通行が多く移動しにくい

11. 近くに買い物等ができる場所がない

12. 趣味や娯楽を楽しめる場所がない

13. 感染症の不安のため

14. その他（ ）

<⑦-4> 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩

2. 自転車

3. バイク

4. 自動車(自分で運転)

5. 自動車(人に乗せてもらう)

6. 電車

7. 路線バス

8. 病院や施設のバス

9. 車いす

10. 電動車いす(カート)

11. 歩行器・シルバーカー

12. タクシー

13. その他（ ）

問3 食べることにについて

<①> 身長・体重を教えてください。(数字を記入)

身長

cm

体重

kg

<②> 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

<③-1> 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

<③-2> 歯磨き（人によってもらう場合も含む）を毎日していますか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

<④> 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用

2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし

3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用

4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

〈⑤-1〉 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

〈⑤-2〉 1日の食事回数は何回ですか。(○は1つ)

1. 1日3回	2. 1日2回
3. 1日1回	4. その他 ()

〈⑤-3〉 食生活を改善してみようと思いますか。(○は1つ)

1. 既に改善に取り組んでいる (6カ月以上)
2. 既に改善に取り組んでいる (6カ月未満)
3. 近いうち (1カ月以内) に改善するつもり
4. そのうち (6カ月以内) に改善するつもり
5. 改善するつもりはない

問4 毎日の生活について

〈①〉 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

〈②〉 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

〈③〉 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

〈④-1〉 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している ⇒ 〈⑤〉 へ
2. できるだけしていない
3. できない

→ 〈④-1〉 で「2. できるだけしていない」「3. できない」を回答された方のみ

〈④-2〉 食事の確保はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 家族が買い物や調理をしている	2. ヘルパーが買い物や調理をしている
3. デイサービス利用時に食事が提供されている	4. 配食サービスを利用している
5. その他 ()	

〈⑤〉 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

〈⑥〉 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

〈⑦〉 趣味・生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 趣味・生きがいあり …………… → [具体的に記入]
2. 思いつかない

〈⑧-1〉 次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはありますか。

(○はいくつでも)

1. スマートフォン	2. 携帯電話	3. 固定電話	4. タブレット端末
5. パソコン	6. その他 ()	7. 使用していない	→ 〈⑧-5〉 へ

→ 〈⑧-1〉 で「1. スマートフォン」を回答された方のみ

〈⑧-2〉 スマートフォンでどのような機能を利用していますか。(○はいくつでも)

1. 電話	2. メール
3. メッセージアプリ (LINE など)	4. カメラで写真や動画を撮影する
5. インターネットで情報を調べる	6. 地図を見る、目的地までの案内に利用する
7. SNS (Facebook, X (旧 Twitter) など) を利用する	
8. インターネットで買い物をする	
9. その他 ()	

→ 〈⑧-1〉 で「1. スマートフォン」を回答された方のみ

〈⑧-3〉 ⑧-2で選択した以外で今後どのような機能を利用したいですか。(○はいくつでも)

1. 電話	2. メール
3. メッセージアプリ (LINE など)	4. カメラで写真や動画を撮影する
5. インターネットで情報を調べる	6. 地図を見る、目的地までの案内に利用する
7. SNS (Facebook, X (旧 Twitter) など) を利用する	
8. インターネットで買い物をする	
9. その他 ()	

→ 〈⑧-1〉 で「1. スマートフォン」を回答された方のみ

〈⑧-4〉 現在利用している機能以外の利用をしない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. どのような機能があるのかわからないから
2. 使いたいと思う機能がないから (使いたい機能)
3. 使いこなせないと思うから
4. 操作を間違うなどで、意図しない契約や詐欺等のトラブルになると怖いから
5. 利用することで費用がかかると困るから

〈⑧-5〉市ではスマートフォン等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談をお受けする事業を実施しています。どのような条件であれば利用したいですか。
(○はいくつでも)

1. 会場までの距離が遠くないこと	→ (⑨)へ
2. 会場がスーパーなどの商業施設内であること	
3. 申込が要らないこと	
4. その他 ()	
5. 利用しない	

→ 〈⑧-5〉で「5. 利用しない」を回答された方のみ

〈⑧-6〉利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家族に聞いたり自分で調べたりして疑問を解決することができるから
2. 知らない機能はあるが、今以上に知りたいことがないから
3. その他 ()

〈⑨〉日常生活で困りごとはありますか。(○はいくつでも)

1. 買い物	2. 通院の付き添い	3. 外出先への同行
4. 最寄駅までの送迎	5. 洗濯物を干す・取り込む	6. ゴミ出し
7. 電球の取替え	8. 家具などの重い物の移動	9. 調理
10. 安否確認と声掛け	11. 話し相手や相談相手	12. 部屋の掃除・片付け
13. その他 ()		
14. 特に困りごとはない		

問5 地域での活動について

〈①-1〉「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-2〉「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。
(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-3〉「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-4〉「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-5〉「いきいき交流広場、街かどデハウス、コミュニティハウスなど」介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

※通いの場：地域団体が主体となり取り組んでいる高齢者の身近な交流の場。

〈①-6〉「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-7〉「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈①-8〉「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

〈②〉地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

〈③-1〉地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

〈③-2〉地域づくりの活動に企画・運営（お世話役）として参加した際、金銭（任意の謝礼など）は必要だと思いますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問6

たすけあいについて

〈①〉あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

〈②〉反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

〈③〉あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

〈④〉反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

〈⑤〉家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（○はいくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ

2. 社会福祉協議会・民生委員

3. ケアマネジャー

4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師

5. 地域包括支援センター

6. 市役所

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

〈⑥〉もしご近所に手助けを必要とする人がいる場合に、あなたはどんな手助けができますか。（○はいくつでも）

1. 買い物

2. 通院の付き添い

3. 外出先への同行

4. 最寄駅までの送迎

5. 洗濯物を干す・取り込む

6. ゴミ出し

7. 電球の取替え

8. 家具などの重い物の移動

9. 調理

10. 安否確認と声掛け

11. 話し相手や相談相手

12. 部屋の掃除・片付け

13. その他（ ）

14. 心身の状況などできない

問7

健康について

〈①〉現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. とてもよい

2. まあよい

3. あまりよくない

4. よくない

〈②〉あなたは、現在のどの程度幸せですか（○は1つ）
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

とても不幸

とても幸せ

0点

1点

2点

3点

4点

5点

6点

7点

8点

9点

10点

〈③-1〉タバコは吸っていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日吸っている

2. 時々吸っている

3. 吸っていたがやめた

4. もともと吸っていない

〈③-2〉お酒は飲みますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日飲む

2. 時々飲む

3. ほとんど飲まない

4. もともと飲まない

〈④〉この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

〈⑤〉この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありましたか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

〈⑥-1〉現在あなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(補聴器をつけている人は、補聴器を外した状態についてお答えください) (〇は1つ)

1. 普通 (問題なく聞き取れる) ⇒ 〈⑦-1〉へ

2. 普通の声がやっと聞き取れる

3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる

4. ほとんど聞こえない

※「問題なく聞き取れる」とは、一般的に、日常生活における会話や音を聞き取ることに支障がないレベルを指します。もし聞こえに不安を感じる場合や、聞き返しが増えたと感じる場合には、早めに専門の医療機関 (耳鼻咽喉科など) へご相談ください。

→ 〈⑥-1〉で「2. 普通の声がやっと聞き取れる」～「4. ほとんど聞こえない」を回答された方のみ

〈⑥-2〉現在、補聴器を使用していますか。(〇は1つ)

1. 使用している

2. 持っているが、使用していない → 〈⑦-1〉へ

3. 持っていない

→ 〈⑥-2〉で「3. 持っていない」を回答された方のみ

〈⑥-3〉持っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 補聴器は高額だから

2. 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから

3. 補聴器を使用することがわずらわしいから

4. 耳が聞こえにくくなっていることを周りに知られたくないから

5. その他 ()

〈⑦-1〉現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

1. ない

2. 高血圧

3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)

4. 心臓病

5. 糖尿病

6. 高脂血症 (脂質異常)

7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)

8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺の病気

10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)

11. 外傷 (転倒・骨折等)

12. がん (悪性新生物)

13. 血液・免疫の病気

14. うつ病

15. 認知症 (アルツハイマー病等)

16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他 ()

〈⑦-2〉あなたは、健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 栄養バランスやかむ回数に気を付けて食事をしている

2. 口の中を清潔にしている (歯みがき、うがいなど)

3. 規則的な生活を心がけている (夜更かしをしないなど)

4. 体重を定期的に測っている

5. 定期的な運動を心掛けている

6. 定期的に健康診断を受けたりかかりつけの医師 (主治医) に診てもらっている

7. 休養や睡眠を十分にとっている

8. 友人や家族とよく会話をしている

9. 閉じこもらないように外に出る頻度を増やしている

10. その他 ()

11. 特にない

〈⑦-3〉健康や病気のことにについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などはいですか。(〇はいくつでも)

1. 医師

2. 歯科医師

3. 薬剤師

〈⑦-4〉あなたが、趣味や交流活動として実施していることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 図書館・公園・プールなどの身近な施設へ出かけること

2. 近所に買い物に出かけること

3. 国内旅行や海外旅行に行くこと

4. 自分の好きな俳優や劇団などのショーやコンサートに出かけること

5. 野球や相撲などスポーツを観戦すること

6. ジムやフィットネスクラブなどで、身体を動かすこと

7. 囲碁や書道、音楽、絵画、語学など趣味を楽しむこと

8. みんなと一緒に食事をしたり、食事を作ったりして楽しむこと

9. 子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと

10. その他 ()

〈⑦-5〉自主的に健康診断を受けていますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ ⇒ 〈⑦-7〉へ

→ 〈⑦-5〉で「1. はい」を回答された方のみ

〈⑦-6〉どれくらいの頻度で健康診断を受けていますか。(〇は1つ)

1. 1年に1回以上

2. 2年に1回程度

3. 3年に1回程度

4. 4～5年に1回程度

〈⑦-7〉どのくらいの頻度で家庭での血圧測定をしていますか。(〇は1つ)

1. 毎日

2. 週1～2回

3. 月2～3回

4. 測らない

〈⑦-8〉フレイルという言葉を知っていましたか。(○は1つ)

1. 知らない	3. 知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない	4. 意味もだいたいわかる

※フレイル：年をとって体や心のはたらき、社会的つながりが弱くなった状態。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性がある。

問8 認知症について

〈①-1〉あなた自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

〈①-2〉あなたが認知症になったら、どんな支援を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 認知症や認知症介護に対する理解	2. あなたの話し相手
3. ご家族の話し相手	4. 集まりの場への受け入れ、誘い
5. 日常生活（買い物など）の手助け	6. ご家族が外出しているときの見守り・声かけ
7. 利用できるサービスに関する説明	8. 医療機関での相談
9. 就労支援	10. その他（ ）

〈①-3〉あなたの家族が認知症になったら、どんな支援を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 認知症や認知症介護に対する理解	
2. 認知症ご本人の話し相手	
3. あなたの話し相手	
4. 認知症ご本人の集まりの場への受け入れ、誘い	
5. あなたの集まりの場への受け入れ、誘い	
6. 日常生活（買い物など）の手助け	
7. あなたが外出しているときの見守り・声かけ	
8. 利用できるサービスに関する説明	
9. 医療機関での相談	
10. 就労支援	
11. その他（ ）	

〈②-1〉認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

※相談窓口：地域包括支援センター、市役所（認知症初期集中支援チーム）、医療機関（かかりつけ医）等

〈②-2〉次の市の施策を知っていますか？(○はいくつでも)

1. 認知症サポーター養成講座	2. 認知症カフェ（いばらきオレンジカフェ）
3. 認知症介護家族教室	4. 茨木童子見守りシール

※茨木童子見守りシール：行方不明になる心配のある高齢者の見守りや早期発見・事故防止を図るために衣類等に貼るシール

問9 高齢者施策全般について

〈①〉あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

1. 内容まで知っている	2. 詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている
3. 名称を聞いたことがある程度	4. 知らない

※成年後見制度とは、認知症などの理由で判断能力が不十分な方の権利を守るため、不動産や預貯金などの財産管理や介護サービスに関する契約などを、本人に代わって行う代理人を法的に定め、本人を保護する制度です。この制度は、通常、本人が家族が裁判所に申し立てを行います。状況に応じて、市が申し立てを支援することがあります。

〈②-1〉虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合の相談（通報）先を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※相談先：地域包括支援センター、市役所、警察、民生委員 等

〈②-2〉高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取り組みが必要と思われるか。(○はいくつでも)

1. 高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う	
2. 虐待が疑われる場合は、すぐに相談（通報）する	
3. 虐待防止についての学習会等に参加する	
4. わからない	
5. その他（ ）	

〈③-1〉人生会議（ACP、アドバンス・ケア・プランニング）について、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない	3. 知らない
----------	------------------------	---------

※アドバンス・ケア・プランニングとは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

〈③-2〉人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。

(○は1つ)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している	
2. 詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない	
3. 話し合ったことがある	
4. まったく話し合ったことがない	

〈③-3〉人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。(○は1つ)

1. 自宅	2. 介護施設	3. 病院	4. どこでもよい
5. その他（ ）	6. わからない		

〈④-1〉終活について、現在、不安に思うことはありますか。(○はいくつでも)

1. 家財の整理・処分	2. 緊急時における親族等への連絡方法
3. 老後の資金・住まい	4. 自分が受ける介護や医療
5. 病院・高齢者施設等への入院・入所時の手続きや身元保証	
6. 不安に思っていることはない	7. 何をしておくべきかわからない
8. その他 ()	

〈④-2〉終活について、ご自身が亡くなった後のことで不安に思うことはありますか。
(○はいくつでも)

1. 財産の相続	2. 葬儀等の手配
3. 亡くなった後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証	
4. ペットの世話	5. お墓のこと
6. 不安に思っていることはない	7. 何をしておくべきかわからない
8. その他 ()	

〈④-3〉終活に関わることで、興味がある制度や利用したいものはありますか。
(○はいくつでも)

1. もしもに備えて、自分の医療・財産情報等を書きこむノート
2. もしもに備えて、自分の緊急先や医療機関情報を行政等に登録しておく制度
3. 自分の代わりに第三者が生前中に財産管理や身元保証をしてくれる制度
4. 事前の医療・上、死後の手続きを第三者にお願いしておく制度
5. 終活について説明してくれるセミナー

〈④-4〉もしもに備えて、事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはありますか。(○はいくつでも)

1. 家財の整理・処分等の身辺整理
2. 銀行口座の暗証番号や印鑑の場所を誰かにつたえておく
3. 保険の確認や見直し
4. 遺言書の作成
5. 家族や親しい友人へのメッセージ
6. 受けた介護や治療について、意思表示をしておく (延命治療はしない等)
7. 喪主の希望、葬儀の形式
8. ペットの預け先
9. 自分の医療・財産情報等を書きこむノートの作成
10. その他 ()
11. 準備できていないことはない ⇒ 〈⑤-1〉へ

〈④-4〉で「1. 家財の整理・処分等の身辺整理」～「10. その他」を回答された方のみ
〈④-5〉準備できていない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 時間的な余裕がない	2. どうやって取り組みたいかわからない
3. その他 ()	

〈⑤-1〉在宅医療について知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが具体的ににはわからない
3. 知らない	

※在宅医療とは、寝たきり等により通院に支障がある方に対し、医師等が自宅 (施設等を含む。) を訪問し、継続的に医療行為を行うものです。通院が困難になった時の選択肢の1つとして、住み慣れた環境で生活をしながら療養することができます。

〈⑤-2〉将来、通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 利用したい	2. 利用したくない (なるべく通院したい)
3. 利用したくない (入院・施設入居を考える)	4. わからない

〈⑤-3〉在宅医療に対してどのような印象がありますか。(○はいくつでも)

1. 医師や看護師が自宅に来てくれる	2. 自分の慣れている場所で過ごせる
3. 通院の移動手段の手配や費用負担が減る	4. 通院に付き添う家族の負担が減る
5. 急な体調不良の時に利用するものである	6. 通院に比べて受けられる治療が限られている
7. 利用の仕方がわからない	
8. かかりつけ医が変わってしまうことには抵抗がある	
9. 費用が高額になる	10. 自宅に人が来ることに抵抗がある
11. 特にない	12. その他 ()

〈⑤-4〉容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示 (受けた介護や治療 (延命治療を希望するかどうか等)) について、考えたことはありますか。(○は1つ)

1. 考えていて、意思表示の書面を作成している
2. 考えているが、意思表示の書面は作成していない
3. 何から考えたらいいかかわからない
4. 「もしもの時」について考えたことがない
5. 家族は考えているが本人が考えているかどうか不明

〈⑤-5〉容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示 (受けた介護や治療 (延命治療を希望するかどうか等)) について、家族や関係者 (主治医・ケアマネジャー等) と共有していますか。(○は1つ)

1. 家族や関係者と共有している	2. 家族とのみ共有している
3. 関係者とのみ共有している	4. まったく共有していない
5. 「もしもの時」について考えたことがない	

質問は以上で終わります。
ご協力いただきありがとうございました。

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査

◆◆ご協力をお願い◆◆

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、本市では、市民の皆様が豊かで充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービスや介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取組みを進めています。この調査は、高齢者施策の充実を目的として、市民の皆様のうち、要支援・要介護認定を受けられ、かつ在宅で生活されている方から無作為に抽出した 2,000 人の方を対象に実施しています。ご記入いただいた内容につきましては、個人情報保護に十分な注意を払い、本調査の目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年（2025 年）11 月 茨木市長 福岡 洋一

ご記入にあたってのお願い

- ◆回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、数字などをご記入いただくものがあります。「1 つを選択」「複数選択可」など回答方法を指定していますので、ご注意のうえ、ご回答ください。ご記入の際は、鉛筆やボールペンなど、お手元にある使いやすきものを自由にお使いください。
- ◆質問には、令和 7 年 11 月 1 日現在でお答えください。
- ◆ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が代筆していただいても差し支えございません。
- ◆質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内になるべく具体的にご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12 月 19 日（金）**までに
ご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名の記入や切手の貼付は不要です。

この調査は、パソコンやスマートフォン、タブレットからでもご回答いただけます。下記の二次元コードまたは URL から専用ウェブサイトにアクセスし、ID・パスワードを入力の上、ご回答ください。インターネットで回答していただいた場合、本調査票のご返送は不要です。

URL	
ID	
	パスワード

調査票のご記入にあたって、身近な方による読み上げや代筆が難しい場合や、ご不明な点
がございましたら、どうぞ長寿介護課までお気軽にご連絡ください。

この調査に関するお問い合わせ先	
茨木市 健康医療部	長寿介護課
電話：072-620-1639	FAX：072-622-5950

2. 在宅介護実態調査 調査票

A 票	調査対象者様ご本人について、お伺いします	
問1 あなたの家族や生活状況について		
〈①〉性別について、ご回答ください。（1 つを選択）		
1. 男性 2. 女性 3. その他		
〈②〉年齢について、ご回答ください。（1 つを選択）		
1. 65～69 歳 2. 70～74 歳 3. 75～79 歳 4. 80～84 歳 5. 85～89 歳 6. 90 歳以上		
〈③〉お住まいの小学校区を教えてください。（1 つを選択）		
1. 清溪 2. 忍頂寺 3. 山手台 4. 安威 5. 福井 6. 耳原 7. 豊川 8. 郡山 9. 彩都西 10. 太田 11. 西河原 12. 三島 13. 庄栄 14. 東 15. 白川 16. 春日 17. 郡 18. 畑田 19. 沢池 20. 西 21. 春日丘 22. 穂積 23. 茨木 24. 中条 25. 大池 26. 中津 27. 天王 28. 東奈良 29. 玉柳 30. 水尾 31. 玉島 32. 葦原 33. 分からない（町・丁目を記入）		
〈④〉要介護度について、ご回答ください。（1 つを選択）		
1. 要支援 1 2. 要支援 2 3. 要介護 1 4. 要介護 2 5. 要介護 3 6. 要介護 4 7. 要介護 5 8. わからない		
〈⑤〉現在、この調査票にご回答をいただいているのはどなたですか。（1 つを選択）		
1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査対象者のケアマネジャー 5. その他（ ）		
〈⑥〉世帯類型についてご回答ください。（1 つを選択）		
1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他（ ）		

問2 介護・介助の状況について

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(複数選択可)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)

2. 心臓病

3. がん (悪性新生物)

4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)

5. 関節の病気 (リウマチ等)

6. 認知症 (アルツハイマー病等)

7. パーキンソン病

8. 糖尿病

9. 腎疾患 (透析)

10. 視覚・聴覚障害

11. 骨折・転倒

12. 脊椎損傷

13. 高齢による衰弱

14. その他

15. 不明

② 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない

2. 入所・入居を検討している

3. すでに入所・入居申し込みをしている

③ 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

1. 利用した

2. 利用していない ⇒ 問3 ①へ

④ ③で「1. 利用した」を回答された方のみにお伺いします。

④ 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回」を選択してください。

A. 「訪問介護 (ホームヘルプサービス)」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

B. 「訪問入浴介護」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

C. 「訪問看護」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

D. 「訪問リハビリテーション」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

2

E. 「通所介護 (デイサービス)」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

F. 「通所リハビリテーション (デイケア)」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

G. 「夜間対応型訪問介護 (訪問のあった回数を回答)」の1週間当たりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

6. 5回以上

H. 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の利用の有無 (1つを選択)

1. 利用していない

2. 利用した

I. 「小規模多機能型居宅介護」の利用の有無 (1つを選択)

1. 利用していない

2. 利用した

J. 「看護小規模多機能型居宅介護」の利用の有無 (1つを選択)

1. 利用していない

2. 利用した

K. 「ショートステイ」の1か月あたりの利用日数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1～7日

3. 8～14日

4. 15～21日

5. 22日以上

L. 「居宅療養管理指導」の1か月あたりの利用回数 (1つを選択)

1. 0回

2. 1回

3. 2回

4. 3回

5. 4回

問3 人生の最期について

① 人生会議 (ACP、アドバンス・ケア・プランニング) について、知っていますか。(1つを選択)

1. 知っている

2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない

3. 知らない

※アドバンス・ケア・プランニングとは、もしものために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

② 人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。(1つを選択)

1. 自宅

2. 介護施設

3. 病院

4. どこでもよい

5. その他 ()

6. わからない

3

204

〈③〉 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。

(1つを選択)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している
2. 詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない
3. 話し合ったことがある
4. まったく話し合ったことがない

問4 在宅医療について

〈①〉 在宅医療について知っていますか。(1つを選択)

※在宅医療とは、寝たきり等により通院に支障がある方に対し、医師等が自宅（施設等を含む。）を訪問し、継続的に医療行為を行うものです。通院が困難になった時の選択肢の1つとして、住み慣れた環境で生活をしながら療養することができます。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが具体的には分からない
3. 知らない

〈②〉 在宅医療を利用していますか。(1つを選択)

1. 現在利用している
2. 以前利用していたことがある
3. 利用したことはない ⇒ 〈④〉へ

〉〈②〉で「1. 現在利用している」「2. 以前利用していたことがある」を回答された方のお伺いします。

〈③〉 在宅医療を利用している（利用していた）要因は何ですか。(複数選択可)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他
15. 不明

〈②〉で「3. 利用したことはない」を回答された方のお伺いします。

〈④〉 将来、通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思えますか。(1つを選択)

1. 利用したい
2. 利用したくない(なるべく通院したい)
3. 利用したくない(入院・施設入居を考える)
4. わからない

〈⑤〉 在宅医療に対してどのような印象がありますか。(複数選択可)

1. 医師や看護師が自宅に来てくれる
2. 自分の慣れている場所で過ごせる
3. 通院の移動手段の手配や費用負担が減る
4. 通院に付き添う家族の負担が減る
5. 急な体調不良の時に利用するものである
6. 通院に比べて受けられる治療が限られている
7. 利用の仕方がわからない
8. かかりつけ医が変わってしまうことには抵抗がある
9. 費用が高額になる
10. 自宅に人が来ることに抵抗がある
11. 特になし
12. その他（ ）

〈⑥〉 過去10年ほどの間に入院したことはありますか。その際、退院時に困ったことはありましたか。(複数選択可)

1. 過去10年ほどの間に入院したことはない。
2. 介護認定に時間がかかった
3. 介護保険サービスの利用方法がわからなかった
4. 思っていたより早く退院させられた
5. 在宅介護や在宅医療の準備が間に合わなかった
6. かかりつけ医に入院・退院を伝えるタイミングがわからなかった
7. 退院後に望んだ場所に行けなかった
8. 退院時に病院からの十分な説明が得られなかった
9. 退院後の生活について、自分の希望を伝える機会がなかった
10. その他（ ）
11. 特になし

〈⑦〉 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示（受けたい介護や治療（延命治療を希望するかどうか等））について、考えたことはありますか。(1つを選択)

1. 考えていて、意思表示の書面を作成している
2. 考えているが、意思表示の書面は作成していない
3. 何から考えたらいいかかわからない
4. 「もしもの時」について考えたことがない
5. 家族は考えているが本人が考えているかどうか不明

〈⑧〉 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示（受けたい介護や治療（延命治療を希望するかどうか等））について、家族や関係者（主治医・ケアマネジャー等）と共有していますか。(1つを選択)

1. 家族や関係者と共有している
2. 家族とのみ共有している
3. 関係者とのみ共有している
4. まったく共有していない
5. 「もしもの時」について考えたことがない

問5ご家族やご親族からの介護について

〈①〉ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない

3. 週に1～2日ある

4. 週に3～4日ある

5. ほぼ毎日ある

→ 調査は終了です

→ B票へ進んでください

- A票の問5〈①〉で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

B票主な介護者の方について、お伺いします

問1主な介護者について

〈①〉ご家族やご親族の中で、ご本人様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(1つを選択)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)

2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)

3. 主な介護者が転職した

4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した

5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない

6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

〈②〉主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80代以上	9. わからない

〈③〉どのくらいの期間、介護をされていますか。(1つを選択)

1. 1年未満	2. 1～2年	3. 2～3年	4. 3～4年
5. 4～5年	6. 5～6年	7. 6～7年	8. 7～8年
9. 9～10年	10. 10年以上		

〈④〉主な介護者を含め、家族の何人で看ていますか。(ヘルパーを含まない)(1つを選択)

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

206

6

7

問2

主な介護者の状況について

<①-1>現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、お答えください。(現状で行っているか否かは問いません)
(3つまで選択可)

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助(食べる時)

4. 入浴・洗身

5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動

8. 外出の付き添い・送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

12. 食事の準備(調理等)

13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

15. その他()

16. 不安に感じていることは、特になし

17. 主な介護者に確認しないと、わからない

※経管栄養：胃ろう、経鼻チューブなど

<①-2>今後介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、ご回答ください。
(複数選択可)

1. 肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと

2. 精神的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと

3. 介護にいくらかお金がかかるのか分からないこと

4. 自分の収入が減るかもしれないこと

5. 自分の時間や楽しみが減るかもしれないこと

6. 住み慣れた家で生活を続けることができなくなるかもしれないこと

7. 友人と今までのように交流できなくなるかもしれないこと

8. 頼る人がいなくなるかもしれないこと

9. その他()

10. 不安に感じていることは、特になし

<①-3>介護者自身の困りごとの相談相手について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 家族

2. 友人・知人

3. 職場の上司や同僚

4. 地域包括支援センター

5. 市役所

6. ケアマネジャー

7. 相談できない

8. その他()

9. 相談相手はいない

<②>主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

1. フルタイムで働いている

2. パートタイムで働いている

3. 働いていない

4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒ <⑦>へ

※「パートタイム」とは、「週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

<②>で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を回答された方のみにお伺いします。

<③>主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(複数選択可)

1. 特に行っていない

2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等)」しながら、働いている

3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

6. 主な介護者に確認しないと、わからない

<②>で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を回答された方のみにお伺いします。

<④>主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける

2. 問題はあるが、何とか続けていける

3. 続けていくのは、やや難しい

4. 続けていくのは、かなり難しい

5. 主な介護者に確認しないと、わからない

<②>で「3. 働いていない」を回答された方のみにお伺いします。

<⑤>働いていない理由について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 働いていたが、介護のために離職した

2. 働きたかったが、介護のために就職できなかった

3. 介護する前から働いてなかった(就職する予定はなかった)

4. 大学・高校などに通学しながら介護を行っている

5. その他()

<②>で「3. 働いていない」を回答された方のみにお伺いします。

<⑥>介護が終了した後の介護者ご自身の生活について、考えられていることはありますか。(1つを選択)

1. 仕事をする予定

2. 仕事はしない予定

3. 現時点では考えていない

<⑦>介護者に対する支援が必要だと思うものは何ですか。(複数選択可)

1. 介護者同士の交流の場

2. 介護のコツを学べる介護教室

3. 介護後に関する相談支援の充実

4. 介護に関する情報提供の充実

5. その他()

質問は以上で終わりです。

ご協力いただきありがとうございます。

207

8

9

茨木市の保健福祉社に関するアンケート調査

◆◆ご協力をお願い◆◆

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様が豊かで充実した生活を送ることができるよう、保健福祉サービスや介護保険サービスをはじめ、高齢者の健康増進や生きがい施策など、さまざまな取組みを進めています。

この調査は、高齢者施策の充実を目的として、茨木市内で介護保険事業を営む事業者の皆様を対象に、実施しています。ご記入いただいた内容につきましては、すべて統計的に処理し、事業者名など個別の情報を外部に提供することはありませんので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年（2025年）11月 茨木市長 福岡 洋一

ご記入にあたってのお願い

◆回答は、あてはまる番号を選択していただくものと、数字などをご入力いただくものがあります。「1つを選択」「複数回答可」など回答方法を指定していますので、ご注意のうえ、ご回答ください。

◆質問には、茨木市内での事業状況について、令和7年11月1日現在でお答えください。

◆質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を□内になるべく具体的にご入力ください。

この調査は、パソコンやスマートフォン、タブレットからご回答いただけます。下記の二次元コードまたはURLから専用ウェブサイトへアクセスし、ご回答ください

URL

二次元コード

この調査に関するお問い合わせ先

茨木市 健康医療部 長寿介護課

電話：072-620-1639 FAX：072-622-5950

3. 介護保険事業者調査 調査票

問1 貴法人について

貴法人の概要について教えてください。

〈①〉 法人名			
〈②〉 代表所在地			
〈③〉 法人種別 (1つを選択)	1. 医療法人 4. 農協・生協 7. NPO法人	2. 社会福祉法人 5. 株式会社 8. その他 ()	3. 社団法人 6. 有限会社
〈④〉 記入者	氏 名： (役 職)		
	連絡先：(電話) (FAX)		

〈⑤〉 貴法人が提供するサービスについてお答えください。(複数選択可)

1. 居宅介護支援 2. 訪問介護・訪問リハ等 訪問系サービス 3. デイケア等 通所系サービス 4. 福祉用具系サービス 5. 特養・グループホーム等介護保険に関する入所サービス 6. サ高住・住宅型有料等介護保険外の住まいのサービス 7. その他 ()

〈⑥〉 サービスの提供先についてお答えください。(1つを選択)

1. 主に居宅の市民向け 2. 主に同法人の施設・高齢者住まい向け 3. 居宅にも施設等にもサービスを提供している

問2 サービスについて

〈①〉 サービス提供に対する自己評価について、全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思いますか。(1つを選択)

1. 十分提供できている	2. どちらかといえば提供できている
3. どちらかといえば提供できていない	4. 提供できていない

〈②〉 貴法人独自で介護保険サービス以外の事業を実施していますか。(複数選択可)

1. お泊まりデイサービス	2. 買い物等のための送迎、移送
3. 配食 (市からの委託を除く)	4. その他 ()
5. 実施していない	

問3

職員について

① 令和6年度における介護職員の採用状況を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。(数字を入力)
 (令和6年4月1日～令和7年3月31日、茨木市内での事業状況)

正規職員	年齢	10代 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人
	年齢	10代 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人
	区分	常勤 () 人	非常勤 () 人					

② 令和6年度における介護職員の離職状況を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。また、勤続年数は、貴法人での勤続年数としてください。(数字を入力)(令和6年4月1日～令和7年3月31日、茨木市内での事業状況)

正規職員	年齢	10代 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人	
	勤続年数	1年未満 () 人	1年以上5年未満 () 人	5年以上10年未満 () 人	10年以上15年未満 () 人	15年以上 () 人			
		10代 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人	
		1年未満 () 人	1年以上5年未満 () 人	5年以上10年未満 () 人	10年以上15年未満 () 人	15年以上 () 人			
		10代 () 人	20代 () 人	30代 () 人	40代 () 人	50代 () 人	60代 () 人	70歳以上 () 人	
		区分	常勤 () 人	非常勤 () 人					

③ 職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

1. 職員の増員による負担の軽減	2. 夜勤の見直し等労働条件の改善
3. 昇給又は昇進要件の明確化	4. 正社員への転換機会の確保
5. 定期的なミーティング等コミュニケーションの充実	
6. 腰痛対策、メンタルヘルスクラス等健康管理の充実	
7. 出産・子育て・介護を行う職員の支援強化	
8. ICT・介護ロボットの活用	
9. その他 ()	
10. 実施していない (実施予定なし)	

④ 事業所でのICTの推進について、その体制は整備できていますか。(1つを選択)

1. 設備・人員ともに整備できている	2. 設備は整っているが人員が不足している
3. 人員は整っているが設備が不足している	4. 設備・人員ともに整備できていない

※事業所でのICTの推進とは、ICTを介護現場のインフラとして導入することで、介護職員が行政に提出する文書等の作成に要する時間を効率化し、介護サービスの提供に集中することが期待されます。

⑤ 市ではケア倶楽部で情報を発信していますが、どれくらいの頻度でケア倶楽部を閲覧していますか。(1つを選択)

1. 毎日確認している	2. 更新通知があったら確認する	3. 週に一回程度
4. 閲覧していない	5. その他 ()	

⑥ 業務改善を行うに当たり、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」は活用していますか？(1つを選択)

1. 活用している	
2. ガイドラインについては知っているが、活用していない	
3. ガイドラインがあることを知らなかった	

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」とは、介護サービスの質を維持しつつ業務効率を高めるための手引きで、ICT活用や業務改善の事例・ツールを示し、現場の生産性向上を支援するものです。

⑦ 職員の採用のために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

1. 合同就職説明会に参加	2. 自法人で就職説明会を開催
3. ハローワークで求人募集	4. 民間求人情報サイトで求人募集
5. 自法人ホームページで求人募集	6. SNSで求人募集
7. 人材派遣会社と契約	8. 新人介護職員教育制度の充実
9. 中堅介護職員教育制度の充実	10. 多様な働き方の導入
11. その他 ()	

〈⑧〉 職員の離職理由を教えてください。該当者がいない場合は「0」を入力してください。
い。(数字を入力)

理由	人数
1. 転居	() 人
2. 他業種へ転職	() 人
3. 同業種他法人へ就職	() 人
4. 賃金に対する不満	() 人
5. 職場の人間関係	() 人
6. 利用者との人間関係	() 人
7. 心身の不調	() 人
8. 懲戒解雇	() 人
9. 人員削減	() 人
10. 事業廃止	() 人
11. 不明	() 人
12. その他 ()	() 人

〈⑨〉 外国人介護職員の採用のために取り組んでいることはありますか。(複数選択可)

1. 現地での学校経営	2. 現地でのリクルート活動
3. 外国人介護職員を対象とした面接会	4. 外国人介護職員を対象とした指導担当者の配置
5. 資格取得の支援	6. 日本人と同等の処遇
7. その他 ()	

〈⑩〉 事業所での ICT の推進について、導入しているものを教えてください。

(複数選択可)	
1. ケアプランデータ連携システム	2. 介護ロボット
3. タブレット端末	4. ペーパーレス化のためのシステム
5. その他 ()	

※介護ロボット：ロボット技術が応用され、利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器。
(装着型パワーアシスト、歩行アシストカート、自動排せつ処理装置、見守りセンサー 等)

〈⑪〉 貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。
(複数選択可)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報
3. 情報提供・相談等の窓口
4. 介護技術・方法に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報
7. 困難事例、多問題事例に関する情報
8. 介護予防に関する情報
9. 研修・講座等に関する情報
10. 事業所連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
11. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
12. サービス展開のための土地・建物に関する情報
13. 感染症や災害対策に関する情報
14. その他 ()
15. 特に必要な情報はない

問 4 医療機関との連携について

〈①〉 医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか。

(複数選択可)

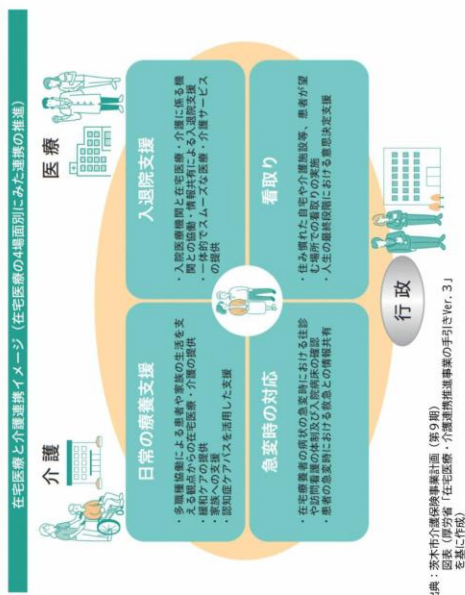
1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2. 訪問診療をしてくれる医師・医療機関がある
3. 急変時の入院を依頼できる病院を確保している
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている
5. 法人としての取り組みはない
6. 自らもしくは法人として医療機関を運営しており、連携の問題はない
7. その他 ()

〈②〉 医療機関との連携について、連携は取れていると思いますか。(1つを選択)

1. スムーズであり、よく取れている
2. 時に意見の相違もあるが、関係は良好で、取れている方である
3. 意見の相違もあるが、まあまあ取れている方である
4. あまり取れていない
5. 全く取れていない
6. 連携を取る機会がない

〈③〉医療との連携が必要な以下の4つの場面において、最も連携が難しいと感じる場面はいつですか。(1つを選択)

1. 日常療養支援	2. 入院・退院支援	3. 急変時対応
4. 看取り	5. 特になし	



〈④〉医療と介護等の連携が難しい理由は何ですか。(複数選択可)

1. 病院との連携が難しい	5. 医療機関側の介護の知識不足
2. 診療所との連携が難しい	7. 家族との連絡が取りにくい
3. 介護職同士（ケアマネジャーとヘルパー等）の連携が難しい	9. 本人の意思表示がわからない
4. 救急隊員との連携が難しい	11. 連携の機会がない
6. 介護事業所側の医療的な知識不足	
8. 家族の理解が得られない	
10. 連携の手段が不足している	
12. その他（ ）	

〈⑤〉医療ニーズの高い利用者を受け入れていますか。(1つを選択)

1. 受け入っていない	2. 受け入れている
3. 提供するサービスが利用者の医療ニーズと関係しない	

〈⑥〉看取りの体制を整備していますか。(1つを選択)

1. 整備していない	2. 整備している	3. 看取りの機会がない
------------	-----------	--------------

〈⑦〉看取りができない（困難な）理由を教えてください。
（回答できない場合は空白でも可）

〈⑧〉令和6年4月1日～令和7年3月31日までの施設（事業所）での看取りにかかわった実人数を教えてください。(数字を入力)

	人
----------------------	---

〈⑨〉関係者向けの、医療と介護等の連携に関する相談窓口である、在宅医療等連携コーディネーターについてご存じですか。(1つを選択)

1. 相談窓口があることを知っている	2. 相談窓口のことを知らない
--------------------	-----------------

※「在宅医療等連携コーディネーター」とは、在宅医療と介護等の連携を支援する専門人材で、相談支援等を通じて、地域で切れ目のない医療・介護等の連携体制の構築を担います。

問5 本アンケートについて

〈⑩〉このアンケート調査に関するご意見があれば教えてください。
（自由記載・空白でも可）

--

質問は以上で終わります。
ご協力いただきありがとうございます。

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査
〔高齢者・在宅介護者・介護保険事業者〕
報 告 書

令和8年（2026年）3月

発行 茨木市 健康医療部 長寿介護課

大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

電話 072-620-1639

FAX 072-622-5950

基本目標1 お互いにつながり支え合える

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)地域包括支援センターの運営	①圏域型地域包括支援センターの整備	圏域型地域包括支援センター設置数（か所）	4	5	5
			4	5	—
		目標設定理由	各圏域の包括的支援体制の推進につながる。		
	②地域包括支援センターの周知	市広報誌やホームページ等の多様な媒体で周知を行う	定性評価		
			1-(1)-②	1-(1)-②	—
		目標設定理由	様々な方法で周知活動を行っているため。		
	③地域包括支援センターの適切な運営及び評価	地域包括支援センター業務評価表に基づく適切な評価	定性評価		
			1-(1)-③	1-(1)-③	—
		目標設定理由	毎年運営協議会に報告し、評価を確認しているため。		
	④地域ケア会議の推進	地域ケア会議開催数（回）	84	84	84
			87	85	—
		目標設定理由	多職種が連携し個別課題から地域課題への解決につなげるために継続して開催する必要がある。		

基本目標・施策・取組	評価内容
1-(1)-①	地区保健センターの新設に伴い、センター内に圏域型地域包括支援センターの設置を行いました。今後は支援の必要な高齢者への、きめ細やかな対応を進めます。
1-(1)-②	市広報や、ホームページへの掲載、地域のイベントへの参加などを行い、地域包括支援センターの周知を行っています。
1-(1)-③	地域包括支援センター運営協議会において、自己評価、市の評価について審議・評価を行い、改善策等の意見をいただきました。
1-(1)-④	個別課題の解決だけでなく、地域課題の解決に向けた取り組みにつないでいくため、より一層会議内容の整理・整備に努める必要があります。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)高齢者の生活支援体制整備の推進	①生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置	協議体の設置数（か所）	12	18	23
			7	10	—
		第1層協議体参画団体等と協働した企画および実施回数（回）	9	10	12
			22	31	—
		目標設定理由	地域課題について、住民等と地域資源を活用した取組を協議することによって、地域づくりにつなげる。		

基本目標・施策・取組	評価内容
1-(2)-①	北保健福祉センター開設に合わせ、生活支援コーディネーターを配置し、各圏域における協議体の設置を推進しました。また、第1層協議体参画団体等と連携し、地域課題の共有や解決に向けた企画の立案・実施を行い、多様な主体との協働による取組を展開しました。 協議体の設置数は増加しており、体制整備は着実に進展しています。また、協働による企画・実施回数も増加しており、目標値を大きく上回るなど、関係団体との連携は活性化しています。 協議体（第2層）の設置が目標に対して遅れています。また、協働による取組は回数として充実しているものの、単発的な実施にとどまらず、地域課題の解決に資する継続的な取組へとつなげていく必要があります。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(3)認知症 施策の推進	①普及啓発・ 本人発信支援	認知症サポーター養成講座受 講者数（人）	29,000	32,000	35,000
			25,801	26,274	—
		目標設定理由	認知症の人や家族が地域で自分らしく 暮らし続けるためには、地域において 認知症への理解を深める必要がある。		
	②医療・ケ ア・介護サー ビス・介護者 への支援	認知症カフェ登録数（か所）	27	29	30
			25	27	—
		家族教室実施回数（回）	12	12	12
			15	19	—
		目標設定理由	認知症の人の介護者の負担軽減を推 進、かつ、本人の発信や社会参加を支 援するため。		
	③認知症バリ アフリーの推 進・若年性認 知症の人への 支援・社会参 加支援	認知症バリアフリーの推進・ 若年性認知症の人への支援・ 社会参加支援	定性評価		
			1-(3)-③	1-(3)-③	—
		目標設定理由	見守りや支援体制の整備に努める。		

基本目標・ 施策・取組	評価内容
1-(3)-①	各所からの開催依頼が減少しているため、市関連施設での講座開催を支援し、市民の学習機会の確保と講座の周知に努めました。引き続き講座の周知と認知症キャラバン・メイトの活動を支援します。
1-(3)-②	認知症の人及びその家族等の憩いの場となる「いばらきオレンジかふえ」を地域に設置する団体を支援しています。また、認知症地域支援推進員が家族教室を開催し、介護者が認知症に関する知識を得たり交流する場を設けました。引き続き、認知症の人の社会参加や介護者の負担軽減を支援するため施策の推進に努めます。
1-(3)-③	「茨木市認知症高齢者見守り事業」については、各所での啓発を行うとともに、実際に行方不明になり警察に保護された人への利用促進を図り、既に利用している人には使用状況の確認を行いました。またおおさか希望大使やチームオレンジ等、認知症の人の社会参加を支援しました。引き続き地域で活動する人材の育成に努める必要があります。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(4)在宅療養の推進	①切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	多職種連携会議の実施回数（回）	3	4	6
		目標設定理由	2	2	—
	②医療・介護関係者の情報共有の支援	多職種をつなぎスムーズに連携を行うシステム活用事例の情報提供（件）	1	2	2
		目標設定理由	1	2	—
	③在宅医療・介護連携に関する相談支援	相談件数（件）	40	60	80
		目標設定理由	35	54	—
	④地域住民への普及啓発	出前講座・ACPセミナー参加者数（人）	100	150	200
		目標設定理由	167	171	—

基本目標・施策・取組	評価内容
I-(4)-①	「茨木市在宅医療等連携推進連絡会」を2回開催し、市からの取組状況の報告や多職種・関係機関によるグループディスカッションに加え、今年度は市内の病院や訪問看護事業所、市消防等からの取組状況の報告により、多職種・関係機関による情報の共有や意見交換等を行うことができました。 なお、目標値に対し会議開催数が2回となったことについては、「在宅医療・介護連携推進事業」と「在宅医療に必要な連携を担う拠点」に関する会議についてそれぞれの開催を想定していたが、参加者が重なることになったことから、効率的かつ関係者等の負担軽減を図るため、一体的に実施できるよう見直し、整理等を行ったためです。引き続き、効率的・効果的な会議運営に努めていきます。
I-(4)-②	ICTツール活用の利便性についての講演が実施された地域包括支援センター主催の医介連携交流会に参加し、利用状況等について参加者から情報収集や意見交換を行いました。また、市が共催として開催した多職種連携研修会において、市内の訪問看護事業者による医療処置別退院時連携シートの活用事例の紹介を行うとともに、そのシートを基に、市内の関係者間で活用できる独自の連携

	シート作成に向け、ワークショップ等を行った。引き続き、ICTツールの事例等の情報共有に努めると共に、連携シートの完成に向けた取組を進めていきます。
1-(4)-③	令和7年度から新たに市内で訪問看護に従事していた看護師を在宅医療等連携コーディネーターとして配置したことに加え、窓口案内チラシの刷新や相談方法にFAXを追加するなど、体制の整備及び周知を図りました。それを契機に、介護事業所や三師会等への周知を行ったことから、相談件数も増加しました。引き続き相談しやすい窓口運営を目指すとともに、更なる認知度向上に向けた周知啓発に努めます。
1-(4)-④	令和7年度は、ローズWAMや公民館で市民向けのセミナーを12回開催し、人生会議等の普及啓発に努めました。目標は達成しておりますが、引き続き、更なる普及啓発に向け、セミナーの周知や、内容のさらなる充実を図ってまいります。

基本目標2 健康にいきいきと自立した日常生活を送れる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）
（1）介護予防・生活支援サービス事業の取組の推進	①訪問型サービスの展開	訪問型サービスAの利用者数（％）	18	18	18
			24	20	—
		訪問型サービスBの利用者数（％）	4	4	4
			6	6	—
		訪問型サービスCの利用者数（％）	20	20	20
			10	7	—
		目標設定理由	要支援1，2の人の利用者割合の増加をめざす。		
	②通所型サービスの展開	通所型サービスCの利用者数（人）	132	140	140
			114	105	—
		目標設定理由	短期集中介護予防サービス利用者数により、介護予防の把握と評価につながる。		
	③介護予防ケアマネジメントの展開	介護予防ケアマネジメント研修の開催回数（回）	3	3	3
			3	3	—
		ケアプラン点検のうち要支援者等の点検件数（件）	50	50	50
			60	46	—
		新規要介護認定者の要介護度改善率（％）	30	30	30
			—	2-（1）-③	—
		目標設定理由	適切な介護予防ケアマネジメントを実施することが、健康で自立した生活を支援することにつながる。		
	④栄養改善型配食の実施	実利用者数（人）	165	180	216
			73	62	—
		目標設定理由	低栄養等栄養改善が必要な人の食事支援ができているかの評価につながる。		

基本目標・施策・取組	評価内容
2-（1）-①	訪問型サービスAの利用者数は、やや減少傾向にあるものの、目標値を上回りました。訪問型サービスBについても令和6年度と同水準で推移しており、いずれも目標値を上回る利用者数を確保できています。 訪問型サービスCについて、管理栄養士が高齢者の自宅を訪問し、低栄養状態等の改善に向けたアドバイスをを行っています。事業周知のほか、低栄養状態のリスク等の啓発が課題です。
2-（1）-②	高齢者のセルフマネジメントを支援するため、3か月間の短期集中型のトレーニングとして実施しており、リハビリテーション専門職、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等の医療専門職が、運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上等のプログラムを行っています。 今後、さらなる市民への啓発が課題です。

2-(1)-③	介護予防ケアマネジメント研修会は、市内ケアマネジャーを対象とし、9/12(口腔)、10/21(認知症)、11/18(運動機能)で3回開催し、概ね計画通りに実施できました。 新規要介護認定者の要介護度改善率に関しては、新規要介護認定者の要介護度改善率の把握に必要な、総合事業効果評価システムの構築費用として令和8年度予算を確保しました。今後は、システムの構築に加え、新規要介護認定者の状況分析が課題です。
2-(1)-④	低栄養等の状態にある高齢者に栄養バランスを考慮した弁当を配食しています。事業周知および実施事業所の確保が課題です。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）
（２）一般介護 予防事業の推 進	①地域リハビリテ ーション活動支援 事業の展開	同行訪問実人数（人）	584	642	706
			286	263	—
		通いの場（か所）	20	20	20
			7	14	—
		目標設定理由	リハビリテーション職による介護予防の 実施及び評価により、一層の介護予防の 取組につながる。		
	②短期集中運動教 室の実施	実利用者数（人）	240	270	270
			255	272	—
		目標設定理由	短期集中型でセルフマネジメント力の推 進をめざす。		
	③地域での介護予 防の取組の周知・ 啓発	元氣いばらきマップ掲載箇 所数（か所）	150	180	200
			170	191	—
		目標設定理由	住民主体による活動を広く周知し、仲間 づくりと介護予防をめざす。		
	④はつらつ出張講 座による支援	講座の実施数（回）	320	350	385
			311	349	—
		目標設定理由	地域における住民主体の介護予防活動を 支援し、地域全体での介護予防の意識醸 成をめざす。		

基本目標・ 施策・取組	評価内容
2-（2）-①	リハビリテーション専門職、管理栄養士が地域包括支援センター職員等と高齢者宅を同行訪問し、多職種によるアセスメントとアドバイスを行っています。今後、より介護予防の効果が見込める状態にある対象者とのマッチングが課題です。 また、住民運営の通いの場における介護予防の取組を支援するため、コミュニティデイハウス・街かどデイハウスにリハビリ専門職、管理栄養士が訪問しています。今後、まだ訪問できていない事業所への訪問や、継続的な取組となるための支援のあり方が課題です。
2-（2）-②	短期集中型の教室でセルフマネジメントの定着を目指します。教室の啓発が課題です。
2-（2）-③	高齢者の社会参加を促進するため、地域にある体操教室を見える化しています。掲載か所数は順調に増えているが、更なる高齢者の社会参加を支援するため、今後は体操以外の介護予防に資する活動をどのように見える化するかが課題です。
2-（2）-④	実施数は増加傾向にあるが、インフォーマルな場で効果的な介護予防活動を支援する必要があることや、開催エリアに偏りがみられることが課題です。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）
（３）高齢者の 保健事業と介 護予防事業等 との一体的な 実施	①高齢者に対する 個別的支援（ハイ リスクアプロー チ）	保健指導実施率（％）	100	100	100
			100	100	—
		受療率（％）	30	30	30
			68.1	—	—
		翌年度健診結果改善率 （％）	70	70	70
			46.9	—	—
		目標設定理由	保健指導による受療開始および健診デー タの改善をめざす。		
	②専門職による通 いの場でのポピュ レーションアプロ ーチ	実施した通いの場数（回）	75	80	83
			62	70	—
		参加人数（人）	1,800	1,900	2,000
			4,931	4,559	—
		目標設定理由	活動範囲を広げるとともに活動の定着を めざす。		

基本目標・ 施策・取組	評価内容
2-（３）-①	Ⅱ度高血圧以上の者で未治療者に対し、文書・電話・訪問等で受療勧奨や保健指導を実施しています。受療率は年々増加していますが、翌年度健診結果改善率は低いです。受療するも服薬治療に繋がらない、継続受療をしていないことが考えられるため、医師会等と連携し、血圧コントロールができる人を増やします。
2-（３）-②	健康教育や健康相談の参加者に対しては介入できるが、参加されない人へのアプローチが課題です。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）
（４）要介護 高齢者等の 自立・家族介 護等への支援 の推進	①高齢者福祉タク シー料金助成事業	利用人数（人）	2,280	2,280	2,280
		目標設定理由	2,308	2,311	—
	②高齢者紙おむつ 等支給事業	利用人数（人）	240	288	288
		目標設定理由	353	355	—
	③高齢者ごいっし ょサービス事業	利用人数（人）	30	30	30
		目標設定理由	11	15	—
	④ひとり暮らし高 齢者等日常生活支 援事業（ちょこつ とサービス）	利用人数（人）	70	80	90
		目標設定理由	50	40	—
		目標設定理由	高齢者の外出を促進し、閉じこもりの防 止、日常生活の利便性の向上と社会参加 につなげる。		
		目標設定理由	家族の経済的・身体的・精神的な負担軽 減を図り、要介護者の在宅生活の継続を めざす。		
		目標設定理由	認知症高齢者の外出機会を促進し、高齢 者及びその家族が安心した生活を送れる 体制をめざす。		
		目標設定理由	高齢者の日常生活支援の利用状況につい て評価ができる。		

基本目標・ 施策・取組	評価内容
2-（４）-①	在宅の住民税非課税・要介護認定高齢者に対してタクシー利用券（１枚につき上限500円・１か月当たり4枚）を交付しています。使いたいときに予約できない、居住地によっては予約できない、タクシー料金の値上がりに伴う助成額の検討等の課題があります。
2-（４）-②	１か月上限5,000円までの介護用品（紙おむつ、尿取りパッド）と交換できる給付券を交付しています。
2-（４）-③	在宅で生活する認知症高齢者が外出する際の付き添いや医療機関の通院時の院内介助、ご家族が外出する際の認知症高齢者の見守りを実施しています。事業周知および実施事業所の確保が課題です。
2-（４）-④	介護保険サービス対象外の軽作業（ごみ出し、庭の除草等）を支援しています。事業周知および実施事業所の確保が課題です。

基本目標3 憩える 参加できる 活躍できる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)地域活動・社会参加の促進	①高齢者活動支援センター シニアプラザ いばらきでの 各種事業の実施	シニアマイスター登録派遣事業、高齢者いきがいワーカーズ支援事業、茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」	定性評価		
			3-(1)-①	3-(1)-①	—
		目標設定理由	シニアプラザ各種事業において、高齢者の居場所と出番の創出・充実、社会参加の促進、地域活動の担い手育成に取り組む。		
	②老人クラブ活動の支援	老人クラブ活動の支援	定性評価		
			3-(1)-②	3-(1)-②	—
		目標設定理由	老人クラブ活動を支援することで、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを促進する。		
	③シニアいきいき活動ポイント事業の実施	活動延べ人数（人）	10,000	11,000	12,000
			7,259	7,977	—
		目標設定理由	活動延べ人数により活動量を確認し、社会貢献による生きがいづくりや介護予防に努めている人の増加をめざす。		

基本目標・施策・取組	評価内容
3-(1)-①	シニアマイスター登録者の派遣、高齢者の起業相談会の開催、生涯学習支援のための「いこいこ未来塾」を開講しました。高齢者が起業するまでのハードルが高く、相談から起業に結びつかないことが課題です。
3-(1)-②	清掃活動や地域見守り活動など老人クラブが行う活動に対し補助金を交付することで、老人クラブ活動の支援を行いました。会員の高齢化や役員のなり手不足によるクラブの規模縮小やクラブ数の減少が課題です。
3-(1)-③	事業をPRする機会を増やすなど、活動者を増やすための取組みを行いました。受け入れ施設や活動者との連絡手段等を見直すなど、より多くの参加しやすい環境づくりに取り組む必要があります。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)身近な「居場所」の整備	①街かどデイハウス事業とコミュニティデイハウス事業の実施	街かどデイハウス事業とコミュニティデイハウス事業の実施	定性評価		
			3-(2)-①	3-(2)-①	—
	②いきいき交流広場の実施	目標設定理由	人材確保等、既存の事業所の運営を支援し、地域における身近な介護予防拠点の維持をめざす。		
		利用者数（人）	35,000	36,000	37,000
			42,238	42,728	—
		目標設定理由	利用者数を増やし、「身近な居場所」を活性化させることで、高齢者の交流等の促進を図る。		

基本目標・施策・取組	評価内容
3-(2)-①	高齢者の通いの場として、介護予防への取り組みや趣味活動のできる居場所を提供しています。 事業周知および実施事業所のスタッフの高齢化が現状の課題です。
3-(2)-②	高齢者の身近な交流の場であるいきいき交流広場の運営支援を行いました。運営スタッフの高齢化による担い手不足が現状の課題です。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(3)世代間交流の取組	①多世代交流センター事業の実施	利用者数（人）	76,000	78,000	80,000
			85,756	95,892	—
		世代間交流事業の参加者数（人）	2,800	3,000	3,200
			2,918	2,688	—
		目標設定理由	多世代交流センター利用者や世代間交流事業の参加者数の増加により、世代間交流の取組の推進をめざす。		

基本目標・施策・取組	評価内容
3-(3)-①	学習室やこども活動室の周知や、各センターで高齢者や子ども・子育て世帯向け事業などの実施回数を増やすなど、利用者増加のための取組みを行いました。世代間交流につながる魅力的な講座やイベントを実施し、世代間交流を促進する必要があります。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(4)高齢者の 「働く場」の 創造	①シルバー人材センターの 取組	登録会員数（人）	1,690	1,701	1,712
			1,735	1,832	—
		目標設定理由	就労や就労を通じた生きがいがいづくり、地域社会への貢献に意欲のある高齢者が増えることをめざす。		
	②高齢者の多様な働き方の 創造	高齢者の多様な働き方の創造	定性評価		
			3-(4)-②	3-(4)-②	—
		目標設定理由	高齢者ニーズに沿った多様な働き方ができることをめざす。		

基本目標・ 施策・取組	評価内容
3-(4)-①	高齢者世代が興味を持つようなイベントの開催とあわせて入会説明会を実施しました。さらなる入会促進や会員数の維持に努めます。
3-(4)-②	高齢者の起業相談会や就労トライアル事業の説明会を開催し、高齢者の多様な働き方の支援を通じた社会参加・活躍の場の創造について支援しました。

基本目標4 一人ひとりの権利が尊重される

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)虐待防止対策の推進	①高齢者虐待防止及び啓発への取組	ラッピングバスによる啓発の実施	定性評価		
			4-(1)-①	4-(1)-①	—
	②虐待への対応	目標設定理由	一人でも多くの人に高齢者虐待、児童虐待、DV、障害者虐待の防止に関心を持ってもらう。		
		虐待への対応	定性評価		
			4-(1)-②	4-(1)-②	—
		目標設定理由	通告に対して、すべての事案に対応している。		

基本目標・施策・取組	評価内容
4-(1)-①	市内を運行する公共バスに虐待防止を啓発するラッピング広告をするなど周知啓発を行い、虐待防止の意識向上に努めました。
4-(1)-②	虐待通報があれば、地域包括支援センター等と連携し、全ての事案に対し支援策を講じるなど、対応に努めました。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)権利擁護の推進	①高齢者権利擁護の推進	高齢者権利擁護の推進	定性評価		
			4-(2)-①	4-(2)-①	—
		目標設定理由	財産上の不当取引による高齢者の被害の防止及び救済を図り、それにより高齢者の自己決定権の尊重と権利の擁護をめざす。		

基本目標・施策・取組	評価内容
4-(2)-①	成年後見制度利用の必要性があるにもかかわらず、審判の申立てができない高齢者等について、市長が申立てを行うことで、その人らしい生活を送ることができるよう支援しました。 また、成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見審判の申立てに要する費用、成年後見人等に支払う報酬の助成を行いました。引き続き制度の周知、費用等の助成を行うことで、制度の利用支援を推進します。

基本目標5 情報を活かして、安全・安心に暮らせる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)災害・感染症発生時の備え	①災害時における支援体制の強化	要配慮者避難施設数（か所）	69	72	74
		目標設定理由	70	69	—
	②感染症対策の介護事業所等との連携・周知啓発・研修・訓練の実施	周知啓発の実施	定性評価		
		目標設定理由	5-(1)-②	5-(1)-②	—
		目標設定理由	感染症対策を講じるように法令等で定められていることから、集団指導や運営指導等を通じて周知啓発を行い、事業所に非常時の体制整備を促す。		

基本目標・施策・取組	評価内容
5-(1)-①	「要配慮者避難施設設置運営マニュアル」を現行法令に沿った内容となるよう定義、文言整理を行い、「協定等による福祉避難所設置運営マニュアル」として改修を行いました。
5-(1)-②	法令により感染症対策を講じることが定められていることから、集団指導や運営指導において周知しました。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)情報公表制度の推進	①事業者情報の公表	ほっとナビ閲覧数（回）	10,000	11,000	12,000
		目標設定理由	18,039	40,342	—
		目標設定理由	地域資源情報を必要とする人に提供することで、安心・安全に暮らすことができるようにする。		

基本目標・施策・取組	評価内容
5-(2)-①	「いばらきほっとナビ」において、市民や関係者に対し、医療機関・介護・障害福祉サービス資源の情報発信や、人生会議や介護保険に関するセミナー等の周知に努めました。引き続き、庁内外で連携し、最新情報の発信に努めると共に、より多くの人に利用してもらえるよう、市ホームページ等での周知に努めます。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(3)安心して暮らせる環境の充実	①緊急通報装置設置事業	利用人数（人）	560	560	560
			617	620	—
		目標設定理由	急病等の緊急事態に適切な対応を図り、高齢者の福祉の増進につなげる。		
	②ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守り体制の推進	ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守り体制の推進	定性評価		
			5-(3)-②	5-(3)-②	—
		目標設定理由	不測の事態でも、対応できる体制の構築が求められるため。		

基本目標・施策・取組	評価内容
5-(3)-①	電話による緊急事態の連絡が困難なひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を設置し、24時間体制で安全を提供しています。
5-(3)-②	ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者世帯調査を実施し、民生委員・地域包括支援センターへ名簿提供を行い、見守り体制の推進に努めました。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(4)高齢者の居住の安定に係る施策	①高齢者世帯家賃助成事業	家賃補助を行うことで、高齢者の暮らしを支援します	定性評価		
			5-(4)-①	5-(4)-①	—
		目標設定理由	高齢者の居住の安定と福祉の向上を図る。		
	②シルバーハウジング生活援助員派遣事業	生活援助員から毎月報告書の提出を求め、居住する高齢者が安心した生活が送れるように支援する	定性評価		
			5-(4)-②	5-(4)-②	—
		目標設定理由	高齢者の安全かつ快適な在宅生活を支援する。		
	③高齢者の居住に関する情報提供	情報提供の実施	定性評価		
			5-(4)-③	5-(4)-③	—
		目標設定理由	住宅型有料老人ホーム等の情報を提供することで、高齢者のニーズに合った施設の選定の手助けができる。		

基本目標・施策・取組	評価内容
5-(4)-①	高齢者世帯に対して家賃助成を実施しています。申請（継続）時の必要書類の準備が複雑で、申請しやすいよう要件を検討したり、必要書類を整理したりすることが課題です。

5-(4)-②	居住する高齢者の安否確認・生活相談により、高齢者が安心した生活を送れています。
5-(4)-③	本市に所在する有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等、高齢者が安心して暮らせる住まいに関する情報を提供しました。 また、利用者が安全・安心な住環境で暮らせるように、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に対する指導及び助言等を行いました。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）	令和8年度 （2026年度）
（5）高齢者が安心して暮らせるためのICTの活用推進	①高齢者のICT活用の推進	スマートフォン利用率（％）	80	90	100
			—	66	—
		介護予防等に関する動画閲覧数（動画視聴回数）	20,000	30,000	40,000
			10,272	5,968	—
		高齢者活動支援センター・多世代交流センターでの講座実施回数（回）	24	30	36
			22	33	—
目標設定理由		・スマホ利用率及び必要な情報へのアクセス数により高齢者のICT活用状況を把握する。※ニーズ調査での計測が必要。 ・高齢者活動支援センター、多世代交流センターでのスマホ講座やキャッシュレス講座の実施により、高齢者のICT活用を推進する。			

基本目標・施策・取組	評価内容
5-(5)-①	大学生からスマホの使用方法を学ぶ相談会や、一緒に万博に行ってスマホを活用するなど、新たな取組みを実施しました。まだスマホに触ったことがなく、社会参加に積極的ではない高齢者が、スマホに触れる機会を作る必要があります。 また、介護予防体操などの動画を配信し、スマホ講座などで周知を図っています。

基本目標 6 持続可能な社会保障を推進する

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)介護保険制度の適正・円滑な運営	①介護サービス基盤の計画的な整備	施設整備数（地域密着型特養・グループホーム・小規模多機能）（か所）	4	2	2
			1	1	—
		特定施設入居者生活介護の整備（床数）	434	60	60
			292	100	—
		目標設定理由	施設整備を計画的に進めることで、できる限り住み慣れた地域での生活を維持できるようにする。		
	②介護保険サービスに対する相談体制の充実	介護サービス相談員数（人）	19	21	22
			17	16	—
		訪問施設数（か所）	41	43	44
			43	43	—
		目標設定理由	サービス利用者等の話を聞くことにより、利用者の疑問や不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所の介護サービスの質的な向上を図ることができる。		
	③介護保険サービス提供事業者等への指導・監査	運営指導件数（件）	120	120	120
			142	114	—
		目標設定理由	定期的に指導監査を実施することで、提供されるサービスの質の担保と、事業所の継続的な運営、サービス提供基盤が維持できることをめざす。		
	④地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上	事故報告のフィードバック（年2回実施）	2	2	2
			2	2	—
		認定審査の効率化（結果通知までの日数）	定性評価		
			6-(1)-④	6-(1)-④	—
		府が実施する業務効率化に関するワンストップ窓口の周知	定性評価		
			6-(1)-④	6-(1)-④	—
		目標設定理由	重大事故の発生原因や内容を共有することで、同類の介護事故を未然に防止し、サービスの質の向上につなげる。 認定審査の効率化を図り、利用者が適正に介護保険制度を利用できるように結果通知までの日数を短縮する。		

基本目標・施策・取組	評価内容
6-(1)-①	地域密着型施設の整備については、令和7年度に地域密着型特別養護老人ホームへの応募があり、1施設を選定しました。今後、施設の建設を進める予定です。 特定施設入居者生活介護の施設整備は、令和6年度公募にて募集数に満たなかった分と合わせて募集したところ、1施設（100床）の募集があり、同者を選定しました。こちらも、令和9年度以降の開設をめざし、建設を進めています。

	特定施設については概ね目標通りの整備ができていますが、地域密着型施設は小規模多機能型居宅介護・グループホームへの応募がなく、整備が進んでいない状況です。
6-(1)-②	介護相談員については、人材確保に課題を抱えつつも、訪問施設数は令和6年度と同数を確保し、目標値に迫る水準を達成しました。
6-(1)-③	目標値には若干届かなかったものの、定期的に指導を実施することで、提供されるサービスの質の担保と、事業所の継続的な運営、サービス提供基盤が維持できました。次年度については、目標値を達成できるように効率的・効果的に対応できるような手段を構築します。
6-(1)-④	令和6年度より認定調査業務の一部を事務受託法人に委託し、認定審査の効率化に努めてまいりました。しかし、単年度契約に起因する、年度当初の契約開始前や年度末の契約終了前において調査業務の委託ができない期間が発生しています。

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標（計画策定時）		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)介護給付適正化事業の推進(第6期介護給付適正化計画)	①要介護認定の適正化	認定調査事後点検率（％）	100	100	100
			100	100	—
		目標設定理由	正確な認定調査を維持することで、介護保険制度を持続することができる。		
	②ケアプランの点検・住宅改修・福祉用具貸与等の点検	ケアプラン点検数（回）	200	200	200
			209	93	—
		住宅改修の点検数（回）	36	36	36
			37	38	—
		福祉用具貸与の点検回数（回）	1	1	1
			1	1	—
		目標設定理由	適正な介護給付を実施することで、介護保険制度の持続可能性を高める。		
	③医療情報との突合・縦覧点検	医療情報との突合回数（回）	12	12	12
			12	12	—
		縦覧点検回数（回）	12	12	12
			12	12	—
		目標設定理由	適正な介護給付を実施することが、介護保険制度の持続可能性を高めるため。		

基本目標・施策・取組	評価内容
6-(2)-①	認定調査の事後点検については、すべての調査について実施しています。目標通り全件の点検を実施しています。
6-(2)-②	ケアプラン点検について、これまで各ケアマネから2ケースずつ提出を求め、時間内に点検を行っていたところ、点検ケースを1件に絞ることで、より理解を深めてもらえるよう、見直しを行いました。点検件数は減少していますが、対象者数、開催回数については、概ね計画通りに実施できました。
6-(2)-③	毎月国保連からの対象リストから疑義のあるケースについて、各該当事業所へ確認を行い、請求誤りのケースについて過誤申請を促しました。